

小矢部市埋蔵文化財報告書第 57 冊

富山県小矢部市

桜町遺跡発掘調査報告書

縄文土器・石器編 I

第 1 分冊

2006年

小矢部市教育委員会



舟岡地区第6調査区SG01縄文土器



舟岡地区第1調査区SD06縄文土器



123



27



33

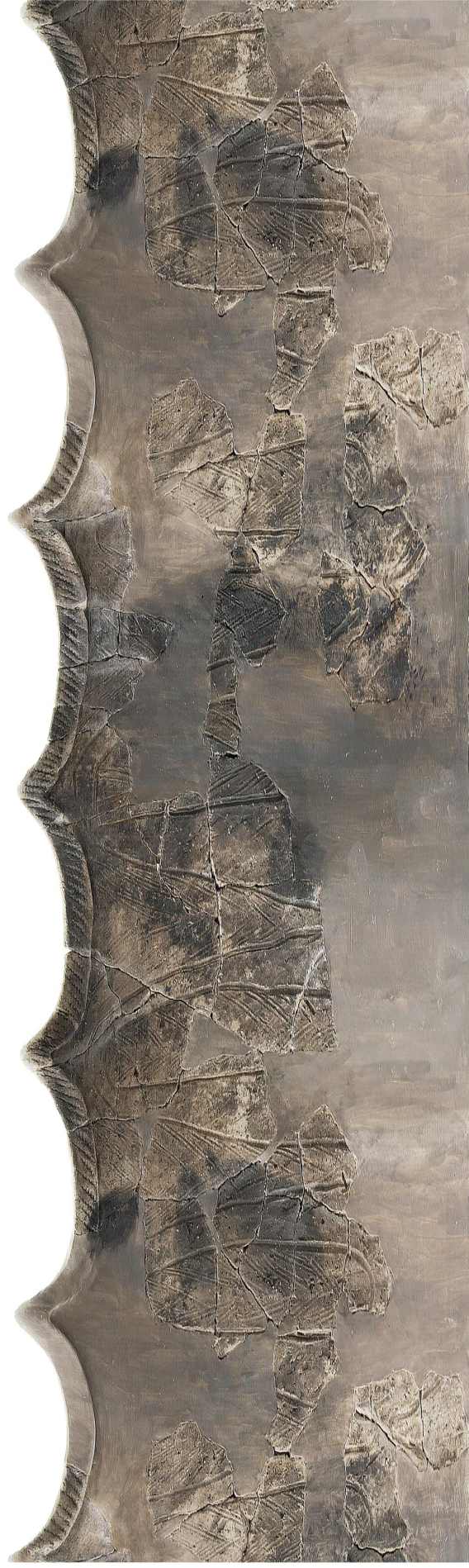


縄文土器文様展開写真(2)

181



21



30



208



204

序

本書は、国道8号小矢部バイパス建設に伴い発掘調査を実施した桜町遺跡の発掘調査報告書「縄文土器・石器編Ⅰ」です。

桜町遺跡は、JR石動駅の北方約1.5kmに位置し、東西約1km南北約800mわたって広がる大きな遺跡です。発掘調査は、昭和55年に始まり本年度は25年目を迎えました。

これまでの調査では、縄文、弥生、古墳、飛鳥、奈良、平安、鎌倉、南北朝、室町、戦国、江戸の各時代にわたるものが発見されました。特に舟岡地区の縄文時代の水場遺構と産田地区、中出地区の飛鳥～平安時代の集落跡は、内容が豊かで特別に注目されるものです。

発掘調査報告書は、飛鳥～平安時代の遺構・遺物については、平成14年度に「弥生・古墳・古代・中世編Ⅰ」として、縄文時代の遺構については、平成15年度に「縄文遺構編Ⅰ」として、平成16年度に「縄文遺構編Ⅱ」として、それぞれまとめてきました。

本書は、遺跡西端の谷部である舟岡地区で発掘された水場遺構に伴う縄文時代中期末・後期初頭の土器・石器を中心に報告しています。中期末・後期初頭の豊富な土器群は、当概期の北陸の土器様相を示す良好な資料であります。

この発掘成果が、今後の研究の参考となり、埋蔵文化財に対する理解並びに保護の一助となれば幸いです。

終わりに、調査に協力していただきました地元の方々及び国土交通省、富山県埋蔵文化財センターをはじめとします関係諸機関の方々に心から感謝申し上げます。

平成18年3月

小矢部市教育委員会

教育長 西川 康夫

例 言

1. 本書は、富山県小矢部市桜町に所在する桜町遺跡の発掘調査報告書のうち、第4巻目にあたる「縄文土器・石器編Ⅰ」である。
2. 発掘調査報告書は、これまで、平成14年度に「弥生・古墳・古代・中世編Ⅰ」、平成15年度に「縄文遺構編Ⅰ 弥生・古墳・古代・中世編Ⅱ」、平成16年度に「縄文遺構編Ⅱ 弥生・古墳・古代・中世編Ⅲ」を刊行している。
3. 発掘調査は、国道8号小矢部バイパスの建設に伴うもので、小矢部市教育委員会が国土交通省から委託を受けて実施した。
4. 本書に収録している縄文土器・石器は、桜町遺跡のうち、昭和62年度に発掘調査を行った中出地区、昭和63年度、平成8年度、平成9年度、平成10年度に発掘調査を行った舟岡地区第1調査区、第6調査区から出土したものと、昭和60年度に発掘調査を行った舟岡地区西端地区、昭和61年度と平成11年度に実施した舟岡地区試掘調査区、平成10年に発掘調査を行った舟岡地区第2調査区、平成2年度に発掘調査を行った舟岡地区第10調査区から出土したものである。中出地区、舟岡地区第1調査区、第6調査区のは、第1分冊と第2分冊に、舟岡地区西端地区、同試掘調査区、同第2調査区、同第10調査区のは、第3分冊に収録した。
5. 本書の作成は、小矢部市教育委員会が行った。作成にあたり、桜町遺跡調査等検討委員会（小林達雄委員長）の指導を受けた。担当者は下記のとおりである。
 - ・2005年度 総括 文化課 課 長 久々忠義
 - 主務 同 上 主 任 塚田一成
 - 事務 同 上 主 任 高木場万里 主事 大野淳也 中井真夕
6. 本書の編集・執筆は、小矢部市教育委員会文化課職員の協力を得て、久々忠義、塚田一成が行った。
7. 石材鑑定は、パリノ・サーヴェイ株式会社に委託した。
8. 本書は、ほかに本書を収めたCD-ROM1枚が付いている。本書の図・写真図版の表示は次のとおりである。
 - 1) 遺物番号は地区毎に通し番号を付した。
 - 2) 引用・参考文献は、著者と発行年（西暦）を〔 〕で文中に示し、巻末に一括して掲載した。
 - 3) 実測図版の縮尺は、土器、実測図は1/4、拓本は1/3とした。石器は、大型品は1/3、石鏃などの小型品は1/1あるいは2/3とした。写真図版の縮尺は、土器は、大型品は1/3としたが、小型品は1/2としたものがある。展開写真は任意である。石器は、原則として1/2としたが、石鏃などの小型品は1/1とした。
9. 出土遺物と調査に関する資料は、すべて小矢部ふるさと歴史館が保管している。

10. 出土品の整理および報告書作成中、下記の方々から多大な御教示・御協力を得た。記して深甚なる謝意を表したい。（敬称略、五十音順）

赤羽仁論・網谷克彦・可児直典・加藤三千雄・狩野 睦・岸本雅敏・木下哲夫・小島俊彰・小林達雄・神保孝造・寺崎裕助・富井 眞・西井龍儀・山岸洋一・山本正敏・米澤義光・南 久和・泉拓良

目 次

第Ⅰ章 中出地区	1
1 概 要	1
2 縄文土器	1
前期	1
中期	1
後期	2
3 土製品	3
円盤状土製品	3
土偶	3
4 石 器	3
打製石斧	3
削器	3
擦石	3
敲石	3
凹石	3
切傷のある石	4
石錘	4
石鏃	4
磨製石斧	4
石刀	4
石冠	4
岩版	4
砥石	4
原石	4
第Ⅱ章 舟岡地区第6調査区	5
1 概 要	5
2 縄文土器	5
前期	5
中期・後期	5
中期前葉	5
SG01	6
SG02	9
SG03	10
焼土	10
F 1	10
F 2	10
F10～13	11

F 7	11
貯蔵穴	12
SK02	12
SK04	12
SK05	12
SK06	12
SK07	12
SK08	12
SK09	13
SK10	13
SK11	13
SK14	13
SK23	13
SK24	13
SK26	12
SK29	14
SK32	14
SK35	14
SK36	14
SK41	14
P50	14
P58	14
包含層及び古代以降の溝内出土土器	14
後期・晩期	15
3 土製品	15
耳飾	15
磨製石斧形土製品	15
円盤状土製品	15
4 石 器	16
石鏃	16
石槍	16
石匙	16
搔器	16
異形石器	16
削器	16
磨製石斧	16
打製石斧	16
石皿	16
擦石	16
凹石	16

石錘	16
砥石	17
敲石	17
台石	17
玦状耳飾	17
指輪状石器	17
石棒	17
石刀	17
第Ⅲ章 舟岡地区第1調査区	18
1 概要	18
2 縄文土器	18
早期	18
前期	18
中期	18
SD05	19
SD06古	20
SG04	23
土坑	26
埋甕	27
木組み及び木材集中箇所	27
後期・晩期	29
3 土製品	29
土偶	29
円盤状土製品	29
4 石器	29
石鏃	30
石匙	27
異形石器	30
剥片石器	30
打製石斧	30
擦石	30
敲石	30
凹石	30
石錘	30
磨製石斧	30
石棒	30
第Ⅳ章 まとめ	31
参考文献	34
挿図	

図 版 目 次

巻首図版

- 巻首図版 1 縄文中期末・後期初頭の土器（1）
巻首図版 2 縄文中期末・後期初頭の土器（2）
巻首図版 3 縄文土器展開写真（1）
巻首図版 4 縄文土器展開写真（2）
巻首図版 5 縄文土器展開写真（3）
巻首図版 6 縄文土器展開写真（4）

図版

第1図	中出地区縄文土器（1）	103
第2図	中出地区縄文土器（2）	104
第3図	中出地区縄文土器（3）	105
第4図	中出地区縄文土器（4）	106
第5図	中出地区縄文土器（5）	107
第6図	中出地区縄文土器（6）文様展開図	108
第7図	中出地区縄文土器（7）	109
第8図	中出地区縄文土器（8）	110
第9図	中出地区縄文土器（9）	111
第10図	中出地区縄文土器（10）	112
第11図	中出地区石器（1）打製石斧	113
第12図	中出地区石器（2）打製石斧・擦石	114
第13図	中出地区石器（3）擦石・敲石	115
第14図	中出地区石器（4）敲石・凹石	116
第15図	中出地区石器（5）凹石・石錘	117
第16図	中出地区石器（7）石錘	118
第17図	中出地区石器（8）石錘・石鏃	119
第18図	中出地区石器（9）磨製石斧	120
第19図	中出地区石器（10）磨製石斧・石刀・石冠・岩版・凹石・砥石	121
第20図	舟岡地区縄文土器（1）第6調査区	122
第21図	舟岡地区縄文土器（2）第6調査区	123
第22図	舟岡地区縄文土器（3）第6調査区	124
第23図	舟岡地区縄文土器（4）第6調査区	125
第24図	舟岡地区縄文土器（5）第6調査区	126
第25図	舟岡地区縄文土器（6）第6調査区	127
第26図	舟岡地区縄文土器（7）第6調査区	128
第27図	舟岡地区縄文土器（8）第6調査区	129
第28図	舟岡地区縄文土器（9）第6調査区	130

第29図	舟岡地区縄文土器 (10)	第6 調査区	131
第30図	舟岡地区縄文土器 (11)	第6 調査区	132
第31図	舟岡地区縄文土器 (12)	第6 調査区	133
第32図	舟岡地区縄文土器 (13)	第6 調査区	134
第33図	舟岡地区縄文土器 (14)	第6 調査区	135
第34図	舟岡地区縄文土器 (15)	第6 調査区	136
第35図	舟岡地区縄文土器 (16)	第6 調査区	137
第36図	舟岡地区縄文土器 (17)	第6 調査区	138
第37図	舟岡地区縄文土器 (18)	第6 調査区	139
第38図	舟岡地区縄文土器 (19)	第6 調査区	140
第39図	舟岡地区縄文土器 (20)	第1 調査区SD05	141
第40図	舟岡地区縄文土器 (21)	第1 調査区SD05	142
第41図	舟岡地区縄文土器 (22)	第1 調査区SD05	143
第42図	舟岡地区縄文土器 (23)	第1 調査区SD05	144
第43図	舟岡地区縄文土器 (24)	第1 調査区SD05	145
第44図	舟岡地区縄文土器 (25)	第1 調査区SD05	146
第45図	舟岡地区縄文土器 (26)	第1 調査区SD05	147
第46図	舟岡地区縄文土器 (27)	第1 調査区・第6 調査区	148
第47図	舟岡地区縄文土器 (28)	第6 調査区焼土	149
第48図	舟岡地区縄文土器 (29)	第6 調査区焼土	150
第49図	舟岡地区縄文土器 (30)	第6 調査区焼土・土器溜まり	151
第50図	舟岡地区縄文土器 (31)	第6 調査区土器溜まり	152
第51図	舟岡地区縄文土器 (32)	第6 調査区土坑	153
第52図	舟岡地区縄文土器 (33)	第6 調査区土坑	154
第53図	舟岡地区縄文土器 (34)	第6 調査区土坑	155
第54図	舟岡地区縄文土器 (35)	第6 調査区土坑	156
第55図	舟岡地区縄文土器 (36)	第6 調査区土坑	157
第56図	舟岡地区縄文土器 (37)	第6 調査区土坑	158
第57図	舟岡地区縄文土器 (38)	第6 調査区	159
第58図	舟岡地区縄文土器 (39)	第6 調査区	160
第59図	舟岡地区縄文土器 (40)	第1 調査区	161
第60図	舟岡地区縄文土器 (41)	第1 調査区	162
第61図	舟岡地区縄文土器 (42)	第1 調査区	163
第62図	舟岡地区縄文土器 (43)	第1 調査区	164
第63図	舟岡地区縄文土器 (44)	第1 調査区	165
第64図	舟岡地区縄文土器 (45)	第1 調査区	166
第65図	舟岡地区縄文土器 (46)	第1 調査区	167
第66図	舟岡地区縄文土器 (47)	第1 調査区	168
第67図	舟岡地区縄文土器 (48)	第1 調査区	169
第68図	舟岡地区縄文土器 (49)	第1 調査区	170

第69図	舟岡地区縄文土器 (50)	第1 調査区	171
第70図	舟岡地区縄文土器 (51)	第1 調査区	172
第71図	舟岡地区縄文土器 (52)	第1 調査区	173
第72図	舟岡地区縄文土器 (53)	第1 調査区SG04	174
第73図	舟岡地区縄文土器 (54)	第1 調査区SG04	175
第74図	舟岡地区縄文土器 (55)	第1 調査区SG04	176
第75図	舟岡地区縄文土器 (56)	第1 調査区SG04	177
第76図	舟岡地区縄文土器 (57)	第1 調査区SG04	178
第77図	舟岡地区縄文土器 (58)	第1 調査区SD06	179
第78図	舟岡地区縄文土器 (59)	第1 調査区SD06	180
第79図	舟岡地区縄文土器 (60)	第1 調査区SD06	181
第80図	舟岡地区縄文土器 (61)	第1 調査区SG04	182
第81図	舟岡地区縄文土器 (62)	第1 調査区埋甕	183
第82図	舟岡地区縄文土器 (63)	第1 調査区	184
第83図	舟岡地区縄文土器 (64)	第1 調査区	185
第84図	舟岡地区縄文土器 (65)	第1 調査区	186
第85図	舟岡地区縄文土器 (66)	第1 調査区	187
第86図	舟岡地区縄文土器 (67)	第1 調査区	188
第87図	舟岡地区縄文土器 (68)	第1 調査区	189
第88図	舟岡地区縄文土器 (69)	第1 調査区	190
第89図	舟岡地区縄文土器 (70)	第1 調査区	191
第90図	舟岡地区縄文土器 (71)	第1 調査区・第6 調査区	192
第91図	舟岡地区縄文土器 (72)	第1 調査区・第6 調査区	193
第92図	舟岡地区縄文土器 (73)	第1 調査区・第6 調査区	194
第93図	舟岡地区縄文土器 (74)	第1 調査区・第6 調査区	195
第94図	舟岡地区縄文土器 (75)	第1 調査区	196
第95図	舟岡地区縄文土器 (76)	第1 調査区・第6 調査区	197
第96図	舟岡地区縄文土器 (77)	第1 調査区・第6 調査区	198
第97図	舟岡地区縄文土器 (78)	文様展開図	199
第98図	舟岡地区縄文土器 (79)	文様展開図	200
第99図	舟岡地区縄文土器 (80)	文様展開図	201
第100図	舟岡地区縄文土器 (81)	文様展開図	202
第101図	舟岡地区縄文土器 (82)	文様展開図	203
第102図	舟岡地区縄文土器 (83)	文様展開図	204
第103図	舟岡地区縄文土器 (84)	文様展開図	205
第104図	舟岡地区縄文土器 (85)	文様展開図	206
第105図	舟岡地区縄文土器 (86)	文様展開図	207
第106図	舟岡地区縄文土器 (87)	文様展開図	208
第107図	舟岡地区縄文土器 (88)	文様展開図	209
第108図	舟岡地区縄文土器 (89)	文様展開図	210

第109図	舟岡地区縄文土器 (90) 文様展開図	211
第110図	舟岡地区縄文土器 (91) 文様展開図	212
第111図	舟岡地区縄文土器 (92) 文様展開図	213
第112図	舟岡地区縄文土器 (93) 早期・前期	214
第113図	舟岡地区縄文土器 (94) 前期	215
第114図	舟岡地区縄文土器 (95) 前期・中期前葉	216
第115図	舟岡地区縄文土器 (96) 中期前葉	217
第116図	舟岡地区縄文土器 (97) 中期前葉	218
第117図	舟岡地区縄文土器 (98) 中期前葉・中葉	219
第118図	舟岡地区縄文土器 (99) 中期中葉	220
第119図	舟岡地区縄文土器 (100) 中期中葉	221
第120図	舟岡地区縄文土器 (101) 中期中葉	222
第121図	舟岡地区縄文土器 (102) 中期中葉	223
第122図	舟岡地区縄文土器 (103) 中期中葉	224
第123図	舟岡地区縄文土器 (104) 中期中葉・中期後葉	225
第124図	舟岡地区縄文土器 (105) 中期後葉・後期初頭	226
第125図	舟岡地区縄文土器 (106) 中期後葉・後期初頭	227
第126図	舟岡地区縄文土器 (107) 中期後葉・後期初頭	228
第127図	舟岡地区縄文土器 (108) 中期後葉・後期初頭	229
第128図	舟岡地区縄文土器 (109) 中期後葉・後期初頭	230
第129図	舟岡地区縄文土器 (110) 中期後葉・後期初頭	231
第130図	舟岡地区縄文土器 (111) 中期後葉・後期初頭	232
第131図	舟岡地区縄文土器 (112) 中期後葉・後期初頭	233
第132図	舟岡地区縄文土器 (113) 中期後葉・後期初頭	234
第133図	舟岡地区縄文土器 (114) 中期後葉・後期初頭	235
第134図	舟岡地区縄文土器 (115) 中期後葉・後期初頭	236
第135図	舟岡地区縄文土器 (116) 中期後葉・後期初頭	237
第136図	舟岡地区縄文土器 (117) 中期後葉・後期初頭	238
第137図	舟岡地区縄文土器 (118) 中期後葉・後期初頭	239
第138図	舟岡地区縄文土器 (119) 中期後葉・後期初頭	240
第139図	舟岡地区縄文土器 (120) 中期後葉・後期初頭	241
第140図	舟岡地区縄文土器 (121) 中期後葉・後期初頭	242
第141図	舟岡地区縄文土器 (122) 中期後葉・後期初頭	243
第142図	舟岡地区縄文土器 (123) 中期後葉・後期初頭	244
第143図	舟岡地区縄文土器 (124) 中期後葉・後期初頭	245
第144図	舟岡地区縄文土器 (125) 中期後葉・後期初頭	246
第145図	舟岡地区縄文土器 (126) 中期後葉・後期初頭	247
第146図	舟岡地区縄文土器 (127) 中期後葉・後期初頭	248
第147図	舟岡地区縄文土器 (128) 中期後葉・後期初頭	249
第148図	舟岡地区縄文土器 (129) 中期後葉・後期初頭	250

第149図	舟岡地区縄文土器 (130) 中期後葉・後期初頭	251
第150図	舟岡地区縄文土器 (131) 中期後葉・後期初頭	252
第151図	舟岡地区縄文土器 (132) 中期後葉・後期初頭	253
第152図	舟岡地区縄文土器 (133) 中期後葉・後期初頭	254
第153図	舟岡地区縄文土器 (134) 中期後葉・後期初頭	255
第154図	舟岡地区縄文土器 (135) 中期後葉・後期初頭	256
第155図	舟岡地区縄文土器 (136) 中期後葉・後期初頭	257
第156図	舟岡地区縄文土器 (137) 中期後葉・後期初頭	258
第157図	舟岡地区縄文土器 (138) 中期後葉・後期・晩期	259
第158図	舟岡地区縄文土器 (139) 晩期	260
第159図	舟岡地区土製品 (1) 耳栓・磨製石斧形土製品・土偶	261
第160図	舟岡地区土製品 (2) 円盤状土製品	262
第161図	舟岡地区石器 (1) 打製石斧	263
第162図	舟岡地区石器 (2) 打製石斧	264
第163図	舟岡地区石器 (3) 打製石斧	265
第164図	舟岡地区石器 (4) 打製石斧	266
第165図	舟岡地区石器 (5) 打製石斧	267
第166図	舟岡地区石器 (6) 打製石斧	268
第167図	舟岡地区石器 (7) 打製石斧	269
第168図	舟岡地区石器 (8) 打製石斧	270
第169図	舟岡地区石器 (9) 打製石斧・擦石・敲石・凹石	271
第170図	舟岡地区石器 (10) 凹石・石錘	272
第171図	舟岡地区石器 (11) 石錘	273
第172図	舟岡地区石器 (12) 石鏃	274
第173図	舟岡地区石器 (13) 石鏃・石匙	275
第174図	舟岡地区石器 (14) 石槍・石匙・搔器	276
第175図	舟岡地区石器 (15) 块状耳飾・指輪状石器・岩版・砥石・石皿	277
第176図	舟岡地区石器 (16) 磨製石斧	278
第177図	舟岡地区石器 (17) 磨製石斧	279
第178図	舟岡地区石器 (18) 磨製石斧	280
第179図	舟岡地区石器 (19) 石棒	281

表

表1-1	中出地区縄文土器一覧表 (1)	37
表1-2	中出地区縄文土器一覧表 (2)	38
表1-3	中出地区縄文土器一覧表 (3)	39
表1-4	中出地区縄文土器一覧表 (4)	40
表2-1	中出地区石器一覧表 (1) 40	
表2-2	中出地区石器一覧表 (2)	41
表2-3	中出地区石器一覧表 (3)	42

表 2-4	中出地区石器一覧表 (4)	43
表 2-5	中出地区石器一覧表 (5)	44
表 2-6	中出地区石器一覧表 (6)	45
表 2-7	中出地区石器一覧表 (7)	46
表 2-8	中出地区石器一覧表 (8)	47
表 3-1	舟岡地区縄文土器一覧表 (1) 第 6 調査区	48
表 3-2	舟岡地区縄文土器一覧表 (2) 第 6 調査区	49
表 3-3	舟岡地区縄文土器一覧表 (3) 第 6 調査区	50
表 3-4	舟岡地区縄文土器一覧表 (4) 第 6 調査区	51
表 3-5	舟岡地区縄文土器一覧表 (5) 第 6 調査区	52
表 3-6	舟岡地区縄文土器一覧表 (6) 第 1 調査区・第 6 調査区	53
表 3-7	舟岡地区縄文土器一覧表 (7) 第 6 調査区	54
表 3-8	舟岡地区縄文土器一覧表 (8) 第 6 調査区	55
表 3-9	舟岡地区縄文土器一覧表 (9) 第 1 調査区・第 6 調査区	56
表 3-10	舟岡地区縄文土器一覧表 (10) 第 1 調査区	57
表 3-11	舟岡地区縄文土器一覧表 (11) 第 1 調査区	58
表 3-12	舟岡地区縄文土器一覧表 (12) 第 1 調査区	59
表 3-13	舟岡地区縄文土器一覧表 (13) 第 1 調査区	60
表 3-14	舟岡地区縄文土器一覧表 (14) 第 1 調査区	61
表 3-15	舟岡地区縄文土器一覧表 (15) 第 1 調査区	62
表 3-16	舟岡地区縄文土器一覧表 (16) 第 1 調査区	63
表 3-17	舟岡地区縄文土器一覧表 (17) 第 1 調査区・第 6 調査区	64
表 3-18	舟岡地区縄文土器一覧表 (18) 第 1 調査区・第 6 調査区	65
表 3-19	舟岡地区縄文土器一覧表 (19) 第 1 調査区・第 6 調査区	66
表 3-20	舟岡地区縄文土器一覧表 (20) 第 1 調査区	67
表 3-21	舟岡地区縄文土器一覧表 (21) 第 1 調査区・第 6 調査区	68
表 3-22	舟岡地区縄文土器一覧表 (22) 第 1 調査区・第 6 調査区	69
表 3-23	舟岡地区縄文土器一覧表 (23) 第 1 調査区・第 6 調査区	70
表 3-24	舟岡地区縄文土器一覧表 (24) 第 6 調査区	71
表 3-25	舟岡地区縄文土器一覧表 (25) 第 6 調査区	72
表 3-26	舟岡地区縄文土器一覧表 (26) 第 6 調査区	73
表 3-27	舟岡地区縄文土器一覧表 (27) 第 6 調査区	74
表 3-28	舟岡地区縄文土器一覧表 (28) 第 6 調査区	75
表 3-29	舟岡地区縄文土器一覧表 (29) 第 1 調査区・第 6 調査区	76
表 3-30	舟岡地区縄文土器一覧表 (30) 第 1 調査区	77
表 3-31	舟岡地区縄文土器一覧表 (31) 第 1 調査区	78
表 3-32	舟岡地区縄文土器一覧表 (32) 第 1 調査区	79
表 3-33	舟岡地区縄文土器一覧表 (33) 第 1 調査区	80
表 3-34	舟岡地区縄文土器一覧表 (34) 第 1 調査区	81
表 3-35	舟岡地区縄文土器一覧表 (35) 第 1 調査区・第 6 調査区	82

表 3－36	舟岡地区縄文土器一覧表 (36) 第 1 調査区・第 6 調査区	83
表 3－37	舟岡地区縄文土器一覧表 (37) 第 1 調査区	84
表 3－38	舟岡地区縄文土器一覧表 (38) 第 1 調査区	85
表 3－39	舟岡地区縄文土器一覧表 (39) 第 1 調査区	86
表 3－40	舟岡地区縄文土器一覧表 (40) 第 1 調査区・第 6 調査区	87
表 3－41	舟岡地区縄文土器一覧表 (41) 第 1 調査区・第 6 調査区	88
表 4－1	舟岡地区土製品一覧表 (1) 第 1 調査区・第 6 調査区	88
表 4－2	舟岡地区土製品一覧表 (2) 第 1 調査区・第 6 調査区	89
表 4－2	舟岡地区土製品一覧表 (2) 第 1 調査区・第 6 調査区	90
表 5－1	舟岡地区石器一覧表 (1) 第 1 調査区	90
表 5－2	舟岡地区石器一覧表 (2) 第 1 調査区	91
表 5－3	舟岡地区石器一覧表 (3) 第 1 調査区	92
表 5－4	舟岡地区石器一覧表 (4) 第 1 調査区	93
表 5－5	舟岡地区石器一覧表 (5) 第 1 調査区	94
表 5－6	舟岡地区石器一覧表 (6) 第 1 調査区	95
表 5－7	舟岡地区石器一覧表 (7) 第 1 調査区・第 6 調査区	96
表 5－8	舟岡地区石器一覧表 (8) 第 6 調査区	97
表 5－9	舟岡地区石器一覧表 (9) 第 1 調査区・第 6 調査区	98
表 5－10	舟岡地区石器一覧表 (10) 第 1 調査区・第 6 調査区	99
表 5－11	舟岡地区石器一覧表 (11) 第 1 調査区・第 6 調査区	100
表 5－12	舟岡地区石器一覧表 (12) 第 1 調査区・第 6 調査区	101

第Ⅰ章 中出地区

1. 概 要

中出地区は、県道小矢部・津幡線の東側隣接地である。発掘調査は、昭和61（1986）年度と昭和62（1987）年度に実施しており、縄文時代の土器と石器が出土した。時期的には、前期・中期・後期・晩期のものがある。出土したのはおもにSD06内であるが、平安時代の遺構面下の第Ⅶ層から中期の大型破片が出土している。石器は調査区全体から出土し、平安時代の遺構内からも発見されている。遺構・遺物の時期区分については、34ページの縄文土器編年表による。

2. 縄文土器

前期（第7図、図版7、表1-2）

前期中葉の福浦下層式土器と蛭ヶ森Ⅰ式土器がある。

福浦下層式土器（20～22）20・21は口縁部がさざなみ状で胴部に羽状縄文を施した深鉢、22は爪形文を施した深鉢である。

蛭ヶ森Ⅰ式土器（23・24）23・24は、口唇部に蛇行した細隆起線を貼り付け、胴部には斜線を伴う粘土紐貼付で楕円区画文を描くもので、同一個体とみられる。いずれにも補修孔がみられる。

中期（第1～10図、図版1～9、表1-1～4）

中期初頭の新保式土器、中期前葉の新崎式土器、中期中葉の古府式土器、中期後葉の古串田新式土器、串田新式土器がある。

新保式土器（25～27）25は内湾する口縁部に半截竹管による半隆起線文、Lの字隆帯の貼付などを施す深鉢である。26・27も口縁部が内湾する深鉢で、26には縦位の半隆起線文、27には条線が施される。出土場所は、SD06内からである。

新崎式土器（1・4・5・28～34・36・43）1は外開き口縁の球形胴部鉢で、口唇部に突起、口縁部は無文帯上下縁に刻み、胴部は半截竹管による半隆起線文がある。4は口縁部下でくびれる波状口縁深鉢で、口縁部に平行半隆起線文、胴部に縄文を施す。5も口縁部下でくびれる縄文施文の深鉢。28・29は口縁部に蓮華状文を施した深鉢である。30は円筒形の深鉢で、口縁部に蓮華文と爪形文を施した隆帯が貼り付く。31は口縁端部がわずかに内湾する深鉢で、口縁部が無文、胴部は斜縄文でその境目には横圧縄文が施される。32は、口唇上に爪形文、胴部に縄文を施す深鉢である。33は斜行する半隆起線文の間に格子目文を施す深鉢、34は平行半隆起線文の深鉢である。36は縦位の羽状縄文の深鉢、43は、縄文地に縦位の半隆起線文が垂下する深鉢である。出土場所は、調査区中央部の基本土層第Ⅳ層とSD06内である。

新崎式はⅠ式とⅡ式の古・新に区分されているが、本土器群は、球形胴部や蓮華文の特徴から新段

階のⅡ式に位置付けられる[能都町教委1986]。

古府式土器（2・6・12～14・17・37～42・44～48・78）2は口縁部がやや内湾する深鉢で、胴上部に集合した半隆起線で平行線文と曲線文を描く。6は口縁部に半隆起線文を巡らせ、橋状把手が付く台付浅鉢である。14は有孔罎付土器で、罎に波状隆帯が貼り付く。内外赤彩である。12・37～40・44・45・78は深鉢で、12は波頂部、37は口縁部に波状隆体の貼付、38は半隆起線文、39は半隆起線文間に櫛歯列点文、40は隆帯上に爪形文、44・45は半隆起線曲線文、77は縄文地に平行沈線文がある。42・48は台付深鉢と見られる。13は罎付土器とみられるが、めがね状隆帯が平面的になったようである。46は縄文地に三角形突起が付く深鉢。47・51は浅鉢で、46には交互彫り込みによる鋸歯文がある。17は台付浅鉢の台部である。出土場所は、SD06下層礫である。

火焰形土器（11）新潟県信濃川上・中流域を中心に分布する火焰形土器と見られる土器がある。口唇部に沈線を掘り込んだ鋸歯状小突起が巡る深鉢の口縁部破片である。口縁部内面が張り出す。外面は半截竹管による半隆起線文があり、搬入品ではなく、北陸で作られたものとみられる。

古串田新式土器（3・41・49・50・52・53）3・53はキャリパー口縁浅鉢で、口縁部に渦巻隆帯と貝殻腹縁文がある。41・49・50・52は沈線による半隆起線で、49・50は隆帯上に貝殻腹縁文がある。52は半隆起線文による工字文がある。

串田新式土器（7・9・15・16・18・19・54～62・64～77・79～80）7・9・19は無文の深鉢で、口縁部は7・9が山形波状、19は平口縁である。15・56は双頭波状口縁深鉢で、口縁部下に巡らせた隆帯上にヘラ刻みを施す。15の胴部は縦条痕地に山形磨消区画文がある。16は底部が広がる深鉢で、胴部は隆帯区画内に貝殻腹縁文を充てんする。18は罎付土器である。54は台形波状深鉢で、口縁部下に平行隆帯を巡らせその間に縦線を引く。波頂部下には紐状突起を付ける。58は楕円区画文と縦位の撚糸文。55は口縁部下に平行隆帯を巡らせる。ゆるい波頂部はやや内傾、内側にも隆帯が巡る。57は平行隆帯上と胴部に貝殻腹縁文。59・64は口縁部に貝殻腹縁文、73は楕円区画内に貝殻腹縁文。60は波頂部に円形押圧、61は波状隆帯上にヘラ刻み、61・62・65・66は口縁部下に低い段を設けたり隆帯をめぐらせ、ヘラ刻みや貝殻腹縁文を施す。67・68・70・71は葉脈状文で、70は縦隆帯の先端が蕨手状である。69は波状平行沈線文。72は外反口縁で口縁部下に平行沈線間の列点文。77も口縁部に平行沈線間列点文。79・80は浅鉢で、80は橋状把手が付く。出土場所は、SD06下層礫層である。

串田新式土器は、Ⅰ式とⅡ式の新古に区分されている。16・54・58・81はⅠ式の特徴とされており、その他はⅡ式とされるものである。本遺跡では時期区分できないので、以下では分離しないで記述する。

後期（第4・9・10図、図版4・5・8、表1-1・3・4）

後期初頭の前田式土器、岩峠野式土器、中津式系土器がある。

前田式土器（63）63は外反口縁深鉢で、口縁部下に平行沈線とS字文がある。

岩峠野式土器（74・75）74・75は細隆起線文の深鉢。74は細隆起線間に列点文がある。出土場所

は、SD06下層礫層である。

中津式系土器（8・10）8は帯縄文による方形区画文の深鉢、10は内湾口縁浅鉢で、口縁部に帯縄文とJ字文がある。出土場所はSD06内である。

その他 以上のほかに、漆塗土器、網代圧痕文等がある底部があるが、別途報告の予定であり、ここでは割愛した。

3. 土製品（第10図、図版8、表1-4）

円盤状土製品1点、土偶3点が出土した。（第10図・図版8）

円盤状土製品（81）土器破片の周囲を打ち欠いて丸い板にしたものである。直径5.5cm、厚さ7mmの無文ものである。

土偶（82～84）厚さ0.9～1.5cmの板状土偶である。82は胸部と腕部（右）で正面に乳房と細い沈線文、背面に沈線文がある。83は胸部と腕部（左）で正面に乳房がある。84は腹部と脚上部である。腰が強く張る。正面に三叉文がある。82・83は中期末・後期初頭、94は晩期前葉とみられる。

4. 石器（第11～19図、図版10～24、表2-1～8）

石器総数は317点で、打製石斧48点、擦石41点、敲石23点、凹石43点、石皿1点、台石1点、石錘85点、石鏃8点、磨製石斧45点、砥石10点、石刀2点、削器1点、岩版1点、石冠1点、切り傷のある石1点、剥片・原石5点がある。石刀、岩版、石冠は、縄文時代晩期のもので、古代の遺構内から出土している。石刀は、舟岡地区第3調査区から多くの未製品が出土しており、そこから運ばれてきたものの可能性がある。その他の石器は、調査区西寄りの基本土層Ⅱ層、Ⅲ層から多くが出土しており、縄文時代中期のものと見られる。

打製石斧（1～15）打製石斧は15点を掲載した。いずれも、片面に河川礫の表皮を残す、形態は、分銅形（1・3・5・11）、撥形（2・4・10）、短冊形（6・9・12～15）がある。長さは、18cm前後と14cm前後のものがある。石材、輝石安山岩、流紋岩、火山礫凝灰岩が多い。

削器（16）1点出土している。周囲をうろこ状に剥離し刃部を作り出した小判形の剥片。片面に河川礫の自然面を残す流紋岩の剥片である。

擦石（17～20）擦石は4点を掲載した。12～18cmの棒状あるいは小判形の河川礫の側辺が平端に摩滅しているもの。石材は、砂岩、輝石安山岩が多い。

敲石（21～37）敲石は17点を掲載した。長さ8～15cmの棒状あるいは小判形の河川礫の上端や下端が潰れているもの。石材は、砂岩、輝石安山岩などがある。27は、下半部に敲打による凹みが巡る。

凹石（38～63・157）凹石は27点を掲載した。長さ9～12cmの円形や小判形の河川礫の表面や裏面に1～3カ所の凹みがあるものが多いが、板状凝灰岩の表面に雨滴状の凹みがある157のようなものも

ある。38は凹石と敲石の両方の特徴をもつ。石材は、砂岩、輝石安山岩が多く、流紋岩、凝灰岩などがある。

切傷のある石 (64) 円板状の河川礫の表面に線状の傷がある。調査区中央から出土。

石錘 (65～121) 石錘は57点を掲載した。長さ5～9cmの楕円形の河川礫の両端を打ち欠きによる挟りこみがあるもの。重量は、最大で312g、最小32gで、100～200gのものが多い。石材は、流紋岩、石英斑岩、砂岩、輝石安山岩が多い。

石鏃 (122～129) 石鏃はすべてを掲載した。基部が、凹むか平らの無基のもの7点(122～127・129)、棒状に突出する有茎のもの1点(128)がある。石材は、黒曜石、安山岩、流紋岩がある。

磨製石斧 (133～152) 磨製石斧は20点を掲載した。短冊形のものが多いが、刃部が広く頭部は狭い撥形が1点(152)ある。完形が少ないので幅でみると、幅が4cmほどの小型品、5、6cmの中型品、7cmほどの大型品がある。石材は、蛇紋岩が多く、凝灰岩、流紋岩、滑石のものがある。撥型の152は古代の溝から出土しているが、その特徴的な形態からみて晩期のものであろう。

石刀 (153・154) 154は刃部だが刃先は丸い。15は刃部先端部で断面が板状である。石材は、流紋岩と頁岩である。

石冠 (155) 台部に石棒の頭部が付く形態である。石材は凝灰岩である。

岩版 (156) 楕円形の河川礫の一端に沈線が一周するもの。石材は凝灰岩である。

砥石 (158～162) 砥石は5点を掲載した。凝灰岩、砂岩、流紋岩のものがある。砂岩製のものは古代の溝から出土しており、古代のものの可能性もある。

原石 (130・131・132) 3点を示した。黒曜石の分割礫、めのうの小さな河川礫がある。黒曜石は石鏃129と同じ石材であり、その原石とみられる。

第Ⅱ章 舟岡地区第6調査区

1. 概 要

舟岡地区においては、国道8号バイパスの南側車線は東から西へ第1調査区から第5調査区まで、北側は第6調査区から第10調査区まで、合計10の調査区に分けられている。本章では、昭和63（1988）年度と平成元（1989）年度に実施した第6調査区と第1調査区東側と、平成8（1996）・9（1997）年度、同11年度（1999）に出土した第1調査区から出土した縄文土器と石器を報告する。

時期的には、前期・中期・後期・晩期の縄文土器と石器が出土している。出土状況は、調査区全体に及ぶが、特に東端にあるSD06内の土器溜まり（SG01）、調査区西側の土器溜まり（SG02・03）を中心とする中期末から後期初頭の包含層から大量の土器・石器が出土している。

2. 縄文土器

前期（第111～113図、図版128～131、表3-17・18）

中葉の朝日C式土器、福浦下層式土器、蜷ヶ森式土器、後葉の福浦上層式土器、朝日下層式土器がある。前期の土器は、古代以降の川の中から出土したものである。

朝日C式土器（270・272～281・301・303・305・320）270・272～281・303は爪形文、301・308は刺突文がある。

福浦下層式土器（294・295・298・319）半截竹管によるコンパス文、平行線文がある。

蜷ヶ森式土器（287・289・292・294・299・322・323）287は平行隆起線文、289は爪形文と斜縄文、292は羽状縄文、299は斜縄文、322・323は粘土紐接合痕をとどめる。蜷ヶ森式土器はⅠ式とⅡ式の古・新に区分されているが、287は古段階のⅠ式にあたる。

福浦上層式土器（306～309・321）306～309結節浮文、321は細い半隆起線の曲線文がある。

朝日下層式土器（310・311・312・315・318）310・311・315は縄文地に粘土紐の貼り付け、312・318はソーメン状の細い粘土紐の紐を貼り付けたもの。

中期・後期

中期初頭の新保式土器、中期前葉の新崎式土器、中期中葉の古府式土器、中期後葉・後期初頭の串田新式土器がある。新保式土器は古代の溝内に含まれており、新崎式土器はSD06の縄文中期中葉の河道に含まれているものがある。その他の土器は、遺構の形成時期を知る手掛かりとなるので、遺構ごとに説明する。

中期前葉（第20・112・113・115図、図版25・129・132・133、表3-1・19・20）

新保式土器（324・325・327・329・330）324は口縁部に半隆起線による波状文、胴部に木目状撚糸文がある。325は斜位の細い半隆起線に沈線を交差させる。327は細い半隆起線文による縦線を引く。329は楕円区画内を半隆起線文で充てんする。330は爪形文と木目状撚糸文がある。

新崎式土器（1・2・288・340・343・344・350）1は口縁部に突起を付けた円筒型深鉢で、半截竹管による半隆起線と爪形文を施す。2は口縁部下でくびれる波状口縁深鉢で、半隆起線と爪形文を施す。288は肥厚口縁の縄文施文土器で口唇部にも縄文がある。340は蓮華文と入字状突起がある。343・344も半隆起線による横線間に縦線を引くもの。350はキャタピラー文がある。1・2は、中期中葉の川の中に含まれていたもののようである。以上の土器群は、新崎Ⅱ式に位置付けられる。

SG01（第20～38・48・58・112・119・120～122・127～134図、図版25～46・136～148、表3-1～3・21～28）

SG01は、第6調査区東端の川SD06の左岸に堆積している土器溜まりである。調査時の土層観察によれば、堆積土の最下層（13層）には古串田新式土器が含まれ、上層の黒色土（1層）には串田新Ⅰ式土器と串田新Ⅱ式土器が含まれ（黒1～2）、1層と9層の間の黒色土（7層）には串田新Ⅰ式が含まれる（黒3）とされている。また、堆積土中位の川岸には、7層の下に黄褐色微砂（9層）があり、そこには、上山田・天神山式土器または古府式土器が含まれるという。

土器の注記によれば、黒1には古府式土器、串田新式土器、前田式土器、黒1～2には串田新式土器が、黒2には新崎式土器、古串田新式土器、串田新式土器、前田式土器、中津式系土器、黒3には古府式土器、古串田新式土器、串田新式土器、中津式系土器が含まれている。下層に古いものが含まれる傾向はあるが、調査時の観察ほどはっきりと区分できない。ただ、黒3には後期のものは含まれていない。前田式土器、中津式系土器はすべて破片で量的にも少なく、SG01を覆っている青灰色砂には前田式土器と中津式系土器が多いので、混入の可能性がある。なお、9層は、串田新式期以降に埋積する川（SD06古）が形成される以前にあった川の流路とみられる。そこには、新崎式土器、古府式土器が含まれている。



SG01の断面（南から）

古府式土器（6・9・45・46・392・404・408・414・432・438）6・7・404は浅鉢で、6・404は口縁部が内湾し口唇部に隆帯を巡らすもの、7は内傾する口縁部に半截竹管による半隆起線とC字状隆帯の貼付がある。8・9は台付浅鉢である。45・46は縄文の深鉢で、45は口縁部を無紋とする。392は隆帯上に櫛歯列点文、408は沈線状の半隆起線深鉢である。414は内傾口縁に縦の半隆起線を引く浅鉢である。428は櫛歯列点文と半隆起線文、431はキャリパー口縁部に平行沈線と渦巻文、432はS字状隆帯がある。438は三角突起と三本紐貼付がある。45・428は7層出土である。

古串田新式土器（424・426）424はS字状隆帯がある。426は幅広沈線と櫛歯文がある。426は7層出土である。

串田新式土器

器形は、双頭波頂、山形波頂など、文様は、沈線文、貝殻腹縁文、葉脈状文、条線文、列点文を特徴とし、器種は、深鉢、浅鉢、釣手土器、鐳付土器、器台がある。特徴的なものについて説明を行う。

工字状文深鉢（10～13）10～13は、バケツ形の器形で、胴部上半に工字文と貝殻腹縁文を施す。10～12は二つあるいは三つ山の把手が付く。10～13は口縁部内面に凹線が巡る。

隆起線間縦沈線深鉢（14・419・420～422・532）バケツ形器形で、口縁部に貝殻腹縁文がある隆起線2条巡らせ、その間に縦の沈線を並べるもの。14は胴部に貝殻腹縁文を充てんする楕円区画文と縦沈線がある。421・532は縦沈線がみられないがここに含める。419には2本の粘土紐をねじった突起、422は2本組の粘土紐突起がある。419は平口縁に環状突起、421・422・532は台形波状口縁である。

平行隆起（沈）線垂下深鉢（16・17・18・409）バケツ形器形で、波頂部下に底部まで平行する隆起線や沈線を垂下するもの。16は底部が開くもので隆起線上に貝殻腹縁文がある。17は沈線3本を垂下する。18は隆起線間に沈線を並べる。409は隆起線上部に2本紐突起、胴部は撚糸文を充てんする方形区画文と円文がある。

方形区画文平口縁深鉢（20・43・513・520・529）20は口縁部が平らで胴部がやや膨らむもの。やや開く口縁部に縄文を充てんする方形区画文と縦線がある。513・520・529は、方形区画内と胴部に貝殻腹縁文を充てんする。43は胴下部に貝殻腹縁文がある。

連弧文平口縁深鉢（39・534）39は胴部がやや張る器形。胴上部に2本沈線による弧線を連ねる。弧線内は貝殻腹縁文で充てんする。口縁部は隆起線が巡り、口唇部との間には縦隆起線の間に沈線で楕円文を引く。534は連弧の間に条痕文、口縁部は無文帯となる。

楕円区画文深鉢（34・40）胴部上半に貝殻腹縁文を充てんした楕円区画文がある胴部が張る深鉢である。胴下部は縦の条痕文を施す。34は波状口縁となるようである。40は胴部中央に隆起線が巡り、C字状隆起線が付く。34は7層出土。

山形波状口縁深鉢

底部がやや広がる細身のバケツ形胴部に、丸い山形の波頂部がつくもの。口縁部に隆起線を巡らすもの（隆起線文型）と平行沈線を巡らすもの（沈線文型）がある。

隆起線文型（24～30・32・33・511・512・523・525・552）隆起線上が、貝殻腹縁文の24・25・27・30・33、ヘラ刻みの26・512、無文の512がある。波頂部に円形押圧がある26・33、環状や渦巻隆起線の25・27があり、隆起線と口唇部と間に無文帯があるものが多いが、無文帯のない30がある。525は列点をつけた隆起線が2本単位で巡り、波頂部下の胴部に蕨手状の隆帯が垂下する。

胴部は、縦の条痕文・撚糸文・無文地に、山形無文区画文がある27、楕円環状区画文がある24～26・28～30、胴部に楕円形や菱形の区画文がある33がある。28・29・32はこの類の胴部である。

沈線文型（31・35・36・542・602）平行沈線間が無文となる。胴部は縦の撚糸文・条痕文、無文のものがある。31は口唇部との間が無文帯で、35は条痕文がある。602は沈線が波頂部下で渦巻く。36は胴部がやや張る。

U字状波頂口縁深鉢（21～23・516・527・530・531）バケツ形に開く胴部に強く外反する口縁部が付くもので、波頂部はU字状（双頭）となる。21は口縁部に幅広い低い隆起線を巡らし、胴部に山形無文区画文がある。隆起線上と胴部には貝殻腹縁文を充てん。隆起線と口唇部の間は強く反り返る無文帯がある。波頂部下に鈎手状把手が付く。22は胴部が無文である。23は口縁部に沈線間無文の平行沈線文を巡らせ、口唇部との間には貝殻腹縁文、胴部は縦の撚糸文がある。516・530・531は小さなU字波頂のもの。530は無文、531は2本紐把手の下に列点文があり、516・527も同様のもの。

キャリパー口縁深鉢（15・19）バケツ形の胴部に内湾する口縁部が付くキャリパー口縁深鉢である。15は波状口縁で、口縁部は隆帯による楕円区画、口縁部下に列点文、胴部は縄文地に4本単位の縦線を引く。福井県を中心に分布する大杉谷式土器である。19は平口縁で、口縁部は隆帯による楕円区画内に縄文、胴部は縄文地に平行沈線無文帯が垂下する。関東地方を中心に分布する加曽利EⅢ式系土器である。

多波状口縁深鉢（37・41・551）37はキャリパー口縁部に下部が膨らむ胴部がつく。口縁部は7波頂のゆるい波状で、列点文と沈線文が巡る。胴部は垂下する隆起線間を弧状沈線で充てんする。41は波頂部が15波頂で、外へ開く口縁部に波頂部下の縦隆起線で区画しその中を列点文で埋める。胴部は縦沈線を引く。551は口縁部に刻みがある隆起線にCの字隆起線が付く。胴部は縦沈線と列点文がある。

葉脈状文深鉢（38・591）38はやや膨らむ胴部に外反する口縁部が付く平口縁深鉢。口縁部には平行隆起線間に波状隆起線と列点文、胴部は縦隆起線間に細い沈線による葉脈状文を施す、591は、口縁部に波状隆起線文、胴部に葉脈状文がある。

内湾深鉢（3・55）胴部が内湾ぎみに立つもの。3はゆるやかな波状口縁で、縄文地に沈線で方形区画と縦線、波頂部下に貫通孔を囲む円形文がある。55は口縁部がやや肥厚する無文帯があり、胴部は縦の条痕文がある。

条痕文深鉢（5・138）開く口縁部に沈線1本を巡らせ、上を無文帯とし、胴部に縦条痕文を引く。138は胴部が強く張り口縁部が外反する平口縁深鉢。胴上部に2本の沈線で、平行線と波状文を描く。胴下部は条痕文がある。

列点文深鉢（42・514・517・526・535・536・537・538・539・540・541・558・559・560・563・

564) 口縁部の平行沈線間に列点文があるもの。42はバケツ形器形で口唇部との間は無文帯、胴部は縦条痕文である。517・538は胴部に縦線、526・535・536・539・540は胴部縦条痕文で、539・540は2本沈線の連弧文がある。514・537は隆帯上に列点文がある。541は波状口縁で、列点文と口唇部の間に貝殻腹縁文がある。559は波状口縁で、波頂部下に円形文内にも列点がある。560は列点文が2段のもの。563は刻みのある隆帯間に列点文、564は隆起線と口唇部間に小さな列点文がある。

平行隆帯深鉢 (544) 口縁部に平行隆帯とそれをつなぐ弧状隆帯がある。胴部は縦条痕文である。

平行沈線深鉢 (545・553・515・518・528) 口縁部に平行沈線が巡る。545は無文地、553は縄文地である。515は沈線間に貝殻腹縁文、528は口縁部に条痕文を斜めにする。

無文深鉢 (47・48・50～53・519・556) 47・48は口縁部が開く。50・519は口唇部がさざなみ状、51は胴部が筒形である。

肥厚口縁深鉢 (49・543) 49は口唇部4カ所を押圧し、その下に6つの刺突を施す。口縁部下に沈線、胴部は無節撚糸文がある。543は肥厚口縁部に刻みがある。

器台 (44) 平坦な台に有孔の開く脚が付く。脚部内面に沈線で両端渦巻文が描かれている。

釣手土器 (57) 側面ドーム形の釣手に2本紐の把手がつくもの。

浅鉢 (58～62・65・533・567) 58・59は無文の皿形器形のもの(A類)。58は底部が高く、口縁内面に隆帯が巡る。59は押圧波状口縁である。60・61は内湾口縁で胴部は縦条痕文のもの(B類)。60は口縁部に2本の沈線、61は貝殻腹縁文を付けた2条の隆帯が巡るゆるやかな波状口縁である。62は口縁部が立つもの(C類)。533は胴部が開く無文の鉢(D類)である。567は口縁部に釣手把手がつく。

鍔付土器・壺形土器 (4・54・56・63・64・66・102・555・561) 4・54は肩部が強く張る壺形で縄文施文のもの。54は隆帯が巡る。63・66は樽形で、口縁部に鍔が巡る大型の鍔付土器。56・64は口縁部が細く胴部が丸い小型の壺形土器である。56は頸部に隆帯が巡る。63は鍔がU字状波状となる。66は鍔の上に突起、下に橋状の釣手把手が付く。102は縄文を、555は内外面を赤彩した鍔付土器の橋状の釣手把手である。561は隆帯と胴部に撚糸文を施す。

鍔付土器・壺形土器には漆塗りのものがある。4は内外面に黒漆を、555は内外面に赤漆が塗られている。

後期

SG01として取り上げられたものが数点ある。いずれも破片である。

前田式土器 (546) 546は外反口縁部下に平行沈線を巡らせる深鉢。

中津式系土器 (521・522・549・554・565・568・612) 521・549・554・565は帯縄文のもの。522は沈線により8の字区画内に縦線を引く。565は波頂部が筒形になる。568は沈線によりJ字文を描く。

SG02（第49・132・133図、図版62・148、表3-7・27）

SG02は、第6調査区の西端の南隅にある黒色土の土器溜まりである。串田新式土器が出土している。

串田新式土器

無文深鉢（103・571・589）103はバケツ形平口縁、571は口唇部がさざなみ状、589は口縁部が肥厚し口唇部を内側に押圧する。いずれも器面は縦にナデのような感じである。

葉脈状文深鉢（569・570・576）葉脈状文がある深鉢。569は口縁部は隆帯に沿って列点文があり、垂下する平行隆帯の上にC字状やS字状の隆帯が張り付く。576は貝殻腹縁文を付けた隆帯と細かい列点文がある深鉢で、胴部に蕨手状隆帯と葉脈状文がある。

肥厚口縁深鉢（104・572・581・582）104・581は肥厚した口縁部に貝殻腹縁文を巡らせ、胴部に条痕文があるバケツ形平口縁深鉢。572・582も同様の口縁部で、572は胴部の平行沈線間に列点文、582は縦に沈線文を引く山形波状口縁深鉢である。

隆帯深鉢（573・578・583・586・587）口縁部に隆帯が巡るもの。573は楕円区画内に列点文がある平口縁深鉢。578は縦隆帯に沿って列点文がある。583は平行隆帯間にジクザギ沈線を引く波状口縁土器、586は隆帯上と胴部に縄文がある。587は隆帯上に小さな列点文がある。

平行沈線深鉢（574・575・579・580・585）口縁部に2本の沈線が巡る。574は2個の突起がつく。575・585は沈線間に斜め短線を引く平口縁深鉢。579は沈線間に列点文がある。580は山形波状口縁深鉢である。

楕円文深鉢（588）外反口縁で、頸部に2重線による横長楕円文を引く平口縁深鉢である。

浅鉢（577）577は口縁部に橋状釣手把手を付ける。

SG03（第49・120図、図版62・137、表3-7・22）

SG03は、第6調査区の東寄りの南端にある土器溜まりである。串田新式土器が出土している。

串田新式土器（105・416）105は胴部が膨らみ口縁部が細長くなる無文の壺形土器である。416は葉脈状文がある深鉢である。

SG04（第50・91図、図版62・137、表3-7・22）

SG04は、第6調査区の西寄りでSG03の東に隣接する土器溜まりである。第1調査区でSG04とした土器溜まりの一部とみられる。串田新式土器が出土している

串田新式土器（106・417）バケツ形の胴部にU字状波状口縁がつく深鉢である。口縁部下に刻みのある隆帯が巡り、胴部には波頂部下に沈線による弧線文を重ねる。417は縄文の平口縁深鉢である。

焼土

F1（第46・125図、図版57・141、表3-6・24）

F1は、第6調査区東端のSD06の川岸にある焼土である。串田新式土器が出土している。

串田新式土器（88・90・489）88は口縁部下に2列の列点文が巡る平口縁深鉢、90は丸く張る胴部の

肩部に鐙状隆帯と橋状鈎手把手が付く鐙付土器である。内外面赤漆塗である。90は焼土の下から出土している。489は口縁部に平行沈線が巡る平口縁深鉢である。

F 2（第46・47・125図、図版57・58、表3-6・24）

F 2は、調査区西寄りにある焼土付近の黒色土に含まれている土器である。串田新式土器、中津式系土器が出土している。

串田新式土器（91・92）91は胴部がそろばん玉状の平口縁浅鉢である。張出し部に刻みが巡る。92は胴部がやや張り、外反口縁部が付く平口縁深鉢で、頸部は沈線間に長方形区画文を施す。

中津式系土器（490～493）縄文地に沈線で文様を描く深鉢である。

F10～13（第47・48・125・126図、図版58～60・142、表3-6・7・24）

F10～13は、調査区西寄りにある焼土でその付近の黒色土とF 11から出土した土器群である。串田新式土器、前田式土器、岩嶺野式土器、中津式系土器が出土している。

串田新式土器

肥厚口縁深鉢（93・500・505）肥厚口縁に貝殻腹縁文、胴部に条痕文がある深鉢である。93・505は平口縁、500は山形波状口縁である。

葉脈状文深鉢（494・497・499）口縁部に貝殻腹縁文を付けた隆帯がある。494は小さなU字状波状口縁、497・499は隆帯の連弧文がある。

隆帯深鉢（495・496・498・507）口縁部に隆帯が付くもの。495は台形波頂部にヘラ刻みのある隆帯、496は小さなU字状波頂部、498は連弧隆帯と列点文がある。507は口縁部に貝殻腹縁文と列点文がある山形波状口縁深鉢である。

列点文深鉢（501・503）501は口縁部に沈線間横長列点文がある。503は口縁部の横長無文区画内に列点文がある。

平行沈線深鉢（95・96・504・509）95・505は口縁部に2本の沈線が巡る山形波状口縁深鉢、95は波頂部が尖る山形波頂で、内傾する。96はバケツ形の平口縁深鉢で、口唇部に刻みを入れる。509は口縁部に沈線を1本引き、その上を無文とする。

押圧口縁深鉢（99）99は口唇部を6カ所押圧してひまわりの花のようにした深鉢で、やや長めの張る胴部に縄文を施す。F 11（F 10の上）に敷かれていた

浅鉢（97）体部が内湾ぎみに立つ無文の平口縁のものである。

壺形土器（94）94は胴部全体に貝殻腹縁文を充てんする。

前田式土器（138・502）138は条痕文のある丸い胴部に外反する口縁部がつく深鉢である。口縁部に2条の沈線、胴部に波状沈線が巡る。弥生時代前期の壺形土器に似ているがここに含める。502は、外反口縁部の口唇部を押圧し、口縁部に平行沈線間に3段の列点文を巡らす。

岩嶺野式土器（508）胴部に三角形微隆起線による弧線文と縦線、条痕文を施す外反口縁の深鉢である。

中津式系土器 (506) 506は波頂部に沈線でJ字文のような文様を描く深鉢である。

F 7 (第48・126図、図版59・61・142、表3-7・25)

F 7は、調査区西寄りにある焼土でその付近の黒色土から出土した土器群である。串田新式土器が出土している。

串田新式土器 (98・100・101・510) 98は口縁部を押圧して山形波状口縁とする深鉢で、口縁部は列点文と隆起線を巡らし、胴部は縦隆帯と葉脈状文がある。100は無文の山形波状口縁深鉢、101は横位に無節縄文を施す平口縁深鉢である。510は口縁部に平行沈線間に列点文が巡る。

西側の貯蔵穴

貯蔵穴のなかから出土する土器は、古府式土器、串田新式土器、前田式土器、岩峠野式土器、中津式系土器がある。SK36は古府式土器、SK02・05・06・08・09・11・41、P 72は前田式土器、中津式系土器、岩峠野式土器が出土しており、その他は串田新式土器が出土している。そのようなことから、貯蔵穴は中期中葉から後期初頭までに作られたものと考えられる。

SK02 (第50・123図、図版63・140、表3-7・23)

前田式土器 (107) 外反口縁部に6本の平行沈線文とS字状沈線文がある。

岩峠野式土器 (448) 隆起線文がある深鉢である。

SK04 (第50・123図、図版63・140、表3-7・23)

串田新式土器 (108・449) 108は底部がやや広がる胴部が細い深鉢で、胴部に山形無文帯がある。449は貝殻腹縁文を施した隆帯を貼り付ける深鉢である。

SK05 (第50・51・57・123図、図版63・64・140、表3-7・23)

串田新式土器 (110・452・453) 110は肥厚した口縁部に沈線で長方形区画文を描く。453は隆帯と貝殻腹縁文がある深鉢である。452は長方形区画内に縄文を充てんする。

前田式土器 (136・451・457) 136は口縁部押圧による波状口縁深鉢で、口縁部には平行沈線間に長方形区画とS字状文がある。451は外反口縁部に弧線文がある平口縁深鉢である。457は外反口縁に平行沈線がある深鉢である。

中津式系土器 (109・110・450) 109は頸部外反、口縁端部内傾の口縁部に平行沈線文、胴部に3重の沈線による縦長楕円文がある深鉢である。450は帯縄文がある。

SK06 (第123図、図版140、表3-23)

前田式土器 (457) 外反口縁で頸部に平行沈線を引く。

中津式系土器 (454～456) 沈線と帯縄文がある。

SK07（第123図、図版140、表 3-23）

串田新式土器（458・459）葉脈状文のもの。458は深鉢、459は円孔があり器台とみられる。

SK08（第51・123図、図版64・140、表 3-7・23）

串田新式土器（460）口縁部に貝殻腹縁文を伴う隆帯を巡らす深鉢である。

前田式土器（111）外反口縁に弧線文を巡らす深鉢である。胴部は縦位の縄文である。

中津式系土器（461）沈線による楕円文がある深鉢である。

SK09（第51・52・123図、図版65・140、表 3-7・23）

串田新式土器（462）口縁部に貝殻腹縁文がある深鉢である。

前田式土器（112・463）外反口縁部に張る胴部がつく平口縁深鉢である。口縁部に平行沈線間に長方形区画とS字状文がある。463は平行沈線間に2段以上の列点文がある。

無文土器（113）筒形の胴部で、口唇部に刻みが巡る。

SK10（第123図、図版140、表 3-23）

串田新式土器（464）平行隆帯上に貝殻腹縁文がある深鉢である。

SK11（第51・123図、図版66・140、表 3-7・23）

串田新式土器（465・472）465は肥厚口縁部に貝殻腹縁文がある。466は外面に平行沈線文、内面に隆帯が貼り付く。469～471は口縁部に貝殻腹縁文を伴う隆帯があり、山形波頂部に円形押圧文がある深鉢である。467は列点文と重弧文、468は口縁部に貝殻腹縁文と平行線間に斜線を引く。472は無文深鉢である。

前田式土器（114）外反口縁部の頸部に縦線を引く深鉢である。

SK14（第52・53・124図、図版66・67・141、表 3-7・8・23）

串田新式土器（115・116・118・473～482）115は肩部に隆帯と橋状鈎手把手がつく鍔付土器。116は口縁部が低い波状となる無文のバケツ形深鉢。118はやや膨らむ胴部に条痕文がある深鉢である。473は列点文を伴う隆帯と葉脈状文がある山形波頂部、474・475は平行沈線間に列点文、476は平行隆帯と波頂部に環状隆帯の山形波頂部、477は肥厚口縁部に縄文、478は口縁部に縦条痕文、479は平行沈線間に横長列点文、480は縦刻みを伴う隆帯、481は沈線と縦条痕文、482は口縁部がさざなみ状となる無文深鉢である。

SK18（第122図、図版138、表 3-22）

串田新式土器（423）貝殻腹縁文をつけた隆帯間に縦線、2本紐の橋状把手が付いた深鉢である。串田新Ⅰ式とされるものである。

SK23（第124図、図版141、表3-24）

串田新式土器（483）口縁部がさざなみ状となる無文深鉢である。

SK24（第53図、図版67、表3-8）

串田新式土器（119）U字状波状口縁深鉢である。口縁部に平行隆帯、胴部に2本沈線による楕円形無文帯がある。

SK26（第53・54図、図版68、表3-8）

串田新式土器（120・121）120は山形波状口縁深鉢で、口縁部に隆帯、胴部に条痕文がある。121はU字状波状口縁深鉢で、口縁部に隆帯、胴部に条痕文がある。

SK29（第54図、図版69、表3-8）

串田新式土器（122）山形波状口縁深鉢で波頂部が内傾する。胴部は斜縄文となる。

SK32（第55図、図版69、表3-8）

串田新式土器（123）隆帯と橋状釣手把手がある内外面赤彩の鍔付土器である。

SK35（第54・55・124図、図版69・141、表3-8・24）

串田新式土器（124・125・484）124はまっすぐに立つ口縁部に凹線2本を巡らせる浅鉢。125は胴部がわずかに膨らみ口縁部が開く無文の平口縁深鉢である。484は沈線区画内に撚糸文がある平口縁深鉢である。

SK36（第55・124図、図版70・141、表3-8・24）

古府式土器（126・485）126は6つの台形波頂の間に小さな山形波頂がある深鉢で、口縁部に爪形文を伴う隆帯が2列巡る。胴部は半截竹管による半隆起線文による工字文と縄文を施す。485は半截竹管による半隆起線文で横線と縦線を引く深鉢である。

SK41（第56・124図、図版71・141、表3-8・24）

串田新式土器（127・128）127は隆帯と橋状釣手把手が付いた内外赤彩の鍔付土器である。128はバケツ形の無文深鉢である。

前田式土器（486・487）いずれも口縁部に縦沈線が並ぶ平口縁深鉢である。

P50（第125図、図版141、表3-24）

串田新式土器（488）外反口縁部の頸部に2重の沈線による楕円文がある平口縁深鉢である。

P 58（第56図、図版71、表 3-8）

串田新式土器（130）肥厚口縁部に貝殻腹縁文、胴部が条痕文の平口縁深鉢である。

包含層及び古代以降の溝内出土土器（第56・57・133～135・148・149、図版71・74・148・149・159・160、表 3-8・9・27～29・36）

串田新式土器、前田式土器、岩峠野式土器、中津式系土器が含まれる。

串田新式土器（129・135・590・592・598・602・617・817・833）129は肩部に隆帯と橋状釣手把手が付く齔付土器である。135は口縁部に平行沈線間に列点文がある深鉢である。590は葉脈状文がある。592は口縁部がねじり棒状となる深鉢である。598は口縁部に平行沈線間に列点文がある。602は山形波頂深鉢で、波頂部下に平行沈線の J 字文がある。617は口縁部が肥厚し、隆帯を垂下する。817は波頂部押圧、刻みのある隆帯がある。833は平行隆帯に橋状釣手把手が付く齔付土器である。592は串田新 I 式の特徴がある。

前田式土器（595～597・599・600～604・606・616・818）595～597は平行沈線間に 2 段の列点文がある深鉢。596は口縁部を押圧する。599・600・601は口縁部に平行沈線間に楕円区画文と S 字状文がある。600は口縁部に長楕円区画内に沈線を引く。603は口縁部を押圧し重弧文を描く。606は沈線による弧線と縦線のもの。616は S 字状文がある。818は頸部に沈線間に列点文がある。

岩峠野式土器（593・604・605）593は連弧隆帯と縦条線文の深鉢。604は列点文を伴う連弧隆帯がある。605は縦沈線がある。

中津式系土器（608・609・613～615・618・619）帯縄文の深鉢である。613は J 字文、614は幅広の口縁部に沈線を引く波状口縁深鉢で、波頂部下に紡錘形区画文を垂下する。619は口縁部に細長い長方形区画文がある。620は口縁部がさざなみ状となる。

平行沈線文の土器（621～623）口縁部に 2 本の沈線が巡る縄文地の深鉢である。

浅鉢（624～627）口縁部が内傾する。625は口縁部に平行沈線が巡る。627は 2 個一対の橋状釣手把手が付く山形波状口縁となる。

後期・晩期（第156図、図版165、表 3-40）

後期末葉の八日市新保式土器、晩期中葉の中屋式土器、晩期後葉の下野式土器がある。古代溝 SD08・09、調査区西端の SD18 などから出土した。

八日市新保式土器（932・933）932は肥厚口縁部に平行沈線を巡らす浅鉢、933は口縁部に平行沈線と縦線がある波状口縁深鉢である。

中屋式土器（940）くの字外反の口縁部に縄文、口唇部に小さな突起が付く深鉢。

下野式土器（942・946）942は口唇部に刻みがある深鉢、946は凹線文のある内湾器形の鉢である。

3 土製品（第158・159図、図版172・173、表4-1～3）

耳栓3点、磨製石斧形土製品1点、土偶7点、円盤状土製品42点がある。

耳栓（1～3）1・2はラッパ形、3は滑車形のものである。ラッパ形は全面を赤色漆が塗られている。1は、SG01出土、2・3は貯蔵穴SK24出土である。時期はいずれも後期末とみられる。

磨製石斧形土製品（4）幅4.7cmの平面、断面とも長方形板状土製品で、頭部が欠損するが片端を尖らせ刃部を作り出している。定角式磨製石斧を模したものとみられる。SG03出土である。時期は後期末とみられる。

土偶（9～11）いずれも厚さ0.9～1.9cmの板状土偶である。9は胸部で、やや低い乳房と正中線とみられる沈線がある。10は胸部（右）で、胸部中央上部に2カ所の貫通孔がある。11は中空土偶の脚部で、遮光器土偶の右脚部である。9はSK05出土で後期初頭、11は調査区東寄りから出土したもので、晩期のものである。

円盤状土製品（13・16～18・28～30・38）円盤状土製品は42点あり、そのうち8点を掲載した。土器破片の周囲を打ち欠いただけのもの、研磨したものがある。直径3～6cm、厚さ0.5～1cm。調査区全体から出土している。17・18は半隆起線文があり中期中葉のもの、28は貝殻腹縁文があり後期末である。

4 石器（第160～178図、図版174～193、表5-7～12）

石器総数は415点あり、石鏃31点、石槍1点、石匙3点、搔器1点、異形石器2点、削器2点、玦状耳飾1点、指輪状石器1点、磨製石斧58点、打製石斧179点、石皿14点、擦石15点、凹石28点、石錘41点、砥石9点、敲石21点、台石1点、石棒4点、石刀1点、剥片石器1点、原石3点がある。

玦状耳飾、異形石器は前期、石棒は中期中葉、石刀は晩期のものである。石鏃や削器にも前期のものが含まれている可能性がある。

石鏃（136～165）石鏃は31点を掲載した。矢柄との接続部を挟りこむが凹基式（136～154・156～159・162～164）のものが多く、突出する有茎のもの（165）は1点である。153は挟りこみが大きく、逆V字形をしている。土器溜まり、貯蔵穴などから出土している。石材は、流紋岩、安山岩、頁岩、黒曜石（松脂岩）、鉄石英があり、前2種が多い。

石槍（167）長さ13.9cm、幅3cmの細長いもの。先端から4cmのところに最大幅がある。石材は、珪質頁岩である。同石材は、東北地方に産出するという。土器溜まりSG01から出土。

石匙（168・170・171）168は、横長の本葉形刃部にやや丸いつまみがつくもの。170・171は三角形刃部に方形のつまみがつくもの。170・171は、調整剥離が少なく、未製品であろうか。石材は、安山岩と鉄石英である。

搔器（172）周囲に刃部を作り出した楕円形石器。石材は安山岩である。

異形石器（174）中央がくびれ両端が尖る分銅形の剥片石器である。石材は安山岩である。SG01の下

層青 2 砂礫から出土しており、時期は前期とみられる。

削器 (175・176) 側辺を剥離し刃部を作り出している。石材はいずれも流紋岩である。175はSG01上層から出土しており、時期は中期末である。

磨製石斧 (187～198・200・203～208・231～237) 磨製石斧は20点を掲載した。187～198・200・208は長さ10～13cmの大型品、207・231・232は長さ7～8cmの中型品、233～237は6～7cmの小型品である。平面形、断面形では、ほぼ長方形の定角式のもの(187～192・194～197・200・202～206・208・231)、頭部が細く刃部が開くもの(193・198)、平面形が楕円形のもの(207)がある。195は正面に凹みが2カ所あり、凹石として使用されている。石材は蛇紋岩、安山岩、変輝緑岩、曹長岩、頁岩があり、前2種が多い。調査区全体から出土している。

打製石斧 打製石斧は掲載を略した。土器溜まりSG01・02、貯蔵穴SK01・02・06・10・14・18・26・34・35に伴うもののほか、調査区全体から出土している。石材は輝石安山岩、砂岩、石英斑岩、火山礫凝灰岩が多い。

石皿 石皿は掲載を略した。SK35から出土したものがある。石材は流紋岩質凝灰岩、砂岩質凝灰岩が多い。

擦石 擦石は掲載を略した。土器溜まりSG01・02などから出土している。石材は輝石安山岩、砂岩が多い。

凹石 凹石は掲載を略した。土器溜まりSG01・02、貯蔵穴SK06などから出土している。石材は輝石安山岩、砂岩が多い。

石錘 石錘は掲載を略した。土器溜まりSG01・02、貯蔵穴SK05・18・26・35などから出土している。石材は輝石安山岩、流紋岩、砂岩が多い。

砥石 砥石は掲載を略した。土器溜まりSG01などから出土している。石材は流紋岩、流紋岩質凝灰岩などがある

敲石 敲石は掲載を略した。土器溜まりSG01、貯蔵穴SK02・35などから出土している。石材は輝石安山岩、砂岩、花崗閃緑岩が多い。

台石 台石は掲載を略した。石材は火山礫凝灰岩、凝灰質砂岩がある。

玦状耳飾 (178) 径約4cm、厚さ6mmの円形で扁平なもの。半分に割れており、補修穴がある。石材は黒色の滑石である。調査区西寄りの古代の溝内から出土。時期は前期である。

指輪状石器 (179) 直径約2.2cmの輪に豆粒状の突起が付いたもの。輪の半分が欠損しているものと見られる。石材は黄褐色の滑石である。SK03から出土しており、後期末あるいは後期初頭とみられる。

石刀 石刀の未製品とみられるものが1点あるが掲載を略した。貯蔵穴SK02から出土した。石材は凝灰岩である。

第Ⅲ章 舟岡地区第1調査区

1. 概 要

本章では、昭和63（1988）年度に、平成8（1996）～10（1998）年度に実施した第1調査区から出土した縄文土器と石器について記述する。

この調査区は、全体が川（SD06）であり、川の肩部に土器溜まり（SG04）、木組み及び木材群（SX01～21）、埋甕、貯蔵穴、柱穴などの遺構がある。出土遺物は、早期・前期・中期・後期・晩期の縄文土器と石器が出土している。

2. 縄文土器

早期（第111図、図版128、表3-17）

押型文土器（263～268）いずれも楕円粒の押型文である。器壁が厚く粒の大きいもの（263・266・267）、器壁が薄く粒が小さいもの（264・265）がある。調査区東寄りにあたるSD06下層の礫層中から出土している。器面は摩滅しており、自然木とともに出土しており、流れ込んだものとみられる。

前期（第111～113図、図版128・129、表3-17～19）

早期末か前期初頭の佐波・極楽寺式土器、前期中葉の朝日C式土器、蜷ヶ森式土器、後葉の福浦上層式土器、朝日下層式土器がある。前期の土器は、地山上面や平安時代の溝内から出土したもので、上流からの流れ込みとみられる。

佐波・極楽寺式土器（282～286・297・300・320）283・284は貝殻条痕文地に円環状押圧文がある深鉢。285・286は爪形文、297・300は羽状縄文がある。282～285は胎土に繊維を含む。

朝日C式土器（269・271）爪形文を施す。

福浦下層式土器（291・293・296・304）半截竹管によるコンパス文、刺突文、平行線文がある。

蜷ヶ森式土器（290）290は平行微隆起線がある。蜷ヶ森式土器は、Ⅰ式とⅡ式の古・新に区分されているが、290は新段階のⅡ式にあたる。

福浦上層式土器（302・313）302は口縁部に細い粘土紐を貼り付ける。313は結節状浮文がある。

朝日下層式土器（314・316・317・326）314・316は縄文地に細い粘土紐の貼付がある。317は半截竹管による波状文がある。326は斜位の細い半隆起線に沈線を交差させる。

中期（第59・60・113～116図、図版78～81・132～133、表3-9・10・19・20）

中期初頭の新保式土器、中期前葉の新崎式土器、中期中葉の上山田・天神山式、古府式、中期後葉の串田新式土器がある。新保式土器と新崎式土器は、川底と古代以降の川の中から出土している。その他は川SD06内に含まれているものである。

新保式土器 (328・331) 半截竹管による半隆起線と木目状撚糸文がある。

新崎式土器 (143～149・332～339・341・342・345～349・351～356) 143・144は半隆起線による横線と縦線を描く波状口縁深鉢。145・146・332・333・335・339・347は蓮華文がある。148は内外面赤漆塗の有孔罌付土器である。147はキャリパー口縁の縄文施文深鉢である。149は口縁部に眼鏡状把手とキャタピラー文がある信州系の深鉢である。334・336は半隆起線と無文帯の境に刻みを入れる。337・341・342・348は爪形文、338・346・349は格子目文や綾杉文がある。346は格子文と半隆起線文がある。355は浅鉢で、口縁部に半隆起線文が巡る。354は木目状撚糸文、351も撚糸文がある。352・356は肥厚口縁の縄文施文深鉢である。355は口縁部に半隆起線文が巡る内湾口縁浅鉢である。

SD05 (第39～46・62・118～122・142図、図版48～56・81・135・137・138・154・155、表3-5・6・10・21・22・32)

SD05は、第1調査区の東寄りある幅4.5m深さ1.2mの南北方向の川である。最下層に縄文土器を大量に含む黒色土が堆積していた。古府式土器、串田新式土器も含まれている。

古府式土器

半隆起線文深鉢 (67～74・150～152・386～391・394・395・399・407) 67・68・69・71・150・151はラッパ状に開く胴部に直立あるいは内傾する口縁部が付く器形で、隆起線と半截竹管による半隆起線文で平行線や曲線を描く。隆帯上に連続刻みが施される。71・150・151は口縁端部が外傾する。69・74は胴部中央を隆帯で区画し、胴下部を斜縄文とする。394・150の口縁部には縦に隆起線が貼付く。151の口縁部には半円と三叉状の彫り込みを連続させる。74・152は胴上部にS字状隆帯を貼り付ける。386・387も同類とみられる。

70は5波頂のキャリパー口縁深鉢で、半隆起線とヘラ刻みに渦巻隆帯がある。388～391はやや幅広い隆起線と半隆起線があるもので、舟形器形となるとみられる。395・407は撚糸文地に半隆起線文を描くもので、半隆起線が浅い。399は口縁部に半隆起線の平行線がある。

台付鉢 (72・73・87・155) 72・73・155半隆起線文を施文する台付深鉢。72は碗形器形に2段のめがね状把手が付く。73は内湾胴部に外傾する口縁部が付く器形に棒状把手が付く。87は碗形器形の無文の小型土器である。155は口縁端部が外傾し、内側に玉抱き三叉文がある。

縄文深鉢 (77～82・84) 縄文や撚糸文を施す深鉢。77は口縁部外反、78・79・80～82・84は、口縁部下でくびれる。84は撚糸文を施すもので、口唇部内面が肥厚する。

大木式系深鉢 (75・429・436) 75・436は縄文の胴部に2本単位の半隆起線で曲線文を描く。429は、キャリパー口縁部に渦巻きと剣先状隆帯を貼り付けたもの。東北の大木8b式土器に並行するものと考えられる。

条線文深鉢 (83・398・437) いずれも内湾ぎみの筒形器形に縦の条線を引く。

台付土器 (415) 2個1対の透かし穴がある台付土器の台部である。

浅鉢 (76・411・435・721～723) 76は内湾器形で、口縁部にこぶ状隆体を貼り付ける。411はくの字

内湾口縁部に外反の口唇部がつく。435は口縁部に玉抱き三叉文とこぶ状貼付がある。721～723は内湾口縁部に環状隆帯が貼り付く。

串田新式土器

山形波状口縁深鉢 (715・716・718) 口縁部にヘラ刻みを伴う隆帯が付き、胴部は沈線で山形あるいはH形の無文区画がある。

深鉢 (85・86・717・719・720) 85は口縁部が内湾器形に撚糸文、86は口縁部外反の波状口縁に横方向の条痕文がある。717は胴部に撚糸文、719は口縁部に貝殻腹縁文、720は重弧文がある。

浅鉢 (89) 口縁部が開く無文のものである。

SD06古 (第57・58・63～70・75～78・80～84・86・87・89・123・126・134・136・137・147～156図、図版75～77・85・89・90・92・102～106・108・109・112・113・114・119・120・134～138、表3-10～16・20～23・28～30・35～40)

中期中葉の古府式土器、中期後葉の古串田新式土器、串田新式土器、後期初頭の前田式土器、岩峠野式土器、中津式系土器が出土している。古串田新式土器までは最下層のジャリ層に含まれる。串田新式土器は土器溜まりSG04の流れ込みであり、川の中の木材群は、前田式土器、岩峠野式土器、中津式系土器の時期であったと考えられる。

古府式土器 (157・159・161・357・358・362・364・365・367～370・372～374・382・384・385・393・397・400・401～403・405・413・425) 157は半隆起線文による曲線文がある台付深鉢である。159はキャリパー口縁に隆帯を貼り付ける鉢で、大木8b式系土器である。161は頸部がわずかにくびれる縄文深鉢である。362・367は半隆起線文と玉抱き三叉文がある。370は縄文地に半隆起線文がある深鉢。413はくの字内傾の口縁部に半隆起線文がある浅鉢である。357・382・384・400は胴下部の縦線の上端が曲がらない深鉢である。358は縄文地に3本単位の半隆起線文を引く大木系深鉢である。364・365は口縁部に半隆起線を引く縄文深鉢。368は口縁部に爪形文のある隆帯間に波状隆帯がある。401～403・405は半隆起線文の波状文がある。425も半隆起線文の深鉢である。369～374・382・384・385・393・397は沈線や幅広の半隆起線文で曲線文を引くもので、369～373には櫛歯文、374・382・385・397は隆帯上にヘラ刻みや爪形文がある。

動物顔付土器 (410) 丸く張る胴部の肩部に長さ5cm、幅4cm、高さ2.5cmの三角形の隆帯と幅1.2cm、長さ7.1cmの隆帯が付く。三角形隆帯は顔で、目は三叉状の切れ込みで、鼻か口を円形のくぼみで表している。顔つきは犬や馬のようである。細長い隆帯は首のようであり、胴部が体部を表しているのであろう。動物顔の周囲には沈線と櫛歯列点文がある。

古串田新式土器 (361・363・366・375～377・379～381) 361は口縁部に幅広沈線による楕円文と縦線がある浅鉢である。366は櫛歯文がある浅鉢、375～377・379は工字文がある平口縁深鉢である。刻みは貝殻腹縁文とヘラ刻みがあり、沈線は半隆起線文と幅広沈線のものがある。380は半隆起線文があり、口唇部に刻みがある。363・381は縄文地に楕円文や沈線文がある深鉢である。

串田新式土器

U字状波状口縁深鉢（809・810）809は口縁部に刻みを伴う隆帯が巡り、胴部に無文の区画文がある。810は隆帯で方形や円形の区画文を作る。

台形波状口縁深鉢（164・165・173・200・805～808・812・813・815）台形波頂の波状口縁深鉢。164は肥厚口縁部に貝殻腹縁文、胴部は平行隆帯と葉脈状文がある。165は口縁部に貝殻腹縁文の平行隆帯、胴部は蕨手状垂下隆帯がある。173は波頂部を押圧する台形波頂、口縁部に平行隆帯、胴部は蕨手状垂下隆帯間に葉脈状文がある。200は胴部がやや張り、内湾ぎみの口縁部に隆帯を貼り付ける。波頂部にはS字状文、胴部は垂下隆帯間に方形区画文がある。805から808は列点文を伴う隆帯が付くもの。812・813は列点文と隆帯のもの。815は肥厚口縁部に貝殻腹縁文、胴部は葉脈状文である。

葉脈状文深鉢（167）口縁部は列点を伴う隆帯、胴部は葉脈状文。

山形波状口縁深鉢（168・170・175・225・811・814・816・817・890～895・897・903）口縁部に貝殻腹縁文を伴う隆帯が巡り、胴部は葉脈状文がある。170は波頂部が尖る山形で口縁部が肥厚する。胴部は葉脈状文である。175は波頂部が尖るもので、口縁部に隆帯が巡り、胴部は葉脈状文がある。波頂部に円形押圧がある。225はバケツ形胴部に波状口縁がつくもの。波頂部を押圧、口縁部は肥厚し、胴部は縦縄文となる。816は口縁部を押圧する。811は波頂部を押圧するもので、口縁部は平行隆帯間に列点文を施す。814は貝殻腹縁文を付けた隆帯があり、波頂部はわずかにくぼむ。816・817は波頂部が内傾する。825は列点を伴う隆帯と葉脈状文がある。890は刻みを伴う平行隆帯がある。891は平行沈線、892・893は隆帯と列点文、894・897は帯縄文がある。895は口縁部に貝殻腹縁文をつけた隆帯があり、波頂部を押圧する。903はきのこ形の突起部である。頂部に列点文がある。

鐏付土器（229・230・231・898・904）229は扁平な胴部に内傾する口縁部が付くもの。胴上部に列点文を伴う隆帯と橋状把手がつく。胴部は重弧文である。230は丸い胴部に外反する口縁部が付くもの。胴上部に隆帯と橋状把手が付く。231は内湾する鉢形器形に列点文を伴う隆帯と橋状把手が付く。

898は肩部に隆帯と橋状把手、胴部に重弧文がある。904は肩部に刻みのある平行隆帯と橋状把手がある。

平口縁深鉢（244・246・253・628・629・637・638・640・826・834～840・842～871・873・874・876・877・896・899・902・905・918・919）244は筒形胴部で、肥厚口縁部にヘラ刻み、胴部は縄文地に三角区画文を描く。246はやや張る胴部に外反する口縁部が付く。胴部は条痕文である。253は胴部がやや張る条痕文の深鉢。826は口縁部に波状隆帯がある。628・629・638は肥厚口縁部に貝殻腹縁文を施す。640は貝殻腹縁文でなく刻みを施す。637は口縁部に平行沈線間に列点文がある。636・641は隆帯と葉脈状文がある。

834～836は口縁部に貝殻腹縁文や列点文が巡る。832は口縁部に波状沈線文がある。837・838は口縁部に列点文を巡らせる。839は列点文を伴う隆帯がある。840は列点文を伴う隆帯と葉脈状文がある。850は列点文と葉脈状文がある。842～849は隆帯と葉脈状文がある。896は縄文を付した隆帯が

ある。851～853・855は外反口縁に波状隆帯が巡るもの。貝殻腹縁文、列点文を伴う。854・856は隆帯を弧状隆帯でつなぎ、列点文がある857は波状沈線を巡らす。858・859・861～871は肥厚口縁部に貝殻腹縁文、条痕文、刻みを施す。861は頸部に楕円区画文と縦線、862・865は列点文が伴う。870は口縁部を押圧する。860は口縁部押圧の肥厚口縁となる。876は肥厚口縁部に列点、頸部に縦線の平行線がある。873・874・877・878は頸部に沈線間に1条の列点文があるもの。899は頸部に横長沈線列がある。902は口縁部に沈線と列点文がある。905は貝殻腹縁文、列点文、環状隆帯の貼り付けがある。918・919は口縁部が肥厚する。

縄文深鉢（630・648・915）630は口縁部に沈線が1条巡る。646は口唇部に刻みがある。648は口縁部に貝殻腹縁文と平行沈線が巡る。915は口縁部内面が肥厚する。

条痕文深鉢（920・925）口縁部がさざなみ状である。

無文深鉢（239・240・243・924）バケツ形胴部に肥厚口縁部がつく。239は口縁部を押圧、240は口唇部がさざなみ状となる。924は筒形胴部のもの。

釣手土器（233・900・901）列点文がある。底部はあげ底となる。

皿型土器（235）口唇部に列点文が巡る。

浅鉢（917・922・923・926）917は口縁部が内傾、922・923は内面に列点文がある。

台部（921）無文のもの。

前田式土器（139～142・214～216・220・631・644・645・819～822・828・872・875・879～889）139は口縁部押圧による波状口縁の深鉢で、口縁部に平行沈線間に2段の列点文を施す。140は外反口縁部に平行沈線間に連弧文が巡る深鉢である。141は口縁部外反の深鉢で、口唇部はさざなみ状、胴部は条痕文である。142は口縁部を押圧する深鉢で、胴部はオオバコ擬縄文を施す。214～216は平口縁で、頸部に平行沈線とS字状文がある。220は口縁部押圧による波状口縁で、頸部は沈線間に方形区画とS字状文がある。631・644・645は口縁部にS字状文があるが、631は三角形を連ねたようで、器表面が平滑である。胴部がやや張り口縁部が外反する深鉢である。819・820は口縁部押圧し、頸部は平行沈線間列点文、821は頸部に平行沈線とS字状文がある。822はS字状文と重弧文がある。828は頸部に平行沈線文を引く。872・875・879は頸部に2～3段の列点文が巡る。875は口縁部押圧する。

880～888は口縁部が外反するもの。880は頸部に連弧文、881・882・884は頸部に長方形区画文があるもの。881は重弧文、884はS字状文がある。883・885・886は平行沈線のもの。885にS字文がある。883は平行沈線が口縁端部に及び口縁端部が内傾する。887・888は頸部に斜めあるいは縦線が入るもの。889は山形波状口縁のもので、頸部に連弧文がある。

岩嶺野式土器（223・635・642・643・649・827・829～831・907・908）223は胴部がやや張り口縁部が外反する平口縁深鉢で、胴部に細隆起線を垂下する。829～831は細隆起線文の貼り付け。831は列点文を伴う。635・642・643・907・908は細隆起線文があるもので、908は台の部分。649は沈線による重弧文と縦線がある。

中津式系土器（201～212・256・610・611・634・639・647・650・651・824・906・909～914・

916) 張る胴部に内湾ぎみに立つ口縁部が付く深鉢である。201～205・207は波状口縁のもの。201は環状突起が付き、胴部は帯縄文による格子文やJ字文がある。203は胴部に長方形区画文とJ字文がある。202・204・205は波頂部口唇部に刻みがある。204は楕円帯縄文を2本垂下しその間に列点文を施す。205・207はJ字文とS字状文がある。206・208～210は平口縁のもの。206はJ字文とS字状文がある。209は带状文と列点文、210・211・256はJ字文と帯縄文、212は胴部中央に沈線の波状文が巡る。610はJ字文、611は帯縄文の深鉢である。634は沈線区画内に縄文を、639は口縁部を隆帯で区画するもの。647は渦巻き沈線がある。650・651は帯縄文がある。651は突起部である。824はJ字文がある。906は押引沈線間に縄文がある。909～914はJ字文がある。916は幅広隆帯と楕円区画文がある。

SG04 (第56・59・61～63・65・67・69・72～75・80・82・86～90・92・117・137～141図、図版72・78～80・108・110・113・121・124・151、表3-9～16・30～32)

調査区西寄りの土器溜まりである(調査時には盛土遺構と呼ばれている)。第1調査区のSG04の続きとみられる。SD06の川縁に堆積しているものである。出土している土器は、新崎式土器、古府式土器、串田新式土器、前田式土器があるが、新崎式土器と古府式土器はSD06下層の流路に含まれているもので、土器溜まりの主体は串田新式土器である。前田式土器は上層から出土しており、その上に新たに堆積した可能性がある。

古府式土器 (153・158・160・238・360・371・378・687・689) 153はバケツ形胴部に立つ口縁部が付く平口縁深鉢である。胴部に半隆起線文による曲線文を描くが、半隆起線文が平板的である。158は体部が直線的に開く器形で、口縁部に半隆起線を巡らす浅鉢である。160は胴部が膨らみ、外反する口縁部が付く縄文施文の平口縁深鉢である。238は山形波状口縁で、口唇部下に半隆起線文が巡る。360は口縁部に半隆起線文と釣手把手がある浅鉢である。371は平行隆帯上に刻みがある。378は口縁部に刻みのある隆帯と半隆起線文がある。687は断面凹形の渦巻隆帯がある加曾利E式系土器である。689は沈線の弧線文がある。

串田新式土器

U字状波頂口縁深鉢 (804) 波頂部がU字状(双頭)となるもの。804は口縁部に隆起線が巡り、胴部は楕円環状区画文の上に条痕文がある。隆起線は波頂部でC字状隆起線が付く。上層出土。

葉脈状文土器

葉脈状文台形波頂口縁深鉢 (163・171) 波頂部が台形となる深鉢である。胴部はやや張るようである。163は口縁部に列点文を伴う隆帯で三角形区画を行い、胴部は平行隆帯の垂下と葉脈状文がある。171は山形波頂口縁深鉢で、口縁部に列点文を伴う平行隆帯が巡り、胴部は単線の縦隆起線間に葉脈状文がある。171は上層出土。

葉脈状文平口縁深鉢 (179) 胴部がやや張り口縁部が開く器形である。胴部に蕨手の垂下隆起線と葉脈状文がある。

葉脈状文山形波頂口縁深鉢（652・673）652は肥厚口縁部に貝殻腹縁文、蕨手状縦隆帯間に葉脈状文がある。673は口縁部に列点を伴う隆帯、胴部に蕨手隆帯が垂下する波状口縁部。上層出土。

葉脈状文押圧波頂口縁深鉢（658・659・674）659は口縁部押圧による波状口縁で、口縁部に刻みを伴う2条の隆起線と口唇部との間にも刻みを巡らす。674は隆起線が1条と口唇部との間に刻みがある。658も同類とみられる。658・659は上層出土。

その他の葉脈状文土器（166・174・180）166は胴下部がやや膨らみ、縦3本の平行隆起線間に沈線による葉脈状文がある。隆起線上にCの字隆起線が付く。174・180は刻みを伴う縦1本隆起線の間葉脈状文がある。166は上層出土。

山形波状口縁深鉢

底部がやや広がる細身のバケツ形胴部にゆるやかな波頂部がつくもの。

隆起線文型（181・183・189・254・653・712・714）口縁部に刻みを伴う隆起線があり、胴部は楕円環状区画文と条痕文がある。183・254も同類とみられる。189は口縁部に縄文を伴う隆起線が巡り、胴部は横位縄文のもの。653は刻みを伴う隆起線が口縁部と波頂部下の胴部に2本貼り付く。712は隆帯上に刻み、胴部撚糸文である。714は波頂部に環状隆起線が貼りつく。181・653は上層出土。

沈線文型（184）無文地に口縁部に2条の沈線が巡る。波頂部は三角形に尖る。

キャリパー口縁深鉢（667）口縁部に隆帯貼り付けで方形区画を作り、内側に縄文を充てんする。上層出土。

肥厚口縁深鉢（679・691～694・708～711・713）口縁部が肥厚するもので、平口縁のものと山形波状のものがある。679・711は肥厚する口縁に縦刻み、691・693・694・706は無文、692は縄文、708～711は貝殻腹縁文がある。708・710・711は胴部に平行沈線間に列点文、709・713は胴部に蕨手状の垂下隆帯がある。713は口唇部に2個1対の突起が付く。

連弧文土器

連弧文平口縁深鉢（188・655・695）188は胴部がやや張り口縁部が開く器形で、口縁部は沈線間に斜め短線を連ね、胴部に連弧文がある。655は口縁部に貝殻腹縁文を伴う隆起線が巡り、口唇部との間に弧状隆起線が付く。胴部は縄文地に連弧文がある。695は口縁部に1本の沈線を巡らせ、その下に連弧文がある。655は上層出土。

連弧文波頂深鉢（132・185・186・654）バケツ形胴部のもの。口縁部に刻みがある隆起線が巡る。185は、隆起線と口唇部の間にCの字隆起線が付く。132・185は大波頂の間に小波頂がある。隆起線の下に連弧文がある。胴部は縦の条痕文である。185の連弧文の間に横長列点文が伴う。132の連弧文は沈線が3本単位である。654は縄文地で、口縁部に1本の沈線を巡らせ、その下に連弧文がある。654は上層出土。

列点文土器

列点文平口縁深鉢（194・656・657・662・678・681・706）194・656は口縁部に平行沈線間に横長の列点文を引く。657は列点が2段のもの。662は口唇部と、口縁部に2列の横長列点文が巡る。678はやや内湾口縁で、口縁部に縦刻みと平行沈線間に小さな列点文がある。681は胴部が斜縄文であ

る。706は口縁部に平行沈線間に横長列点文がある。194・656・657・662は上層出土。

列点文山形波頂深鉢（663・675～678）口縁部に平行沈線間に横長列点文があるもの。663は沈線間に列点文と貝殻腹縁文がある。675・676はゆるやかな山形波頂の深鉢である。663は上層出土。

列点文押圧深鉢（677）一部を内側に押圧する平口縁で、口縁部に縦刻みと平行沈線間に横長列点文がある。

列点文隆帯深鉢（672・682～684）672は口縁部に小さな列点を伴う隆帯を巡らす波状口縁で、波頂部は円形の突起状でその口唇部にも列点がある。682・683は外反口縁で、682は列点を伴う隆帯の上に貝殻腹縁文がある。683・684は隆帯間に列点文を充てんする。

波状隆起線深鉢（686）口縁部に細かな波状の隆起線を巡らす。平口縁で胴部は条痕文がある。

長方形区画文深鉢（688）縄文地の口縁部に横長の長方形区画文を2段と縦の列点文がある。

平行沈線平口縁深鉢（196）胴部ナデのバケツ形器形、口縁部に平行沈線を巡らす。

無文深鉢（242・245・248・249・250・251・258・666・698・697・699・705）242は内湾ぎみに立つバケツ形、249は直線的に開く細身のバケツ形、245・248・250・258は胴部がやや張るものである。699は口唇部に列点文がある。666・705は口唇部がさざなみ状となる。249・258は上層出土。

縄文平口縁深鉢

口縁部に隆起線が巡るもの（隆起線文型）、口縁部に平行沈線が巡るもの（沈線型）、縄文または撚糸文だけのもの（その他）がある。

隆起線文型（190・191）190はバケツ形胴部で、隆起線上にも縄文がある。191は胴部が張るもので、隆起線上は無文のもの。

沈線型（690）平行沈線間と口唇部との間は無文である。胴部は斜縄文である。

その他（192・193・199・668）193・199はバケツ形である。192は胴部がやや張る。縄文は無節のもの。668は口縁部がくの字に内傾する。668は上層出土。

条痕文土器

押圧口縁深鉢（241・669）口縁部の一部を内側へ押圧する条痕文深鉢である。669は上層出土。

その他（255・670・696・700・707）255は斜め条痕文、670は口縁部に沈線を引き、胴部は縦の条痕文がある。口唇部がさざなみ状となる。696・700・707は全面に条痕文がある。670は上層出土。

台付土器（187）口縁部に刻みを伴う平行隆帯を巡らせる胴部が強く張る波状口縁の土器。波頂部が押圧内傾する。

小型土器（671）無文の筒形土器である。

浅鉢（257・262・664・701～704）664・701・703・704は内湾口縁部に2条の列点文がある。262・702は皿型器形の口縁部に橋状把手が付く。257・664は上層出土。

鐙付土器（228）バケツ形胴部に立つ口縁部がつく。肩部に平行隆帯と橋状把手がつく。胴部は重弧文を施す。

釣手土器（232）側面楕円形で、釣手部に列点文と橋状把手が付く。

前田式土器（215・218・222・249・257・258・660・661・665）

胴部がやや張り口縁部が外反する深鉢で、頸部に列点文間に多条の横線とS字状文がある。口縁部には小さな双頭突記がつく。222は口縁部押圧による波状口縁で、頸部に沈線間に3段の列点文を引くもの。259・665は縦縄文がある。660・661はS字状文がある。661は波頂部が小さなU字状である。664は列点文のある浅鉢である。上層出土。

土坑（第50・63・65・69・75・85・88・121・123・144図、図版63・87・91・100・116・122・138・140・156、表3-7・11・22・23・33）

調査区中央にあり、SD06の北岸から川の中央まで広がる。SG04、SX11として取り上げた土器と接合するものがある。出土する土器は、串田新式土器、前田式土器、岩峠野式土器、中津式系土器がある。

SK01（744）外反口縁で、頸部に平行沈線とS字状文がある。前田式土器である。

SK02（107・448・745・746）107は外反口縁部に平行沈線とS字状文がある。448は細隆起線文がある。745は沈線間に列点文、746は垂下隆帯と斜線がある。107・745は前田式土器、448は岩峠野式土器である。746は串田新式土器である。

SK03（237・450～453）237は胴部が丸く肩部に環状隆帯が貼り付く罎付土器である。450は帯状文がある。451は外反口縁に弧線文、452は長方形区画内に縄文、453は隆起線と貝殻腹縁文がある。237・450・452・453は串田新式土器である。451は前田式土器である。

SK04（108・449）108は細身の胴部に山形無文帯と条痕文がある。449は平行隆起線上に貝殻腹縁文がある。串田新式土器である。

SK07（252・747・748）252は口縁部に隆帯、胴部条痕文の深鉢である。747は肥厚口縁部に貝殻腹縁文がある。748は平行沈線がある。748は前田式土器である。

P5（163）163は波頂部が台形となる波状口縁深鉢である。口縁部は列点文を伴う隆帯で三角形区画を行い、胴部は葉脈状文である。

P7（749）平行沈線間に列点文がある。

P8（750）口縁部に沈線がある。中津式系土器とみられる。

P10（751）C字状沈線がある。

P11（752）口縁部に貝殻腹縁文がある。

P25（198）胴部がやや内湾ぎみに立つ平口縁深鉢である。口縁部に沈線が1本巡る。

P56（754）隆帯と列点文がある。

P57（172・753・755～758）172は台形波頂部の波状口縁深鉢である。口縁部に隆帯と刺突列点文、胴部に蕨手状縦隆帯間に斜線を引いた葉脈状文である。753・755は隆帯と列点文がある。756は条痕文、757は無文の浅鉢か、758は口縁部に縦線がある。172は串田新式土器である。

P60（162）底部がやや開く細身の胴部に双頭波状口縁がつく深鉢である。口縁部に隆帯が巡る。

埋甕（第80・81・85図・図版109・111・112・116、表3-14・15）

調査区中央のSD06の南岸にある。時期は前田式土器である。

埋甕 1（219）胴部がやや張り口縁部が外反する深鉢で、頸部は平行沈線間に刻み列点文、縦線、S字状文がある。前田式土器である。

埋甕 2（221・236）221は胴部がやや張り口縁部が外反する深鉢で、頸部は平行沈線間に3段の列点文がある。236は丸く張る胴部の肩部に縄文施文の隆帯間に横位の葉脈状文がある鍔付土器である。221は前田式土器である。

埋甕 3（217）胴部がやや張り頸部は沈線間に連弧文がある深鉢である。前田式土器である。

木組み及び木材集中箇所（第68・71・72・79・82～84・87・90・121・122・142～147図、図版90・93・94・99・100・107・113～115・118・120・125・135・138・139・155～158、表3-11～17・33～35）

SX01～21は川SD06の川岸や中に設置したものと自然堆積のものがある。

SX01（725・726・729・759～765）前田式土器と中津式系土器がある。725は沈線による楕円区画文の浅鉢。726は刻みを伴う平行隆帯と橋状把手の鍔付土器。729は橋状把手の付く浅鉢である。759・760は列点文と葉脈状文、762も葉脈状文、761は口縁部を押圧する肥厚口縁のもの、763は隆帯と列点文、764は口縁部押圧し、平行沈線がある。以上は前田式土器。765は帯縄文のJ字文、S字状文があり、中津式系土器である。

SX02（247・727・728・730・741・742・766～769）

247はやや内湾ぎみに立つバケツ形深鉢。胴部は条痕文がある。727・730は口縁部に隆帯を巡らす山形波状口縁深鉢。728・731・732は列点文あるいは貝殻腹縁文を伴う隆帯と葉脈状文がある。733も葉脈縄文がある。734は口縁部押圧による波状口縁、平行沈線間に列点文がある。739・741は口縁部に列点文や貝殻腹縁文があり胴部は縄文のもの。740は口縁部押圧の深鉢で、縄文をつけた隆帯が巡る。742は口縁部内面に2列の列点文が巡る。766は無文深鉢、767・768は浅鉢で、768は橋状把手が付く。769は橋状把手が付く鍔付土器である。以上は串田新式土器である。

735・736は外反口縁深鉢で頸部に沈線間に2列の列点文とS字状文がある。737は頸部に沈線間に2段の列点文がある。738は外反口縁深鉢で沈線間に縦線とS字文がある。742は頸部に長方形区画文と4個の刺突文がある。以上は前田式土器である。

SX03（169・224・234・418・770～774）古串田新式土器、串田新式土器、前田式土器がある。前田式土器は下層に含まれていたものである。418は渦巻沈線と櫛歯文がある深鉢である。古串田新式土器である。234はコップ形の小型土器である。口縁部にネジリ棒状の把手が付く。串田新I式土器とされるものである。169は胴部がやや張り口縁部が外反する深鉢である。刻みを伴う隆帯を格子状に貼り付け、その間に葉脈状となる斜線やJ字文が描かれる。口唇部にこぶ状突起がつく。

770は口縁部に斜縄文、頸部に平行沈線が巡る。771・772は条痕文、772は区画内に列点文、774は小型土器である。224は胴部がやや張り口縁部は押圧による波状口縁である。肥厚口縁部に貝殻腹縁

文を施し、胴部は条痕文である。以上は前田式土器である。

SX04 (176・213・775～779) 前田式土器が出土している。176は山形波状口縁深鉢で、口縁部に刻みを伴う隆帯とヘラ刻みが巡る。胴部は縦隆帯間に葉脈状文がある。213は胴部が張り、口縁部が外反する平口縁深鉢。頸部は平行沈線間に縦線とS字状文がある。775は葉脈状文、776・779は沈線と列点文、777は貝殻腹縁文を伴う隆帯、778は列点文と斜線がある。

SX05 (780・781) 串田新式土器が出土している。780は貝殻腹縁文を伴う隆帯と葉脈状文がある波状口縁深鉢。781は列点文と葉脈状文がある。

SX07 (383) 古府式土器が出土しているが、下層に含まれていたものであろう。383は爪形文と半隆起線文のある波状口縁深鉢である。

SX11 (177・178・195・197・227・242・260・261・439・440・782～790) 串田新式土器が出土しているが、前者は混ざり込みであらう。177は山形波状口縁深鉢で、肥厚口縁部に貝殻腹縁文、胴部は蕨手状隆帯間に葉脈状文がある。178は胴部がやや張り、口縁部が開く平口縁深鉢で、頸部に列点を伴う隆帯を2段、胴部は蕨手状隆帯間に葉脈状文がある。195はバケツ形の平口縁深鉢。口縁部は平行沈線間に横長の列点文がある。197は胴部が張る平口縁深鉢。口縁部は平行沈線間に貝殻腹縁文がある。242はバケツ形の無文深鉢である。260は口縁部が開く鉢。粘土紐接合痕がよく残る。439・440は器台である。227はバケツ形の胴部に内傾する口縁部がつく鍔付土器である。頸部に平行隆帯と橋状把手が付き、胴部は重弧文と貝殻腹縁文がある。

261は口縁部を押圧する無文の浅鉢である。782は貝殻腹縁文を伴う隆帯と蕨手隆帯、783は貝殻腹縁文を伴う隆帯と連弧文、784・788は隆帯間に列点文、785は楕円区画文と縦線、786は環状隆帯を貼る浅鉢、787は口縁部を押圧する。789は条痕文、790は口唇部に刻みがある。以上は串田新式土器である。

SX12 (791) 串田新式土器がある。791は列点文のある隆帯と葉脈状文がある。

SX13 (792～797) 串田新式土器がある。792は列点文がある鉢、793は無文、796は沈線と条痕文、797はきのこ形の突起部である。

SX14 (798～800) 古府式土器、串田新式土器があり、前者は下層に含まれていたものであろう。798は口縁部に半隆起線がある古府式土器である。799は肥厚口縁部に貝殻腹縁文、800は環状带状隆帯貼付けの内外赤漆塗鍔付土器である。

SX17 (803) 串田新式土器がある。803は無文の深鉢である。

SX19 (801) 串田新式土器がある。801は平行沈線間に列点文、口縁部にこぶ状突起がある。

SX20 (802) 串田新式土器がある。802は肥厚口縁部に貝殻腹縁文がある。

後期・晩期 (第156・157図・図版165、表3-40)

後期末葉の八日市新保式土器がある。SD06の中層の黒色土及び古代以降の川に含まれていたものである。

八日市新保式土器 (935・936) 935は頸部に平行沈線と円形圧痕文がある波状口縁がある。936は口

縁部内面が肥厚し平行沈線を施す浅鉢である。

御経塚式土器（937）縄文地に三叉文を施す深鉢である。

中屋式土器（938・939・941）938はくの字外反の深鉢で、胴部に列点文がある。939は細かい縄文に沈線文がある。941はサンゴ状文が付く鉢である。

下野式土器（943・944・945）口縁部に刻みがあるもの。

3 土製品（第158・159図、図版172・173、表4-1～3）

土偶4点、円盤状土製品156点がある。

土偶（5～8）厚さ0.8～1.4cmの板状土偶である。5は頭部・胸部・腕部で、頭部は隅丸方形で中央部に貫通孔があるだけで、目鼻の表現が略されている。胸部には、沈線で綾杉状文を描く。乳房ははがれている。腕は三角形の突起状である。6は頭部・胸部・腕部で、頭部は隅丸方形で、目鼻の表現が略されている。胸部には、突起状の乳房がある。腕は台形の突起状である。7は胸部・腕部で、胸部裏面には平行沈線と綾杉状文がある。腕は丸い突起状である。8は腹部である。表面に縦の平行沈線と条線、側面と裏面に条線が描かれる。脚部は省略されている。7は土器溜まりSG02から、その他はSD06内からの出土である。時期は中期末から後期初頭とみられる。

円盤状土製品（12・14・15・19～27・31～37・39）円盤状土製品は156点あり、そのうち20点を掲載した。土器破片の周囲を打欠き、敲打、研磨により丸く整形したものである。直径3～6cm、厚さ0.5～1cm。調査区全体から出土している。縄文や葉脈状文のものがあり、時期は中期末か後期初頭とみられる。

4 石器（第160～178図、図版174～193、表5-1～12）

石器総数348点で、石鏃6点、石匙1点、異形石器1点、剥片石器1点、打製石斧170点、擦石5点、敲石13点、凹石18点、石錘67点、石皿6点、磨製石斧46点、石棒6点、岩版1点、不定形石器2点、原石2点がある。第1調査区は、ほとんどがSD06内に含まれている。石棒は中期中葉であるが、その他は中期末か後期初頭のものとみられる。

石鏃（166）石鏃は1点を掲載した。166は木の葉形のもの。SD06下層出土である。SG04下層から3点出土している。石材は珪質頁岩である。

石匙（169）横長の細い刃部に隅丸方形のつまみがつくもので、刃部はやや内湾する。刃部中央と紐掛部が摩滅している。SX01付近から出土。石材は安山岩である。

異形石器（173）異形石器は1点ある。四隅突出形のもの。石材は鉄石英である。時期は前期とみられる。

剥片石器（177）剥片石器は1点ある。石刃の両側辺に調整剥離を施す。左上に突起がある。石材はデイサイトである。

打製石斧（1～63）打製石斧は63点を掲載した。いずれも片面に河川礫の表皮を残す。両側辺がくびれる分銅形のもの（1・15・29）、基部が細い撥形のもの（27・51・55・57・63）があるが、その他は平面形がほぼ長方形の短冊形のものである。石材は、安山岩、砂岩、流紋岩、閃緑岩、輝緑岩、斑れい岩、石英斑岩、凝灰岩、花崗斑岩、花崗岩、デイサイトがあるが、前2種が多い。

擦石（64・65・89）擦石は3点を掲載した。小判形の河川礫の側辺が平坦に摩滅している。89は擦石と凹石の両方の特徴をもつ。石材は、砂岩、花崗斑岩、安山岩がある。

敲石（66～73）敲石はすべてを掲載した。長さ8～15cmの棒状あるいは小判形の河川礫の上端や下端が潰れているもの。石材は、砂岩、安山岩、凝灰岩がわりあり、砂岩が多い。

凹石（74～88）凹石はすべてを掲載した。長さ9～12cmの円形や小判形の河川礫の表面や裏面に1～3カ所の凹みがあるものが多い。石材は、砂岩、花崗岩、デイサイト、凝灰岩、安山岩があるが、砂岩が多い。

石錘（90～135）石錘は25点を掲載した（凹石兼用を含む）。長さ5～9cmの楕円形の河川礫を用いるが、両端を打ち欠いて抉りこむもの（90～118）、両端や長軸全周を擦り切りするもの（119～120・122～124・128～135）がある。99・105・122は石錘と凹石の両方の特徴をもつ。重量は、最大で450g、最小16gで、100g前後のものが多い。石材は、流紋岩、石英斑岩、砂岩、輝石安山岩などがある。溝内と土器溜まりSG04から出土している。

磨製石斧（199・201・202・209～230・238～244）磨製石斧は22点を掲載した。199・201・202・209～230は長さ8～15cmの中型品あるいは大型品、238～244は長さ6～8cmの小型品である。平面形・断面形では、ほぼ長方形の定角式のもの（199・201・202・210～219・221～230・238～244）、頭部が細く刃部が開くもの（209・220）がある。212は、石材が砂岩で、表面に敲打痕が見られる。整形途中の未製品とみられる。213は、両側辺に抉りこみと敲打があり、打製石斧に転用したものとみられる。石材は、蛇紋岩、安山岩、砂岩、流紋岩、緑色珪化石、曹長石、デイサイト、石英千枚岩があり、蛇紋岩が圧倒的に多い。

石棒（245～247）石棒は3点を掲載した。太さ12～13cmの大型石棒の頭部である。鐮状の隆帯を巡らせ、その上または下に半環状帯を彫り込む。石材は凝灰岩である。247は、太さ10～13cmで大型石棒の下部とみられる。石材は火山礫凝灰岩である。土器溜まりSG01上層から出土している。時期はいずれも中期中葉とみられる。

第Ⅳ章 まとめ

1. 縄文土器の時期

中出地区

前期中葉（福浦下層式土器・蜆ヶ森式土器）、中期初頭（新保式土器）、中期前葉（新崎式土器）、中期中葉（古府式土器・古串田新式土器）、中期後葉から後期初頭（串田新式土器・前田式土器、岩嶺野式土器、中津式系土器）がある。量的には中期前葉から後期初頭が多い。注目される土器には、火焰土器の口縁部破片があり、古府式土器に伴うものと考えられる。

舟岡地区第6調査区

前期初頭（佐波・極楽寺式土器）、前期中葉（朝日C式土器、蜆ヶ森式土器）、前期後葉（福浦上層式土器、朝日下層式土器）、中期初頭（新保式土器）、中期前葉（新崎式土器）、中期中葉（古府式土器）、中期後葉から後期初頭（古串田新式土器・串田新式土器・前田式土器、岩嶺野式土器、中津式系土器）、後期末（八日市新保式土器）、晚期中葉（中屋式土器）、晚期後葉（下野式土器）がある。量的には中期中葉から後期初頭が多い。西端の川岸の土器溜まりSG01は、量的にまとまった中期末の良好な土器群である。その他、注目される土器には、漆容器とみられる土器、漆塗土器がある。

舟岡地区第1調査区

早期（押型文土器）、前期中葉（朝日C式土器、福浦下層式土器、蜆ヶ森式土器）、前期後葉（福浦上層式土器、朝日下層式土器）、中期初頭（新保式土器）、中期前葉（新崎式土器）、中期中葉（古府式土器）、中期後葉から後期初頭（古串田新式土器・串田新式土器・前田式土器、岩嶺野式土器、中津式系土器）、後期末（八日市新保式土器）、晚期中葉（中屋式土器）、晚期後葉（下野式土器）がある。量的には中期中葉から後期初頭が多い。川SD05内の土器群は、中期中葉古府式土器のややまとまった土器である。古府式土器（71）の放射性炭素年代測定では、 4440 ± 40 年前の数値が測定されている。一緒に出土した土器に大木8b式土器があり、中期中葉の土器様相を示す良好な資料といえよう。川SD06内の土器群は、量的にまとまった後期初頭の良好な土器群である。土器溜まりSG04の土器群は、SG01とSD06土器群との過度的な様相を示しているものと考えられる。その他、注目される土器には、古府式土器の動物顔付鏝付土器がある。

2. 中期末・後期初頭の土器について

桜町遺跡第1調査区・第6調査区から出土した土器群の主体を占めるものが、中期末・後期初頭の土器群である。土器の出土状況から、そこに残されている貯蔵穴、木柱列、焼土、柱穴、埋甕、水場木組みもこの時期に作られたものである。

SG01、SG04、SD06土器群は、深鉢を主体とし、浅鉢、釣手土器、壺形土器、小型土器からな

り、壺形土器には、漆塗土器、漆容器とみられる土器がある。それぞれの土器群の器形や文様は、それぞれ違いがあり、それは時期の違いを反映しているものとみられ、SG01→SG04→SD06の順序で堆積したものと考えられる。

SG01では、串田新Ⅰ式とされる工字文、貝殻腹縁文、平行隆帯間縦線、串田新Ⅱ式とされるU字状口縁（双頭）深鉢、葉脈状文深鉢、口縁内湾の鉢型浅鉢、皿状浅鉢、鍔がU字状となる鍔付土器、器台などがみられる。また、関東系の加曽利EⅢ式土器（19）、北陸西部の大杉谷式土器（15）が含まれており、大木9式土器と関係が考えられる器台（44）、大木10式土器と関係が考えられる深鉢（30）も見られる。串田新Ⅱ式とされる土器の放射性炭素の年代側定値は4330±40年前である。

SG04では、串田新Ⅱ式とされるU字状口縁（双頭）深鉢や隆帯上に刻みや縄文を施す深鉢、後期初頭とされる頸部平行沈線を切るS字文深鉢の前田式土器がある。ほかに、台形波頂深鉢、先端蕨手状となる垂下隆帯のある葉脈状文深鉢、肥厚口縁部に刻みを施す深鉢、口縁部に橋状把手がある浅鉢、蕨手隆帯が付く釣手土器がある。串田新Ⅰ式とされる工字文の土器はみられない。

肥厚口縁に刻みを施す深鉢の放射性炭素の年代側定値は4150±40年前である。

SD06では、台形波頂や三角山形波頂の深鉢、蕨手状垂下隆帯のある葉脈状文土器、肥厚口縁に無文や刻みを施す深鉢、後期初頭とされる平行沈線を切るS字文深鉢、方形区画のある前田式土器、三角形微隆起線深鉢の岩峠野式土器、帯縄文によるJ字文、紡垂文、王字文のある深鉢、肩部に微隆起線による渦巻文の壺型土器などがある。前田式土器の放射性炭素の年代側定値は3960±40年前、中津式系土器の年代側定値は4000±40年前である。

以上のことから、これら土器群は約400年間に残されたものである可能性があること、串田新Ⅰ式と串田新Ⅱ式は明確に分離できないこと、蕨手状隆帯垂下の葉脈状文土器や肥厚口縁土器など串田新式土器の系譜を引く土器が、後期へ続くものがあることが考えられる。

3. 土製品について

中出地区

土偶3点、円盤状土製品1点がある。土偶は、中期後葉～後期初頭の土偶と晩期前葉の土偶がある。円盤状土製品は、中期後葉～後期初頭とみられる。

舟岡地区第6調査区・第1調査区

耳栓3点、磨製石斧形土製品1点、土偶11点、円盤状土製品198点がある。耳栓、磨製石斧形土製品は中期後葉～後期初頭、土偶は、中期後葉～後期初頭のものと晩期の遮光器土偶がある。円盤状土製品は、中期中葉から後期初頭までのものがある。

注目されるのは、磨製石斧形土製品である。磨製石斧を模した祭祀具と考えられる。類例が少ないもので、木材加工場としての遺跡の性格を示唆するものと考えられる。

4. 石器について

中出地区

植物食料の採集・加工に関わるとみられる打製石斧・擦石・敲石・凹石は156点で全体の50%占め、漁網錘とみられる石錘は85点で27%、木材加工具である磨製石斧は45点で14%、狩猟具である石鏃は8点で3%である。この調査区は、中期前葉から中葉の土器がやや多く見られるが、石錘の割合が高いのが特徴である。

舟岡地区第6調査区・第1調査区

両地区を合わせた数量は763点で、その比率は次のとおりである。打製石斧349点（45%）、擦石20点（2%）、敲石34点（4%）、凹石46点（6%）、石皿20点（2%）、台石2点、石錘108点（14%）、磨製石斧104点（14%）、砥石10点、石鏃37点（5%）、石槍1点、石匙4点、搔器1点、削器3点、異形石器3点、剥片石器2点、玦状耳飾1点、指輪状石器1点、石棒6点、石刀1点、岩版1点、原石5点がある。

このうち、玦状耳飾・異形石器は前器のもので、石鏃・石匙・削器・剥片石器も前期のものが含まれている可能性が高い。石棒は中期中葉のもの、石刀は晩期であり、その他は、中期中葉から後期初頭のものとみられる。

植物食料の採集・加工に関わるとみられる打製石斧・擦石・敲石・凹石・石皿は469点で全体の6割を占め、漁網錘とみられる石錘と木材加工具である磨製石斧はそれぞれ14%を占め、狩猟具である石鏃などは7%である。この調査区は、中期末・後期初頭の土器が主体を占めているが、中出地区と比べ石錘の占める割合が低くなっているのが特徴である。

参考・関連文献

桜町遺跡発掘調査団2001『桜町遺跡調査概要』学生社

小矢部市教育委員会2003『富山県小矢部市桜町遺跡発掘調査報告書 弥生・古墳・古代・中世編Ⅰ』

小矢部市教育委員会2004『富山県小矢部市桜町遺跡発掘調査報告書 縄文遺構編Ⅰ 弥生・古墳・古代・中世編Ⅱ』

小矢部市教育委員会2005『富山県小矢部市桜町遺跡発掘調査報告書 縄文遺構編Ⅱ 弥生・古墳・古代・中世編Ⅲ』

能都町教育委員会・真脇遺跡発掘調査団1986『石川県真脇遺跡』

小島俊彰1972「縄文中期」『富山県史』考古編 富山県

小島俊彰2000「前田式土器様式と岩峯野土器様式の諸型式」『大境』第20・21号 富山考古学会

小島俊彰1974「北陸の縄文時代中期の編年―戦後の研究史と現状―」『大境』第5号 富山考古学会

狩野 睦1988「串田新・大杉谷式土器様式」『縄文土器大観中期Ⅱ』小学館

富樫泰時1989「貝殻沈線文系土器様式」『縄文土器大観草創期・早期・前期』小学館

海老原郁雄1988「北関東加曾利E式土器様式」『縄文土器大観中期Ⅱ』小学館

大川清・鈴木公雄・工楽善通編1996『日本土器事典』雄山閣出版

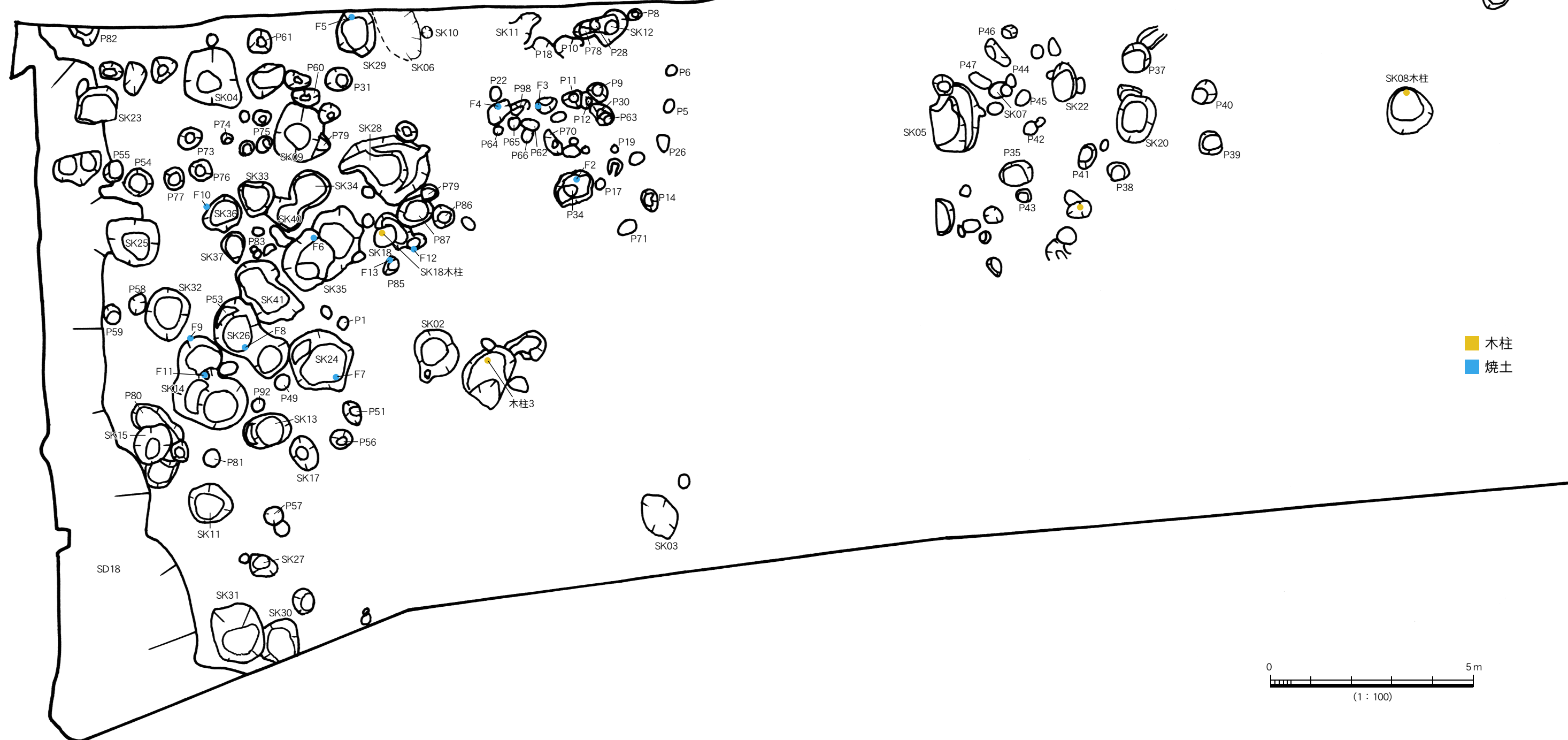
表2 縄文土器編年表

大別	略別	地 域 区 分		
		北 陸	関 東 ・ 東 北	近 畿 ・ 中 国
早 期	後 半	桜峠 〔常世〕	田戸上層 子母口 野島 鵜ヶ台 芽山下層 芽山上層	高山寺 穂谷
前 期	前 葉	佐渡・極楽寺	花積下層 関山	羽島下層Ⅱ 北白川下層Ⅰ
	中 葉	朝日C 福浦下層 蜷ヶ森Ⅰ 蜷ヶ森Ⅱ	黒浜 諸磯a 諸磯b 諸磯c	北白川下層Ⅱa 北白川下層Ⅱb 北白川下層Ⅱc
	後 葉	福浦上層 朝日下層	十三菩提	北白川下層Ⅲ 大歳山
中 期	前 葉	新保Ⅰ 新保Ⅱ 新崎Ⅰ 新崎Ⅱ 新崎Ⅲ	五領ヶ台	船元Ⅰ・鷹島
	中 葉	上山田・天神山Ⅰ 上山田・天神山Ⅱ 古府	阿玉台 勝坂 加曾利EⅠ 大木8a	船元Ⅰ 船元Ⅱ
	後 葉	古串田新 串田新Ⅰ〔大杉谷〕 串田新Ⅱ (+)	加曾利EⅡ 大木8b 加曾利EⅢ 大木9 加曾利EⅣ 大木10	里木Ⅱ・醍醐Ⅱ 里木Ⅲ・醍醐Ⅲ
後 期	前 葉	前田・岩嶺野 気屋Ⅰ 気屋Ⅱ	称名寺 堀之内Ⅰ 堀之内Ⅱ	中津 福田K・四ツ池 北白川上層
	中 葉	(+) 酒見・井口Ⅰ	加曾利BⅠ 加曾利BⅡ 加曾利BⅢ	一乗寺K 元住吉山Ⅰ
	後 葉	井口Ⅱ (井口Ⅲ) 八日市新保Ⅰ 八日市新保Ⅱ	安行Ⅰ 安行Ⅱ	元住吉山Ⅱ 宮滝 滋賀里Ⅰ
後 期 弥 生	前 葉	御経塚Ⅰ・勝木原 御経塚Ⅱ (御経塚Ⅲ)	大洞B (東北) 大洞B-C (東北)	滋賀里Ⅱ 滋賀里Ⅲ
	中 葉	中屋Ⅰ 中屋Ⅱ (中屋Ⅲ)	大洞CⅠ (東北)	滋賀里Ⅳ
	後 葉	下野Ⅰ 下野Ⅱ・長竹	大洞CⅡ (東北) 大洞A (東北)	船橋 長原
		柴山出村・大境Ⅴ	大洞A' (東北)	

(注) 桜町遺跡発掘調査団編2001『桜町遺跡調査概報』掲載のものに、中期後葉に古串田新式を加えた。

X51.0
Y87.5

X52.0
Y87.5



舟岡地区第6調査区遺構図(100分の1)

表 1－1 中出地区縄文土器一覧表（1） 第 1～5 図、図版 1～6・9

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
1	深鉢	X59.5～60 Y84.5～86	口径35.2cm 高さ残20cm	頸部くびれて胴部膨らむ、口縁部 4 突起（帯状 1、円形 1、山形 2）、縄文地に半截竹管による弧線、B 字状文	新崎式
2	〃	X56.9Y85.3	口径30.8cm 高さ29.4cm 底径10.4cm	底部から直線的に開く。口縁部でやや内湾。平口縁。上半部は半截竹管による平行線と曲線文、下半部は斜縄文	古府式
3	浅鉢	X54.7Y87	口径26.2cm 器高8.8cm	キャリパー口縁部に渦巻隆帯と長方形隆帯区画内に櫛歯文	古串田新式
4	深鉢	X55.7Y86.4	口径52cm 高さ残59cm	波状口縁、頸部わずかにくびれる。口縁部に半截竹管平行線文が巡る。胴部斜縄文	新崎式
5	〃	X59.5～60 Y84.5～85 V層	高さ残21.6cm	口縁部欠、頸部くびれる。胴部斜縄文	〃
6	台付浅鉢	X55.8Y86.4第 1 層上	口径37.6cm 高さ残11.3cm	口縁部立ち、半截竹管平行線文が巡る、口唇部に玉抱き三叉	古府式
7	深鉢	Ⅱ層	口径30cm 高さ34.4cm 底径10.8cm	口縁部波状、山形 4 波頂、底部から直線的に開く、胴部無文、補修孔あり	串田新式
8	〃	ジャリ溝	高さ残23cm 底径9.6cm	胴部強く張る、沈線による帯状区画内に縄文を施す。J 字文、底部スダレ圧痕	中津式系
9	〃	SD06カタ	口径26.4cm 高さ34.8cm 底径11cm	口縁部波状、頸部でゆるやかにくびれる。無文	串田新式
10	鉢	86X54.8かY87.2	口径24.7cm 高さ14.5cm 底径10.8cm	平口縁、口縁部内湾、長方形区画文、J 字文	中津式系
11	深鉢	X56.9Y85.3Ⅱ	厚さ10mm	小波状口縁、半截竹管による半隆起線文、口縁部内面に凸帯	古府式 (火焰形土器)
12	〃	X57.1Y85.1Ⅱ下	厚さ 9 mm	波状口縁、円形と弧状の隆帯、半截竹管文	古府式
13	罎付土器か	不明	厚さ 9 mm	顔面状隆帯上にめがね状刺突	〃
14	有孔罎付土器	SD06カタ	器壁 8 mm	罎上に約 3 cm 間隔に孔。罎の下面に波状隆起線。胴部横位の縄文、内外面赤色漆塗り	〃
15	深鉢	SD06カタ	高さ残19cm	双頭波状口縁、口縁部にヘラ刻み隆帯貼付、胴部は条線地に山形無文帯	串田新式
16	〃	カベジャリⅡ	底径12cm	底部開く、胴部隆帯による区画、隆帯上、区画内に貝殻腹縁文	〃
17	台付浅鉢	SD06ジャリⅡ	器壁 6 mm	台部	古府式

表 1－2 中出地区縄文土器一覧表（2） 第5～8図、図版6・7

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
18	罎付土器	SD06カタ	厚さ 8 mm	平行隆帯、内外とも赤漆塗	串田新式
19	深鉢	SD06ジャリⅡ底	口径26cm 高さ残33cm	平口縁、胴部やや張る、無文	〃
20	〃	87SD06カタ底	器壁 5 mm	さざなみ状口縁、羽状縄文、炭化物付着	福浦下層式
21	〃	〃	〃	〃	〃
22	〃	〃	〃	2段の爪形文	〃
23	〃	X 58.6～59 Y 84.5～87	器壁 6 mm	口唇部に細隆起線を蛇行させて貼付。斜線刻みの細隆起線で楕円区画文を施す。補修孔あり	蜆ヶ森Ⅰ式
24	〃	ジャリ川下流木付近	〃	〃	〃
25	〃	SD06カタ	口径30cm 器壁1.2cm	平口縁、口縁部内湾、半截竹管文とレ字状半隆起文	新保式
26	〃	SD06ジャリⅡ	器壁1.4cm	平口縁、口縁部内湾、円形区画内に縦の半截竹管文	〃
27	〃	株根下砂	器壁 5 mm	平口縁、口縁部内湾、口唇部に沈線巡る、縦に細かい条線	〃
28	〃	SD06ジャリ	口径29cm 器壁 9 mm	平口縁、口縁内面に段、口縁部開く、口縁部に蓮華状文、半截竹管平行線、連続刻目文	新崎式
29	〃	〃	口径約36cm	平口縁、口縁内面に段、蓮華状文	〃
30	〃	SD06ジャリⅡ底	口径約26cm 器壁 1 cm	平口縁、口縁部開く、口縁部に蓮華状文、半截竹管平行線と隆起線上に爪形文、隆起線下に小突起	〃
31	〃	ジャリⅡ上	口径約30cm 器壁 8 mm	口縁部キャリパー型、口縁部無文、胴部L R 斜縄文、口縁部境に押圧縄文	〃
32	〃	SD06南カタジャリⅡ	口径16cm 器壁7.5cm	口唇部に爪形文、胴部縄文	〃
33	〃	ジャリⅡ上	器壁 1 cm	半截竹管平行線文間に格子目文	〃
34	〃	ジャリⅡ底	器壁 8 mm	密な半截竹管平行線文	〃
35	〃	ジャリⅡ	器壁 9 mm	口唇部に紐状貼付突起	串田新式
36	〃	〃	器壁 1 cm	胴部に羽状縄文	新崎式
37	〃	〃	器壁9.5mm	複合口縁、口縁部に波状隆起線、胴部に半截竹管曲線文	古府式
38	〃	ジャリⅡ上	器壁 5 mm	複合口縁、胴部に半截竹管平行線文	〃
39	〃	SD06北カタジャリⅡ上	器壁 9 mm	外反口縁、口唇部内面肥厚、胴部に半截竹管曲線文	〃
40	〃	I	器壁 8 mm	隆起線上に連続爪形文	〃
41	〃	ジャリⅡ	器壁 9 mm	キャリパー形口縁、沈線による半隆起線	古串田新式

表 1－3 中出地区縄文土器一覧表（3） 第8～10図、図版7・8

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
42	深鉢	SD06ジャリⅡ底	器壁7.8mm	舟形土器、隆起線上に連続爪形文、縄文地	古府式
43	〃	SD06黒砂	器壁7.7mm	縄文地に半截竹管文を垂下	新崎式
44	〃	ジャリ	器壁8mm	半截竹管曲線文	古府式
45	〃	ジャリⅡ	器壁8mm	半截竹管文	〃
46	〃	ジャリ大河Ⅱ底	器壁8mm	口唇部に小突起、縄文地	〃
47	浅鉢	ジャリⅡ	器壁9mm	口唇部に沈線巡る、掘り込みによる連続山形文	〃
48	深鉢	SD06カタ下	器壁6mm	舟形土器、環状貼付に連続爪形文を施す隆起線、半隆起線	〃
49	〃	ジャリⅡ	器壁9mm	沈線による半隆起線、貝殻腹縁文	古串田新式
50	〃	〃	器壁1.2cm	渦巻状隆起線、貝殻腹縁文	〃
51	浅鉢	ジャリⅡ上	器壁0.9mm	半截竹管平行線文	古府式
52	深鉢	SX01ジャリⅡ	器壁1.2cm	沈線による半隆起線、貝殻腹縁文	古串田新式
53	浅鉢	SD06しがジャリⅡ底	器壁1.1cm	渦巻状隆起線、貝殻腹縁文	〃
54	深鉢	SX01ジャリ	器壁1cm	台形波状口縁、平行隆起線間に縦線を引く	串田新式
55	〃		器壁7mm	ゆるい波頂部は内傾、その内側に隆起線、平行隆起線	〃
56	〃		器壁1cm	双頭突起、連続ヘラ刻み	〃
57	〃	ジャリⅡ	器壁8mm	平行隆起線、連弧文、貝殻腹縁文	〃
58	〃	カベ上	器壁9mm	楕円区画文、撚糸文地文	〃
59	〃	カタⅡ	器壁7.5mm	貝殻腹縁文、平行沈線	〃
60	〃	SD06南カタジャリⅡ	器壁9mm	円形圧痕、条線文	〃
61	〃	東Ⅰ	器壁8mm	外反口縁、口縁下に段、段上に波状隆起線上の連続刻み	〃
62	〃	ジャリ川底	器壁7mm	外反口縁、口縁下に段、段上に連続刻み、縄文地文	〃
63	〃		器壁1cm	外反口縁、平行沈線を区切る逆S字文	前田式
64	〃	Ⅰ	器壁9mm	外反口縁、口縁下に段、貝殻復縁文	串田新式
65	〃		器壁1cm	貝殻復縁文押引文、条線文	〃
66	〃	センターⅠ	器壁8mm	外反口縁、口縁下に段、斜縄文	〃
67	〃	Ⅰ	器壁9mm	口唇部押圧、葉脈状	〃
68	〃	ジャリ川	器壁1cm	波状平行沈線文	〃
69	〃	Ⅱ	器壁7.5mm	葉脈状文	〃
70	〃		器壁1.6cm	葉脈状文	〃
71	〃	カベ中層	器壁1.2cm	葉脈状文、先端折れの隆起線	〃

表 1－4 中出地区縄文土器一覧表（4） 第10・159図、図版 8

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
72	深鉢	ジャリ河底	器壁 9 mm	外反口縁、平行沈線間に押引列点文	串田新式
73	〃	ジャリⅡ	器壁 8 mm	楕円区画文内に貝殻腹縁文	〃
74	〃	ジャリ川北底	器壁 1 cm	半隆起線間に押引文	岩峠野式
75	〃	SD06底ジャリ	器壁 1 cm	細隆起線文	〃
76	〃	SD06南カタジャリⅡ	器壁 1 cm	平行沈線間に列点文	串田新式
77	〃	SD06ジャリⅡ底	器壁 1 cm	縄文地に平行沈線	〃
78	〃	カベジャリⅡ	器壁 1.2cm	内湾口縁、外面粗雑なナデ	古府式
79	浅鉢	I	器壁 8 mm	直線的に開く、無文	串田新式
80	〃	I	器壁 1 cm	橋状把手、無文	〃
81	円盤状土製品	Ⅱ	器壁 7 mm	底部、周囲打ち欠き、内面に煤	〃
82	土偶	X 56.6 Y 86.2 黒	長さ 3.9cm 厚さ 1.3cm	胸部・腕部（右）、正面に乳房と沈線、背面に沈線	中期末、後期初頭
83	〃	ジャリ川底	長さ 9.8cm 厚さ 1.5cm	胸部・腕部（左）	〃
84	〃	86 X 56.1 Y 86.1	長さ 4.4cm 幅 1.4cm	腹部・脚部、正面・背面に三叉文	晩期

表 2－1 中出地区石器一覧表（1） 第11・12図、図版 10・11

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
1	打製石斧	86 X 57.3 Y 54.5 Ⅲ層上	長さ 18.2cm、刃幅 9.2cm 厚さ 3.7cm、重さ 718 g	完形、分銅形、表が礫面、刃部摩滅 閃緑岩
2	〃	86	長さ 18.5cm、刃幅 9.9cm 厚さ 2.8cm、重さ 280 g	完形、撥形、表が礫面、輝石安山岩
3	〃	86SD06 X 54.9 Y 87.2 砂礫	長さ 13.9cm、刃幅 4.5cm 厚さ 2 cm、重さ 183 g	完形、短冊形、裏が礫面、変質流紋 岩
4	〃	86 X 56.6 Y 86.9 Ⅲ層	長さ 13.9cm、刃幅 7.9cm 厚さ 3.5cm、重さ 350 g	完形、撥形、表が礫面、輝石安山岩
5	〃	87SD06 X 不明 Y 86	長さ 15.5cm、刃幅 7.5cm 厚さ 3 cm、重さ 470 g	頭部欠け、分銅形、表が礫面、輝石 安山岩
6	〃	86 X 59.1～59.4 Y 85.5～86	長さ 11.2cm、刃幅 5.7cm 厚さ 1.5cm、重さ 130 g	頭部欠け、短冊形、表が礫面、刃部 摩滅、輝石安山岩
7	〃	86 X 55.9 Y 86.8 I 層	長さ 6.4cm、頭部幅 6 cm 厚さ 2.4cm、重さ 102 g	頭部、表が礫面、輝石安山岩
8	〃	86 X 57.2 Y 85.7 Ⅱ層	長さ 5 cm、刃幅 7.2cm 厚さ 2 cm、重さ 108 g	刃部先、表が礫面、刃部摩滅、花崗 岩
9	〃	86 X 56.1～56.4 Y 86.6～86.5	長さ 12.8cm、刃幅 5.1cm 厚さ 2.2cm、重さ 176 g	刃部欠け、短冊形、表が礫面、角閃 石流紋岩
10	〃	87 X 60.2 Y 85.7	長さ 12cm、刃幅 7.7cm 厚さ 1.6cm、重さ 240 g	刃部欠け、撥形、表が礫面、石英斑 岩
11	〃	86 X 57.1 Y 86 I 層	長さ 9.4cm、刃幅 6.1cm 厚さ 2.6cm、重さ 192 g	刃部欠け、撥形、表裏とも礫面、火 山礫凝灰岩
12	〃	86 X 56.7 Y 86 Ⅱ層	長さ 9.8cm、刃幅 4.3cm 厚さ 1.6cm、重さ 84 g	刃部欠け、短冊形、表が礫面、火山 礫凝灰岩

表 2 - 2 中出地区石器一覧表 (2) 第12・13図、図版11～13

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
13	打製石斧	87 X 60 Y 85.5 I 層	長さ7.2cm、刃幅3.7cm 厚さ1.6cm、重さ76 g	頭部・刃部欠、裏面が礫面、砂岩
14	"	86 X 57.4 Y 85.3 III 層上	長さ8.3cm、刃幅4.9cm 厚さ2.2cm、重さ135 g	刃部欠け、短冊形、表裏とも剖面、 流紋岩
15	"	86 X 57.1 Y 85.2 II 層	長さ8.8cm、刃幅 5 cm 厚さ1.6cm、重さ97 g	刃部欠け、短冊形、表が礫面、火山 礫流紋岩
16	削器	86 X 56.2 Y 86.7 砂礫	長さ9.8cm、刃幅6.9cm 厚さ1.3cm、重さ104 g	完形、小判形、表が礫面、左側辺 右側辺下摩滅、右上刃部か、流紋岩
17	擦石	86 X 56.6 Y 86.2 表～ I 層	長さ18.8cm、幅6.6cm 厚さ5.2cm、重さ958 g	長細形、右側辺が平滑、砂岩
18	"	86 X 56.9 Y 85.3 II 層下	長さ16.8cm、幅6.6cm 厚さ5.4cm、重さ971 g	長細形、右側辺が平滑、輝石安山岩
19	"	86 X 57 Y 85.3 II 層	長さ12cm、幅7.6cm 厚さ4.6cm、重さ649 g	小判形、左右側面が平滑、輝石安山 岩
20	"	86 X 57.1 Y 85.2 II 層	長さ14.5cm、幅5.9cm 厚さ3.9cm、重さ579 g	小判形、左右両側摩滅、花崗閃緑岩
21	敲石	86 X 56.8 Y 85.9 II 層	長さ15.6cm、幅 6 cm 厚さ4.1cm、重さ621 g	小判形、上端敲打、輝石安山岩
22	"	86SD11 X 56 Y 86.5	長さ14.7cm、幅4.9cm 厚さ2.8cm、重さ308 g	小判形、上端敲打、輝石安山岩
23	"	86 X 57.5 Y 85.1 III 上層	長さ13.7cm、幅 5 cm 厚さ3.5cm、重さ285 g	小判形、下端敲打、裏面に凹み、 流紋岩
24	"	87SD11 X 58.7 Y 85.3 中層	長さ17cm、幅6.5cm 厚さ4.9cm、重さ961 g	棒状礫、上下両端敲打、花崗閃緑岩
25	"	86SD11 X 56.4 Y 86.3	長さ14.1cm、幅4.7cm 厚さ 4 cm、重さ404 g	棒状礫、上下両端敲打、輝石安山岩
26	"	86 X 57.2 Y 85.3 II 層	長さ13cm、幅 4 cm 厚さ3.7cm、重さ342 g	棒状礫、上下両端敲打、裏面左右両 側辺敲打、砂岩
27	"	87 X 60.1～60.5 Y 86～86.5 II 層	長さ14.3cm、幅 5 cm 厚さ4.5cm、重さ519 g	棒状礫、上下両端敲打、表面及び左 右両側辺敲打、裏面に凹み、下半部 に敲打による凹み巡る、砂岩
28	"	86 X 57.3 Y 85.8 II 層	長さ8.5cm、幅6.7cm 厚さ4.7cm、重さ412 g	棒状礫、上下両端敲打、左側辺敲打 輝石安山岩
29	"	86 X 56.8 Y 86 II 層	長さ8.5cm、幅4.2cm 厚さ4.3cm、重さ227 g	楕円礫、下端敲打、砂岩
30	"	86 X 57.1 Y 85.4 II 層	長さ7.9cm、幅6.3cm 厚さ4.5cm、重さ309 g	楕円礫、上下両端敲打、左側辺敲打 輝石安山岩
31	"	87押水線側	長さ11.2cm、幅9.1cm 厚さ4.6cm、重さ660 g	小判形、下端に敲打痕、流紋岩
32	"	86 X 56.9 Y 85.1	長さ9.9cm、幅7.7cm 厚さ3.7cm、重さ454 g	小判形、左側辺に敲打痕、砂岩
33	"	86 X 57.1 Y 85 II 層	長さ93.5cm?、幅8.1cm 厚さ4.5cm、重さ549 g	楕円形、側辺全体に敲打痕、砂岩

表 2－3 中出地区石器一覧表（3） 第13・14図、図版13～15

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
34	敲石	86 X 57.5 Y 86.8 I 層	長さ7.8cm、幅7.3cm 厚さ7.7cm、重さ483 g	円形、下側辺に敲打痕、輝石安山岩
35	〃	86SD11 X 55.5 Y 86.5	厚さ7.7cm、重さ483 g 厚さ5.5cm、重さ664 g	楕円礫、上下端敲打、花崗斑岩
36	〃	86SD11 X 56.4 Y 86.3	長さ9.7cm、幅7.1cm 厚さ 5 cm、重さ529 g	楕円礫、下端敲打、輝石安山岩
37	〃	86 X 56.9 Y 86.1	長さ9.4cm、幅8.7cm 厚さ4.7cm、重さ554 g	楕円礫、左欠損、右端敲打、砂岩
38	凹石兼敲石	86 X 57.1 Y 85.3 II 層	長さ9.1cm、幅8.7cm 厚さ4.7cm、重さ574 g	円形、表裏に浅い敲打痕、上側辺敲打痕、砂岩
39	凹石	86 X 57.1 Y 85.2 II 層	長さ10.8cm、幅6.5cm 厚さ3.7cm、重さ421 g	小判形、表裏に敲打痕、砂岩
40	〃	86 X 57.1 Y 85.5 II 層	長さ9.4cm、幅9.3cm 厚さ 4 cm、重さ570 g	円形、表裏に敲打痕、砂岩
41	〃	86 X 57.1 Y 85.3 II 層	長さ9.4cm、幅8.6cm 厚さ 4 cm、重さ456 g	楕円形、表裏に敲打痕、輝石デイスait
42	〃	86SD11 X 55.8 Y 86.5	長さ10.9cm、幅6.6cm 厚さ3.3cm、重さ402 g	楕円形、表裏に浅い敲打痕、火山礫凝灰岩
43	〃	86 X 57.4 Y 85.7 II 下層	長さ11.3cm、幅4.9cm 厚さ4.8cm、重さ434 g	楕円形、表裏に2カ所ずつの敲打痕 砂岩
44	〃	86 X 57 Y 85.3 II 下層	長さ10.9cm、幅8.3cm 厚さ4.9cm、重さ631 g	楕円形、表裏に2カ所ずつの敲打痕 上側辺に敲打痕、輝石安山岩
45	〃	86 X 56.7 Y 85.5 I 層	長さ8.9cm、幅7.3cm 厚さ4.1cm、重さ418 g	楕円形、表裏に浅い敲打痕、輝石安山岩
46	〃	86 X 57.1 Y 85.5 II 層	長さ10cm、幅 9 cm 厚さ5.5cm、重さ701 g	楕円形、表面に1カ所、裏面に浅い 敲打痕、砂岩
47	〃	86 X 57.1 Y 85.5 II 層	長さ9.7cm、幅7.8cm 厚さ4.2cm、重さ435 g	楕円形、表裏に敲打痕、右側辺にも 敲打痕、輝石安山岩
48	〃	86 X 57.3 Y 85.7 III 層	長さ8.9cm、幅8.1cm 厚さ4.6cm、重さ401 g	楕円形、表裏に敲打痕、流紋岩質凝 灰岩
49	〃	86 X 56.7 Y 85.5 I 層	長さ9.6cm、幅9.2cm 厚さ3.7cm、重さ495 g	円形、表裏に敲打痕、砂岩
50	〃	86 X 55.9 Y 86砂	長さ10.2cm、幅9.8cm 厚さ3.9cm、重さ668 g	円形、表裏に敲打痕、側辺周囲にも 敲打痕、輝石安山岩
51	〃	86 X 57.1 Y 85.2 II 層	長さ14.2cm、幅5.1cm 厚さ3.5cm、重さ403 g	棒状、表裏に2～3カ所の敲打痕、 流紋岩
52	〃	86SD11 X 55.5 Y 86.5	長さ12cm、幅5.3cm 厚さ3.3cm、重さ318 g	棒状、表裏に敲打痕、砂岩
53	〃	86SD11 X 55.7 Y 86.5	長さ10.3cm、幅7.6cm 厚さ4.7cm、重さ524 g	楕円形、表裏に敲打痕、下側辺にも 敲打痕、輝石安山岩
54	〃	86 X 57.1 Y 85.3 II 層	長さ10.5cm、幅6.9cm 厚さ3.7cm、重さ418 g	楕円形、表に敲打痕、石英斑岩
55	〃	86 X 56.8 Y 85.8 II 層	長さ11.6cm、幅6.3cm 厚さ5.1cm、重さ448 g	楕円形、表に敲打痕、上側辺にも敲 打痕、流紋岩

表 2－4 中出地区石器一覧表（4） 第14・15図、図版15～18

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
56	凹石	86 X 56.9 Y 85.7 II 層	長さ10.7cm、幅5.3cm 厚さ4.1cm、重さ320 g	棒状、表に敲打による凹み、砂岩
57	"	86SD11 X 56.9 Y 86.1	長さ9.8cm、幅6.9cm 厚さ3.8cm、重さ412 g	楕円形、表裏に敲打による凹み、砂岩
58	"	86 X 56.5 Y 86.9 II 層	長さ11.8cm、幅6.1cm 厚さ4.1cm、重さ339 g	楕円形、表裏と右側辺に敲打による凹み、流紋岩
59	"	86 X 56.8 Y 85.4 II 層	長さ9.8cm、幅6.0cm 厚さ4.6cm、重さ396 g	楕円形、表に敲打による凹み、砂岩
60	"	86SD11 X 57 Y 84.9 II 層	長さ7.5cm、幅6.0cm 厚さ3.5cm、重さ231 g	楕円形、表に敲打による凹み、砂岩
61	"	86 X 57 Y 85 II 下層	長さ7.7cm、幅 6 cm 厚さ4.4cm、重さ297 g	楕円形下欠け、表裏に敲打による凹み、砂岩
62	"	86 E 区北	長さ8.7cm、幅4.2cm 厚さ2.9cm、重さ161 g	棒状、表に敲打による凹み、砂岩
63	"	86 X 56.5 Y 86.5北溝埋土	長さ9.7cm、幅6.2cm 厚さ4.4cm、重さ420 g	楕円形、表裏に敲打痕、砂岩
64	切傷のある石	87 X 59.5 Y 86.5 II 層	長さ12.7cm、幅12.4cm 厚さ2.9cm、重さ767 g	円形、表に切り傷、輝石安山
65	石錘	86SD11 X 55.9 Y 86.6	長さ9.4cm、幅 7 cm 厚さ2.8cm、重さ291 g	小判形、上下側辺に欠き込み、流紋岩
66	"	86 X 57.1 Y 85.4 II 層	長さ10.3cm、幅7.2cm 厚さ2.3cm、重さ234 g	小判形、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
67	"	86 X 55.9 Y 86.8 I 層	長さ10cm、幅7.2cm 厚さ2.8cm、重さ312 g	楕円形、上下側辺に欠き込み、砂岩
68	"	86 X 55.5 Y 86.5砂礫	長さ8.9cm、幅 8 cm 厚さ 3 cm、重さ305 g	円形、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
69	"	86 X 57.1 Y 85.5 II 層	長さ11.2cm、幅5.4cm 厚さ2.1cm、重さ185 g	長楕円形、上下側辺に欠き込み、流紋岩
70	"	86 X 55.8 Y 86.5	長さ10.6cm、幅6.5cm 厚さ2.6cm、重さ260 g	長楕円形、上下側辺に欠き込み、流紋岩
71	"	86 X 56.5 Y 86.7 II 層	長さ8.9cm、幅7.7cm 厚さ2.6cm、重さ254 g	円形、上下側辺に欠き込み、石英斑岩
72	"	86 X 57.1 Y 85.5 II 層	長さ8.9cm、幅6.7cm 厚さ2.9cm、重さ253 g	小判形、上下側辺に欠き込み、石英斑岩
73	"	86 X 57.3 Y 85.8 II 層	長さ10.6cm、幅5.1cm 厚さ2.3cm、重さ181 g	長楕円形、上下側辺に欠き込み、石英斑岩
74	"	87 X 58 Y 85付近Ⅲ～Ⅳ層	長さ9.5cm、幅4.4cm 厚さ2.3cm、重さ176 g	長楕円形、上下側辺に欠き込み、礫岩
75	"	87SD11 X 58.8 Y 85.2	長さ8.4cm、幅 7 cm 厚さ1.7cm、重さ151 g	小判形、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
76	"	86 X 55.4 Y 86.7 I 層	長さ8.3cm、幅6.6cm 厚さ 3 cm、重さ248 g	楕円形、上下側辺に欠き込み、アブライト
77	"	86 X 56.8 Y 86.6 II 下層	長さ8.3cm、幅6.6cm 厚さ2.9cm、重さ257 g	小判形、上下側辺に欠き込み、礫岩

表 2－5 中出地区石器一覧表（5） 第15・16図、図版18～20

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
78	石 錘	86溝E 2 区	長さ7.9cm、幅7.3cm 厚さ2.9cm、重さ255 g	円形、上下側辺に欠き込み、流紋岩
79	"	86SD11 X 55.5 Y 86.5砂礫	厚さ2.9cm、重さ255 g 厚さ2.4cm、重さ184 g	小判形、上下側辺に欠き込み、流紋岩
80	"	86 X 57.3 Y 85.7 II 層	長さ7.8cm、幅7.3cm 厚さ3.7cm、重さ286 g	円形、上下側辺に欠き込み、花崗閃緑岩
81	"	86SD11 X 56.9 Y 86.1	長さ 8 cm、幅6.7cm 厚さ2.9cm、重さ241 g	小判形、上下側辺に欠き込み、砂岩
82	"	86 X 56.7 Y 86 II 層	長さ 8 cm、幅 6 cm 厚さ3.2cm、重さ203 g	小判形、上下側辺に欠き込み、輝石デイトライト
83	"	86 X 57.2 Y 86.2表～ I 層	長さ8.3cm、幅5.6cm 厚さ 2 cm、重さ146 g	小判形、上下側辺に欠き込み、砂岩
84	"	86 X 55.4 Y 86.5 I 層	長さ7.5cm、幅6.6cm 厚さ1.8cm、重さ147 g	円形、上下側辺に欠き込み、砂岩
85	"	86 X 57.2 Y 85.1 II 層	長さ8.1cm、幅6.6cm 厚さ1.8cm、重さ144 g	小判形、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
86	"	86 X 56.8 Y 85.4 II 層	長さ 8 cm、幅6.9cm 厚さ2.2cm、重さ160 g	小判形、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
87	"	86SD11 X 56.9 Y 86.1	長さ7.9cm、幅7.3cm 厚さ 2 cm、重さ156 g	円形、上下側辺に欠き込み、流紋岩
88	"	86 X 56.8 Y 85.4 II 層	長さ7.8cm、幅5.6cm 厚さ2.3cm、重さ132 g	小判形、上下側辺に欠き込み、流紋岩
89	"	87A 5 区 I 層	長さ7.5cm、幅5.5cm 厚さ2.0cm、重さ138 g	小判形、上下側辺に欠き込み、砂岩
90	"	86 X 56.9 Y 85.3 II 下層	長さ8.4cm、幅5.9cm 厚さ2.9cm、重さ215 g	小判形、上下側辺に欠き込み、流紋岩
91	"	86SD11 X 56.7 Y 86.1	長さ8.7cm、幅5.8cm 厚さ1.9cm、重さ151 g	小判形、上下側辺に欠き込み、流紋岩
92	"	86 X 56.5 Y 86.5 III 上層	長さ8.2cm、幅 5 cm 厚さ1.5cm、重さ103 g	小判形、上下側辺に欠き込み、砂岩
93	"	86 X 56.8 Y 85.4 II 層	長さ7.7cm、幅5.8cm 厚さ2.7cm、重さ194 g	小判形、上下側辺に欠き込み、砂岩
94	"	86 X 57.1 Y 86.2 II 層	長さ8.1cm、幅5.0cm 厚さ1.7cm、重さ104 g	小判形、上下側辺に欠き込み、流紋岩
95	"	86 X 56.7 Y 86 II 層	長さ7.2cm、幅6.2cm 厚さ2.8cm、重さ194 g	小判形、上下側辺に欠き込み、砂岩
96	"	86DW、P－3	長さ 8 cm、幅6.2cm 厚さ2.1cm、重さ156 g	楕円形、上下側辺に欠き込み、流紋岩
97	"	86SD11 X 57.2 Y 86	長さ7.7cm、幅5.1cm 厚さ2.1cm、重さ164 g	小判形、上下側辺に欠き込み、花崗閃緑岩
98	"	86 X 56 Y 86.7砂礫	長さ6.9cm、幅6.1cm 厚さ1.5cm、重さ99 g	楕円形、上下側辺に欠き込み、流紋岩
99	"	86 X 55.4 Y 86.8溝状砂礫	長さ7.3cm、幅5.6cm 厚さ1.6cm、重さ111 g	楕円形、上下側辺に欠き込み、砂岩

表 2－6 中出地区石器一覧表（6） 第16・17図、図版20～21

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
100	石錘	86X57.2Y85.9Ⅱ層	長さ7.5cm、幅5cm 厚さ1.9cm、重さ110g	楕円形、上下側辺に欠き込み、安山 岩質凝灰岩
101	〃	86X56.7Y86.5Ⅲ層	長さ6.5cm、幅4.4cm 厚さ0.9cm、重さ28g	楕円形、上下側辺に欠き込み、頁岩
102	〃	86SE01X57.1Y85.6	長さ7.3cm、幅5.9cm 厚さ1.4cm、重さ85g	楕円形、上下側辺に欠き込み、輝石 安山岩
103	〃	86X57.1Y85.5Ⅱ層	長さ7.2cm、幅5.5cm 厚さ1.5cm、重さ88g	小判形、上下側辺に欠き込み、輝石 安山岩
104	〃	86X56.5Y86.7Ⅱ層	長さ6.9cm、幅5.2cm 厚さ1.9cm、重さ114g	小判形、上下側辺に欠き込み、砂岩
105	〃	86X56.4Y86Ⅰ層	長さ6.7cm、幅5.5cm 厚さ1.8cm、重さ113g	小判形、上下側辺に欠き込み、頁岩
106	〃	86X56.4Y86.5	長さ7.3cm、幅5.5cm 厚さ1.4cm、重さ83g	小判形、上下側辺に欠き込み、流紋 岩
107	〃	86X56.8Y85.4Ⅱ層	長さ6.7cm、幅5.7cm 厚さ2.3cm、重さ146g	小判形、上下側辺に欠き込み、砂岩
108	〃	86X57Y86表土	長さ6.9cm、幅5.5cm 厚さ1.5cm、重さ74g	小判形、上下側辺に欠き込み、火山 礫凝灰岩
109	〃	86X56.8Y85.4Ⅱ層	長さ7.3cm、幅4.5cm 厚さ2.5cm、重さ110g	棒状、上下側辺に欠き込み、頁岩
110	〃	86X56.9Y85.7Ⅱ層	長さ6.6cm、幅5cm 厚さ1.6cm、重さ88g	棒状、上下側辺に欠き込み、輝石安 山岩
111	〃	86SD11X57Y85.5Ⅲ上	長さ6.7cm、幅4.5cm 厚さ2.2cm、重さ94g	小判形、上下側辺に欠き込み、輝石 安山岩
112	〃	86溝X57.4Y85.9	長さ7cm、幅5cm 厚さ1.5cm、重さ81g	楕円形、上下側辺に欠き込み、安山 岩質凝灰岩
113	〃	86X57.3Y85.6Ⅱ層	長さ6.1cm、幅5.1cm 厚さ2.2cm、重さ109g	楕円形、上下側辺に欠き込み、火山 礫凝灰岩
114	〃	86X57.5Y85.5Ⅲ上層	長さ6.1cm、幅5.1cm 厚さ3.1cm、重さ114g	小判形、上下側辺に欠き込み、安山 岩質凝灰岩
115	〃	86X56.2Y86.3Ⅰ層	長さ5.9cm、幅4.9cm 厚さ2.1cm、重さ81g	小判形、上下側辺に欠き込み、輝石 安山岩
116	〃	86X57Y86Ⅱ層	長さ6.4cm、幅4.4cm 厚さ1.7cm、重さ70g	小判形、上下側辺に欠き込み、輝石 安山岩
117	〃	86SD11X55.5Y86.5砂礫	長さ6.2cm、幅4.8cm 厚さ1.5cm、重さ72g	楕円形、上下側辺に欠き込み、輝石 安山岩
118	〃	86SD11X56.9Y86.1	長さ6.6cm、幅4.1cm 厚さ1.5cm、重さ64g	小判形、上下側辺に欠き込み、輝石 安山岩
119	〃	86X56.9Y85.6Ⅱ層	長さ6.1cm、幅4.5cm 厚さ1.6cm、重さ73g	楕円形、上下側辺に欠き込み、砂岩
120	〃	86X57Y85.3Ⅱ層	長さ5.3cm、幅3.9cm 厚さ1.6cm、重さ50g	楕円形、上下側辺に欠き込み、輝石 安山岩
121	〃	86X57.3Y85.7Ⅱ層	長さ5.2cm、幅3.4cm 厚さ1.1cm、重さ32g	小判形、上下側辺に欠き込み、輝石 安山岩

表 2－7 中出地区石器一覧表（7） 第17・18図、図版21～23

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
122	石鏃	86不明	長さ 2 cm、幅1.9cm 厚さ 3 mm、重さ0.6 g	完形、三角、凹基、黒曜石
123	〃	〃	長さ1.7cm、幅1.6cm 厚さ2.8mm、重さ0.3 g	完形、三角、凹基 無斑晶ガラス質安山岩
124	〃	〃	長さ2.4cm、幅1.7cm 厚さ3.5mm、重さ1.5 g	完形、長め、凹基 無斑晶ガラス質安山岩
125	〃	〃	長さ3.5cm、幅1.7cm 厚さ4.1mm、重さ2.2 g	基部欠け、細長、凹基 無斑晶ガラス質安山岩
126	〃	86 X57.2 Y85.4Ⅱ層	長さ3.3cm、幅1.7cm 厚さ3.3mm 重さ1.5 g	基部欠け、細長、凹基 無斑晶ガラス質安山岩
127	〃	86 X56.8 Y86Ⅱ層	長さ4cm、幅1.4cm 厚さ3.5mm、重さ 2 g	左側辺欠け、細長、凹基 無斑晶ガラス質安山岩
128	〃	86溝 X54.7 Y87.5	長さ3.6cm、幅1.4cm 厚さ4.3mm、重さ1.4g	完形、細長、凸基、流紋岩
129	〃	86大溝 X55.1 Y87砂礫	長さ2.5cm、幅2.1cm 厚さ0.5cm、重さ3.2 g	未製品か、三角 黒曜石（松脂岩）
130	原石	86 X56.7 Y86.3Ⅲ層	長さ 9 cm、幅5.2cm 厚さ 3 cm、重さ163 g	全面剥離面 黒曜石（松脂岩）
131	〃	86 G区深掘 1	長さ2.9cm、幅2.1cm 厚さ0.9cm、重さ 7 g	黒曜石（松脂岩）
132	〃	86D 1－7 X55.7 Y86.7 不定形落ち込み	長さ1.9cm、幅1.4cm 厚さ0.8cm、重さ3.1 g	自然礫、めのう
133	磨製石斧	86D 9－2 X55.5 Y86.6砂礫	長さ13.9cm、幅 7 cm 厚さ2.6cm、重さ531 g	定角式短冊形、刃部左側斜め、刃部 中央欠け、変質蛇紋岩
134	〃	86 X56.7 Y85.5Ⅰ層	長さ13.6cm、幅6.3cm 厚さ2.6cm、重さ494 g	定角式短冊形、刃部欠け、蛇紋岩
135	〃	86 X56.8 Y85.8Ⅱ層	長さ13.7cm、幅6.6cm 厚さ2.6cm、重さ366 g	定角式撥形、刃部欠け、右側辺欠 損、蛇紋岩
136	〃	86 X57.5 Y85.4Ⅱ層	長さ11.7cm、幅5.9cm 厚さ2.5cm、重さ348 g	定角式撥形、刃部欠損、変質蛇紋岩
137	〃	86 X56.5 Y86.6明黄褐色 砂質土	長さ10.3cm、幅6.1cm 厚さ2.2cm、重さ276 g	定角式撥形、刃部欠損、変質蛇紋岩
138	〃	86 X56.8 Y85.2Ⅱ層	長さ11.7cm、幅5.5cm 厚さ2.2cm、重さ302 g	定角式撥形、刃部欠損、蛇紋岩
139	〃	86SD11 X56.7 Y86.1	長さ11.8cm、幅5.4cm 厚さ2.6cm、重さ307 g	定角式撥形、刃部欠損、蛇紋岩
140	〃	86D 3－3区	長さ11.2cm、幅5.0cm 厚さ1.8cm、重さ215 g	定角式撥形、刃部右欠け、蛇紋岩
141	〃	86 X57.1 Y85.5Ⅱ層	長さ10.1cm、幅5.1cm 厚さ2.7cm、重さ295 g	定角式撥形、刃部欠損、蛇紋岩
142	〃	87SD11上 X58.6 Y85.2	長さ7.6cm、幅5.1cm 厚さ2.2cm、重さ154 g	定角式短冊形、頭部欠損、火山礫凝 灰岩
143	〃	86 X56.9 Y86.4Ⅲ上層	長さ8.9cm、幅6.8cm 厚さ2.6cm、重さ246 g	定角式短冊形、頭部欠損、蛇紋石

表 2－8 中出地区石器一覧表（8） 第18・19図、図版23・24

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
144	磨製石斧	86X56.9Y85.3Ⅱ層	長さ9.2cm、幅7.3cm 厚さ3cm、重さ301g	定角式短冊形、刃部左欠け、頭部欠損、蛇紋岩
145	〃	86X56.9Y85.3Ⅱ層	長さ7.6cm、幅6cm 厚さ2.5cm、重さ188g	定角式短冊形、頭部欠損、滑石
146	〃	86X56.9Y85.3Ⅱ層	長さ8.3cm、幅4.3cm 厚さ1.4cm、重さ109g	定角式短冊形、刃部右欠け、蛇紋岩
147	〃	86X56.7Y85.6Ⅰ層	長さ6.8cm、幅3.7cm 厚さ10cm、重さ51g	定角式短冊形、頭部右欠け、流紋岩
148	〃	86X56.9Y86.3Ⅱ層	長さ5.9cm、幅3.7cm 厚さ1.3cm、重さ52g	定角式短冊形、刃部欠損、蛇紋岩
149	〃	86X57Y86.3Ⅲ上層	長さ6.7cm、幅3.9cm 厚さ1.5cm、重さ77g	定角式短冊形、刃部全体欠け、流紋岩
150	〃	86X57Y85.2Ⅱ層	長さ5.1cm、幅5cm 厚さ2.1cm、重さ103g	定角式短冊形、頭部片、緑色変質流紋岩
151	〃	86X56.1Y86.2Ⅰ層	長さ8cm、幅4.5cm 厚さ2.6cm、重さ131g	未成品、全体整形敲打、表面にのみ研磨痕、刃部欠損、滑石
152	〃	87SD10X58.6～59Y86～86.5	長さ8.4cm、幅5.1cm 厚さ2cm、重さ141g	定角式撥形、刃部左右欠け、蛇紋岩
153	石刀	87SD11中X58.1～58.5Y85.5～86	長さ6.1cm、幅4.0cm 厚さ2.1cm、重さ65g	両端欠損、刃部丸く未製品か、流紋岩
154	〃	87SD11下X58.6～59Y85～85.5	長さ8.4cm、幅2.7cm 厚さ0.9cm、重さ46g	先端部、断面板状、頁岩
155	石冠	86SD11X57.5Y85.9	長さ9.3cm、幅7.1cm 厚さ3.1cm、重さ136g	縦半分に割れ、頭部石棒状、基部に浅い溝巡る、被熱して赤化、流紋岩質凝灰岩
156	岩版	87SI01F-2カマド	長さ6.2cm、幅7.5cm 厚さ3.8、重さ86.6g	先端部のみ。先端部に沈線を巡らす、流紋岩質凝灰岩
157	凹石	86X56.9Y85.6中州	長さ35cm、幅22cm 厚さ3.5cm、重さ238.5g	表面に1、裏面に11カ所余の凹み、凝灰岩
158	砥石	86X56.7Y84.9Ⅱ層	長さ20cm、幅12cm 厚さ5cm、重さ110g	表面上部平滑、平滑面に筋状の擦痕、下部と裏面に凹みあり、流紋岩質凝灰岩
159	〃	86X55.8Y86.7Ⅰ層	長さ17.6cm、幅19.3cm 厚さ2.6cm、重さ765g	表面は中央部平滑、周辺に凹みあり、上下右欠損、流紋岩質凝灰岩
160	〃	87SD11X58.7Y85.3	長さ18.0cm、幅13.8cm 厚さ5.4cm、重さ1624g	不整形板状自然礫、上部欠損、表面右側が摩滅、砂岩
161	〃	86SD11	長さ12.6cm、幅6.6cm 厚さ6.1cm、重さ904g	長方形角状、表裏左右面及び下端面摩滅、砂岩
162	〃	86SD11X56.2Y86.4砂礫	長さ9.8cm、幅6.9cm 厚さ3.1cm、重さ354g	長方形板状、上部欠損、表裏左右面及び下端面摩滅、砂岩

表 3 - 1 舟岡地区縄文土器一覧表 (1) 第 6 調査区 第20～24図、図版25～29

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
1	深鉢	88SG01黒 2 X 54 Y 86.8	口径26.8cm 器高残31.5cm	平口縁に突起、口縁部・頸部に半截竹管平行線文と爪形文、胴部縄文地に沈線垂下	新崎式
2	〃	89SG01 X 53.7 Y 87.1	口径34cm 器高36cm 底径12.5cm	波状口縁、口縁部・頸部に半截竹管平行線文と爪形文、胴部縄文	〃
3	〃	88SG01黒 1 X 53.7 Y 86.9	口径19cm 器高残 9 cm	波状口縁、山形 6 波頂か、波頂部に円孔、胴部縄文地に沈線文	串田新式
4	壺形土器	88SG01黒 2 X 53.9 Y 86.9	器高残10cm 底径11.5cm	口縁部欠け、胴部縦縄文、内面黒漆塗 (漆容器か)	〃
5	深鉢	88SG01黒 2 X 53.9 Y 86.7	口径27cm 器高残12.4cm	平口縁、頸部沈線、胴部縦条痕文	〃
6	浅鉢	89SG01 X 53.7 Y 86.8	口径42.2cm 器高14.3cm 底径10cm	平口縁、口縁部内傾、口唇部隆帯貼付	古府式
7	〃	89SG01 X 53.8 Y 87	口径48.8cm 器高15cm 底径12.4cm	平口縁、口縁部内傾、口縁部に C 字状隆帯、その口唇部に玉炊き抱き三叉文、半截竹管平行線文	〃 (上山田・天神山式か)
8	台付浅鉢	89SG01灰粘 X 53.7 Y 86.9	口径24cm 器高残9.5cm	平口縁、口唇部隆帯貼り付け、口縁部に半截竹管平行線文	古府式
9	〃	89SG01青灰白砂礫 X 53.8 Y 87.5	口径42.8cm 器高17.5cm 台径12cm	平口縁、口唇部に半截竹管平行線 1 条巡る	〃
10	深鉢	89SG01黒ベルト X 53.8 Y 87	口径26.5cm 器高25cm 底径13.5cm	平口縁、2 つ頭 4 突起、口縁部に入り組み隆帯、工字文、貝殻腹縁文、胴下部縄文	串田新式
11	〃	89SG01黒 2 X 53.9 Y 86.8他	口径18.2cm 器高残15.3cm	波状口縁、W 字形 2 波状、U 字形 2 波状、口縁部に工字文と貝殻腹縁文、胴下部縄文	〃
12	〃	89SG01黒 1 X 53.9 Y 87.1他	口径26.8cm 器高26.3cm 底径13cm	平口縁、4 突起、口縁部に工字文と貝殻腹縁文、胴部縄文	〃
13	〃	88SG01黒 2 X 53.7 Y 86.9	口径21.4cm 器高残20.4cm	平口縁、口縁部に工字文と貝殻腹縁文、胴部縄文	〃
14	〃	89SG01黒ベルト	器高残18.2cm 底径11.5cm	口縁部平行隆帯間に縦線、2 本紐把手、胴部撚糸文、充てん楕円区画文	〃
15	〃	88SG01黒 1 X 53.8 Y 86.9	口径22.4cm 器高残10.6cm	波状口縁、キャリパー口縁に隆帯区画文、頸部列点文、胴部 4 本縦線	大杉谷式
16	〃	89SG01黒 2 X 53.9 Y 86.6	器高残23.7cm 底径14cm	垂下する平行隆帯上に貝殻腹縁文	串田新式
17	〃	89SG01黒 2	器高残18cm 底径13.8cm	底部張り出す、縦位と横位に沈線による半隆起線	〃

表 3 - 2 舟岡地区縄文土器一覧表 (2) 第6 調査区 第24～30図、図版29～36

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
18	小型深鉢	89SG01黒 2 X53.9Y86.9	器高残6.9cm 底径6.3cm	底部張り出す、沈線による半隆起線間に短線刻み	串田新式
19	深鉢	88SG01黒 1 X53.1Y86.9	口径24.8cm 器高残27.6cm	平口縁、キャリパー口縁に隆帯区画文、胴部縦方向の縄文帯と無文帯	加曾利EⅢ式
20	〃	89SG01黒 2・3 X54Y86.6他	口径36.5cm 器高残36.2cm	平口縁、口縁部縄文充てん楕円区画文と縦線、胴部横位縄文	串田新式
21	〃	88SG01黒 2 X53.8Y86.9	口径43.1cm 器高残35.6cm	波状口縁、双頭波頂、波頂部に橋状把手、口縁部・胴部に貝殻腹縁文、山形とH形の無文帯	〃
22	〃	88SG01黒 2 X54Y86.8	口径28cm 器高残27.4cm	波状口縁、U字状波頂、胴部無文	〃
23	〃	89SG01黒 1	口縁部29cm 器高残22.5cm	波状口縁、U字状4波頂、口縁部平行沈線と貝殻腹縁文、胴部撚糸文	〃
24	〃	89SG01黒 3 X53.9Y86.9他 88SG02黒 1 X51.3Y86.8他	口径24.4cm 器高32cm 底径11.6cm	波状口縁、山形波頂、口縁部に隆帯と貝殻腹縁文、胴部条線と縄文にU字状無文帯	〃
25	〃	88SG01黒 2 X53.4Y86.9	口径33.5cm 器高11.6cm	波状口縁、山形波頂、口縁部に隆帯と貝殻腹縁文、隆帯下に爪跡、胴部条線にU字状無文帯か	〃
26	〃	88SG01黒 2 X54Y86.7	口径28cm 器高残18.4cm	波状口縁、山形4波頂、口縁部に隆帯とへう刻み、胴部条痕文に逆U字状無文帯	〃
27	〃	88SG01黒 2 X54Y86	口径31.4cm 器高39.1cm 底径9.8cm	波状口縁、山形波頂、口縁部に隆帯と貝殻腹縁文、胴部条線と山の字無文帯、底部ござ編み圧痕	〃
28	〃	88SG01黒 2 X53.9Y86.7	器高残16.7cm 底径10cm	胴部U字状無文帯と貝殻腹縁文	〃
29	〃	88SG01黒 2 X54Y86.7	器高残20.6cm	胴部U字状無文帯と条痕文	〃
30	〃	88SG01黒 1・2 X54Y86.8他	口径31.6cm 器高残35.4cm	波状口縁、山形波頂、口縁部に隆帯と貝殻腹縁文、胴部長楕円区画文と綾杉状文	〃
31	〃	89SG01黒 1・2	口径23cm 器高残13cm	波状口縁、山形4波頂、頸部に平行沈線、胴部撚糸文	〃
32	〃	88SG01黒 2 X54Y86.7他	器高残25cm 底径10.4cm	胴部条痕文	〃
33	〃	88SG01黒 2 X53.9Y86.6	口径31.5cm 器高35cm 底径13.4cm	波状口縁、山形波頂、波頂部に円形凹み、口縁部に刻みのある隆帯、胴部条線と連弧状無文帯	〃

表 3 - 3 舟岡地区縄文土器一覧表 (3) 第 6 調査区 第31～34図、図版36～42

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
34	深鉢	89SG01黒 3 X53.9Y86.9	器高残37.8cm	波状口縁、胴上部貝殻腹縁文と連弧状無文帯、銅下部膨らみ、条痕文	串田新式
35	"	88SG01黒 1 X53.9Y86.7	口径20cm 器高24.4cm 底径9.2cm	波状口縁、山形 4 波頂、頸部に平行弧状沈線、口縁部・胴部条痕文	"
36	"	89SG01黒 2 X53.9Y85.9	口径28.4cm 器高31.6cm 底径10.8cm	波状口縁、山形波頂、波頂部押圧、口縁部に平行弧状沈線、口縁部・胴部撚糸文、下部無文	"
37	"	88SG01黒 2 X54Y86.7	口径22.8cm 器高24.7cm 底径9.8cm	波状口縁、7つの山形波頂、銅下部膨らむ、キャリパー口縁部に列点文と沈線、胴部垂下隆帯間に弧状短線	"
38	"	88SG01黒 2 X54Y86.8他	口径26cm 器高31cm 底径13cm	平口縁、胴部膨らむ、口縁部隆帯間に波状隆帯と列点文、胴部葉脈状文、底部スダレ圧痕文	"
39	"	88SG01黒 1 X53.8Y86.8	口径38.5cm 器高残34cm	平口縁、口縁部幅狭の隆帯区画文、胴部連弧文と貝殻腹縁文、下部縄文	"
40	"	89SG01黒 2 X54Y86.8他	器高残34cm	胴部膨らむ、胴部中央に C 字状文を伴う隆帯、胴上部沈線区画内に貝殻腹縁文、胴下部条痕文	"
41	"	88SG01黒 2 X54Y86.7	口径32cm 器高残10.6cm	波状口縁、15山形波頂、口縁部内面に段、口縁文隆帯区画と列点文、胴部沈線と長い列点	"
42	"	89SG01黒 2 X54Y86.8	口径27.4cm 器高残15.5cm	平口縁、口縁部平行沈線間に列点文、胴部条痕文、補修孔あり	"
43	"	88SG01黒 2 X54Y86.7	器高残11.6cm 底径8.2cm	頸部沈線、胴部貝殻腹縁文	"
44	器台	88SG01黒 2 X54Y86.8他	台径19.1cm 器高6.1cm 底径17.4cm	脚部穿孔、台部内壁に文様	"
45	深鉢	89SG01黒 3 X53.8Y87.1	口径28.4cm 器高残13cm	平口縁、口縁部無文、頸部くびれる、胴部斜縄文	古府式
46	"	89SG01灰粘 X53.8Y87	器高残30.4cm 底径13.4cm	胴部縄文、内面煤、底部スダレ圧痕	"
47	"	89SG01黒 2 X54Y86.7	口径25.2cm 器高29cm 底径11cm	平口縁、無文	串田新式
48	"	89SG01黒 1 X53.9Y86.7	口径15.5cm 器高15.3cm 底径8.2cm	平口縁、口唇部 6 力所押圧、無文、底部網代圧痕	"

表 3－4 舟岡地区縄文土器一覧表（4） 第6 調査区 第34～37図、図版42～46

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
49	深鉢	88SG01黒 1・2 X53.9Y86.7	口径16.8cm 器高16.7cm 底径 8 cm	平口縁、口唇部 4 カ所押圧し、 その下に 6 つの刺突文、口縁部 沈線、胴部無節撚糸文	串田新式
50	〃	89SG01黒 3 X53.9Y86.9	口径24.2cm 器高21cm 底径11.8cm	さざ波状口縁、胴部無文	〃
51	〃	89SG01黒 2 X54Y86.6	口径26.1cm 器高残28.1cm	平口縁、無文（なで）	〃
52	〃	88SG01黒 2 X54Y86.6	器高残20.2cm 底径12.1cm	無文（なで）	〃
53	〃	89SG01黒 2 X54Y86.7他	口径19.4cm 器高残11.2cm	平口縁、無文（なで）、内面煤	〃
54	罎付土器か	89SG01黒 3 X53.9Y86.9	器高残3.3cm 底径8.4cm	胴部下位に隆帯と縄文	〃
55	深鉢	89SG01黒 2 X53.9Y86.9	口径35cm 器高残24.8cm	平口縁、口縁部肥厚、胴部条痕 文	〃
56	罎付土器	89SG01P 2 X53.9Y86.8	口径 6 cm 器高残17.5cm 底径10.7cm	平口縁、胴部上部筒形で下部膨 らむ、肩部に隆帯巡る	〃
57	釣手土器	89SG01黒 2 X53.9Y86.7	口径52cm 器高11cm 底径12.5cm	2 本紐状突起	〃
58	浅鉢	88SG01黒 1 X53.9Y86.7	口径25cm 器高6.7cm 底径8.8cm	平口縁、口縁部内面に半隆起線、 無文	〃
59	〃	88SG01黒 1	口径24.8cm 器高5.85cm 底径9.5cm	波状口縁、口縁部 4 カ所押圧、 無文、内面にこげ跡	〃
60	〃	89SG01黒 2 X54Y86.8	口径7.7cm 器高11.5cm 底径 9 cm	平口縁、口縁部平行沈線、胴部 条痕文	〃
61	〃	88SG01黒 1 X53.8Y86.9	口径22.5cm 器高残13cm	波状口縁、山形 4 波頂、口縁部 半隆起線上に貝殻腹縁文、胴部 条線文	〃
62	〃	88SG01黒 2 X53.9Y86.8	口径30cm 器高残12.3cm	平口縁、キャリバー口縁、胴部 横条痕文	〃
63	罎付土器	88・89SG01黒 1・2 X54Y86.7	口径20.7cm 器高53.6cm 底径13.1cm	平口縁、罎は波状、胴部無文	〃
64	壺形土器	89SG01黒 2 X53.8Y86.8	口径7.1cm 器高残10.1cm	平口縁、口縁部筒形、胴部膨ら む	〃

表 3－5 舟岡地区縄文土器一覧表（5） 第6 調査区 第36～45図、図版46～55

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
65	鍔付土器か	88SG01黒 3 X 53.8 Y 86.8	器高残8.2cm 底径11cm	底部、無文	串田新式
66	鍔付土器	88SG01黒 1 X 53.9 Y 86.6他	口径19.2cm 器高残25cm	平口縁、鍔は波状、胴部縦縄文	〃
67	深鉢	88SD05 X 53.9 Y 85.4	口径35.2cm 器高残39cm	平口縁、キャリパー口縁、半截竹管による半隆起線平行線文、曲線文	古府式
68	〃	88SD05 X 53.9 Y 85.4他	器高残26cm	口縁部欠け、半截竹管による半隆起線平行線文、曲線文	〃
69	〃	88SD05 X 53.8 Y 85.3	口径39.2cm 器高残23.4cm	平口縁、複合口縁、半截竹管による半隆起線平行線文、曲線文	〃
70	〃	88SD05 X 53.8 Y 85.2	口径34cm 器高残15cm	5 波頂キャリパー口縁、ヘラ刻みの隆起線による渦巻文と半隆起線文	〃
71	〃	88SD05 X 53.9 Y 85.4	口径19.1cm 器高残14cm	平口縁、半截竹管による半隆起線平行線文、曲線文	〃
72	台付鉢	88SD05下層 X 53.9 Y 85.3	口径18cm 器高残15cm	平口縁、眼鏡状把手 2 カ所、半截竹管による半隆起線平行線文、曲線文	〃
73	〃	88SD05下層 X 53.9 Y 85.4他	口径38.6cm 器高残19.8cm	平口縁、橋状把手、半截竹管による半隆起線平行線文、曲線文	〃
74	深鉢	88SD05下層 X 53.9 Y 85.3	口径37cm 器高残24cm	平口縁、隆帯上に連続刻み、半截竹管による半隆起線平行線文、胴下部半截竹管垂下	〃
75	〃	88SD05 X 53.9 Y 85.3	器高残24cm	口縁部欠け、胴部縄文地に 3 本線による曲線文、縦線	大木 8 b 式
76	浅鉢	88SD05 X 54.1 Y 85.6他	口径48cm 器高残9.6cm	口縁部内湾、こぶ状隆帯貼付、口唇部に半截竹管文 1 条巡る	古府式
77	深鉢	88SD05 X 53.9 Y 85.4	口径40cm 器高残28cm	平口縁、口縁部開く、胴部斜縄文	〃
78	〃	88SD05 X 53.9 Y 85.3	口径36.2cm 器高45.1cm 底径10.2cm	平口縁、口縁部くびれる、丸みのある胴部に斜縄文、底部スダレ圧痕	〃
79	〃	88SD05 X 53.9 Y 85.4	口径35cm 器高37cm 底径11.4cm	平口縁、胴上部くびれる、胴部斜縄文、底部スダレ圧痕	〃
80	〃	88SD05 X 53.1 Y 85.4	口径42.4cm 器高残35cm	平口縁、胴上部くびれる、胴部斜縄文	〃
81	〃	88SD05黒 X 53.9 Y 85.2	口径31cm 器高残24.8cm	平口縁、頸部くびれる、胴部斜縄文	〃
82	〃	88SD05 X 53.9 Y 85.3	口径35.6cm 器高残42.2cm	平口縁、頸部くびれる、胴部斜縄文	〃

表 3 - 6 舟岡地区縄文土器一覧表 (6) 第 1 調査区・第 6 調査区 第44~48図、図版55~59

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
83	深鉢	97D05 X54Y85.7 97SD130 97X54.2Y85.6	口径33.6cm 器高残23.4cm	平口縁、胴部条線	古府式
84	〃	9797D05カタ X53.2Y85.6	口径36cm 器高36cm 底径12cm	平口縁、口縁部くびれる、口唇 内面肥厚、胴部撚糸文	〃
85	〃	88SD05 X53.8Y85.2	口径29.5cm 器高14.6cm 底径12cm	平口縁、胴部撚糸文、底部編物 圧痕	〃
86	〃	88SD05 X53.9Y85.3	口径19.2cm 器高残19.6cm 底径8.5cm	波状口縁か、横方向の条痕文	串田新式
87	台付鉢	88SD05 X53.9Y85.4	口径10cm 器高8.2cm 台径 5 cm	平口縁、椀形	古府式
88	深鉢	88SI01 X53.8Y87	口径17.3cm 器高残18.9cm 底径9.7cm	平口縁、口縁部平行沈線と列点 文、胴部斜縄文、底部葉脈圧痕	串田新式
89	浅鉢	88SD05黒 X53.9Y85.3	口径27.2cm 器高7.5cm 底径7.8cm	平口縁、無文、底部編物圧痕、 補修孔あり	〃
90	罎付土器	88SI01炉1の下 X53.8Y86.3 88SG02黒 X51.7Y87	口径12.6cm 器高残14cm	平口縁、丸く膨らむ肩部に橋状 把手1カ所、胴部条痕文、内外 面赤漆塗	〃
91	浅鉢	88SI02 X51Y87	口径29cm 器高10.8cm 底径8.6cm	平口縁、強く張る肩部に連続刻 み、底部凹底	〃
92	深鉢	88SI02 X51.6Y86.9	口径48.8cm 器高58.6cm 底径14cm	平口縁、口縁部外開き、口縁部 に沈線による工字文、口縁部・ 胴部に条痕文	〃
93	〃	88SI03黒1 X51.2Y86.9	口径22.4cm 器高12.8cm	平口縁、肥厚した口縁部に貝殻 腹縁文、胴部に縦条痕文	〃
94	〃	89SI03黒 X51.4Y86.9	器高残7.8cm 底径10.8cm	胴部に貝殻腹縁文	〃
95	〃	89SI03黒 X51.2Y86.9	口径23.4cm 器高残17.4cm	波状口縁、山形4波頂、波頂部 押圧、口縁部平行沈線、胴部条 痕文	〃
96	〃	89SI03黒 X51.2Y86.8	口径11.5cm 器高残13.8cm	平口縁、口唇部貝殻腹縁文、口 縁部沈線間に長い列点文、胴部 無文	〃

表 3－7 舟岡地区縄文土器一覧表（7） 第6 調査区 第48～52図、図版59～67

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
97	浅鉢	88SI03黒 1 X 51.2 Y 86.9	口径21.85cm 器高7.95cm 底径7.6cm	平口縁、無文	串田新式
98	深鉢	88SI04黒 1 X 51.4 Y 86.7	口径17.7cm 器高残17cm	波状口縁、山形 6 波頂、口縁微隆起線と列点文、胴部葉脈状文	〃
99	〃	89SI03 F 11 (F 10の上)	口径30.3cm 器高残33.8cm	波状口縁、山形 6 波頂、口縁部・胴部斜縄文	〃
100	〃	88SI04黒 1 X 51.3 Y 86.8	口径25.4cm 器高残17.1cm	波状口縁、山形 4 波頂、波頂部押圧、胴部無文	〃
101	〃	88SI04黒 1 X 51.3 Y 86.7	口径25.2cm 器高残23cm	平口縁、胴部横位無節縄文	〃
102	罏付土器	88SG01黒 2 X 54 Y 86.9	器高残9.6cm 底径15cm	胴下部膨らむ、胴部斜縄文	〃
103	深鉢	89SG02黒 2 X 51.3 Y 86.3	口径20cm 器高19.2cm 底径11.6cm	平口縁、胴部縦なで、無文、補修孔	〃
104	〃	89SG02黒 X 51.1 Y 86.3	口径22.8cm 器高27.2cm 底径12cm	平口縁、肥厚する口縁部に貝殻腹縁文、胴部縦条痕文	〃
105	罏付土器	89SG03黒 X 51.5 Y 86.4	器高残13.6cm 底径9.1cm	口縁部欠け、胴部膨らむ、無文	〃
106	深鉢	89SG04 X 51.6 Y 86.4	口径36cm 器高残37.6cm	波状口縁、U 字状 4 波頂、口縁部隆帯上に刻み、胴部沈線重弧文と燃糸文	〃
107	〃	88SK02 X 51.5 Y 86.7	口径34cm 器高残17.8cm	平口縁、外反口縁部に平行沈線と S 字状沈線、胴部縄文	前田式
108	〃	89SK04 X 51.2 Y 87.1	器高残26.4cm 底径12.8cm	口縁部欠け、細身の胴部に山形無文帯と縦条痕文	串田新式
109	〃	88SK05 X 52.2 Y 87	口径20.9cm 器高残12cm	平口縁、口縁部内屈、口縁部平行沈線、胴部紡錘形無文帯	中津式
110	〃	88SK05 X 52.2 Y 87	口径40.4cm 器高残21.6cm	平口縁、肥厚した口縁部に長方形区画、胴部縄文	串田新式
111	〃	88SK08 X 52.8 Y 87	口径26cm 器高残26.8cm	平口縁、外反口縁部に弧線文、胴部縦縄文	前田式
112	〃	88SK09	口径28cm 器高51cm	平口縁、外反口縁部に長方形区画文と弧線文、胴部縄文	〃
113	〃	89SK09 X 51.4 Y 87	口径26.6cm 器高残24.8cm	平口縁、口唇部に刻み、やや張る胴部は無文	串田新式
114	〃	89SK11 X 51.6 Y 87.1	口径21.6cm 器高残20.4cm	平口縁、外反口縁部に斜め縦線、胴部縦縄文	前田式
115	罏付土器	89SK14 X 51.2 Y 86.7	口径8.7cm 器高11cm 底径 8 cm	肩部に隆帯と橋状把手、胴部沈線文、外面赤漆塗	串田新式

表 3－8 舟岡地区縄文土器一覧表（8） 第6 調査区 第52～56図、図版67～72

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
116	深鉢	89SK14 X51.2Y86.7	口径24.4cm 器高26.5cm 底径12.9cm	波状口縁、小さい山形波頂、胴部無文、底部スダレ圧痕	串田新式
117	〃	89SK23 X51.1Y87	口径37cm 器高残38cm	平口縁、口縁部に平行沈線、横長列点文、貝殻腹縁文、やや膨らむ胴部に斜縄文	〃
118	〃	89SK14	器高残18.8cm 底径11cm	口縁部欠け、やや膨らむ胴部に縦条痕文、底部葉脈圧痕	〃
119	〃	89SK24黒 X51.4Y86.7	口径43cm 器高残20.8cm	波状口縁、U字状4波頂、口縁部平行隆帯、胴部紡錘形無文帯	〃
120	〃	89SK26 X51.2Y86.7	口径19.8cm 器高21.7cm 底径8.4cm	波状口縁、山形4波頂、口縁部に隆帯、胴部条痕文	〃
121	〃	89SK26 X51.2Y86.7	口径22.5cm 器高31.8cm 底径11.6cm	波状口縁、U字状4波頂、口縁部に隆帯、胴部条線	〃
122	〃	89SK29 X51.4Y87.1	口径長辺23cm 短辺21cm 器高残15cm	波状口縁、山形4波頂、波頂部押圧、口縁部に隆帯、胴部斜縄文	〃
123	罎付土器	89SK32	器高残11cm 底径8.5cm	肩部に橋状と紡錘形把手、内外面赤漆塗	〃
124	鉢	89SK35 X51.4Y86.8	口径25.6cm 器高残16.4cm	平口縁、口縁部に幅広の凹線文	〃
125	深鉢	89SK35 X51.4Y86.8	口径28cm 器高33.6cm 底径11.4cm	平口縁、胴部やや膨らむ、胴部縦なで	〃
126	〃	89SK36南肩青砂	口径40.6cm 器高27.2cm	波状口縁、6つの台形波頂と6つの山形小波頂、口縁部爪形文のある隆帯、胴部半截竹管による工字文、縄文	古府式
127	罎付土器	89SK41	口径9.8cm 器高残7.8cm	平口縁、肩部に橋状把手、胴部斜縄文、内外赤漆塗	串田新式
128	深鉢	89SK41 X51.3Y86.8	口径18cm 器高20.6cm 底径10.2cm	平口縁、無文、補修孔あり	〃
129	罎付土器	88SD09（平安溝） X51.1Y86.7	口径10cm 器高残7.8cm	平口縁、肩部に隆帯と橋状把手	〃
130	深鉢	89P58 X51.5Y86.8	口径17.8cm 器高16.66cm 底径7.2cm	平口縁、外反肥厚口縁に貝殻腹縁文、胴部条痕文、底部網代圧痕	〃
131	深鉢	88X53Y87.1	口径30.5cm 器高残18.4cm	平口縁、キャリパー口縁に結節浮文、隆起線上に爪形文、口縁部・胴部に半截竹管による縦線と弧線	朝日下層式

表 3 - 9 舟岡地区縄文土器一覧表 (9) 第 1 調査区・第 6 調査区 第56～59図、図版72～80

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
132	深鉢	88SG04下層 X52Y86 SX11カタ X52Y85	口径20.8cm 器高21.4cm 底径8.5cm	波状口縁、4つの山形波頂と4つの山形小波頂、口縁部に隆帯と刻み、胴部に連弧文と条痕文	串田新式
133	〃	88黒土器集中 X54.2Y86.3	口径26cm 器高残34.6cm	平口縁、外反口縁部に平行沈線と長方形区画、胴部横縄文	前田式
134	台付浅鉢	88X54Y86青砂	口径27.6cm 器高14cm 台径10.3cm	平口縁、無文	串田新式
135	深鉢	88SD11 (平安溝) X53Y86.7	口径38cm 器高残25.4cm	平口縁、口縁部に平行沈線と列点文、胴部条痕文	〃
136	〃	88SK05 X52.1Y87	口径35.8cm 器高残27.8cm	波状口縁、押圧による山形4波頂、外反口縁部に平行沈線、長方形区画、列点文、S字沈線	前田式
137	浅鉢	88X54.1Y86.2黒	口径23.4cm 器高8cm 台径5.6cm	平口縁、無文	串田新式
138	〃	8889SI03黒1 X51.2Y87	口径23.6cm 器高残19.8cm	平口縁、外反口縁部に平行沈線、胴部波状平行線、張る胴部下半条痕文	〃
139	深鉢	SD06 88SD15W10付近 X53.5Y86.2	口径22cm 器高残15.2cm	波状口縁、押圧による山形波頂、口縁部に平行沈線と列点文、胴部縦縄文	前田式
140	〃	88SD06 X53.8Y85.8	口径24.4cm 器高残20.6cm	平口縁、外反口縁部に平行沈線と連弧文、胴部縦縄文	〃
141	〃	88SD15 X54Y86.1	口径21.8cm 器高残18.6cm	さざなみ状口縁、口縁部・胴部条痕文	串田新式
142	〃	88SD06X54.3Y85.8 88SD15X54.1Y85.9	口径28cm 器高残26cm	平口縁、口縁部7カ所押圧、胴部オオバコ擬縄文	〃
143	〃	97SX01X51.8Y86.5 SG04下層	口径30cm 器高残18cm	波状口縁、山形4波頂、口縁部に半截竹管平行線と縦線	新崎式
144	〃	97SX07下層	口径30.2cm 器高残28.4cm	平口縁、口縁部に半截竹管平行線と縦線、胴部連弧文、胴部無文	〃
145	〃	97SG04下層 X52Y86青灰砂	器高残25.8cm 底径9cm	口縁部に蓮華文、半截竹管文、胴部斜縄文	〃
146	〃	SD06 97SD139X53.2Y85.7 SD144X53.1Y85.7	口径29.6cm 器高残29.2cm	平口縁、突起ありか、口縁部蓮華文、列点文、胴部縄文地に半截竹管B字状文	〃
147	〃	SD06 97SD130・138・144 X53.8Y85.7他	口径23cm 器高残19.5cm	キャリパー口縁、4山形小突起、口縁部・胴部斜縄文	新崎式

表 3 - 10 舟岡地区縄文土器一覧表 (10) 第 1 調査区 第60～65図、図版80～87

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
148	鍔付土器	97SK01・SD16・131 X51.3Y85.9青砂ジャリ X51.65Y85.9	器高残22.2cm	半截竹管による半隆起線文、爪形文、B字状文、J字状隆帯、内外赤漆塗	新崎式
149	〃	SD06 97 SD05下層・130 X53.8Y85.7	口径35.4cm 器高残11.3cm	平口縁、めがね状把手、口縁部楕円区画に櫛状具刺突文、キャタピラー文	〃 新道式系
150	〃	97 SD05 X53.9Y85.4	器高残30.4cm	平口縁、キャリパー口縁、口縁部半截竹管平行線文、胴部縄文地に半截竹管曲線文	古府式
151	〃	97SD05 X53Y85.4	口径32.8cm 器高残22.2cm	平口縁、複合口縁、口縁部三叉状彫り込みによる波状半隆起線文、半截竹管による半隆起線平行線文、曲線文	〃
152	〃	97SD05・06・130 X54.1Y85.7他	口径40cm 器高残28.5cm	平口縁、キャリパー口縁、口縁部刻みのある隆帯と半截竹管文、胴上部S字隆帯、胴下部縄文	〃
153	〃	97SG04下層 X51.8Y86.1	口径40cm 器高残32.6cm	平口縁、キャリパー口縁、口縁部爪形文、半截竹管による曲線文、無文帯縁ヘラ刻み	〃
154	〃	97SX07 SD05 X53Y85	口径26.4cm 器高残16.4cm	平口縁、口縁部に円形隆帯、口縁部・胴部に爪形文のS字隆帯、と半截竹管平行線文	〃
155	台付深鉢	97SD05・06・130 X54.2Y85.6他	口径49cm 器高残18.6cm	波状口縁、口縁部に半截竹管平行線文とヘラ刻み	〃
156	〃	不明	口径22cm 器高残17.4cm	平口縁、縄文地に沈線による平行線文、重弧文	〃
157	〃	SD05 97SD130 X54.2Y85.6	口径 長辺40.2cm 短辺37.4cm 器高残23.3cm	舟形、波状口縁、U字状波頂4カ所、口縁部・胴部半截竹管平行線・曲線文、口縁部内面にも半截竹管文	〃
158	浅鉢	97SG04下層 X51.8Y86.1	口径39cm 器高残8.6cm 底径9.6cm	平口縁、口唇部沈線文	〃
159	鉢	97X53.4Y85.7黒色バンド	口径20.3cm 器高11.5cm 底径9.7cm	平口縁、キャリパー口縁部に隆帯貼付区画	加曽利EⅡ式
160	深鉢	97SX11 X52.2Y86.97 盛土下層 X51.8Y86.1	口径32.2cm 器高残37.3cm	平口縁、口縁部でくびれ胴部膨らむ、胴部縄文	古府式
161	〃	97X53.3Y85.7黄砂	口径14.9cm 器高残10cm	平口縁、胴部縄文	〃
162	〃	97SD06・13 98SX11 X52.2Y85.9 P60	口径25.2cm 器高32.2cm 底径5.4cm	波状口縁、U字状4波頂、口縁部に隆帯、胴部無文(ナデ)、底部スダレ圧痕	串田新式

表 3－11 舟岡地区縄文土器一覧表（11） 第 1 調査区 第63・65～70図、図版87～92

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
163	深鉢	97SG04上層・下層 X52.1Y85.9 SX11X52.1Y85.5 P 5	口径33.2cm 器高残20.2cm	波状口縁、台形 4 波頂、口縁部 平行隆帯と列点文、胴部葉脈状 文	串田新式
164	〃	98X51.8Y85.5	口径29cm 器高残23.6cm	波状口縁、台形 4 波頂、口縁部 貝殻腹縁文、胴部葉脈状文、列 点文	〃
165	〃	97X52.5Y86黒色土 X52.5Y85.6青灰シルト	口径22.6cm 器高30.4cm 底径10.8cm	波状口縁、台形 4 波頂、波頂部 環状隆帯、口縁部隆帯上貝殻腹 縁文、胴部平行隆帯垂下	〃
166	〃	97SG04上層 98X52.1Y85.5第 2 面	器高残22.3cm	胴部平行隆帯垂下、葉脈状文、 胴下部条痕文	〃
167	〃	97SD135X52Y86	器高残19.3cm	頸部に隆帯と列点文、胴部平行 隆帯垂下、葉脈状文	〃
168	〃	97SD06X52.6Y85.6	口径 長辺26.6cm 短辺21.4cm 器高31.6cm 底径10.2cm	波状口縁、山形大波頂 2、小波 頂 2、口縁部貝殻腹縁文と平行 隆帯、胴部平行隆帯垂下、葉脈 状文	〃
169	〃	97SX03X52.9Y86	口径18.5cm 器高19.8cm 底径 9 cm	波状口縁、山形 1 波頂、波頂に こぶ状突起 4 個、対面に 2 個、 間に各 1 個、口縁部隆帯、胴部 膨らむ、隆帯垂下、葉脈状文、 底部網代圧痕、補修孔あり	〃
170	〃	97X52Y85.2	口径18.5cm 器高19.8cm 底径 9 cm	波状口縁、山形 6 波頂、口縁部 肥厚、胴部垂下隆帯間に葉脈状 文、下部横無節縄文	〃
171	〃	97SG04上層 X52.2Y86	口径 長辺20cm 短辺17.8cm 器高残17cm	波状口縁、台形 4 波頂、山形 2 小波頂 2、口縁部刻み隆帯、胴 部垂下隆帯間に葉脈状文	〃
172	〃	98P 57	口径 長辺34cm 短辺28.3cm 器高38.6cm	波状口縁、台形 4 波頂、口縁部 に隆帯と列点文、胴部先端蔵手 隆帯垂下、葉脈状文	〃
173	〃	97SD135X52.1Y85.9	口径22cm 器高残21.9cm	波状口縁、台形 4 波頂、波頂部 内屈、口縁部に平行隆帯、胴部 隆帯垂下、葉脈状文、補修孔あ り	〃
174	〃	97SG04下層 X52Y85.8	器高残13.5cm 底径9.8cm	葉脈状文、底部網代圧痕	〃
175	〃	97X51.3Y85.9第 1 面	口径37cm 器高残33.1cm	波状口縁、山形 4 波頂、波頂部 円形押圧、胴部垂下隆帯、葉脈 状文	〃

表 3 - 12 舟岡地区縄文土器一覧表 (12) 第 1 調査区 第70～74図、図版92～98

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
176	深鉢	97SX4X52.1Y85.4	口径26cm 器高29.8cm 底径12.8cm	波状口縁、山形 5 波頂、口縁部 ヘラ刻み、胴部垂下隆帯、葉脈 状文、底部網代圧痕	串田新式
177	"	97SX11カタ X52Y85.8	口径25.4cm 器高残17.8cm	波状口縁、山形 6 波頂、口縁部 貝殻腹縁文、胴部垂下隆帯、葉 脈状文	"
178	"	97SX11 X52.1Y85.9 98SD135 X53Y85.5	口径24cm 器高36cm 底径12.6cm	平口縁、口縁部平行隆帯と列点 文、胴部膨らむ、垂下隆帯と葉 脈状文、隆帯先端手状	"
179	"	97SG04上層・下層 X52Y86.1 97SD129 X51.9Y86	口径23cm 器高残19.5cm	平口縁、胴部膨らむ、先端蔵手 状隆帯、葉脈状文	"
180	"	97SG04X52.2Y85.9	器高残24.4cm 底径10cm	ヘラ刻みの垂下隆帯、葉脈状文	"
181	"	97SG04上層 X52.2Y86	口径23cm 器高30.6cm 底径11.6cm	波状口縁、山形 4 波頂、細身胴 部、口縁部キザミのある隆帯、 胴部楕円無文帯、縦条痕文	"
182	"	97SD138 X53.8Y85.8	器高残20.6cm 底径11cm	細身胴部、胴部弧状無文帯、撚 糸文	"
183	"	97SG04上層・下層 X52.2Y86	器高残24.1cm 底径14cm	細身胴部、胴部弧状無文帯、条 痕文	"
184	"	97SG04下層 X52Y85.9	口径24.2cm 器高30cm 底径10.2cm	波状口縁、山形 4 波頂、波頂部 押圧、口縁部沈線、胴部無文、 補修孔あり	"
185	"	97SG04下層 X51.95Y86 88SD09 X51.5Y85.5	口径16.2cm 器高18.7cm 底径5.2cm	波状口縁、山形 4 大波頂、4 小 波頂、波頂部蔵手状隆帯、細身 胴部に弧状無文帯	"
186	"	97SG04下層 X52.1Y86	口径28cm 器高残13.6cm	波状口縁、山形 4 波頂、口縁部 刻みのある隆帯、胴部条痕文に 連弧文	"
187	台付深鉢	97SG04下層 X52Y86	口径17.8cm 器高残19.2cm	波状口縁、山形 4 波頂、波頂部 押圧、口縁部平行隆帯に刻み、 膨らむ胴部に隆帯垂下、条痕文	"
188	深鉢	97SG04下層 X52.1Y85.9 98SX11カタ X52Y86	口径32.6cm 器高残43cm	平口縁、胴部張り出す、口縁部 に貝殻腹縁文と平行沈線間に押 引き列点文、胴部条痕文に連弧 文	"
189	"	97SG04上層・下層 X52.1Y85.9 SX11カタ第 1 面	口径29cm 器高残31cm	波状口縁、山形 4 波頂、波頂部 内傾、口縁部隆帯上に縄文、胴 部横方向の縄文	"
190	"	97SG04下層 X52.1Y86	口径28.4cm 器高残38.7cm	平口縁、口縁部隆帯に縄文、胴 部張り出し、横や斜め縄文	"
191	"	97SG04下層 X52.1Y86	口径26cm 器高30.2cm 底径9.6cm	平口縁、口縁部隆帯に縄文、胴 部横斜縄文、底部ゴザ圧痕	"

表 3-13 舟岡地区縄文土器一覧表 (13) 第 1 調査区 第74~78図、図版98~104

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
192	深鉢	97SG04下層 X51.9Y85.9	器高残16cm 底径8.6cm	胴部横方向の無節縄文、底部網代圧痕	串田新式
193	"	97SX11第1面 97SG04下層 X52Y86	口径31.2cm 器高残12cm	平口縁、胴部撚糸文	"
194	"	97SG04上層 X52.1Y86	口径27.8cm 器高残16.8cm	平口縁、口縁部平行沈線間に押引き列点文、胴部無文	"
195	"	98SX11	口径24.8cm 器高残25.9cm	平口縁、口縁部平行沈線間に押引き列点文、胴部無文	"
196	"	97SG04下層 X52.1Y86	口径23cm 器高残17.4cm	平口縁、口縁部平行沈線、胴部無文（なで）、内面条痕文	"
197	"	98SX11	口径26.3cm 器高残22.3cm	平口縁、胴部張る、口縁部平行沈線間に貝殻腹縁文、胴部撚糸文	"
198	"	98P25	口径22.2cm 器高22cm 底径11.1cm	平口縁、口縁部に沈線、胴部無文	"
199	"	97SG04下層 X52.1Y85.9	口径19.6cm 器高残20.9cm	平口縁、胴部無節縄文	"
200	"	SD06 97SD16・SD133	口径13.6cm 器高残17cm	波状口縁、台形4波頂、波頂部下にS字沈線、胴部張る、胴部に方形区画と隆帯垂下	"
201	"	97SD06カタ X52.9Y85.7	口径24.3cm 器高残28.3cm	波状口縁、環状2波頂、山形2波頂、内湾口縁部に沈線、胴部張る、胴部帯縄文の入り組み文やJ字文	中津式
202	"	SD06 97SD17X51.8Y85.7	口径15.2cm 器高残12cm	波状口縁、山形4波頂、波頂部に刻みあり、口縁部・胴部無節縄文に沈線文	"
203	"	97SD06より下 X52.6Y85.7	口径28.4cm 器高残24.8cm	波状口縁、山形4波頂、波頂の間にU字形隆帯貼付、口縁部J字文、膨らむ胴部に帯縄文の王字文	"
204	"	SD06 97SD130 X51.1Y85.6	口径31.4cm 器高残42.9cm	波状口縁、山形4波頂、波頂部に刻み、口縁部J字文、膨らむ胴部に帯縄文の垂下と列点文	"
205	"	97X52.7Y86	口径21.8cm 器高残15.3cm	波状口縁、山形4波頂、波頂部に刻み、口縁部、膨らむ胴部にJ字文	"
206	"	97	口径17.8cm 器高残17.9cm	平口縁、口縁部J字文、膨らむ胴部に帯縄文垂下	"
207	"	SD06 97SD130 X51.1Y85.6	口径34cm 器高残25cm	波状口縁、山形4大波頂、山形4小波頂、口縁部J字文、膨らむ胴部に帯縄文とS字文	"

表 3 - 14 舟岡地区縄文土器一覧表 (14) 第 1 調査区 第78～82図、図版104～113

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
208	深鉢	97SD06 X53.1 Y85.9 97SX05 畦 88 X53.8 Y85.6	口径23cm 器高残26.6cm	平口縁、口縁部 J 字文、膨らむ 胴部に帯縄文垂下と S 字文	中津式
209	"	97 X51.3 Y86 黒色バンド	口径28cm 器高残39.6cm 底径12.4cm	平口縁、口縁部 J 字文、膨らむ 胴部に条痕文、列点文、底部ス ダレ圧痕	"
210	"	97 X52.6 Y86	器高残14cm	膨らむ胴部に帯縄文、J 字文	"
211	"	97 X52.6 Y86	口径31.6cm 器高残27.7cm	平口縁、口縁部 J 字文、膨らむ 胴部に帯縄文	"
212	"	97SD11 X51.7 Y86	器高残18.1cm 底径9.6cm	膨らむ胴部に波状沈線文	"
213	"	97SX04 X52.1 Y85.6 97SD06 シルト 88 X53.2 Y86 他	口径38cm 器高50cm 底径15.8cm	平口縁、外反口縁、頸部平行沈 線間に縦線と S 字文、胴部斜縄 文	前田式
214	"	SD06 97 X51.5 Y85.9 88SD18 X51.1 Y88.6	口径33cm 器高残25cm	平口縁、外反口縁、頸部平行沈 線と S 字文、胴部縦縄文	"
215	"	97SG04 畦 X52.2 Y85.9	口径26.4cm 器高残26cm	平口縁、外反口縁、頸部平行沈 線と S 字文、胴部縦縄文	"
216	"	97SD06 X53.5 Y85.8	口径35.4cm 器高残22.4cm	平口縁、外反口縁、頸部平行沈 線と S 字文、胴部縦縄文	"
217	"	98埋甕 3	器高残30.2cm	頸部連弧文と平行沈線、胴部縦 縄文	"
218	"	97SG04 上層 X52 Y86	口径29.6cm 器高残38.6cm	平口縁、2 つ頭突起、外反口縁、 頸部平行沈線・S 字文、列点文、 胴部縦縄文	"
219	"	98埋甕 1 98SD130 X51.2 Y85.6	口径33.2cm 器高残16.5cm	平口縁、外反口縁、頸部平行沈 線間に縦線と S 字文、胴部縦縄 文	"
220	"	97SD06 上層 X52.6 Y85.6	口径30cm 器高残28.8cm	波状口縁、波頂部押圧、頸部平 行沈線間に縦線と S 字文、胴部 縦縄文	"
221	"	98埋甕 2	口径30cm 器高残23.4cm	平口縁、外反口縁、頸部平行沈 線・列点文、胴部縦縄文	"
222	"	97SG04 上層 X52.3 Y85.9	口径21cm 器高残20cm	波状口縁、山形 5 波頂、波頂部 押圧、頸部平行沈線と列点文、 胴部縦縄文	"
223	"	SD06 97SD134 X51.2 Y85.5	口径19.6cm 器高残14.5cm	平口縁、口縁部外反、胴部細隆 起線文	岩峠野式
224	"	97SX03 X52.4 Y85.7	口径33cm 器高40cm 底径13cm	波状口縁、山形 6 波頂、波頂部 押圧、口縁部貝殻腹縁文、胴部 条痕文	串田新式

表 3 - 15 舟岡地区縄文土器一覧表 (15) 第 1 調査区 第82～86図、図版113～117

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
225	深鉢	97X51.2Y85.7第1面	口径22cm 器高27.2cm 底径11.6cm	波状口縁、山形5波頂、波頂部 押圧、口縁部肥厚、胴部縦縄文	串田新式
226	罎付土器	97SG04下層 X52Y86	口径17cm 器高残25cm	平口縁、肩部に隆帯と橋状把手	〃
227	〃	98SX11カタ	口径21.2cm 器高11.8cm 底径10cm	平口縁、肩部に平行隆帯と橋状 把手、胴部重弧文と貝殻腹縁文	〃
228	〃	97SG04下層X52.1Y86	口径13.2cm 器高9.7cm 底径6.4cm	平口縁、肩部に平行隆帯と橋状 把手、胴部重弧文、底部スタレ 圧痕	〃
229	〃	SD06 97SD135 X52.1Y86.8	口径14cm 器高8.5cm 底径8.4cm	平口縁、肩部に隆帯と橋状把手 4カ所、列点文、胴部重弧文	〃
230	〃	97X52Y86黒色	口径12cm 器高残16.3cm	平口縁、口縁外反、肩部に隆帯 と橋状把手	〃
231	浅鉢	SD06 97SD135 X52.2Y85	口径15.2cm 器高8.7cm 底径8cm	平口縁、口縁部に隆帯と列点文、 橋状把手、胴部に弧状半隆起帯	〃
232	釣手土器	97SG04下層X52Y86	口径5.8cm 器高12.2cm 底径13cm	側辺に橋状把手と列点文、底部 に山形突起	〃
233	〃	97X51.2Y85.7	口径12cm 底径7cm	隆帯上に列点文、底部笹葉圧痕 あげ底	〃
234	小型土器	97SX03X52.4Y85.8第1面	口径8.7cm 器高残8.7cm 底径5.5cm	コップ形に撚紐状把手	〃
235	〃 (蓋)	97青灰シルト	口径5cm 器高残1.9cm 底径1cm	口唇部沈線と列点文	〃
236	罎付土器	98埋甕2	器高残22cm	肩部平行隆帯間に葉脈状文、胴 部斜縄文	〃
237	〃	98SD134X51.2Y85.5 98SK03	器高残33cm 底径15cm	肩部平行隆帯曲線文、底部網代 圧痕	〃
238	深鉢	SG04下層 X52Y86	口径21.4cm 器高残18.8cm	波状口縁、山形4波頂、口縁部 沈線、細身胴部に斜縄文	〃
239	〃	98X52.3Y85.9第2面	口径19.2cm 器高残17.2cm	平口縁、口唇部4カ所押圧、肥 厚口縁、胴部無文	〃
240	〃	97SD16下層X51.9Y85.5	口径20.8cm 器高23.6cm 底径11.6cm	さざなみ状口縁、肥圧口縁、胴 部無文、底部網代圧痕、補修孔 あり	〃
241	〃	97SG04下層X51.8Y86.1	口径19cm 器高20.3cm 底径11.8cm	平口縁、口唇部5カ所押圧、胴 部縦条痕文	〃

表 3－16 舟岡地区縄文土器一覧表（16） 第 1 調査区 第86～90図、図版118～125

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
242	深鉢	97SD133、SX11、SG04下層	口径32.4cm 器高37.4cm 底径12.4cm	平口縁、胴部ナデ	串田新式
243	〃	98X51.2Y85.7第2面	器高残24.3cm	胴部無文	〃
244	〃	98X52.8Y85.7第2面	口径29cm 器高残15.2cm	平口縁、口縁部肥厚しヘラ刻み、 胴部横縄文に三角区画文	〃
245	〃	97SG04下層X52Y86	口径31cm 器高残30.2cm	平口縁、胴部膨らむ、無文	〃
246	〃	98X52Y85.6第2面	口径19.2cm 器高残19.6cm	平口縁、口縁外反、胴部膨らむ、 横条痕文	〃
247	〃	97SX02X52.3Y85.9	器高残23cm 底径13cm	胴部条痕文、底部ゴザ編み	〃
248	〃	97SG04下層X52.2Y不明	器高残27.8cm 底径12.4cm	胴部無文	〃
249	〃	97SG04上層X52.2Y86	口径36cm 器高41cm 底径13.4cm	平口縁、細身胴部無文	〃
250	〃	97SG04下層	口径14cm 器高37cm 底径6.3cm	平口縁、胴部やや膨らみ、無文、 補修孔あり	〃
251	〃	97SG04下層 X52Y86	口径21.4cm 器高16.1cm	平口縁、胴部無文	〃
252	〃	98SK07	口径36cm 器高46.2cm 底径14.2cm	頸部隆帯、胴部やや膨らみ条痕 文、底部スダレ圧痕	〃
253	〃	98X51.2Y85.7	器高45.3cm 底径14.6cm	平口縁、頸部に平行沈線間貝殻 腹縁文で長方形区画文、胴部条 痕文	前田式
254	〃	97SG04下層 X52.6Y86	器高残29.8cm 底径15.6cm	細身胴部、U字状無文帯、条痕 文	串田新式
255	〃	97SG04下層 X52.8Y85.9	器高残21.4cm	胴部横条痕文	〃
256	〃	97SD06より下 X52.6Y85.7	器高残15.3cm 底径10cm	胴部帯縄文垂下	〃
257	鉢	97SG4上層 X52.2Y86	口径12cm 器高6.8cm 底径7.15cm	平口縁、無文	〃
258	深鉢	97SG04上層 X51.2Y86	器高残17cm 底径12.2cm	無文	〃
259	〃	97SG04上層 X50Y86他	器高残21.8cm 底径13.5cm	胴部縦縄文	前田式
260	浅鉢	98SX11カタ X52.2Y85.9	口径18.7cm 器高残8.8cm	平口縁、胴部に1～2cmの粘土 接合痕残す	串田新式

表3-17 舟岡地区縄文土器一覧表(17) 第1調査区・第6調査区 第90・112・113図、図版125・128・129

番号	種類	出土遺構・地区・層位	大きさ	特徴	型式
261	浅鉢	98SX11カタ X52Y86	口径22.5cm 器高残7.8cm	平口縁、口唇部4カ所押圧	串田新式
262	"	97SG04上層 X51.2Y86	口径29cm 器高残6.2cm	平口縁、口縁部に環状把手2個	"
263	深鉢	98SX17より下青灰礫 X54.1Y85.9	厚さ8mm	平口縁、楕円押型文、内面に縦沈線	押型文土器
264	"	98SX16 X58.8Y85.8青灰礫	厚さ4mm	平口縁、楕円押型文、黒鉛か	"
265	"	98X54Y85.6青灰礫	厚さ7mm	平口縁、楕円押型文	"
266	"	98SX16X53.6Y85.6青灰礫	厚さ10mm	楕円押型文か	"
267	"	98SX17 X53.8Y85.7青灰 礫	厚さ5mm	楕円押型文	"
268	"	98SX16X56.7Y85.6	厚さ8mm	楕円押型文	"
269	"	97表採	厚さ4mm	波状口縁、爪形文	朝日C式
270	"	88X52.1Y86.9	厚さ3mm	爪形文	"
271	"	98X51.7Y85.3黒色バンド	厚さ4mm	爪形文、斜縄文	"
272	"	89SG01黒3 X54Y86.8	厚さ4mm	爪形文、口縁部内面に爪形文	"
273	"	89SG04下層黒X51.8Y86.4	厚さ3mm	爪形文、黒鉛か	"
274	"	黒1	厚さ3mm	爪形文	"
275	"	黒6	厚さ4mm	爪形文、羽状縄文	"
276	"	黒1	厚さ4mm	爪形文、補修孔あり	"
277	"	89SDX52.2Y86.6砂礫層下	厚さ5mm	爪形文、斜縄文	"
278	"	88SD09X51.7Y86.6	厚さ3mm	爪形文	"
279	"	89SD13X52.3Y87.2下層	厚さ7mm	爪形文	"
280	"	89SD13X53.9Y87.2下層	厚さ5mm	爪形文	"
281	"	88X52.1Y86.6青砂	厚さ6mm	爪形文、沈線	"
282	"	98SX16X54.5Y85.3	厚さ10mm	繊維含有か	佐波・極楽寺式
283	"	98SX16X53.6Y85.5	厚さ10mm	平口縁、口唇貝殻押圧によるさざなみ状、貝殻条痕文に円環状押圧、内面横位条痕、繊維含有か	"
284	"	"		"	"
285	"	98X52.9Y86	厚さ5mm	隆帯上爪形文、縄文、繊維含有	"
286	"	98X52.4Y85.9第2面	厚さ5mm	隆帯上爪形文、縄文	"
287	"	88X53Y86.5青砂	厚さ7mm	平口縁、平行隆起線文	蜷ヶ森Ⅰ式
288	"	89SG04X51.6Y86.4青	厚さ8mm	平口縁、口縁部やや肥厚、縄文、口唇部に縄文	新崎式
289	"	89SD13X53.8Y87.1青	厚さ5mm	半截竹管文、爪形文、縄文	蜷ヶ森式
290	"	98X52Y85.9	厚さ5mm	微隆起線文	蜷ヶ森Ⅱ式

表 3－18 舟岡地区縄文土器一覧表（18） 第1調査区・第6調査区 第113・114図、図版130・131

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
291	深鉢	98X52.8Y86第2面	厚さ6mm	平口縁、コンパス文	福浦下層式
292	〃	88SG01X54Y86.9黒	厚さ8mm	羽状縄文	蜷ヶ森式
293	〃	断割	厚さ5mm	平口縁、半截竹管文	福浦下層式
294	〃	89SD13中カタX53Y87.4	厚さ6mm	半截竹管文	朝日C式
295	〃	88X52.1Y86.5黒色	厚さ6mm	波状口縁、半截竹管文	〃
296	〃	97X51.3Y85.5黒色	厚さ5mm	波状口縁、半截竹管文	〃
297	〃	不明	厚さ5mm	羽状縄文	佐波・極楽寺式
298	〃	89X51.6Y86.5砂礫	厚さ5mm	平口縁、半截竹管文、縄文	福浦下層式
299	〃	不明	厚さ5mm	平口縁、斜縄文	蜷ヶ森式
300	〃	不明	厚さ8mm	平口縁、羽状縄文	佐波・極楽寺式
301	〃	88青砂	厚さ6mm	列点文、斜縄文	朝日C式
302	〃	89SD14X53.6Y86.1青砂下層	厚さ6mm	平口縁、口縁内湾、口縁部粘土紐貼付	福浦上層式
303	〃	89SG01X53.9Y86.7黒3	厚さ5mm	爪形文	朝日C式 黒浜式
304	〃	97X51.3Y85.5黒色	厚さ5mm	コンパス文か	福浦下層式
305	〃	89SD14X53.8Y86.6	厚さ5mm	爪形文	朝日C式
306	〃	89X53.8Y89	厚さ5mm	結節浮文	福浦上層式
307	〃	89X51.1Y87.1黒	厚さ6mm	〃	〃
308	〃	89P82X51.1Y87.1	厚さ5mm	〃	〃
309	〃	88SD13X53.4Y87.1	厚さ5mm	縄文地に結節状浮文	〃
310	〃	89SG01黒1・2	厚さ7mm	細い粘土紐貼付	朝日下層式
311	〃	89SD13X53.6Y87.2中層	厚さ7mm	縄文地に細い粘土紐貼付	〃
312	〃	89SD11X53Y87.1	厚さ6mm	細い粘土紐貼付	〃
313	〃	98X52.6Y85.9第2面	厚さ8mm	縄文地に結節状浮文と細い粘土紐貼付	福浦上層式
314	〃	97SD138X53.8Y85.7ジャリ	厚さ6mm	平口縁、内湾、縄文地に細い粘土紐貼付	朝日下層式
315	〃	89SD13X53.7Y87.3砂礫	厚さ5mm	平口縁、口縁部内湾、縄文地に細い粘土紐貼付、口縁部内面に縄文	〃
316	〃	98X52.4Y85.9第2面	厚さ5mm	縄文地に細い粘土紐貼付	〃
317	〃	00X52.1Y85.4第2面	厚さ6mm	平口縁、口縁部くの字内湾、半截竹管半隆起線波状文	新保式
318	〃	89SG01X54Y86.8黒2	厚さ9mm	突起か、半截竹管半隆起線上にソーメン状の細い粘土紐貼付	朝日下層式
319	〃	89X54.3Y86.6礫上層	厚さ6mm	波状口縁、コンパス文	福浦下層式
320	〃	98X52.4Y85.5第2面	厚さ1.5cm	縄文か	佐波・極楽寺式
321	〃	89X52.7Y86.5砂礫層	厚さ6mm	半截竹管半隆起線弧状文	福浦上層式
322	〃	89X53Y86.7前期斜面	厚さ6mm	幅1.3mm前後の粘土紐接合痕を残す	蜷ヶ森式
323	〃	〃	〃		〃

表 3－19 舟岡地区縄文土器一覧表（19） 第 1 調査区・第 6 調査区 第114～116図、図版132・133

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
324	深鉢	88SD11X52.8Y86.8	厚さ 7 mm	平口縁、口縁部くの字内湾、隆起線の上に爪形文、半截竹管半隆起線平行線、波状文、胴部撚糸文	新保式
325	〃	88SD13X52.7Y86.6砂礫	厚さ 9 mm	平口縁、半截竹管半隆起線斜線文上に斜線、内面にゆるい段	〃
326	〃	SD06 97SD133X51.4Y85.8	厚さ 8 mm	平口縁、半截竹管半隆起線斜線文上に斜線	朝日下層式
327	〃	88SD13X53.1Y87.2青砂	厚さ 6 mm	口縁部内傾、半截竹管半隆起線縦線	新保式
328	〃	SD06 98SD138・145 X51.5Y85.9	厚さ 1.9cm	頸部半截竹管半隆起線平行文、胴部半截竹管半隆起線縦線と撚糸文	〃
329	〃	89SD11X52.7Y86.6	厚さ 9 mm	半截竹管半隆起線区画文	〃
330	〃	89SG01X53.9Y87	厚さ 1 cm	爪形文、撚糸文	〃
331	〃	SD06 98SD145X51.5Y85.9	厚さ 1 cm	半截竹管半隆起線文、撚糸文	〃
332	〃	98X52Y86.5	厚さ 1 cm	平口縁、帯状突起、蓮華文、半截竹管半隆起線文	新崎式
333	〃	不明	厚さ 9 mm	平口縁、蓮華文、半截竹管半隆起線文、三叉彫り込み、刻み	〃
334	〃	98X51.5Y85.6	厚さ 8 mm	2つ頭波頂部、爪形文、半截竹管半隆起線文、刻み	〃
335	〃	SD06 97SD136X51.8Y86.1	厚さ 1 cm	蓮華文	〃
336	〃	SD06 97SD141X54.5Y85.7	厚さ 8 mm	平口縁、爪形文、半截竹管半隆起線文、刻み	〃
337	〃	不明	厚さ 8 mm	帯状突起、爪形文、半截竹管半隆起線、刻み	〃
338	〃	SD06 98SD145X51.5Y85.9	厚さ 7 mm	突起、爪形文、格子目文、半截竹管半隆起線文	〃
339	〃	98X52Y85.9第 2 面	厚さ 1 cm	帯状突起、蓮華文、半隆起線文	〃
340	〃	88河跡ジャリ	厚さ 1 cm	帯状突起、蓮華文、半隆起線文	〃
341	〃	SD06 97SD180X53.9Y85.8	厚さ 8 mm	爪形文、半隆起線文	〃
342	〃	97X53.1Y85.6	厚さ 8 mm	爪形文、半隆起線文	〃
343	〃	88SG01X53.9Y86.6	厚さ 7 mm	半隆起線文	〃
344	〃	89SG01X53.7Y86.9灰粘	厚さ 6 mm	半隆起線文、刻み	〃
345	〃	不明	厚さ 8 mm	爪形文、半隆起線文、刻み	〃
346	〃	SD06 98SD145X53.5Y85.8	厚さ 6 mm	半隆起線 B 字状文、格子目文綾杉文、内面 1 段接合痕残す	〃
347	〃	青砂	厚さ 6 mm	半隆起線文、蓮華文、貼付隆帯	〃
348	〃	SD06 98SD145X52.9Y85.9	厚さ 7 mm	爪形文、半隆起線文	〃

表 3－20 舟岡地区縄文土器一覧表（20） 第 1 調査区・第 6 調査区 第116～118図、図版133・134

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
349	深鉢	97不明	厚さ 6 mm	带状突起、隆起線、半隆起線、格子目文、刻み	新崎式
350	〃	88・89不明	厚さ 7 mm	キャタピラー文	〃
351	〃	96SD06カタ	厚さ 9 mm	撚糸文	〃
352	浅鉢	97不明	厚さ 6 mm	爪形文、半隆起線、縦線	〃
353	深鉢	97SD138・145（SD06）	厚さ 7 mm	羽状縄文	新保式
354	浅鉢	88X54.1 Y83.6	厚さ 6 mm	半隆起線	新崎式
355	深鉢	97SD138（SD06）	厚さ 8 mm	縄文	〃
356	〃	98不明	厚さ 7 mm	キャリパー口縁、口唇部内側へ広がる	〃
357	〃	98X53.2 Y88.5	厚さ 8 mm	半隆起線文	古府式
358	〃	88SD15X53.8 Y86.1	厚さ 9 mm	縄文地に半隆起線文	〃
359	〃	97X51.9 Y86第 1 面	厚さ 8 mm	キャリパー口縁、口縁部斜縄文、胴部縦縄文	串田新式
360	浅鉢	97X52.2 Y86SG04下層	厚さ 6 mm	口縁部に半隆起線文、橋状把手、口唇部に玉抱き三叉文	古府式
361	深鉢	97X52.4 Y86黒色	厚さ 1.1cm	胴部縄文地に沈線文	古串田新式
362	〃	97下層ジャリ	厚さ 8 mm	平口縁、口縁部沈線、胴部斜縄文	古府式
363	浅鉢	97X52.6 Y85.5第 2 面	厚さ 8 mm	平口縁、口縁部沈線で長方形区画と縦線	古串田新式
364	深鉢	98X51.3 Y85.9第 2 面	厚さ 6 mm	平口縁、口縁部に半隆起線文、胴部横撚糸文	古府式
365	浅鉢	00X52.6 Y85.3第 2 面	厚さ 7 mm	平口縁、口縁部半隆起線縦線	〃
366	〃	98X51.5 Y85.9	厚さ 7 mm	平口縁、口縁部隆帯と沈線区画内縄文	古串田新式
367	〃	97下層ジャリ	厚さ 6 mm	平口縁、口縁部に半隆起線・玉抱き三叉文・こぶ状貼付	古府式
368	深鉢	97不明	厚さ 8 mm	平口縁、口縁部は爪形文のある隆帯平行線間に波状隆帯	〃
369	〃	98X51.3 Y85.9第 2 面	厚さ 9 mm	半隆起線の渦巻文、櫛歯文	〃
370	〃	97下層ジャリ	厚さ 9 mm	平口縁、縄文地に半隆起線	〃
371	〃	97X52.1 Y85.9SG04下層	厚さ 8 mm	平口縁、平行隆帯上に刻み、沈線	串田新式
372	〃	98X52.2 Y85.4第 2 面	厚さ 7 mm	山形波状口縁、口縁部隆帯上に櫛歯文、平行沈線	古府式
373	〃	98X53.2 Y85.5第 2 面	厚さ 7 mm	平口縁、平行沈線、櫛歯文	〃
374	〃	97不明	厚さ 9 mm	隆帯上に刻み、半隆起線文	〃
375	〃	00第 2 面	厚さ 7 mm	平口縁、口唇部に沈線、貝殻腹縁文、沈線工字文	古串田新式
376	〃	00第 2 面	厚さ 7 mm	平口縁、ヘラ刻み、沈線工字文	〃
377	〃	98X51.9 Y85.7第 2 面	厚さ 7 mm	平口縁、ヘラ刻み、沈線工字文	〃
378	〃	97X52 Y85.8SG04下層	厚さ 7 mm	平口縁、隆帯上に櫛歯文、沈線	〃
379	〃	00X53.1 Y85.5	厚さ 1 cm	平口縁、ヘラ刻み、半隆起線文	〃

表 3-21 舟岡地区縄文土器一覧表 (21) 第 1 調査区・第 6 調査区 第118～121図、図版134～137

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
380	深鉢	98X51.8Y85.9	厚さ 1 cm	口唇部刻み、口縁部半隆起線文	古串田新式
381	"	97不明	厚さ 7 mm	平口縁、縄文地に長方形区画と縦線	"
382	"	97SD06X54.1Y85.7	厚さ 9 mm	半隆起線文、爪形文	古府式
383	"	98SX07	厚さ 1 cm	半隆起線文、爪形文	"
384	"	97SD06X54.3Y85.8	厚さ 8 mm	縄文地に平板な半隆起線文	"
385	"	97SD06X54Y85	厚さ 8 mm	隆帯、半隆起線文、爪形文	"
386	"	88SD05X53.9Y85.6	厚さ 8 mm	隆帯に刻み、半隆起線文、沈線刻みによる波状文	"
387	"	88SD05X53.9Y85.4	厚さ 8 cm	隆帯上に刻み、半隆起線文	"
388	"	88SD05X53.7Y85.4	厚さ 8 mm	S字隆帯に刻み、半隆起線文	"
389	"	88SD05X55Y85.2	厚さ 7 mm	S字隆帯に刻み、半隆起線文	"
390	"	97SD05X53.9Y85.6	厚さ 1 cm	渦巻き隆帯に刻み、半隆起線文	"
391	"	88SD05X53.8Y85.3	厚さ 8 mm	S字隆帯に刻み、半隆起線文	"
392	"	89SG01X53.9Y81	厚さ 1 cm	半隆起線上に櫛歯文	"
393	"	88SD15X53.8Y86.1	厚さ 8 mm	環状突起、爪形文	"
394	"	97SD05肩X54Y85.7	厚さ 6 mm	台形状突起、勾玉状隆体	"
395	"	88SD05X53.8Y85.4	厚さ 6 mm	山形波頂、撚糸文地に半隆起線文	"
396	"	89X51.5Y86.5黒	厚さ 7 mm	沈線による長方形区画内に爪形文、胴部縄文	"
397	"	87SD06X54.3Y85.8	厚さ 7 mm	S字隆帯に刻み、半隆起線文	"
398	"	88SD05X53.8Y85.2	厚さ 8 mm	半隆起線文縦線	"
399	"	88SD05X53.9Y85.5黒	厚さ 8 mm	半隆起線文	"
400	"	97SD130X53.9Y85.6黒 (SD06)	厚さ 1 cm	半隆起線文	"
401	"	88X54.1Y85.1	厚さ 1.1cm	半隆起線文波状文	"
402	"	88	厚さ 7 mm	半隆起線文平行線、波状文	"
403	"	88X56.9Y86.4	厚さ 1 cm	半隆起線文平行線、波状文	"
404	浅鉢	89SG01X53.8Y86.9	厚さ 5 mm	半隆起線文、口唇部玉抱き三叉文と赤漆塗	"
405	深鉢	88X54.1Y85.1	厚さ 9 mm	半隆起線文波状文	"
406	"	89X51.5Y86.5黒	厚さ 8 mm	口唇部刻み、半隆起線文	"
407	"	88SD05X53.9Y85.4	口径30cm 器高残16cm	半隆起線文連弧文	"
408	"	89SG01X53.8Y84.1黒	厚さ 8 mm	半隆起線文	"
409	"	89SG01X53.7Y87黒	厚さ	紐状把手、隆帯垂下、胴部撚糸文	串田新式
410	有孔罎付土器	97SD130X54.2Y85.7 (SD06)	胴部径30cm	胴上部に動物顔が付く、沈線と櫛歯文、内面赤漆塗	古府式
411	浅鉢	88SD05X53.8Y85.3黒	口径48cm 器高残 7 cm	くの字内傾、口縁部外反	"
412	深鉢	不明	口径34cm 器高残17cm	口縁部半隆起線文、胴部斜縄文	"

表 3－22 舟岡地区縄文土器一覧表（22） 第 1 調査区・第 6 調査区 第121～123図、図版137～139

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
413	浅鉢	97SD142 X 54.5 Y 85.7 (SD06)	口径37cm 器高残 6 cm	口縁部半隆起線文	古府式
414	〃	89SG01 X 53.9 Y 86.8黒	厚さ 8 mm	口縁部半隆起線文	〃
415	台部	88SD05 X 53.8 Y 85.4	台径10cm	2 対の円孔を三角形沈線で囲む	〃
416	深鉢	89SG03 X 53.1 Y 86.6黒	厚さ 7 mm	葉脈状文、隆带上貝殻腹縁文	串田新式
417	〃	89SG04 X 51.6 Y 86.4	口径32cm 器高残18.5cm	横縄文	〃
418	〃	97SX03 X 52.6 Y 85.9	厚さ 7 mm	沈線渦巻文、区画文、櫛歯文	古串田新式
419	〃	89SG01 X 53.8 Y 86.9黒 2	厚さ 8 mm	環状突起、ねじり棒把手、隆帯間縦線	串田新式
420	〃	88SG01 X 53.8 Y 86.9黒 2	厚さ 8 mm	平行隆帯間縦線、隆带上貝殻腹縁文	〃
421	〃	88SG01 X 53.9 Y 86.7黒 1	厚さ 7 mm	台形波頂、貝殻腹縁文、沈線渦巻文	〃
422	〃	88SG01 X 53.9 Y 86.7黒	厚さ 6 mm	台形波頂、2 本紐把手、平行隆帯間縦線、貝殻腹縁文	〃
423	〃	89SK18 X 51.5 Y 86.8	厚さ 7 mm	台形波頂、2 本紐把手、貝殻腹縁文	〃
424	〃	89SG01 X 54.1 Y 86.7黒 2	厚さ 6 mm	S 字隆帯	古串田新式
425	〃	97下層ジャリ	厚さ 7 mm	半隆起線文	古府式
426	〃	89SG01 X 53.9 Y 86.7黒 3 下砂礫	厚さ 6 mm	櫛歯文、幅広沈線	古串田新式
427	〃	98 X 52.8 Y 85.4	厚さ 6 mm	舟形、半隆起線、ヘラ刻み	古府式
428	〃	89SG01 X 53.8 Y 87.1黒 3	厚さ 7 mm	半隆起線、櫛歯文	〃
429	〃	88SD05 X 53.9 Y 85.3	口径24cm 器高残9.5cm	キャリパー口縁、縄文地に隆帯渦巻文、剣先文、頸部無文	大木 8 b 式
430	〃	97下層ジャリ	厚さ 9 mm	キャリパー口縁、隆帯渦巻文	〃
431	浅鉢か	89SG01 X 54 Y 86.9黒 2	厚さ 5 mm	口縁部縄文に渦巻沈線	〃
432	深鉢	89SG01 X 54 Y 86.9黒下砂礫層	厚さ 6 mm	渦巻隆帯	〃
433	浅鉢	98 X 53.2 Y 85.5第 3 面	厚さ 5 mm	渦巻沈線	古串田新式
434	〃	98 X 51.5 Y 85.9	厚さ 6 mm	渦巻隆帯	〃
435	〃	97SD05 X 53.8 Y 85	厚さ 6 mm	玉抱き三叉文、コブ状貼付	古府式
436	深鉢	88SD05 X 53.9 Y 85.2	厚さ 6 mm	縄文地に 3 本沈線垂下	大木 8 b 式
437	〃	88SD05 X 53.9 Y 85.4	厚さ 9 mm	縦条痕文	古府式
438	〃	89SG01	厚さ 9 mm	山形波頂、口唇部に 3 本紐貼付、胴部縄文	〃
439	器台	98SX11 肩 X 51.9 Y 85.6	台径18cm	無文	串田新式
440	〃	98SX11 X 52 Y 85.6	台径13.5cm	無文	〃
441	深鉢	89 X 53.65 Y 85.5	厚さ 6 mm	渦巻き状突起、列点文、棒状把手	〃

表 3－23 舟岡地区縄文土器一覧表（23） 第 1 調査区・第 6 調査区 第123～125図、図版139～141

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
442	鍔付土器	97SG04X52Y86	厚さ 9 mm	橋状把手、隆帯貼付、赤漆塗	串田新式
443	〃	97SG04X52.2Y86	厚さ 8 mm	〃	〃
444	深鉢	97SG04X52.2Y86	口径24cm	無文	〃
445	〃	97SG04X52Y85.9	口径22cm	口縁部無文、胴部縄文	〃
446	〃	97SG04X51Y86	厚さ 7 mm	平口縁、無文	〃
447	〃	88X57.9Y86.8	厚さ 9 mm	U字状波頂、口縁部隆帯と刻み、 胴部条痕文、山形無文帯	〃
448	〃	88SK02X51.5Y86.8	厚さ 8 mm	細隆起線文	岩峠野式
449	〃	88SK04X51.2Y87.1	厚さ 1 cm	隆帯上貝殻腹縁文	串田新式
450	〃	88SK05X52.2Y87	厚さ 6 mm	J 字文、帯縄文	中津式系
451	〃	〃	厚さ 6 mm	外反口縁、波状沈線	前田式
452	〃	〃	厚さ 6 mm	長方形区画内縄文	〃
453	〃	〃	厚さ 9 mm	貝殻腹縁文	串田新式
454	〃	88SK06X51.5Y87.1黒	厚さ 7 mm	帯縄文	中津式系
455	〃	〃	厚さ 6 mm	〃	〃
456	〃	〃	厚さ 6 mm	〃	〃
457	〃	〃	厚さ 6 mm	口縁部外反、平行沈線	前田式
458	〃	88SK07X52.4Y87	厚さ 7 mm	葉脈状文	串田新式
459	台か	〃	厚さ 1 cm	葉脈状文、円孔	〃
460	深鉢	88SK08X51.8Y86.5黒	厚さ 6 mm	口縁部隆帯とヘラ刻み	〃
461	〃	〃	厚さ 8 mm	沈線区画文	中津式系
462	〃	88SK09X51.4Y87	厚さ 7 mm	貝殻腹縁文	串田新式
463	〃	〃	厚さ 8 mm	平行沈線間列点文	前田式
464	〃	88SK10X51.5Y87.1黒	厚さ 1 cm	平行隆帯上貝殻腹縁文、条痕文	串田新式
465	〃	88SK11X51.6Y87.1黒	厚さ 7 mm	肥厚口縁に貝殻腹縁文	〃
466	〃	〃	厚さ 8 mm	沈線文、内面隆帯貼付	〃
467	〃	〃	厚さ 6 mm	隆帯間に弧線文、列点文	〃
468	〃	〃	厚さ 6 mm	平行沈線間に斜線列、条痕文	〃
469	〃	88SK11X51.3Y86.6	厚さ 8 mm	山形波頂部に円形押圧、隆帯と 刻み、条痕文	〃
470	〃	〃	厚さ 7 mm	〃	〃
471	〃	〃	厚さ 7 mm	〃	〃
472	〃	〃	口径24cm 器高残14cm	口縁部外反、無文、補修孔あり	〃
473	〃	88SK14X51.2Y86.7	厚さ 9 mm	平行隆帯に列点文、縦 1 本隆帯、 葉脈文	〃
474	〃	〃	厚さ 7 mm	平行沈線間列点文	前田式
475	〃	〃	厚さ 8 mm	外反口縁、隆帯、連弧文に列点 文	串田新式
476	〃	〃	厚さ 7 mm	波頂部環状隆帯貼付、平行隆帯 上の貝殻腹縁文	〃
477	〃	〃	厚さ 9 mm	口縁部外反、斜縄文	〃
478	〃	〃	厚さ 8 mm	縦条痕文	〃
479	〃	〃	厚さ 6 mm	沈線間に押引き列点、補修孔	〃

表 3-24 舟岡地区縄文土器一覧表 (24) 第 1 調査区・第 6 調査区 第125～127図、図版141・142

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
480	深鉢	88SK14X51.2Y86.7	厚さ 7 mm	隆帯と刻み	串田新式
481	〃	〃	厚さ 8 mm	縦条痕文に沈線	〃
482	〃	〃	厚さ 8 mm	口唇部さざなみ状、無文	〃
483	〃	89SK23	厚さ 7 mm	〃	〃
484	〃	89SK35	口径28cm 器高残12cm	口縁部外反、沈線区画内燃糸文、縦長列点文	〃
485	〃	89SK36	厚さ 7 mm	半隆起線	古府式
486	〃	89SK41	厚さ 9 mm	縦沈線	前田式
487	〃	〃	〃	〃、隆帯上刻み	〃
488	〃	89P50X51.4Y86.7	口径28cm 器高残12cm	口縁部外反、頸部楕円区画文	串田新式
489	〃	88SI01X53.8Y87	厚さ 7 mm	平行沈線、無節斜縄文	〃
490	〃	88SI02X51.5Y87黒	厚さ 6 mm	帯縄文	中津式系
491	〃	〃	厚さ 8 mm	無節縄文弧状沈線	〃
492	〃	〃	厚さ 7 mm	縄文地に渦巻き沈線	〃
493	〃	〃	厚さ 7 mm	縄文地に無文区画文	〃
494	〃	88SI03X51.2Y86.9	厚さ 9 mm	U字状波頂、肥厚口縁と垂下隆帯に貝殻腹縁文、葉脈状文	串田新式
495	〃	〃	厚さ 8 mm	台形波頂、弧状隆帯に刻み	〃
496	〃	〃	厚さ 6 mm	U字状波頂、平行隆帯と垂下隆帯に貝殻腹縁文	〃
497	〃	〃	厚さ 6 mm	外反口縁、肥厚口縁・波状隆帯・垂下隆帯に貝殻腹縁文、葉脈状文	〃
498	〃	〃	厚さ 7 mm	台形波頂、波頂部内外面に刺突文、肥厚口縁・連弧隆帯・垂下隆帯に貝殻腹縁文	〃
499	〃	〃	厚さ 7 mm	外反口縁に2つ瘤突起、肥厚口縁・波状隆帯・垂下隆帯に貝殻腹縁文、葉脈状文	〃
500	〃	〃	厚さ 7 mm	山形波頂、肥厚口縁に貝殻腹縁文、胴部縦条痕文	〃
501	〃	〃	厚さ 8 mm	外反口縁、平行沈線間に列点文	〃
502	〃	〃	厚さ 5 mm	外反口縁、口縁部押圧、平行沈線間に列点文	前田式
503	〃	〃	厚さ 9 mm	沈線区画内に列点文、無節縄文	串田新式
504	〃	〃	厚さ 7 mm	山形波頂、平行沈線、胴部縦条痕文	〃
505	〃	〃	厚さ 6 mm	肥厚口縁部に貝殻腹縁文、胴部縦条痕文	〃
506	〃	〃	厚さ 6 mm	山形波頂、J字文	中津式系
507	〃	88SI04X51.2Y86.7	厚さ 7 mm	山形波頂、口縁部・弧状隆帯に貝殻腹縁文、沈線区画内に列点文、胴部縦条痕文	串田新式

表 3－25 舟岡地区縄文土器一覧表（25） 第 6 調査区 第127～130図、図版142～144

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
508	深鉢	88SI04X51.2Y86.7	厚さ 8 mm	口縁部外反、縦・横、弧状の突線文、縦条痕文	岩嶺野式
509	〃	〃	口径30cm 器高残9.5cm	口縁部沈線、胴部縦条痕文	串田新式
510	〃	〃	厚さ 6 mm	平行沈線間に列点文、縦条痕文	〃
511	〃	88SGI01X53.9Y86.8黒 1	厚さ 8 mm	山形波頂、円形押圧、隆帯、縦条痕文	〃
512	〃	〃	厚さ 7 mm	山形波頂、円形押圧、隆帯上刻み、胴部紡錘形区画文	〃
513	〃	〃	厚さ 8 mm	貝殻腹縁文、平行沈線文	〃
514	〃	〃	厚さ 6 mm	平行沈線、斜線列、口縁部内面に突線	〃
515	〃	〃	厚さ 1 cm	口唇部に押圧、平行沈線間に貝殻腹縁文、縦条痕文、補修孔	〃
516	〃	〃	厚さ 6 mm	U字状波頂、隆帯上刻み、列点文	〃
517	〃	〃	厚さ 9 mm	平行沈線間列点文	〃
518	〃	〃	厚さ 6 mm	平行沈線、口縁部斜条痕文、胴部縦条痕文	〃
519	〃	〃	厚さ 6 mm	口縁部さざなみ状	〃
520	〃	〃	厚さ 7 mm	376の胴部、沈線楕円区画文、貝殻腹縁文	〃
521	〃	88 1 トレ	厚さ 6 mm	内湾口縁、平行沈線、紡錘形区画文	中津式系
522	〃	88SG01X53.9Y86.8黒 1	厚さ 7 mm	長楕円区画文、縦線	串田新式
523	〃	〃 黒 1・2	厚さ 9 mm	縦条痕文に楕円形、弧状無文帯	〃
524	〃	〃	口径42cm 器高残12.5cm	口縁部・三角区画文内貝殻腹縁文、縦短線	〃
525	〃	〃 黒 1	厚さ 9 mm	口縁部押圧、平行隆帯・縦隆帯上に刻み、無節斜縄文	〃
526	〃	〃 黒 2	厚さ 7 mm	平行沈線間列点、縦条痕文	〃
527	〃	〃 黒 1・2	厚さ 7 mm	隆帯上刻み、列点文	〃
528	〃	〃 黒 2	厚さ 7 mm	縦条痕文に平行沈線	〃
529	〃	89SG01黒 1・2	口径48cm	口縁部、長方形区画内に貝殻腹縁文	〃
530	〃	88SG01X53.7Y86.7黒 2	厚さ 6 mm	2つ山波頂、無文	〃
531	〃	88SG01X54Y86.8黒 2	厚さ 8 mm	2つ山波頂、紐状把手、隆帯上刻み、隆帯間列点文	〃
532	〃	89SG01X54Y86.9黒 2	厚さ 5 mm	台形波頂、紐状把手、平行隆帯	〃
533	鉢	89SG01X53.9Y87黒 2	口径28cm 器高10cm 底径14cm	無文	〃
534	深鉢	89SG01X54.1Y86.7黒 2	厚さ 8 cm	平行沈線、連弧文、条痕文	〃
535	〃	88SG01X54Y86.8黒 2	厚さ 6 mm	平行沈線間押引列点文、539・540と同一個体	〃

表 3－26 舟岡地区縄文土器一覧表（26） 第 6 調査区 第130～132図、図版144～146

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
536	深鉢	89SG01 X 53.9 Y 86.9黒 2	厚さ 7 mm	平行沈線間押引列点文、縦条痕文	串田新式
537	〃	88SG01 X 54 Y 86.8黒 2	厚さ 8 mm	隆带上刻み	〃
538	〃	88SG01 X 54.1 Y 86.7黒 2	厚さ 8 mm	平行沈線間列点文、縦沈線	〃
539	〃	88SG01 X 54 Y 86.8黒 2	厚さ 8 mm	平行沈線間押引列点文、連呼文 内縦細沈線、縦撚糸文	〃
540	〃	〃	〃	〃	〃
541	〃	〃	厚さ 6 mm	山形波頂、口縁部貝殻腹縁文と 平行沈線間押引列点文、縦条痕文	〃
542	〃	89SG01 X 54 Y 86.8黒 2	厚さ 7 mm	山形波頂、平行沈線	〃
543	〃	89SG01 X 54 Y 86黒 2 上	厚さ 7 mm	肥厚口縁に縦長刻み、縦撚糸文 か	〃
544	〃	88SG01 X 53.9 Y 86.7黒 2	厚さ 7 mm	平行隆帯間 C の字隆帯、隆带上 貝殻腹縁文、縦条痕文	〃
545	〃	88SG01 X 54 Y 86.8黒 2	口径24cm 器高残11.5cm	平行沈線	〃
546	〃	〃	口径26cm 器高残 5 cm	外反口縁、平行沈線	前田式
547	〃	88SG01 X 53.9 Y 86.7黒 2	厚さ 7 mm	平行沈線間貝殻腹縁文、弧状沈 線、条痕文	串田新式
548	〃	〃	〃	547とおなじ	〃
549	〃	〃	厚さ 1 cm	口縁部・楕円区画内斜縄文	中津式系
550	〃	88SG01 X 54 Y 86.8黒 2	口径20cm 器高残 9 cm	長方形区画内撚糸文	串田新式
551	〃	〃	厚さ 8 cm	山形突起に逆 J 字隆帯、隆带上 刻み、沈線区画内条痕文	〃
552	〃	〃	厚さ 6 mm	山形波頂に円形押圧、隆帯に貝 殻腹縁文	〃
553	〃	〃 黒 2・3	厚さ 7 mm	縄文地に平行沈線	〃
554	〃	89SG01 X 53.9 Y 86.9黒 3	厚さ 1 cm	縄文地に平行沈線間無文	中津式系
555	鈐付土器	〃 黒 2	厚さ 4 mm	橋状把手	串田新式
556	深鉢	89SG01 X 53.9 Y 86.6黒 3	口径38cm 器高残19.5cm	無文	〃
557	〃	88SG01 X 50.7 Y 87下層	厚さ 9 mm	組紐状突起、斜縄文	〃
558	〃	89SG01 X 54 Y 86.8	口径24cm 器高残 8 cm	平行沈線間列点文	〃
559	〃	89SG01 X 54.1 Y 86.8黒 2	厚さ 1 cm	山形波頂、平行沈線間列点文、 無節縄文	〃
560	〃	88SG01 X 54 Y 86.9黒	厚さ 7 mm	外反口縁、平行沈線間列点文、 縄文	前田式
561	鈐付土器	88SG01 X 53.7 Y 86.4黒 2	厚さ 6 mm	隆帯、胴部縦撚糸文	串田新式
562	深鉢	89SG01 X 54 Y 86.8黒	厚さ 8 mm	平行沈線、連弧文	〃

表 3-27 舟岡地区縄文土器一覧表 (26) 第 6 調査区 第132～134図、図版146～148

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
563	深鉢	89SG01 X 不明 Y 86.9黒 1	厚さ 7 mm	肥厚口縁に刻み、列点文、内面隆帯貼付	串田新式
564	〃	89SG01 X 54.1 Y 86.8	厚さ 7 mm	隆帯と列点文	〃
565	〃	89SG01 X 51.3 Y 86.9黒	厚さ 5 mm	筒形波頂、帯縄文	中津式系
566	〃	89SG01 X 53.9 Y 86.7黒	厚さ 8 mm	平行沈線文、条痕文	串田新式
567	浅鉢	89SG01 X 51.1 Y 87黒	厚さ 5 mm	橋状把手	〃
568	深鉢	89SG01 X 53.8 Y 86.7黒	厚さ 6 mm	J 字文	中津式系
569	〃	89SG02 X 51.2 Y 86.4黒	口径16cm 器高残11cm	隆帯上に列点文、縦平行隆帯に S 字・C 字隆帯、葉脈状文	串田新式
570	〃	88SG02 X 51 Y 86.7黒 1	厚さ 8 mm	葉脈状文	〃
571	〃	89SG02 X 51.2 Y 86.4黒	厚さ 6 mm	さざなみ状口縁	〃
572	〃	88SG02 X 51.2 Y 86.5黒	厚さ 6 mm	肥厚口縁・沈線区画内に貝殻腹縁文、列点文	〃
573	〃	88SG02 X 51.3 Y 87黒	厚さ 9 mm	沈線区画内列点文、口縁部・胴部無節斜縄文	〃
574	〃	89SG02 X 51.2 Y 86.3黒	厚さ 7 mm	2 つ瘤突起、平行沈線	〃
575	〃	89SG02 X 51.3 Y 86.4黒	口径34cm 器高残6.5cm	平行沈線間斜短線、列点文	〃
576	〃	89SG02 X 51.3 Y 86.4黒	厚さ 6 mm	山形突起、沈線間に列点文、隆帯上に貝殻腹縁文、先端蕨手状垂下隆帯	〃
577	浅鉢	89SG02 X 51.2 Y 86.6黒 1	厚さ 6 mm	橋状把手	〃
578	深鉢	88SG02 X 51.1 Y 86.6黒 1	厚さ 6 mm	垂下隆帯脇に円形刺突文	〃
579	〃	88SG02 X 51.2 Y 86.4黒 1	厚さ 8 cm	縄文地に平行沈線間列点文	〃
580	〃	88SG02 X 51.3 Y 87黒	厚さ 8 mm	山形波頂、平行沈線、横縄文	〃
581	〃	88SG02 X 51.2 Y 86.7黒 2	口径34cm 器高残 9 cm	肥厚口縁部に貝殻腹縁文、縦条痕文	〃
582	〃	88SG02 X 51.2 Y 86.7黒 2	厚さ 7 mm	山形口縁、隆帯と刻み、山形区画文	〃
583	〃	88SG02 X 51.2 Y 86.3黒 2	厚さ 7 mm	平行隆帯間波状沈線、縄文	〃
584	〃	88SG02 X 51.3 Y 86.7黒 2	厚さ 1 cm	肥厚口縁・縦隆帯に撚糸文	〃
585	〃	89SG02 X 51.2 Y 86.8黒 2	口径28cm 器高残19cm	平行沈線間に斜線列、縦条痕文	〃
586	〃	89SG02 X 51.2 Y 86.4黒 2	厚さ 8 mm	平行沈線、隆帯上縄文、胴部縦縄文	〃
587	〃	89SG02 X 51.2 Y 86.4黒 2	厚さ 6 mm	山形波頂、波頂部内傾、沈線と刺突文	〃
588	〃	88SG02 X 51.3 Y 86.7黒 2	口径30cm 器高残7.5cm	楕円区画文	〃
589	〃	88SG02 X 51.2 Y 86.8黒 2	口径32cm 器高残12.5cm	口唇部押圧	〃
590	〃	88SD07 X 54.1 Y 86.6	厚さ 7 mm	葉脈状文	〃
591	〃	89 X 51.5 Y 86.9黒	厚さ 7 mm	波状隆帯貼付、葉脈状文	〃

表 3-28 舟岡地区縄文土器一覧表 (28) 第 6 調査区 第134～136図、図版148・149

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
592	深鉢	88SD07X53.1Y86.7	厚さ 8 mm	ねじり紐状突起、隆帯と貝殻腹縁文	串田新式
593	〃	88SD09X51.7Y86.6	厚さ 4 mm	外反口縁、隆帯上刻み、沈線の連弧文と縦線	岩峠野式
594	〃	不明	厚さ 6 mm	外反口縁、連弧隆帯、縄文	〃
595	〃	88SD15X53.9Y86.1	厚さ 8 mm	外反口縁、平行沈線間列点文	前田式
596	〃	88SD15X53.9Y87.1	厚さ 6 mm	外反口縁、口縁部押圧、平行沈線間列点文、縄文、補修孔	〃
597	〃	88SD07X54.1Y86.6	厚さ 8 mm	外反口縁、口縁部押圧、平行沈線間列点文	〃
598	〃	88SD11X53Y86.7	口径20cm 器高残 7 cm	平行沈線間列点文、縦条痕文	串田新式
599	〃	88SD08X51.3Y86.9	口径30cm 器高残22cm 器高残 7 cm	口縁部外反、平行沈線間方形区画文、S 字文	前田式
600	〃	〃	口径20cm 器高残 8 cm	口縁部外反、平行沈線間S 字文	〃
601	〃	89X51.3Y87.1黒	厚さ 8 cm	山形波頂、平行沈線渦巻き文	串田新式
602	〃	88SD08X51.1Y86.9	口径26cm 器高残16.5cm	長方形区画文、胴部ナデ	〃
603	〃	88SD08X51.3Y86.9	口径26cm 器高残12.5cm	口縁部外反、口縁部押圧、平行沈線重弧文	〃
604	〃	〃	口径23cm 器高残10cm	口縁部外反、隆帯連弧文と刻み、胴部縄文	岩峠野式
605	〃	〃	厚さ 5 mm	列点文、縦沈線	〃
606	〃	〃	厚さ 7 mm	沈線区画文縦線	串田新式
607	〃	88SD11X55.1Y87.1	口径22cm 器高残4.5cm	口唇部刻み、平行沈線	〃
608	〃	88SD19X51.2Y87.1黒	厚さ 8 mm	J 字文、帯縄文	中津式系
609	〃	88SD19X51Y87黒 1	厚さ 8 mm	帯縄文	〃
610	〃	88SD02X53.8Y86.7	口径22cm 器高残8.5cm	J 字文	〃
611	〃	88SD02X54.1Y86.8	厚さ 1 cm	帯縄文	〃
612	〃	88X51.5Y86.5黒	厚さ 6 mm	帯縄文、列点文、内外赤漆塗	〃
613	〃	88SD10X51.2Y86.5	厚さ 8 mm	山形波頂、J 字文	〃
614	〃	88SD19X51.1Y87黒 1	厚さ 1 cm	山形波頂、口縁部隆帯、口唇部無節縄文、無節縄文に紡錘形区画文	〃
615	〃	88SD08X51.3Y86.9	厚さ 9 mm	帯縄文	〃
616	〃	88SD19X51.2Y86.7黒	厚さ 6 mm	平行沈線、S 字文、縦縄文	前田式
617	〃	88SD19X51Y87黒 1	厚さ 6 mm	台形突起、肥厚口縁、縦隆帯	串田新式
618	〃	88SD19X51Y87	厚さ 9 mm	J 字文、紡錘形区画文、無節縄文	中津式系
619	〃	88SD09X51.8Y86.6	厚さ 6 mm	平行沈線	串田新式

表 3－29 舟岡地区縄文土器一覧表（29） 第 1 調査区・第 6 調査区 第136～138図、図版149・150

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
620	深鉢	88SD18X51.1Y87.1黒炭	厚さ 5 mm	口唇部さざなみ状、沈線と条痕文、口縁部内面肥厚	串田新式
621	〃	88SD19X51.5Y87.1黒 1	厚さ 1 cm	縄文地に平行沈線、口唇部に縄文	〃
622	鉢か	88SD19X51Y87黒 1	厚さ 9 mm	平行沈線	〃
623	深鉢	88SD18X51.1Y86.4	厚さ 8 mm	平行沈線、斜縄文	〃
624	浅鉢	88SD19X51.1Y87黒 1	厚さ 6 mm	口縁部内傾	〃
625	〃	88SD19X51.1Y87黒 1	口径31cm 器高残2.5cm	平行沈線間縄文	〃
626	〃	88SD19X51Y87黒 1	厚さ 6 mm	口縁部内傾	〃
627	〃	88SD11X53.6Y86.7	厚さ 7 mm	山形頂、橋状把手	〃
628	深鉢	97SD06X53.2Y86	厚さ 9 mm	肥厚口縁、貝殻腹縁文	〃
629	〃	98SD06X52.6Y85.6	厚さ 5 mm	口縁部押圧、貝殻腹縁文、横縄文に弧線文	〃
630	〃	98SD06X52Y85.3	厚さ 9 mm	口縁部沈線、斜縄文	〃
631	〃	97SD06X52.6Y85	厚さ 6 mm	平行沈線区画文、S 字文、縦縄文	前田式
632	〃	97SD06X53.8Y85	厚さ 8 mm	平行沈線間に貝殻腹縁文、縦条痕文	串田新式
633	〃	97SD06X53.1Y86	厚さ 7 mm	平行沈線、列点文、補修孔	〃
634	〃	97SD06X52.8Y85.7下層	厚さ 4 mm	縄文に帯状無文帯	中津式系
635	〃	97SD06X52.8Y85.6	厚さ 5 mm	細隆起線文	岩峠野式
636	〃	97SD16X51.6Y85.9下層 (SD06)	厚さ 7 mm	先端かぎの手垂下降帯、葉脈状文	串田新式
637	〃	97SD13X51.9Y85.7下層ジ ャリ (SD06)	厚さ 6 mm	平行沈線間列点文、無節縄文	〃
638	〃	97SD16X51.6Y85.8青砂 (SD06)	厚さ 7 mm	肥厚口縁に貝殻腹縁文、葉脈状文	〃
639	〃	97SD06X X52.1Y85.5黄ジ ャリ	厚さ 7 mm	縦隆帯、沈線区画	〃
640	〃	97SD16X51.7Y85.5 (SD06)	厚さ 6 mm	肥厚口縁に刻み、斜縄文	〃
641	〃	97SD16X51.3Y85.6下層 (SD06)	厚さ 7 mm	沈線間列点文、隆帯上貝殻腹縁文、先端蕨手垂下降帯	〃
642	〃	977SD16 (SD06)	厚さ 6 mm	列点文、細隆起線文	岩峠野式
643	釣手土器	〃	厚さ 7 mm	細隆起線文	〃
644	深鉢	〃	厚さ 8 mm	平行沈線、S 字文	前田式
645	〃	〃	〃	〃 507と同一個体	〃
646	〃	97SD16X51.6Y85.9青砂灰 層 (SD06)	厚さ 7 mm	隆帯、口唇部に列点文	串田新式
647	〃	977SD16 (SD06)	厚さ 7 mm	渦巻き沈線	〃
648	〃	97SD16X51.8Y85.6 (SD06)	厚さ 7 mm	平行沈線間貝殻腹縁文	〃
649	〃	97SD16X51.8Y85.6下層 (SD06)	厚さ 7 mm	平行沈線、平行縦線、重弧文	岩峠野式

表 3－30 舟岡地区縄文土器一覧表（30） 第 1 調査区 第138～139図、図版150～152

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
650	深鉢	97SD16X51.6Y85.8 (SD06)	厚さ 1 cm	帯縄文	中津式系
651	〃	97SD16X51.8Y85.6下層 (SD06)	厚さ 1 cm	円形突起、帯縄文、内面刺突文	〃
652	〃	97SG04上層X52.2Y86	厚さ 7 mm	山形波頂、波頂部押圧、口縁部 肥厚に貝殻腹縁文、葉脈状文、 蕨手隆帯垂下	串田新式
653	〃	〃	厚さ 1 cm	山形波頂、横隆帯・縦平行隆帯 上刻み	〃
654	〃	97SG04上層X51.3Y86	厚さ 8 mm	山形波頂、無節縄文に連弧文、 補修孔	〃
655	〃	97SG04上層X52.2Y86	厚さ 7 mm	横・環状隆帯に貝殻腹縁文、斜 縄文に連弧文	〃
656	〃	〃	口径32cm 器高残10.5cm	平行沈線間に列点文	〃
657	〃	97SG04上層X52.8Y86	厚さ 8 mm	平行沈線間に 2 列列点文	〃
658	〃	97SG04上層X52.8Y869	厚さ 7 mm	隆帯上刻み、葉脈状文、522と 同一個体	〃
659	〃	〃	厚さ 8 mm	押圧波頂、縦線刻み、平行隆帯 上刻み、葉脈状文	〃
660	〃	97SG04上層X52.3Y86	厚さ 7 mm	S 字文	前田式
661	〃	97SG04上層X52.2Y86	厚さ 6 mm	小U字形波頂、平行縦隆帯上刻 み、S 字文	串田新式
662	〃	97SG04上層X52.8Y86	口径30cm 器高残14cm	口唇部列点文、2 列列点文、縦 撚糸文	〃
663	〃	97SG04上層X52.2Y86	厚さ 6 mm	平行縦沈線、貝殻腹縁文、列点 文	〃
664	浅鉢	97SG04上層X52.3Y86	厚さ 6 mm	口縁部内湾、列点文	〃
665	深鉢	97SG04上層X52.1Y86	厚さ 6 mm	平行沈線、列点文、縦縄文	前田式
666	〃	〃	厚さ 7 mm	口縁部さざなみ状	串田新式
667	〃	97SG04上層X52.1Y85.9	口径28cm 器高残5.5cm	キャリパー口縁、縄文地に隆帯 方形区画文	〃
668	浅鉢か	97SG04上層X51.9Y 不明	厚さ 6 mm	口縁部内傾、縄文	〃
669	深鉢	97SG04上層X52.2Y86	厚さ 8 mm	押圧波頂、条痕文、胴部膨らむ	〃
670	〃	97SG04上層X51.3Y86	厚さ 8 mm	さざなみ状口縁、沈線、縦条痕 文	〃
671	小型土器	97SG04上層X52Y86	口径10cm 器高残 6 cm	無文	〃
672	深鉢	97SG04下層X52.1Y86	厚さ 8 mm	U字形波頂、双頭部円盤状、波 頂部口唇部刺突文、口縁部平行 隆帯と列点文、胴部条痕文	〃
673	〃	97SG04下層X52Y85	厚さ 7 mm	山形波頂内傾、肥厚口縁、隆帯 上列点文、蕨手隆帯垂下、葉脈 状文	〃
674	〃	97SG04下層X51.9Y85.9	厚さ 6 mm	平行隆帯上刻み、葉脈状文	〃

表 3 - 31 舟岡地区縄文土器一覧表 (31) 第 1 調査区 第 140・141 図、図版 152・153

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
675	深鉢	97SG04下層 X52 Y85	厚さ 7 mm	山形波頂内傾、円形押圧、平行沈線間列点、条痕文	串田新式
676	〃	97SG04下層 X52.2 Y86	厚さ 9 mm	山形波頂、平行沈線間列点文、縦条痕文	〃
677	〃	97SG04下層 X52 Y85.9	口径28cm 器高残11cm	押圧波頂、口縁部ヘラ刻み、平行沈線間に列点文	〃
678	〃	〃	口径30cm 器高残13cm	口縁部ヘラ刻み、平行沈線間に列点文、無節縄文	〃
679	〃	97SG04下層 X52 Y86	口径40cm 器高残13.5cm	肥厚口縁に刻み、縄文	〃
680	〃	97SG04下層 X52 Y85.9	厚さ 6 mm	肥厚口縁に貝殻腹縁文、平行沈線、列点文	〃
681	〃	97SG04下層 X52.1 Y86	口径34cm 器高残9.5cm	平行沈線間列点文、斜縄文	〃
682	〃	97SG04下層 X52 Y85.9	厚さ 6 mm	口縁外反、平行隆帯、貝殻腹縁文、円形列点文	〃
683	〃	97SG04下層 X52.1 Y85.9	厚さ 8 mm	口縁外反、平行隆帯間円形刺突文	〃
684	〃	〃	厚さ 9 mm	山形波頂内傾、環状隆帯、平行隆帯間円形刺突文	〃
685	〃	97SG04下層	厚さ 5 mm	波状隆帯に貝殻腹縁文	〃
686	〃	97SG04下層 X52 Y86	厚さ 6 mm	波状隆帯、条痕文	〃
687	〃	97SG04下層 X52.2 Y86	厚さ 6 mm	S字隆帯	加曽利EⅡ式
688	〃	97SG04下層 X52.1 Y85.9	厚さ 7 mm	押圧波頂、縄文地に長方形区画文、縦列点	串田新式
689	〃	97SG04下層 X52 Y86	厚さ 9 mm	隆帯、重弧文	〃
690	〃	〃	口径44cm 器高残15cm	平行沈線、縦縄文に弧線文	〃
691	〃	97SG04下層 X51.9 Y85.9	厚さ 7 mm	山形波頂内傾、平行沈線	〃
692	〃	97SG04下層 X52.1 Y86	口径22cm 器高14cm	肥厚口縁に無節縄文、胴部横無節縄文	〃
693	〃	97SG04下層 X52 Y86	口径32cm 器高残24.5cm	肥厚口縁	〃
694	〃	97SG04下層 X52 Y86	口径24cm 器高残14.5cm	〃	〃
695	〃	〃	厚さ 8 mm	弧状沈線	〃
696	〃	97SG04下層 X52.2 Y86	厚さ 6 mm	条痕文	〃
697	〃	97SG04下層 X52.1 Y86	厚さ 9 mm	〃	〃
698	〃	〃	口径36cm 器高残14.5cm	補修孔	〃
699	〃	97SG04下層 X51.9 Y85.9	厚さ 7 mm	口唇部刻み	〃
700	〃	97SG04下層 X52.1 Y86	口径20cm 器高残10.5cm	条痕文	〃
701	〃	97SG04下層 X52 Y86	厚さ 9 mm	口縁部内湾、細い隆帯と列点文	〃

表 3-32 舟岡地区縄文土器一覧表 (32) 第 1 調査区 第141～144図、図版153～155

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
702	深鉢	97SG04下層 X52 Y86	厚さ 9 mm	口縁部内湾、細い隆帯と列点文	串田新式
703	〃	〃	〃	〃 山形波頂	〃
704	浅鉢	〃	厚さ 7 mm	橋状把手	〃
705	深鉢	97SG04下層 X51.9 Y85.9	厚さ 6 mm	さざなみ状口縁	〃
706	〃	97SG04下層 X52.1 Y86	口径29cm 器高残9.5cm	平行沈線間、長い列点文	〃
707	〃	97SG04下層 X52 Y85.8	厚さ 6 mm	条痕文	〃
708	〃	97SG04下層 X52 Y85.9	厚さ 7 mm	山形波頂部押圧、肥厚口縁、貝殻腹縁文、平行沈線、列点文、573・574と同一個体	〃
709	〃	97SG04下層 X52 Y86	厚さ 7 mm	山形波頂、肥厚口縁、貝殻腹縁文、先端蕨手隆帯	〃
710	〃	97SG04下層 X52 Y85.8	厚さ 7 mm	肥厚口縁、貝殻腹縁文、平行沈線、列点文	〃
711	〃	97SG04下層 X52.1 Y86	厚さ 7 mm	山形波頂部押圧、肥厚口縁、貝殻腹縁文、平行沈線、列点文、縦条痕文	〃
712	〃	97SG04下層 X52 Y86	厚さ 7 mm	山形波頂、隆帯と刻み、撚糸文	〃
713	〃	97SG04下層 X52 Y85.9	厚さ 5 mm	2つコブ突起、肥厚口縁ヘラ刻み、先端蕨手隆帯、条痕文	〃
714	〃	97SG04下層 X52 Y86	厚さ 8 mm	山形波頂、環状隆帯、隆帯、条痕文	〃
715	〃	97SD05	厚さ 6 mm	山形波頂、波頂部円形押圧、隆帯とヘラ刻み、条痕文に山形無文帯	〃
716	〃	〃	厚さ 6 mm	隆帯とヘラ刻み、条痕文にH形無文帯	〃
717	〃	97SD05 X54 Y85.7	口径20cm 器高残11cm	口縁部内湾、口唇部肥厚、撚糸文	〃
718	〃	97SD05	厚さ 7 mm	隆帯とヘラ刻み、条痕文にH形無文帯	〃
719	〃	97SD05 X53.7 Y85	厚さ 6 mm	沈線と貝殻腹縁文	〃
720	〃	97SD05上層 X53.9 Y85.6	厚さ 8 mm	重弧文	〃
721	浅鉢	97SD05 X52.9 Y85	厚さ 5 mm	口縁内湾、環状隆帯貼付、587・588同一個体	〃
722	〃	97SD05 X52.9 Y85.5	〃	〃	〃
723	〃	97SD05 X52.9 Y85.5	〃	口縁内湾	〃
724	〃	97SX02 X52.3 Y85.9	厚さ 8 mm	山形波頂、波頂部円形押圧、隆帯上刻み	〃
725	浅鉢	97SX01 X51.8 Y86.8	厚さ 8 mm	楕円区画文	〃
726	鍔付土器	97SX01 X51.6 Y85.8	厚さ 7 mm	平行隆帯、橋状把手	〃
727	深鉢	97SX02 W16	厚さ 9 mm	山形波頂、隆帯、条痕文	〃
728	〃	97SX02 X52.3 Y85.7	厚さ 8 mm	縦単線垂下隆帯、葉脈状文	〃
729	浅鉢	97SX01	厚さ 6 mm	橋状突起	〃

表 3－33 舟岡地区縄文土器一覧表（33） 第 1 調査区 第144・145図、図版155・156

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
730	深鉢	97SX02W14	厚さ 7 mm	山形波頂、波頂部押圧、隆帯上 貝殻腹縁文、条痕文	串田新式
731	〃	97SX02X52.7Y86	厚さ 7 mm	山形波頂、波頂部押圧、隆帯上 貝殻腹縁文、蕨手垂下隆帯、葉 脈状文	〃
732	〃	97SX02黒W13	厚さ 9 mm	平行沈線間刺列点文、蕨手垂下 隆帯上貝殻腹縁文、葉脈状文	〃
733	〃	97SX02（2）	底径11cm	葉脈状文	〃
734	〃	97SX02X52.2Y85	厚さ 8 mm	山形波頂、口縁部押圧、平行沈 線間列点文、斜縄文	〃
735	〃	97SX02W14	口径30cm 器高残10cm	外反口縁、平行沈線間列点文、 S 字文、599は同一個体	前田式
736	〃	〃	厚さ 8 mm	平行沈線間 2 列列点文、縦縄文	〃
737	〃	97SX02	口径30cm 器高残14.5cm	外反口縁、平行沈線間列点文、 縄文	〃
738	〃	〃	厚さ 8 mm	外反口縁、平行沈線、縦線、S 字文	〃
739	〃	〃	厚さ 6 mm	隆帯上列点文、縄文	串田新式
740	〃	97SX02X52.3Y85.9	厚さ 7 mm	口縁部押圧、隆帯上縄文	〃
741	〃	97SX02X52.2Y85.9	厚さ 7 mm	列点文、貝殻腹縁文、横縄文	〃
742	〃	97SX02X52.5Y85	口径26cm 器高残11cm	外反口縁、平行沈線、長方形区 画文、縦線、縦縄文	〃
743	浅鉢	97SX02X52.2Y85 97SD135X52.35Y85	厚さ 7 mm	口縁部内面 2 列列点文	〃
744	深鉢	97SK01	口径28cm 器高残10cm	外反口縁、平行沈線、S 字文	前田式
745	〃	97SK02	厚さ 7 mm	平行沈線間列点文	串田新式
746	〃	97SK02X52.3Y85.9	厚さ 7 mm	隆帯垂下、葉脈状文	〃
747	〃	97SK07	厚さ 8 mm	肥厚口縁に貝殻腹縁文	〃
748	〃	〃	厚さ 6 mm	平行沈線	前田式
749	〃	97P 7 X52.1Y86	厚さ 6 mm	沈線、列点	串田新式
750	〃	97P 8	厚さ 6 mm	環状隆帯貼付か	中津式系
751	〃	97P 10	厚さ 6 mm	台形波頂、C 字沈線	串田新式
752	〃	97P 11	厚さ 8 mm	貝殻腹縁文、沈線	〃
753	〃	97P 57	厚さ 6 mm	U 字状波頂、隆帯、列点文	〃
754	〃	97P 56	厚さ 7 mm	隆帯、列点文	〃
755	〃	97P 57	厚さ 7 mm	〃	〃
756	〃	〃	厚さ 7 mm	条痕文	〃
757	浅鉢か	〃	厚さ 7 mm	無文	〃
758	深鉢	〃	厚さ 8 mm	半截竹管縦線、縄文	〃
759	〃	97SX01X51.7Y85.9	厚さ 8 mm	列点文、葉脈状文	〃
760	〃	97SX01X52Y85.7	口径28cm 器高27cm 底径11cm	山形波頂、口縁部押圧、隆帯と 列点文、葉脈状文	〃

表 3－34 舟岡地区縄文土器一覧表（34） 第 1 調査区 第145～147図、図版156～158

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
761	深鉢	97SX01X51.6Y86	厚さ 9 mm	山形波頂、波頂部押圧、肥厚口縁、条痕文	串田新式
762	〃	97SX01X51.6Y85.8 97SD16	厚さ 7 mm	葉脈状文	〃
763	〃	97SX01X51.8Y85.9	厚さ 1.3cm	隆帯と列点文	〃
764	〃	97SX01W 1	厚さ 7 mm	口縁部押圧、平行沈線	前田式
765	〃	97SX01X51.6Y85.8 97SD16	口径28cm 器高残18cm	口縁内湾、J 字文、王形区画文	中津式系
766	〃	97SX02X52.2Y85.9黒	厚さ 6 mm	無文	串田新式
767	浅鉢	97SX02	口径26cm 器高残3.5cm	〃	〃
768	〃	〃	厚さ 6 mm	橋状把手	〃
769	罏付土器か	97SX02-2X52.2Y85.9	厚さ 6 mm	〃	〃
770	深鉢	97SX03中洲X52.8Y85.8	厚さ 9 mm	口縁部斜縄文、平行沈線、胴部縦縄文	〃
771	〃	〃	厚さ 8 mm	条痕文	〃
772	〃	〃	厚さ 9 mm	区画内列点文	〃
773	〃	〃	厚さ 7 mm	縦条痕文、沈線	〃
774	小型土器	97SX03中洲X52.8Y85.7	底径4.5cm	無文	〃
775	深鉢	97SX04	厚さ 9 mm	葉脈状文	〃
776	〃	97SX04X52Y85.4	厚さ 7 mm	口縁外反、平行沈線間列点文、縦縄文	前田式
777	〃	97SX04X52Y85	厚さ 1.3cm	平行隆帯上貝殻腹縁文	串田新式
778	〃	97SX04	厚さ 8 mm	列点文、平行沈線間斜短線	〃
779	〃	〃	厚さ 8 mm	平行沈線、列点文、縦縄文	〃
780	〃	97SX05	厚さ 7 mm	U字波頂、隆帯上刻み、葉脈状文	〃
781	〃	〃	厚さ 7 mm	縦隆帯上貝殻腹縁文、葉脈状文 列点文	〃
782	〃	97SX11V X52Y85.8	厚さ 8 mm	山形波頂、隆帯と貝殻腹縁文、 環状隆帯、葉脈状文	〃
783	〃	97SX11V X52.1Y85.9	厚さ 6 mm	隆帯上貝殻腹縁文、平行沈線連 弧文	〃
784	〃	97SX11	厚さ 7 mm	隆帯間列点文	〃
785	〃	97SX11V X52.1Y85.9	厚さ 7 mm	楕円区画文、縦線	〃
786	浅鉢	97SX11	厚さ 6 mm	口縁部内湾、環状隆帯貼付	〃
787	深鉢	97SX11X51.9Y86.9	厚さ 9 mm	押圧波頂、隆帯、無節縄文に平 行沈線	〃
788	〃	98SX11 2 層 X52.1Y85.5	厚さ 9 mm	山形波頂内傾、平行隆帯と列点 文	〃
789	〃	98SX11X52Y86	口径30cm 器高残21cm	口縁外反、平行凹線、縦条痕文	〃
790	〃	98SX11X52.1Y85.9黒	口径28cm 器高残10cm	口唇部、口縁部に刻み	〃
791	〃	98SX12	厚さ 8 mm	平行隆帯列点文、葉脈状文	〃

表 3－35 舟岡地区縄文土器一覧表（35） 第 1 調査区 第147～149図、図版158～160

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
792	深鉢	98SX13	厚さ 8 mm	隆帯上列点文	串田新式
793	〃	98SX13X51.7Y85.5	厚さ 6 mm	無文	〃
794	〃	98SX13-2X51.3Y85	厚さ 7 mm	口縁部押圧、肥厚口縁	〃
795	〃	〃	厚さ 1.1cm	平行隆帯上貝殻腹縁文、先端蔽手隆帯、葉脈状文	〃
796	〃	98SX13-2X51.4Y85.7	厚さ 7 mm	沈線、条痕文	〃
797	〃	98SX13-2X51.3Y85.5	径4.5cm	きのこ形突起、渦巻き隆帯、列点文	〃
798	〃	98SX14X51.7Y85.6	厚さ 1 cm	口縁部沈線、斜縄文	〃
799	〃	98SX14X51.4Y85.8	厚さ 7 mm	肥厚口縁に貝殻腹縁文、条痕文	〃
800	罎付土器	98SX14X52.1Y85.8Ⅶ	底径14cm	環状帯状隆帯、内外赤漆塗	〃
801	深鉢	98SX19	厚さ 7 mm	こぶ状突起、平行沈線	〃
802	〃	98SX20	厚さ 7 mm	肥厚口縁に貝殻腹縁文、弧状沈線	〃
803	〃	98SX17	厚さ 7 mm	無文	〃
804	〃	97SG04上層X52.1Y86	口径33cm 器高残16.9cm	隆帯、条痕文に紡錘形無文帯	〃
805	〃	88SD15X54Y86.1中Ⅲ (SD06)	厚さ 9 mm	台形波頂、平行隆帯、列点文	〃
806	〃	88SD15X54Y86.1 (SD06)	厚さ 9 mm	〃	〃
807	〃	88SD15X53.9Y86.1中 (SD06)	厚さ 8 mm	隆帯、環状隆帯、円形列点文	〃
808	〃	88SD15X53.9Y86.2Ⅲ (SD06)	〃	〃	〃
809	〃	97SD138X53.8Y85.8Ⅲ (SD06)	厚さ 1 cm	U字状波頂、隆帯と刻み、条痕文、H字状無文帯	〃
810	〃	〃	厚さ 8 mm	U字状波頂、隆帯区画文、平行沈線間斜短線	〃
811	〃	97SD135X53Y86 (SD06)	厚さ 7 mm	口縁押圧、平行隆帯、無節縄文か	〃
812	〃	98X52.3Y82.7第2面	厚さ 1 cm	台形波頂、隆帯、C字隆帯、列点文	〃
813	〃	98X52.3Y867第2面	厚さ 1 cm	台形波頂、平行隆帯、列点文	〃
814	〃	97不明	厚さ 7 mm	台形波頂、波頂部内傾、橋状把手、平行隆帯上と胴部に貝殻腹縁文	〃
815	〃	00第2面	厚さ 8 mm	山形波頂、波頂部内傾、平行隆帯上貝殻腹縁文、列点文、葉脈状文	〃
816	〃	88SD16X54Y86.1中 (SD06)	厚さ 7 mm	山形波頂、波頂部内傾、隆帯、平行沈線	〃
817	〃	89X53.8Y87.1	厚さ 8 mm	山形波頂、波頂部内傾、平行隆帯上刻み	〃

表 3－36 舟岡地区縄文土器一覧表（36） 第 1 調査区・第 6 調査区 第150～152図、図版160・161

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
818	深鉢	88P 7 2 トレ	口径28cm 器高残22cm	外反口縁、平行沈線間に列点文、斜縄文	前田式
819	〃	88SD15下X54.3Y86 (SD06)	厚さ 7 mm	口縁部押圧、平行沈線間列点文、斜縄文	〃
820	〃	88SD17X54.2Y86.2 (SD06)	厚さ 8 mm	口縁部押圧、平行沈線間列点	〃
821	〃	88SD16X54.6Y86 (SD06)	厚さ 7 mm	外反口縁、平行沈線、S 字文	〃
822	〃	88SD08X51.3Y86.1	厚さ 7 mm	外反口縁、重弧文、S 字文	〃
823	〃	00第 2 面X51.8Y85.6	厚さ 6 mm	条痕文、紡錘形無文帯	串田新式
824	〃	88SD04X53.2Y86.2	厚さ 8 mm	J 字文	中津式系
825	〃	88SD10X54.4Y86	厚さ 6 mm	2 つこぶ突起、隆帯、列点文、葉脈状文	串田新式
826	〃	00第 2 面X53.1Y85.9	厚さ 8 mm	S 字隆帯、葉脈状文	〃
827	〃	88SD15X54.2Y85.8 (SD06)	厚さ 7 mm	隆帯	〃
828	〃	88SD06X54.4Y85.7	厚さ 7 mm	平行沈線、縄文	前田式
829	〃	88SD06X54Y86.1	厚さ 6 mm	平行隆帯垂下	岩峠野式
830	〃	88SD15X54.2Y85.8 (SD06)	厚さ 9 mm	〃	〃
831	〃	88SD06X53.6Y86.2 I	厚さ 7 mm	列点文、細隆起線文	〃
832	〃	88SD06X54.2Y85.8	厚さ 1 cm	口唇部刻み、沈線で波状文、平行線、格子文	串田新式
833	鍔付土器	88SD08X51.2Y86.9	厚さ 5 mm	平行隆帯、橋状把手	〃
834	深鉢	88SD15X54.2Y85.8 (SD06)	厚さ 7 mm	隆帯上列点文、無節斜縄文	〃
835	〃	88X54.1Y86.2土器集中	厚さ 7 mm	貝殻腹縁文、横条痕文	〃
836	〃	88SD15X53.9Y86.2Ⅲ (SD06)	厚さ 7 mm	貝殻腹縁文、横無節縄文	〃
837	〃	88SD15X53.8Y86.1 (SD06)	口径15cm 器高残15.5cm	外反口縁、隆帯、斜縄文	〃
838	〃	88SD15X53.9Y86.2 (SD06)	口径24cm 器高残15cm	平行沈線間列点文、横縄文	〃
839	〃	88SD15X53.8Y86.1 (SD06)	厚さ 9 mm	平行隆帯、列点文	〃
840	〃	88SD15X53.9Y86.2Ⅲ (SD06)	厚さ 9 mm	外反口縁、葉脈状文	〃
841	〃	97SD133X51.4Y85.9 (SD06)	厚さ 8 mm	口縁部押圧、葉脈状文、先端蕨手状隆帯垂下	〃
842	〃	88SD06X54.3Y86青砂	厚さ 5 mm	連弧隆帯、葉脈状文	〃
843	〃	88SD15X54Y86.1 (SD06)	厚さ 6 mm	葉脈状文	〃

表 3－37 舟岡地区縄文土器一覧表（37） 第 1 調査区 第152・153図、図版161・162

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
844	深鉢	00X51.8Y85.5第2面	厚さ5mm	葉脈状文	串田新式
845	〃	98X52.1Y85.7	口径24cm 器高暫10cm	口縁部隆帯上刻み、葉脈状文	〃
846	〃	00X53.1Y85.9	底径14cm	平行隆帯間C字隆帯、葉脈状文、 底部網代圧痕	〃
847	〃	97SD134X51.3Y85.5 (SD06)	厚さ7mm	葉脈状文	〃
848	〃	97SD135X52.6Y86 (SD06)	厚さ9mm	平行隆帯間弧状隆帯、葉脈状文	〃
849	〃	97SD135X52.1Y86.9 (SD06)	厚さ8mm	口縁部外反、葉脈状文	〃
850	〃	88SD17X54.2Y85.9 (SD06)	口径16cm 器高残10.5cm	口縁部内湾、列点文、葉脈状文	〃
851	〃	97SD133X51.9Y85.6 (SD06)	厚さ8mm	連弧状隆帯、貝殻腹縁文	〃
852	〃	97SD135X53Y86 (SD06)	厚さ7mm	連弧状隆帯、列点文、斜縄文	〃
853	〃	97SD135X52.2Y85.3 (SD06)	口径30cm 器高残15.5cm	貝殻腹縁文、連弧状隆帯、縦条 痕文	〃
854	〃	00X52.1Y85.4第2面	厚さ7mm	肥厚口縁部に貝殻腹縁文、平行 隆帯間弧状隆帯、列点文	〃
855	〃	97X52.4Y86	厚さ7mm	波状隆帯、列点文	〃
856	〃	97SD133X51.5Y85.9 (SD06)	厚さ7mm	平行隆帯間弧状隆帯、列点文、 横条痕文	〃
857	〃	97SD135X52.4Y86 (SD06)	厚さ7mm	波状沈線文	〃
858	〃	97SD135X53Y86ジャリ (SD06)	厚さ6mm	肥厚口縁部に貝殻腹縁文、条痕 文	〃
859	〃	00X51.8Y85.5第2面	口径20cm 器高残7.5cm	口縁内湾、肥厚口縁に貝殻腹縁 文、縄文	〃
860	〃	97X52Y85.5	厚さ5mm	肥厚口縁、口縁部押圧、無節縄 文	〃
861	〃	98XY51.3Y85.7	厚さ8mm	楕円区画文内貝殻腹縁文、縦沈 線	〃
862	〃	98X52.1Y85.7第2面	口径34cm 器高残9cm	貝殻腹縁文、楕円区画内刺突文	〃
863	〃	00X52Y85.5第2面	厚さ8mm	肥厚口縁に貝殻腹縁文、斜条痕 文	〃
864	〃	98SD138・145X54Y85.9 (SD06)	厚さ7mm	貝殻腹縁文	〃
865	〃	97SD135X52.6Y86 (SD06)	厚さ8mm	貝殻腹縁文、楕円区画内刺突文	〃
866	〃	98X52.8Y85.8第2面	厚さ9mm	口縁部縦条痕文、押引沈線	〃
867	〃	00X53Y85.5第2面	厚さ8mm	貝殻腹縁文	〃

表 3－38 舟岡地区縄文土器一覧表（38） 第 1 調査区・第 6 調査区 第153～155図、図版162・163

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
868	深鉢	88SD16 X 54.2 Y 86 下 (SD06)	厚さ 6 mm	肥厚口縁部に貝殻腹縁文、横条痕文	串田新式
869	〃	97SD131 X 51.6 Y 85.3 (SD06)	厚さ 7 mm	肥厚口縁部に刻み	〃
870	〃	97SD136 X 51.8 Y 86.1 (SD06)	厚さ 7 mm	肥厚口縁部に貝殻腹縁文、口縁部押圧	〃
871	〃	98 X 51.8 Y 85.4 第 2 面	口径34cm 器高残10.5cm	肥厚口縁部に刻み	〃
872	〃	97SD01 X 51.4 Y 85 (SD06)	口径30cm 器高残6.5cm	外反口縁、平行沈線間列点文	前田式
873	〃	97SD135 X 52.6 Y 86 (SD06)	厚さ 7 mm	平行沈線間列点文	串田新式
874	〃	98SD138・145 X 54 Y 85.9 (SD06)	厚さ 8 mm	平行沈線間押引短線文	〃
875	〃	97SD133 X 51.4 Y 85.8 (SD06)	厚さ 7 mm	口縁部押圧、平行沈線間列点文	前田式
876	〃	97SD135 X 53 Y 86 (SD06)	厚さ 7 mm	肥厚口縁に列点文、縄文地に縦沈線、補修孔	串田新式
877	〃	97SD138 X 54 Y 85.7 (SD06)	厚さ 7 mm	平行沈線間押引列点文、縦条痕文	〃
878	〃	97SD135 X 52.3 Y 85.6 (SD06)	厚さ 6 mm	平行沈線間押引列列点文、斜縄文	〃
879	〃	不明	厚さ 7 mm	平行沈線間刻み列点文	前田式
880	〃	97SD133 X 51.6 Y 85.3 他 (SD06)	厚さ 7 mm	外反口縁、平行沈線間連弧文、縦縄文	〃
881	〃	97SD133 X 51.3 Y 85.9 (SD06)	口径28cm 器高残14cm	外反口縁、平行沈線間長方形区画文、S 字文	〃
882	〃	97SD135 X 52.4 Y 85.9 (SD6)	厚さ 7 mm	外反口縁、押引平行沈線、縦縄文	〃
883	〃	97 X 51.9 Y 86	口径26cm 器高残16.5cm	外反口縁、平行沈線、S 字文	〃
884	〃	97SD136 X 51.8 Y 86.1 (SD06)	厚さ 8 mm	押引平行沈線	〃
885	〃	97 X 51.9 Y 86	厚さ 7 mm	S 字文	〃
886	〃	97SD133 X 51.3 Y 85.2 (SD06)	厚さ 8 mm	外反口縁、平行沈線	〃
887	〃	98SD135 X 52.8 Y 85.9 第 2 面ジャリ (SD06)	厚さ 7 mm	平行沈線間斜め短線	〃
888	〃	97SD133 X 51.4 Y 85.8 (SD06)	厚さ 8 mm	〃	〃
889	〃	98SD138 X 53.4 Y 85.9 (SD06)	厚さ 7 mm	波状口縁、波頂部内傾、連弧文	串田新式
890	〃	97 X 52.3 Y 85.5 第 1 面	厚さ 8 mm	山形波頂、平行隆帯上刻み	〃
891	〃	98SD135 X 52.8 Y 85.9 (SD06)	厚さ 8 mm	山形波頂、波頂部押圧、平行沈線、縦条痕文	〃

表 3－39 舟岡地区縄文土器一覧表（38） 第 1 調査区 第155・156図、図版163・164

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
892	深鉢	97不明	厚さ 1 cm	内湾口縁、平行隆帯区画文、無節縄文	串田新式
893	〃	97SD133X51.9Y86.8 (SD06)	厚さ 6 mm	隆帯、列点文	〃
894	〃	97SD133X51.9Y85.4 (SD06)	厚さ 9 mm	内湾肥厚口縁、沈線文	中津式系
895	〃	97SD135X52.4Y85.9 (SD06)	口径34cm 器高残15.5cm	波状口縁、波頂部押圧、隆帯上刻み、横条痕文	串田新式
896	〃	98SD135X52.8Y85.9 (SD06)	厚さ 7 mm	隆帯上・胴部に複節縄文	〃
897	〃	00X53.1Y85.9第 2 面	厚さ 6 mm	幅広隆帯上貝殻腹縁文	〃
898	鍔付土器	不明	胴部径22cm	隆帯、列点文、橋状把手、重弧文	〃
899	深鉢	97SD135X52.4Y85.9 (SD06)	厚さ 7 mm	外反口縁、平行沈線間押引列点文、条痕文	〃
900	釣手土器	00X52.1Y85.4第 2 面	厚さ 1 cm	底部、列点文	〃
901	〃	97SD133X51.3Y85 (SD06)	〃	釣手部、列点文	〃
902	深鉢	97SD133 (SD06)	厚さ 6 mm	列点文、平行沈線文	〃
903	〃	98X51.7Y86	厚さ 9 mm	円盤状突起に列点文、橋状把手	〃
904	浅鉢	97 SD16下層青灰X51.6 Y85.8 (SD06)	口径24cm 器高残6.5cm	口縁部押圧、平行隆帯上刻み、橋状把手	〃
905	深鉢	98X52.6Y85.8第 2 面	厚さ 8 mm	外反口縁、環状隆帯貼付、列点文、貝殻腹縁文	〃
906	〃	97SD133 (SD06)	厚さ 6 mm	押引沈線間帯縄文	中津式系
907	〃	97SD133X51.3Y85 (SD06)	厚さ 9 mm	細隆起線文	岩峠野式
908	台付深鉢	97X51.2Y85.5	台径14cm 器高残 7 cm	〃	〃
909	深鉢	97SD133X51.3Y85.9 (SD06)	厚さ 7 mm	押引沈線、無節縄文	中津式系
910	〃	97X51.8Y85.3黒色 1 上	厚さ 7 mm	内湾口縁、山形波頂、楕円区画文	〃
911	〃	97SD14X51.9Y85.4青灰 ジャリ (SD06)	厚さ 7 mm	内湾口縁、山形波頂部口唇部刻み、J 字文	〃
912	〃	97SD134X51.3Y85.5 (SD06)	厚さ 7 mm	内湾口縁、山形波頂部口唇部刻み、J 字文	〃
913	〃	97X52.7Y85.4黒色	厚さ 5 mm	内湾口縁、山形波頂部口唇部刻み、無節縄文地に渦巻き文	〃
914	〃	97不明	厚さ 9 mm	J 字文、無節縄文	〃
915	〃	00X52.1Y85.4第 2 面	厚さ 8 mm	口縁部内面肥厚、横無節縄文	串田新式
916	〃	00X52.3Y85.5第 2 面	厚さ 8 mm	幅広隆帯楕円区画文	中津式系
917	浅鉢	97SD133X51.7Y86 (SD06)	厚さ 6 mm	くの字内傾、無文	串田新式

表 3－40 舟岡地区縄文土器一覧表（40） 第 1 調査区・第 6 調査区 第156～158図、図版164・165

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
918	深鉢	97SD135 X 52.1 Y 85.7 (SD06)	口径20cm 器高残15cm	口縁部沈線、斜縄文	串田新式
919	〃	98 X 52.6 Y 85.6第 2 面	厚さ 8 mm	口唇部外側へ張り出す、斜縄文	〃
920	〃	97第 1 面	厚さ 1 cm	口唇部さざなみ状、縦条痕文	〃
921	台付深鉢	97 X 52.9 Y 85.5黒色	台径10cm 器高残7.5cm	無文	古府式
922	浅鉢	97	厚さ 8 mm	口縁部内面列点文	串田新式
923	〃	97	厚さ 6 mm	〃	〃
924	深鉢	97SD133 X 51.9 Y 86 (SD06)	口径40cm 器高残23cm	無文	〃
925	〃	97 X 52.2 Y 85.8	口径24cm	口唇部さざなみ状、口縁部無文 斜条痕文	〃
926	浅鉢	不明	口径42cm	口縁部やや立つ、無文	〃
927	深鉢	98SD145 X 54.1 Y 85.9 (SD06)	口径16cm	口縁部に三角細隆起線、隆帯、 斜縄文	〃
928	〃	88SD09 X 51.2 Y 86.7	厚さ 5 mm	口縁部に突起状縦隆帯と円形刺 突文、長方形区画文、792と同一 個体	〃
929	〃	〃	〃	〃	〃
930	浅鉢	88SD08 X 51.3 Y 86.9	厚さ 5 mm	平行隆帯上に細い刻み	〃
931	深鉢	88SD11 X 52 Y 86.8	厚さ 7 mm	2 つ山波頂、平行隆帯	〃
932	浅鉢	88SD18 X 51.2 Y 86.4	厚さ 8 mm	立つ口縁部に平行沈線	八日市新保式
933	深鉢	88SD09 X 52.4 Y 86.6	厚さ 7 mm	口縁部に平行沈線と縦沈線	〃
934	〃	88SD08 X 51.1 Y 86.7	口径26cm	外側に張り出す口縁部に無節縄 文、沈線、円形刺突文、口縁部 押引沈線	中津式系
935	〃	88SD02 X 52 Y 85.8	厚さ 7 mm	ゆるい山形波頂、口縁部平行沈 線を切る刺突文	八日市新保式
936	浅鉢	97黒 1	厚さ 7 mm	口縁部内面肥厚に平行沈線	〃
937	深鉢	98 X 52.2 Y 85.7第 2 面	厚さ 5 mm	縄文地に平行沈線、玉抱三叉文	御経塚式
938	〃	88 X 54 Y 85.9河ジャリ	厚さ 4 mm	くの字外反口縁に縄文、口唇部 列点文、胴部沈線間列点文	中屋式
939	〃	97 X 52.7 Y 86黒 1	厚さ 3 mm	細かな縄文に弧線文	〃
940	〃	88SD08 X 51.7 Y 86.8	厚さ 5 mm	くの字外反口縁に縄文、口唇部 に突起	〃
941	浅鉢	88SD04 X 53.2 Y 86.2青砂利	厚さ 5 mm	サンゴ状突起、貫通孔	〃
942	深鉢	88SI02 X 51.3 Y 87.1黒	厚さ 8 mm	口縁部刺突文	下野式
943	〃	97 X 53 Y 86	厚さ 7 mm	口縁部刻み、胴部条痕文	〃
944	〃	88SD16 X 54.4 Y 86.1 (SD06)	厚さ 1 cm	口縁部列点文、胴部条痕文	〃
945	〃	88SD16 X 54.1 Y 85.9河ジャ リ (SD06)	厚さ 4 mm	〃	〃
946	鉢	88SD08 X 51.7 Y 86.8	口径17cm	平行凹線文	〃

表 3－41 舟岡地区縄文土器一覧表（41） 第 1 調査区・第 6 調査区 第94～96図、図版125～165

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	型 式
947	深鉢	88SG01X53.9Y86.9黒 2	口径50cm 器高残25cm	U字状波頂、条痕文地に楕円環状無文帯	串田新式
948	〃	89SD11下層X51.2Y86.8 青砂	口径36cm 器高残17cm	小U字状波頂、胴部縄文	〃
949	〃	97SD133X51.4Y85.8 SD16、SD131	胴部残径32cm	頸部平行線間に重弧文と縦線	前田式
950	〃	97X52.6Y86黒色土	胴部残径25cm	口縁部に隆帯、胴部縦縄文地にジグザク沈線、紡錘文	串田新式
951	釣手土器	88 SG01X53.7Y86.9黒 1	胴部径15cm	楕円区画文と縦線	〃
952	深鉢	97SG04X52Y86	口径26.1cm 器高残25.2cm	口縁部肥厚し直下に無文帯、胴部縄文	〃
953	〃	〃	口径47.4cm 器高残9.8cm	山形波頂口縁、肥厚口縁部に貝殻腹縁文、胴部条痕文	〃
954	〃	97X51.3Y85.8	口径20.9cm 器高残 9 cm	山形波頂口縁、口縁部に貝殻腹縁文、胴部条痕文	〃
956	〃	97SG04X52Y86	口径28cm 器高残20.2cm	口縁部押圧、口縁部に貝殻腹縁文、胴部縄文	〃
957	〃	97SG04X52Y85.9	口径20cm 器高残15.9cm	口縁部微妙に波状、口縁部無文帯、胴部縦条痕文	〃

表 4－1 舟岡地区土製品一覧表（1） 第 1 調査区・第 6 調査区 第159図、図版172・173

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	時期・型式
1	耳栓	89SG01X53.8Y87.0 黒 2	長さ3.3cm、厚さ2.9cm 重さ11.9 g	断面漏斗状、内外面赤彩	中期末・後期初頭
2	〃	89SK34X51.4Y86.9～ 87黒	長さ2.4cm、厚さ2.0cm 重さ5.2 g	断面漏斗状、内外面赤彩	〃
3	〃	89SK34	長さ1.4cm、厚さ1.7cm 重さ3.3 g	断面白型、無孔	〃
4	磨製石斧 形土製品	89X53.2Y86.6	長さ4.5cm、幅4.7cm 厚さ1.6cm、重さ54.1 g	頭部欠損	〃
5	土偶	97X53.1Y86.0	長さ 5 cm 厚さ1.4cm	頭部～胸・腕部（左）、中実、板状土偶（反り返り）、頭部の中央部に貫通孔	〃
6	〃	98X52.2Y85.5	長さ3.7cm 厚さ 8 mm	頭部～胸・腕部（右）、中実、板状土偶（反り返り）	〃
7	〃	97 S G02	長さ3.1cm 厚さ 1 cm	胸・腕部（左）、中実、板状土偶（反り返り）	〃
8	〃	97X51.9Y85.8第 1 面	長さ4.5cm 厚さ1.4cm	腹・胸部、中実、板状土偶（反り返り）	〃
9	〃	88X52.2Y87 SK05	長さ6.3cm 厚さ1.9cm	胸部（左）、中実、板状土偶（反り返り）	〃

表4-2 舟岡地区土製品一覧表(2) 第1調査区・第6調査区 第159・160図、図版172・173

番号	種類	出土遺構・地区・層位	大きさ	特徴	時期・型式
10	土偶	88表採	長さ4.5cm 厚さ1.4cm	胸部(右)、中実、板状土偶(反り返り)、胸部に2孔の貫通孔、肩部に円形刺突文	中期末・後期初頭
11	"	88X53.5Y86.9	長さ5.6cm	脚部(右)、中空、遮光器土偶	晩期
12	円盤状土製品	98SD06X52.3Y85.5	長さ5.8cm、幅5.6cm 厚さ0.9cm、重さ34.8g	深鉢胴部片転用、周縁敲打、葉脈状文	中期末・後期初頭
13	"	88SG02X51.2Y86.4黒2	長さ4.2cm、幅3.9cm 厚さ0.6cm、重さ14.1g	深鉢胴部片転用、周辺荒く研磨、沈線	"
14	"	97SD05付近X53.8Y85.6	長さ4.5cm、幅4.2cm 厚さ1cm、重さ21.9g	深鉢胴部片転用、周辺荒く研磨、無文	
15	"	97断割1	長さ4.8cm、幅4.1cm 厚さ0.9cm、重さ24.1g	深鉢胴部片転用、周辺荒く研磨、無文	
16	"	88X54Y86.7黒2	長さ4.5cm、幅4cm 厚さ0.9cm、重さ21.9g	深鉢胴部片転用、周縁敲打、条線	
17	"	88SD11X53Y86.6	長さ4.4cm、幅3.7cm 厚さ1cm、重さ21.4g	深鉢胴部片転用、周縁敲打、半隆起線文	中期中葉
18	"	88SG02X51.2Y86.8	長さ4.4cm、幅4cm 厚さ0.6cm、重さ15.9g	深鉢胴部片転用、周辺打ち欠きのみ、半隆起線	"
19	"	97断割1	長さ4.5cm、幅3.8cm 厚さ1cm、重さ22.9cm	深鉢胴部片転用、周縁敲打、沈線	後期初頭
20	"	97X52.1Y85.9上層	長さ4.6cm、幅3.7cm 厚さ0.9cm、重さ20.9g	深鉢胴部片転用、周縁敲打、条線	中期末
21	"	SD06上層X52.1Y85.5黄ジャリ	長さ4.3cm、幅3.3cm 厚さ0.7cm、重さ13.9g	深鉢胴部片転用、周辺打ち欠きのみ、縦縄文	後期初頭
22	"	97SD130X54Y85.8(SD06)	長さ4.6cm、幅4cm 厚さ0.8cm、重さ19.9g	深鉢胴部片転用、周辺打ち欠きのみ、葉脈状文	中期末
23	"	97SX04W24の下	長さ4.2cm、幅3cm 厚さ0.8cm、重さ12.8g	深鉢胴部片転用、周辺打ち欠きのみ、葉脈状文、半割れ	"
24	"	98SX11カタX52Y86	長さ3.4cm、幅3cm 厚さ0.9cm、重さ11.4g	深鉢胴部片転用、周辺荒く研磨、無文	
25	"	97SG04X51.9Y86上層	長さ4cm、幅3.4cm 厚さ0.7cm、重さ14.1g	深鉢胴部片転用、周辺打ち欠きのみ、葉脈状文	中期末
26	"	97SD133X51.4Y85.8(SD06)	長さ5.5cm、幅3.2cm 厚さ0.5cm、重さ12.7g	深鉢胴部片転用、周縁敲打、沈線、半割れ	
27	"	97X51.8Y85.6下層	長さ3.8cm、幅3cm 厚さ0.7cm、重さ10g	深鉢胴部片転用、周辺打ち欠きのみ、沈線、赤採	晩期か
28	"	88SI01X51.7Y87黒1	長さ4.1cm、幅3.5cm 厚さ0.9cm、重さ13.7g	深鉢口辺部破片転用、周辺打ち欠きのみ、隆帯上に貝殻縁線文	中期末
29	"	88SI02X51.5Y87.1	長さ3cm、幅2.9cm 厚さ1cm、重さ9.8g	深鉢胴部片転用、周辺荒く研磨、無文	
30	"	89SG01X54Y86.8黒2	長さ3cm、幅2.7cm 厚さ0.9cm、重さ9.7g	深鉢胴部片転用、周縁敲打、撚糸線	

表 4－3 舟岡地区土製品一覧表（3） 第1調査区・第6調査区 第160図、図版173

番 号	種 類	出土遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴	時期・型式
31	円盤状土製品	97SD05X53.8Y85.7 下層	長さ4.3cm、幅3.5cm 厚さ0.8cm、重さ13.9g	深鉢胴部片転用、周辺打ち欠きのみ、条線	中期末
32	〃	97表採	長さ4.2cm、幅3.4cm 厚さ0.8cm、重さ17.9g	深鉢胴部片転用、周縁敲打、沈線	〃
33	〃	97X51.3Y85.8第1面	長さ3.4cm、幅2.7cm 厚さ0.7cm、重さ8.7g	深鉢胴部片転用、周辺打ち欠きのみ、条線	〃
34	〃	98シーパイル114	長さ3.2cm、幅2.9cm 厚さ7.5cm、重さ8.9g	深鉢胴部片転用、周縁敲打、沈線、葉脈状文	〃
35	〃	97SD133X51.7Y86黄 (SD06)	長さ3.6cm、幅2.8cm 厚さ0.6cm、重さ8.9g	深鉢胴部片転用、周辺打ち欠きのみ、葉脈状文	
36	〃	97SD06X54.3Y85.8	長さ3.5cm、幅3.2cm 厚さ0.8cm、重さ11g	深鉢胴部片転用、周辺打ち欠きのみ、沈線	
37	〃	97SD135X52.2Y85.8 (SD06)	長さ2.9cm、幅2.6cm 厚さ0.9cm、重さ8.7g	深鉢胴部片転用、周辺打ち欠きのみ、条線	
38	〃	88SG01X54Y86.7黒1	長さ4cm、幅3.2cm 厚さ0.8cm、重さ12.4g	深鉢胴部片転用、周縁敲打、沈線	中期末
39	〃	97表採	長さ5.8cm、幅4.9cm 厚さ0.8cm、重さ23.7g	深鉢胴部片転用、周辺打ち欠きのみ、縄文	後期初頭

表 5－1 舟岡地区出土石器一覧表（1） 第1調査区 第161～163図、図版174・175

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
1	打製石斧	97H鋼6下層ジャリ	長さ21.7cm、幅7.7cm 厚さ3.2cm、重さ484g	分銅形、刃部欠損、表が礫面、輝石安山岩
2	〃	97SX04X52.2Y85.3	長さ21.1cm、幅6.1cm 厚さ3cm、重さ537g	短冊形、頭部左欠け、刃部摩滅、表が礫面、輝石安山岩
3	〃	98表採	長さ17.9cm、幅8.5cm 厚さ4.6cm、重さ883g	撥形、刃部中央欠け、表が礫面、輝石安山岩
4	〃	98SX13X51.3Y85.8	長さ17.2cm、幅6.1cm 厚さ2.8cm、重さ436g	短冊形、刃部右欠け、表が礫面、輝石安山岩
5	〃	98SX13-2	長さ18.4cm、幅6.6cm 厚さ3.3cm、重さ548g	短冊形、完形、刃部摩滅、表が礫面、砂岩
6	〃	97SG04下層	長さ15.7cm、幅5cm 厚さ2.3cm、重さ255g	短冊形、完形、表が礫面、輝石安山岩
7	〃	97SD129X52.6Y86 (SD06)	長さ15.1cm、幅5.2cm 厚さ2.4cm、重さ289g	短冊形、完形、表が礫面、輝石安山岩
8	〃	97X52.4Y85.5第1面	長さ15.7cm、幅5.6cm 厚さ2.6cm、重さ292g	短冊形、刃部右欠け、表が礫面、流紋岩
9	〃	97X51.9Y86	長さ15.9cm、幅5.6cm 厚さ3.1cm、重さ393g	短冊形、完形、表が礫面、輝石安山岩
10	〃	98SX11V層	長さ15.3cm、幅5.6cm 厚さ2.5cm、重さ317g	短冊形、完形、表下部に方形凹み 刃部摩滅、表が礫面、輝石安山岩

表5-2 舟岡地区石器一覧表(2) 第1調査区 第163~166図、図版175~177

番号	種類	年度・遺構・地区・層位	大きさ	特徴・石材
11	打製石斧	98X52.8Y85.8第2面	長さ15.3cm、幅5cm 厚さ2.3cm、重さ244g	短冊形、完形、表が礫面、表面中央表皮をはつてある、輝石安山岩
12	"	97SD05X53.7Y85.1	長さ14.9cm、幅5.4cm 厚さ3.3cm、重さ391g	短冊形、完形、表が礫面、輝石安山岩
13	"	97SD135X52.2Y85.8 (SD06)	長さ15.6cm、幅5.5cm 厚さ2.7cm、重さ341g	短冊形、完形、刃部摩滅、表が礫面、輝石安山岩
14	"	97SG04下層X52.1Y86	長さ13.7cm、幅5.4cm 厚さ2.1cm、重さ231g	短冊形、完形、刃部欠損、表が礫面、閃緑岩
15	"	97SD06カタX54.3Y85.7 黄色砂	長さ14cm、幅6.4cm 厚さ2.2cm、重さ257g	撥形、頭部左欠け、刃部摩滅、表が礫面、砂岩
16	"	98E区X52Y85.9	長さ13.4cm、幅6.7cm 厚さ3.1cm、重さ326g	撥形、完形、刃部摩滅、表が礫面、輝石安山岩
17	"	97SD136X51.7Y86 (SD06)	長さ13.5cm、幅5.8cm 厚さ2cm、重さ228g	短冊形、完形、表が礫面、輝石安山岩
18	"	97SD130X51.8Y85.8 (SD06)	長さ13.2cm、幅4.8cm 厚さ2.6cm、重さ240g	短冊形、刃部左欠け、表が礫面、輝石安山岩
19	"	97SD134X51.2Y85.6 (SD06)	長さ13.4cm、幅4.7cm 厚さ2.9cm、重さ240g	分銅形、完形、表が礫面、輝石安山岩
20	"	97SD06X52.1Y85.5	長さ13.8cm、幅5.3cm 厚さ2.9cm、重さ290g	短冊形、刃部欠損、表が礫面、輝石安山岩
21	"	98SD135断割X52.8Y85.9 第2面黄ジャリ(SD06)	長さ13.6cm、幅5.1cm 厚さ2.9cm、重さ246g	短冊形、完形、表が礫面、砂岩
22	"	97断割II	長さ13.1cm、幅4.7cm 厚さ2cm、重さ168g	短冊形、完形、表が礫面、凝灰質砂岩
23	"	97SG04X52.2Y85.9畔	長さ13.1cm、幅5.0cm 厚さ1.9cm、重さ130g	分銅形、完形、刃部摩滅、表が礫面、砂岩
24	"	97SD13・14X52.8Y85.6	長さ12.9cm、幅4.7cm 厚さ2.3cm、重さ231g	短冊形、中央部で折れ(接合) 刃部摩滅、表が礫面、閃緑岩
25	"	97X51.5Y85.6下層	長さ12.9cm、幅5.0cm 厚さ3.0cm、重さ261g	短冊形、完形、刃部摩滅、表が礫面、輝石安山岩
26	"	98B区X51.5Y85.9	長さ13.1cm、幅4.9cm 厚さ2.5cm、重さ242g	短冊形、刃部右欠け、表が礫面、輝石安山岩
27	"	97断割16	長さ13.3cm、幅4.7cm 厚さ2.6cm、重さ179g	分銅形、完形、表が礫面、砂岩
28	"	97H鋼10	長さ12.3cm、幅5.3cm 厚さ1.7cm、重さ139g	分銅形、完形、表が礫面、輝石安山岩
29	"	97SX06	長さ13.4cm、幅6.5cm 厚さ3.1cm、重さ325g	分銅形、完形、表が礫面、輝石安山岩
30	"	97SD05X53Y85.6	長さ12.9cm、幅5.8cm 厚さ3cm、重さ315g	短冊形、完形、表が礫面、輝緑岩
31	"	97SG04上層X52Y86	長さ13.1cm、幅4.7cm 厚さ3cm、重さ236g	短冊形、刃部左欠け、表が礫面、斑れい岩
32	"	97X53.3Y85.7黒色1	長さ12.5cm、幅5cm 厚さ2.1cm、重さ164g	分銅形、頭部右欠け、表が礫面、輝石安山岩

表5-3 舟岡地区石器一覧表(3) 第1調査区 第166~168図、図版177~179

番号	種類	年度・遺構・地区・層位	大きさ	特徴・石材
33	打製石斧	96X55Y85	長さ11.8cm、幅4.5cm 厚さ1.6cm、重さ149g	短冊形、完形、表が礫面、輝石安山岩
34	"	98X52Y85.7第2面	長さ11.3cm、幅5.9cm 厚さ2.9cm、重さ244g	分銅形、完形、刃部厚い、表が礫面、輝石安山岩
35	"	97SX02	長さ12.2cm、幅5.4cm 厚さ1.8cm、重さ168g	短冊形、完形、表が礫面、砂岩
36	"	97X52.6Y85.7第1面	長さ13.1cm、幅4.9cm 厚さ1.3cm、重さ135g	短冊形、完形、表が礫面、石英斑岩
37	"	98SD146X53.8Y85.9	長さ11.6cm、幅4.7cm 厚さ2.4cm、重さ127g	撥形、完形、表が礫面、輝石安山岩
38	"	97X51.3Y85.8第1面	長さ12.1cm、幅4.2cm 厚さ2.3cm、重さ175g	短冊形、完形、左側辺に調整剥離がなく未成品か、表が礫面、礫面に敲打痕、砂岩
39	"	97X53.2Y85.8黒色1層	長さ11.8cm、幅4.2cm 厚さ1.7cm、重さ121g	短冊形、完形、表が礫面、砂岩
40	"	97SD16X51.5Y85.9青砂利	長さ11.8cm、幅4.8cm 厚さ1.8cm、重さ131g	短冊形、刃部右欠け、表が礫面、輝石安山岩
41	"	97SD133X51.8Y85.2 (SD06)	長さ11.3cm、幅4.9cm 厚さ2cm、重さ157g	短冊形、完形、表が礫面、石英斑岩
42	"	98SD135X52.8Y85.9 第2面黄色ジャリ(SD06)	長さ10.7cm、幅5.2cm 厚さ1.8cm、重さ160g	短冊形、完形、刃部潰れ、表が礫面、輝石安山岩
43	"	97SD113断割X54.4Y85.4	長さ11.8cm、幅5.4cm 厚さ1.9cm、重さ163g	短冊形、刃部右と頭部左欠け、表が礫面、輝石安山岩
44	"	97SD16畦	長さ12cm、幅4.2cm 厚さ1.5cm、重さ113g	短冊形、刃部左欠け、表が礫面、輝石安山岩
45	"	97SG04下層X52Y85.8	長さ11.1cm、幅4.1cm 厚さ2.2cm、重さ131g	短冊形、完形、表面が礫面、輝石安山岩
46	"	97SG04下層X52Y85.6	長さ10.4cm、幅5.2cm 厚さ1.7cm、重さ120g	撥形か、頭部欠損か、表面が礫面、砂岩
47	"	97SD133X51.7Y86.1	長さ10.7cm、幅4.5cm 厚さ2.3cm、重さ156g	短冊形、完形、刃部摩滅、表面が礫面、輝石安山岩
48	"	97X52.4Y85.7第1面	長さ11cm、幅4.9cm 厚さ1.8cm、重さ138g	撥形、完形、表面が礫面、輝石安山岩
49	"	98SX11カタX51.8Y85.8	長さ9.8cm、幅4.1cm 厚さ1.9cm、重さ120g	短冊形、完形、刃部摩滅、表面が礫面、凝灰岩
50	"	97SX02W13.14のつなぎめ	長さ10.3cm、幅4.1cm 厚さ1.8cm、重さ115g	撥形、完形、刃部摩滅、表面が礫面、裏面刃部磨き、輝石安山岩
51	"	97SX02W16の下	長さ9.5cm、幅5.6cm 厚さ2cm、重さ118g	分銅形、刃部左欠け、表面が礫面、砂岩
52	"	97SX02X52.3Y85.9	長さ9.4cm、幅3.9cm 厚さ1.3cm、重さ65g	短冊形、完形、表面が礫面、安山岩
53	"	97X52Y85.3第1面	長さ8.9cm、幅5.3cm 厚さ1.6cm、重さ94g	短冊形、完形、表面が礫面、輝石安山岩

表5－4 舟岡地区石器一覧表（4） 第1調査区 第168・169図、図版179～181

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
54	打製石斧	97X52Y85.9第1面	長さ9.9cm、幅4.6cm 厚さ1.6cm、重さ103 g	短冊形、完形、表面が礫面、砂岩
55	〃	97SG04上層X52Y85.9	長さ9.9cm、幅4.4cm 厚さ1.9cm、重さ107 g	撥形、刃部左欠け、刃部摩滅、表面が礫面、砂岩
56	〃	97SX01（2）	長さ8.6cm、幅4.5cm 厚さ1.5cm、重さ80 g	撥形、頭部中央欠け、刃部摩滅、表面が礫面、凝灰質砂岩
57	〃	97SD16X51.6Y85.9赤ジャリ	長さ8.7cm、幅5 cm 厚さ1.1cm、重さ26 g	分銅形、完形、表面が礫面、凝灰岩
58	〃	97X53.6Y85.4	長さ6.4cm、幅8.1cm 厚さ2.5cm、重さ178 g	頭部片、表面裏面とも礫面、輝石安山岩
59	〃	98SX14X51.3Y85.6	長さ5.9cm、幅4.7cm 厚さ1.7cm、重さ67 g	短冊形は、刃部片、表面が礫面、刃部摩滅、変質安山岩
60	〃	97表採	長さ6.5cm、幅4.7cm 厚さ2.4cm、重さ90 g	分銅形か、頭部片、表面が礫面、凝灰岩
61	〃	97SD135X52.6Y86 (SD06)	長さ6.6cm、幅5.4cm 厚さ2.4cm、重さ94 g	短冊形、頭部片、表面が礫面、安山岩
62	〃	97SX01W4の下	長さ6.6cm、幅5.4cm 厚さ1.8cm、重さ94 g	短冊形、頭部片、表面が礫面、輝石安山岩
63	〃	98表採	長さ12.1cm、幅10cm 厚さ3.3cm、重さ460 g	分銅形、頭部欠損、表面が礫面、砂岩
64	擦石	98SX13X52.3Y85.6	長さ10.9cm、幅7.8cm 厚さ4.6cm、重さ600 g	楕円礫、右側辺が平滑、砂岩
65	〃	98断割15北側	長さ12.7cm、幅6.1cm 厚さ4.1cm、重さ534 g	棒状礫、下端部敲打、花崗斑岩
66	敲石	98X51.4Y86	長さ11.1cm、幅8.2cm 厚さ3.5cm、重さ507 g	楕円礫、左下側辺に敲きによる潰れ、砂岩
67	〃	97不明	長さ11.5cm、幅6 cm 厚さ3.3cm、重さ327 g	棒状礫、右下側辺に敲きによる潰れ、砂岩
68	〃	98X51.7Y85.7	長さ12.7cm、幅5.9cm 厚さ1.3cm、重さ148 g	楕円板状礫、右下側辺に敲きによる潰れ、砂岩
69	〃	98SX13-2X51.5Y85.5	長さ8.5cm、幅7.2cm 厚さ4.2cm、重さ396 g	円形礫、左右側辺に敲きによる潰れ、砂岩
70	〃	97SD135X52.6Y86 (SD06)	長さ6 cm、幅6 cm 厚さ4.5cm、重さ228 g	円形礫、下側辺に敲きによる潰れ、砂岩
71	〃	97SD130X54.1Y86 (SD06)	長さ4.9cm、幅4.5cm 厚さ4.3cm、重さ67 g	円形礫、左側辺に敲きによる潰れ、スコリア質安山岩
72	〃	98B区X51.9Y85.6	長さ12.3cm、幅7.4cm 厚さ2.2cm、重さ281 g	小判形礫、左側辺中央敲打による凹み、表裏摩滅か砥石か、凝灰質、砂岩
73	〃	98SD06X52.6Y85.6	長さ13.1cm、幅3.2cm 厚さ2.6cm、重さ118 g	長方形棒状、表裏平滑、砂質凝灰岩
74	凹石	97SX02W16の下	長さ13.8cm、幅6.4cm 厚さ3.9cm、重さ555 g	棒状礫、表に敲打による凹み2カ所、砂岩

表 5－5 舟岡地区石器一覧表（5） 第1調査区 第169・170図、図版181・182

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
75	凹石	98SD135 X 52.9 Y 85.9 (SD06)	長さ10.6cm、幅9.6cm 厚さ4cm、重さ610g	円礫、表裏とも敲打による凹み2カ所ずつ、砂岩
76	"	98X51.9 Y 86	長さ11cm、幅7.2cm 厚さ3.2cm、重さ376g	楕円礫、表に溝状凹み、裏に敲打痕 砂岩
77	"	98SX14	長さ10.9cm、幅7.3cm 厚さ4.7cm、重さ554g	楕円礫、表裏とも敲打による凹み2カ所ずつ、砂岩
78	"	97SD05 X 52.5 Y 85.4	長さ10cm、幅7.7cm 厚さ4.7cm、重さ538g	楕円礫、表裏とも敲打による凹み2カ所ずつ、側辺周囲に敲打痕、アプライト質花崗岩
79	"	98X52.8 Y 85.8第2面	長さ10.8cm、幅7cm 厚さ3.4cm、重さ244g	楕円礫、表に大きな凹み、裏に凹み2カ所、砂岩
80	"	97SG04下層 X 52.1 Y 86	長さ8.7cm、幅8.2cm 厚さ2.6cm、重さ225g	円礫、表裏に凹み、デイサイト
81	"	97SD130 X 53.2 Y 85.8 (SD06)	長さ8.6cm、幅6.1cm 厚さ2.9cm、重さ220g	楕円礫、下部欠損、表裏に凹み2カ所ずつ、上端に敲打、砂岩
82	"	97SD134 X 51.3 Y 85.5 (SD06)	長さ8.2cm、幅6cm 厚さ3.7cm、重さ223g	楕円礫、表裏に凹み1カ所ずつ、輝石安山岩
83	"	97SD135 X 51.6 Y 86 (SD06)	長さ7.5cm、幅6.8cm 厚さ3.9cm、重さ253g	円礫、表裏に凹み1カ所ずつ、砂岩
84	"	97H 5 SD138	長さ8.4cm、幅7.7cm 厚さ3.8cm、重さ312g	円礫、表裏に凹み1カ所ずつ、流紋岩
85	"	97SD135 X 52.6 Y 86 (SD06)	長さ8.9cm、幅4cm 厚さ2.3cm、重さ97g	棒状礫、上部欠損、表裏に敲打による凹み、砂岩
86	"	97X51.7 Y 85.3	長さ11.4cm、幅8.6cm 厚さ4.4cm、重さ641g	楕円礫、表裏ともに浅い敲打凹み、砂岩
87	"	98E X 52.3 Y 85.6	長さ11.7cm、幅6.2cm 厚さ3.8cm、重さ433g	棒状礫、表に浅い敲打凹み、砂岩
88	"	98SXX11カタ黒	長さ7.3cm、幅7.2cm 厚さ5.7cm、重さ423g	円形礫、表と右側辺に敲きによる潰れ、凝灰岩
89	凹石兼擦石	97SX13W63の下	長さ8.1cm、幅8.1cm 厚さ4.8cm、重さ459g	楕円礫、上部欠損、左右側辺が平滑 表裏に敲打凹み、輝石安山岩
90	石錘	97SX02 X 52.2 Y 85.9黒	長さ10.5cm、幅9.5cm 厚さ2.6cm、重さ450g	小判形礫、上下側辺に欠き込み、砂岩
91	"	97H鋼10 青砂	長さ9.8cm、幅8.3cm 厚さ3cm、重さ375g	小判形礫、上下側辺に欠き込み、砂岩
92	"	98X51.6 Y 85.9第2面	長さ10.4cm、幅7.4cm 厚さ2.8cm、重さ331g	小判形礫、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
93	"	97断割14青砂	長さ8.9cm、幅7.8cm 厚さ2.7cm、重さ290g	小判形礫、上下側辺に欠き込み、砂岩
94	"	98SX14 X 51.4 Y 85.8	長さ8.7cm、幅7.9cm 厚さ2.4cm、重さ259g	小判形礫、上下側辺に欠き込み、砂岩
95	"	97X51.6 Y 85.4第1面	長さ8.6cm、幅6.5cm 厚さ2.1cm、重さ145g	楕円礫、上下側辺に欠き込み、凝灰岩
96	"	98SD145 X 53.7 Y 85.8	長さ8.3cm、幅6.7cm 厚さ2cm、重さ178g	楕円礫、上下側辺に欠き込み、砂岩

表 5－6 舟岡地区石器一覧表（6） 第1調査区 第170・171図、図版182～184

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
97	石 錘	97SX02X52.2Y85.9	長さ8.9cm、幅5.6cm 厚さ1.3cm、重さ111 g	小判形礫、上下側辺に欠き込み、砂質凝灰岩
98	〃	97SD06の肩X54Y85.5	長さ7.9cm、幅7.9cm 厚さ1.7cm、重さ124 g	楕円礫、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
99	石錘兼凹石	97表採	長さ7.6cm、幅7.5cm 厚さ1.8cm、重さ162 g	円礫、上下側辺に欠き込み、表裏中央に1カ所づつ凹み、デイスイト
100	石 錘	97SX02-2 X52.3Y85.9	長さ8 cm、幅6.7cm 厚さ1.3cm、重さ128 g	小判礫、上下側辺に欠き込み、表に欠き込みを結び幅約1 mmの線状痕あり、砂岩
101	〃	97SX01	長さ8.3cm、幅6.8cm 厚さ1.9cm、重さ141 g	方形礫、上下側辺に欠き込み、凝灰質砂岩
102	〃	98X52.7Y85.9第2面	長さ7.9cm、幅6 cm 厚さ1.9cm、重さ139 g	楕円礫、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
103	〃	97SG04下層X52.2Y86	長さ7.8cm、幅6 cm 厚さ2.1cm、重さ139 g	小判礫、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
104	〃	97SD130X54.2Y85.6 (SD06)	長さ6.2cm、幅4.9cm 厚さ1.2cm、重さ58 g	小判礫、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
105	石錘兼凹石	97H鋼10N 7 青砂	長さ7.5cm、幅7.4cm 厚さ2.7cm、重さ178 g	円礫、上下側辺に欠き込み、表裏中央に1カ所づつ凹み、火山礫凝灰岩
106	石 錘	98X52.2Y86.1第1面	長さ8.4cm、幅7.2cm 厚さ2.2cm、重さ208 g	楕円礫、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
107	〃	97SX02X52.2Y85.9	長さ5.9cm、幅5.4cm 厚さ2.1cm、重さ110 g	小判礫、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
108	〃	97X51.3Y85.5第1面	長さ5.9cm、幅4 cm 厚さ1 cm、重さ35 g	楕円礫、上下側辺に欠き込み、流紋岩
109	〃	97SD16畦	長さ6.4cm、幅6.4cm 厚さ1.7cm、重さ118 g	円礫、上下側辺に欠き込み、砂岩
110	〃	98X52.9Y85.8第2面	長さ6.4cm、幅5.5cm 厚さ1.7cm、重さ86 g	楕円礫、上下左側辺に欠き込み、凝灰岩
111	〃	98A区X51.7Y86	長さ6.7cm、幅5.3cm 厚さ2.1cm、重さ105 g	小判礫、上下側辺に欠き込み、砂岩
112	〃	97H鋼7・8表採	長さ6.5cm、幅5.5cm 厚さ1.9cm、重さ109 g	小判礫、上下側辺に欠き込み、砂岩
113	〃	98第2面X52.7Y85.9	長さ6.1cm、幅4.3cm 厚さ1.2cm、重さ49 g	楕円礫、上下側辺に欠き込み、砂岩
114	〃	97X52.5Y85.2	長さ6.1cm、幅4.8cm 厚さ2 cm、重さ66 g	楕円礫、上下側辺に欠き込み、凝灰岩
115	〃	98SX14X51.3Y85.6	長さ4.5cm、幅3.8cm 厚さ1 cm、重さ31 g	楕円礫、上下側辺に欠き込み、玄武岩
116	〃	98X51.9Y85.5第3面	長さ5 cm、幅3.9cm 厚さ1.6cm、重さ45 g	小判礫、上下側辺に欠き込み、輝石安山岩
117	〃	98SX11カタX52.1Y85.3 V層	長さ4.4cm、幅3.4cm 厚さ1.5cm、重さ38 g	小判礫、上下側辺に欠き込み、凝灰岩

表 5－7 舟岡地区石器一覧表（7） 第1調査区 第171・172図、図版184・185

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
118	石 錘	97シーパイル38X52.7Y85	長さ4.7cm、幅4.7cm 厚さ1.6cm、重さ37 g	円礫、上下側辺に欠き込み、デイサイト
119	〃	98SX13-2X51.3Y85.6	長さ4.4cm、幅3.1cm 厚さ1.6cm、重さ17 g	楕円礫、裏側欠損、縦位に幅3mmの溝状の切目を巡らす、凝灰岩
120	〃	97SD133X51.6Y86 (SD06)	長さ8.8cm、幅6.6cm 厚さ1.8cm、重さ141 g	小判礫、上下側辺に幅4mmの切目、砂質凝灰岩
121	〃	97SD06X52.5Y85.5下層	長さ9.4cm、幅5.7cm 厚さ2.7cm、重さ126 g	長方形礫、上下側辺に幅5mmの切目、左右側辺打ち欠き、凝灰質砂岩
122	石錘兼凹石	97SX02-2X52.3Y85.9	長さ8.3cm、幅7.6cm 厚さ2.2cm、重さ217 g	定角式磨製石斧の刃部片を転用、下が刃部、上下側辺に幅4mmの切目、裏面に凹み、変質安山岩
123	石 錘	97SX04	長さ6.6cm、幅4.1cm 厚さ2.3cm、重さ90 g	楕円礫、上下側辺に打ち欠きと幅3mmの切目、ひん岩
124	〃	97SG04上層X52.2Y86.6	長さ6cm、幅4.9cm 厚さ1.5cm、重さ28 g	削りにより楕円整形、上下側辺に幅5mmの切目、凝灰岩
125	〃	97シーパイ170南側	長さ6.3cm、幅4cm 厚さ1.2cm、重さ29 g	楕円礫、上下側辺に打ち欠き、凝灰岩
126	〃	97SX02-2X52.3Y85.9	長さ5.2cm、幅3.4cm 厚さ0.9cm、重さ16 g	楕円礫、上下側辺に幅5mmの切目、頁岩
127	〃	97SX02W13ジャリ	長さ4.8cm、幅3.4cm 厚さ1.3cm、重さ21 g	楕円礫、上下側辺に幅4～5mmの切目、凝灰岩
128	〃	97SX02W13ジャリ	長さ4.3cm、幅3.7cm 厚さ1.6cm、重さ20 g	楕円礫、上下側辺に幅4～5mmの切目、凝灰岩
129	〃	97不明	長さ4.5cm、幅3.3cm 厚さ0.7cm、重さ16 g	楕円礫、裏面欠損、上下側辺に幅2.5mmの切目、変質安山岩
130	〃	97断割Ⅱ	長さ4.3cm、幅3.4cm 厚さ1.1cm、重さ20 g	小判礫、上下側辺に幅3～5mmの切目、輝石安山岩
131	〃	97X52.7Y不明黒色	長さ2.6cm、幅2.9cm 厚さ1.7cm、重さ11 g	小判礫、上部欠損、下側辺に幅2mmの切目、デイサイト
132	〃	98SD06X52.6Y85.6	長さ4.1cm、幅3.3cm 厚さ1.5cm、重さ31 g	楕円礫、上下側辺に幅4mmの切目、玄武岩
133	〃	98SX13-2X51.5Y85.5	長さ5cm、幅6cm 厚さ1.7cm、重さ80 g	円礫、上部欠損、下側辺に幅2～4mmの切目、砂岩
134	〃	97断割Ⅱ	長さ6.9cm、幅6.7cm 厚さ1cm、重さ28 g	楕円礫、上部欠損、下側辺に打ち欠きと幅3mmの切目、凝灰岩
135	〃	98SD06X52Y85.5	長さ5.2cm、幅4.5cm 厚さ1cm、重さ37 g	楕円礫、上部欠損、下側辺に幅5mmの切目、凝灰岩
136	石 鱗	89SG01X54Y86.6黒2	長さ4.2cm、幅1.9cm 厚さ5mm、重さ2.5 g	流紋岩
137	〃	89X52.9Y86.5砂礫	長さ2.5cm、幅1.7cm 厚さ3.0mm、重さ0.9 g	無斑晶質安山岩
138	〃	89SG01X53.9Y86.9黒2	長さ2.7cm、幅2.1cm 厚さ5mm、重さ2 g	無斑晶質安山岩
139	〃	89SG01黒	長さ2.4cm、幅1.4cm 厚さ2.5mm、重さ0.5 g	珪質頁岩

表 5－8 舟岡地区石器一覧表（8） 第6 調査区 第172・173図、図版185

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
140	石鏃	88SD08肩 X51.4Y86.9	長さ2.7cm、幅1.8cm 厚さ 3 mm、重さ0.7 g	流紋岩
141	"	88X54.2Y86.7黒	長さ2.2cm、幅1.5cm 厚さ4.5mm、重さ1.1 g	赤玉
142	"	88SG01X53.9Y86.9黒 1	長さ4.3cm、幅2.3cm 厚さ 4 mm、重さ2.6 g	無斑晶ガラス質安山岩
143	"	88X53.8Y87.1黒	長さ2.7cm、幅1.7cm 厚さ3.9mm、重さ1.1 g	無斑晶ガラス質安山岩
144	"	88SG01X53.8Y86.9黒 2	長さ3.1cm、幅2.1cm 厚さ4.1mm、重さ2.1 g	流紋岩
145	"	88SI02X51.6Y87炉上	長さ2.5cm、幅1.9cm 厚さ3.1mm、重さ1.2 g	流紋岩
146	"	88SG01X54Y86.7黒	長さ2.5cm、幅1.8cm 厚さ 4 mm、重さ1.4 g	無斑晶ガラス質安山岩
147	"	88SD08X51.3Y86.8	長さ2.1cm、幅1.3cm 厚さ4.5mm、重さ0.6 g	無斑晶ガラス質安山岩
148	"	88SD11X52.5Y86.7	長さ2.3cm、幅1.6cm 厚さ3.9mm、重さ0.8 g	無斑晶ガラス質安山岩
149	"	88SD11X52.5Y86.7	長さ1.8cm、幅1.3cm 厚さ2.7mm、重さ0.2 g	無斑晶ガラス質安山岩
150	"	88X54.1Y87黒	長さ3.1cm、幅1.7cm 厚さ3.1mm、重さ1.1 g	無斑晶ガラス質安山岩
151	"	88F6 X51.4Y87	長さ1.7cm、幅1.4cm 厚さ3.8mm、重さ0.5 g	無斑晶質安山岩
152	"	88SD11X52.9Y86.7	長さ2.5cm、幅1.7cm 厚さ3.8mm、重さ0.6 g	無斑晶質安山岩
153	"	88SK08X52.8Y87	長さ1.3cm、幅1.3cm 厚さ2.1mm、重さ0.1 g	流紋岩
154	"	88SD11X52.6Y86.7	長さ2.8cm、幅 1 cm 厚さ2.5mm、重さ0.2 g	無斑晶質安山岩
155	"	88SD19X51.1Y87青砂	長さ1.6cm、幅1.2cm 厚さ 3 mm、重さ0.1 g	流紋岩
156	"	88X51.4Y86.7黒 1	長さ 2 cm、幅1.5cm 厚さ4.1mm、重さ0.8 g	無斑晶質安山岩
157	"	88SK02X51.5Y86.7	長さ2.1cm、幅1.6cm 厚さ3.5mm、重さ0.8 g	無斑晶質安山岩
158	"	88SD11X52.9Y86.7	長さ1.5cm、幅1.4cm 厚さ3.2mm、重さ0.3 g	無斑晶質安山岩
159	"	88SI02X51.7Y87黒	長さ1.9cm、幅1.9cm 厚さ3.5mm、重さ0.4 g	無斑晶質安山岩
160	"	88 2 トレ黒	長さ1.6cm、幅1.4cm 厚さ 3 mm、重さ0.2 g	無斑晶ガラス質安山岩
161	"	88SD08X51.4Y86.9	長さ2.2cm、幅2.1cm 厚さ4.2mm、重さ1.1 g	黒曜石（松脂岩）

表5-9 舟岡地区出土石器一覧表(9) 第1調査区・第6調査区 第173~175図・図版186~188

番号	種類	年度・遺構・地区・層位	大きさ	特徴・石材
162	石鏃	88SD11X53.3Y86.6	長さ2.6cm、幅1.5cm 厚さ7.4mm、重さ2.5g	流紋岩
163	〃	88X54.2Y86.7黒	長さ1.7cm、幅1.7cm 厚さ3.7mm、重さ0.8g	無斑晶ガラス質安山岩
164	〃	88SD11X52.9Y86.7	長さ3.3cm、幅1.4cm 厚さ4.1mm、重さ1.1g	無斑晶質安山岩
165	〃	88SD09X52.3Y86.6	長さ3.8cm、幅1.8cm 厚さ6mm、重さ3g	無斑晶質安山岩
166	〃	96X54.6Y85.2赤ジャリ	長さ2.7cm、幅1.5cm 厚さ5.3mm、重さ1.9g	珪質頁岩
167	石槍	88SG01X54Y85.7黒2	長さ13.9cm、幅3cm 厚さ1.2mm、重さ61.4g	完形品、両面調整、最大幅上部にある、珪質頁岩
168	石匙	88SI01X58.8Y87炉2の下	高さ3cm、幅5.7cm 厚さ6.5mm、重さ6.9g	完形品、横形、頁岩(新第三系)
169	〃	97SX1X51.6Y85.8	高さ8.5cm、幅3.4cm 厚さ0.9cm、重さ19g	横型、刃部内湾、剥離で整形し、表裏に磨き、刃部中央部とつまみ部側辺部(紐掛部)も磨く、無斑晶質安山岩
170	〃	89SD03X53.7Y87.3砂礫	高さ3.1cm、幅2.8cm 厚さ9.5mm、重さ7.1g	鉄石英
171	〃	88SI02X51.5Y87.1 I層	長さ4.3cm、幅4.5cm 厚さ1.0cm、重さ17.9g	黒色緻密質安山岩
172	搔器	88SG01X53.9Y86.8黒1	長さ3.6cm、幅2.8cm 厚さ1.1cm、重さ12g	無斑晶ガラス質安山岩
173	鋸歯状石器	97X51.6Y85.5第1面	長さ2.2cm、幅1.6cm 厚さ4.5mm、重さ1.6g	方形の剥片の四力所にえぐりをいれる、鉄石英
174	〃	89SG01X53.9Y86.8青2 砂礫	長さ1.7cm、幅3.5cm 厚さ4.8mm、重さ2.3g	分銅形、無斑晶質安山岩
175	削器	89SG01X53.9Y86.8黒2	長さ2.4cm、幅3.7cm 厚さ1.5cm、重さ12.1g	流紋岩
176	〃	88不明	長さ5.2cm、幅2.7cm 厚さ1.4cm、重さ15.8g	流紋岩
177	剥片石器	97X51.9Y85.3	長さ5cm、幅4.2cm 厚さ1.5cm、重さ21g	右側辺と下側辺に調整剥離、左上側辺に突起を作り出す、デイサイト
178	珠状耳飾	88SD08X51.1Y86.9	長さ4.1cm、幅2.5cm 厚さ0.6cm、重さ2.5g	滑石
179	指輪状石器	88SK03X51.8Y86.5	長さ1.4cm、幅1.7cm 厚さ0.9cm、重さ1g	滑石
180	岩版	89SG02X51.2Y86.3黒	長さ6.6cm、幅4.1cm 厚さ9mm、重さ19.3g	正面上部に2本沈線、左寄りに縦に幅1cmの溝、流紋岩質凝灰岩
181	石皿	98X51.3Y86第2面	長さ18.4cm、幅16.9cm 厚さ6.6cm、重さ1798g	右側下側欠損、表中央凹む、輝石安山岩
182	砥石	98断15北側	長さ11.9cm、幅9.4cm 厚さ4.4cm、重さ593g	右側下側欠損、表裏ともに平滑面に凹みあり、凝灰質砂岩

表5－10 舟岡地区石器一覧表（10） 第1調査区・第6調査区 第175・176図、図版188～190

番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
183	砥石	98断16 X 51.3 Y 86	長さ10.8cm、幅8.2cm 厚さ5.9cm、重さ768 g	左側下側欠損、表は内側に傾斜する 平滑面、裏は凹み3カ所、上側辺に も凹みか、凝灰質砂岩
184	〃	97 S D 133 X 53.9 Y 85.9	長さ11.1cm、幅5.9cm 厚さ4.3cm、重さ383 g	上左右欠損、表裏平滑、砂岩（新第 三系）
185	〃	97 S X 1 X 51.6 Y 85.8	長さ8.4cm、幅8.8cm 厚さ3.1cm、重さ369 g	四方欠損、表平滑、砂岩
186	砥石兼凹石	97SG04下層土 X 52.1 Y 86	長さ16.7cm、幅15.1cm 厚さ1.8cm、重さ624 g	方形、右側欠損、表は平滑面に凹み 一カ所、流紋岩
187	磨製石斧	88 X 53.1 Y 86.6表土	長さ15.1cm、幅6.3cm 厚さ2.8cm、重さ418 g	変輝緑岩
188	〃	88黒1 C 拡	長さ13.0cm、幅6.1cm 厚さ2.7cm、重さ440 g	変質蛇紋岩
189	〃	88SD11 X 53.7 Y 87.2 セク中央②	長さ13.8cm、幅7.4cm 厚さ2.9cm、重さ551 g	蛇紋岩
190	〃	89SG01 X 53.7 Y 87.0黒1	長さ11.9cm、幅5.9cm 厚さ2.3cm、重さ306 g	蛇紋岩
191	〃	88SD19 X 51.2 Y 87.0黒1	長さ11.3cm、幅6.5cm 厚さ2.7cm、重さ329 g	蛇紋岩
192	〃	88SD11 X 53.6 Y 86.9	長さ11.8cm、幅6.4cm 厚さ2.8cm、重さ332 g	変輝緑岩
193	〃	89表採	長さ11.0cm、幅7.5cm 厚さ3.1cm、重さ457 g	蛇紋岩
194	〃	88SD11 X 53.1 Y 86.6	長さ9.7cm、幅6.0cm 厚さ2.7cm、重さ164 g	変輝緑岩
195	〃	89SG01 X 54.1 Y 86.7黒2	長さ9.8cm、幅5.8cm 厚さ2.1cm、重さ244 g	蛇紋岩
196	〃	88SG01 X 53.9 Y 86.8黒2	長さ12.5cm、幅4.5cm 厚さ2.1cm、重さ179 g	変質安山岩
197	〃	89SG01 X 54.0 Y 86.6 X 54.1 Y 86.9黒2	長さ12.9cm、幅5.3cm 厚さ2.2cm、重さ254 g	石英斑岩
198	〃	89 X 53.3 Y 87.5水道管	長さ13cm、幅5.1cm 厚さ2.4cm、重さ238 g	蛇紋岩
199	〃	88SD05 X 53.8 Y 83.3	長さ12.0cm、幅5.5cm 厚さ2.5cm、重さ336 g	蛇紋岩
200	〃	89 X 51.5 Y 86.8	長さ12.2cm、幅5.6cm 厚さ2.3cm、重さ294 g	蛇紋岩
201	〃	88SD05 X 53.9 Y 85.4	長さ11.3cm、幅4.9cm 厚さ2.1cm、重さ235 g	蛇紋岩
202	〃	88SD05 X 53.9 Y 85.4	長さ9.6cm、幅4.5cm 厚さ2.1cm、重さ194 g	曹長岩
203	〃	88SD11 X 53.5 Y 86.8	長さ8.1cm、幅5.1cm 厚さ1.6cm、重さ130 g	蛇紋岩
204	〃	88 X 51.0 Y 87 I	長さ9.2cm、幅5.7cm 厚さ3.1cm、重さ254 g	輝石安山岩

表 5－11 舟岡地区石器一覧表（11） 第 1 調査区・第 6 調査区 第177・178図、図版190～192

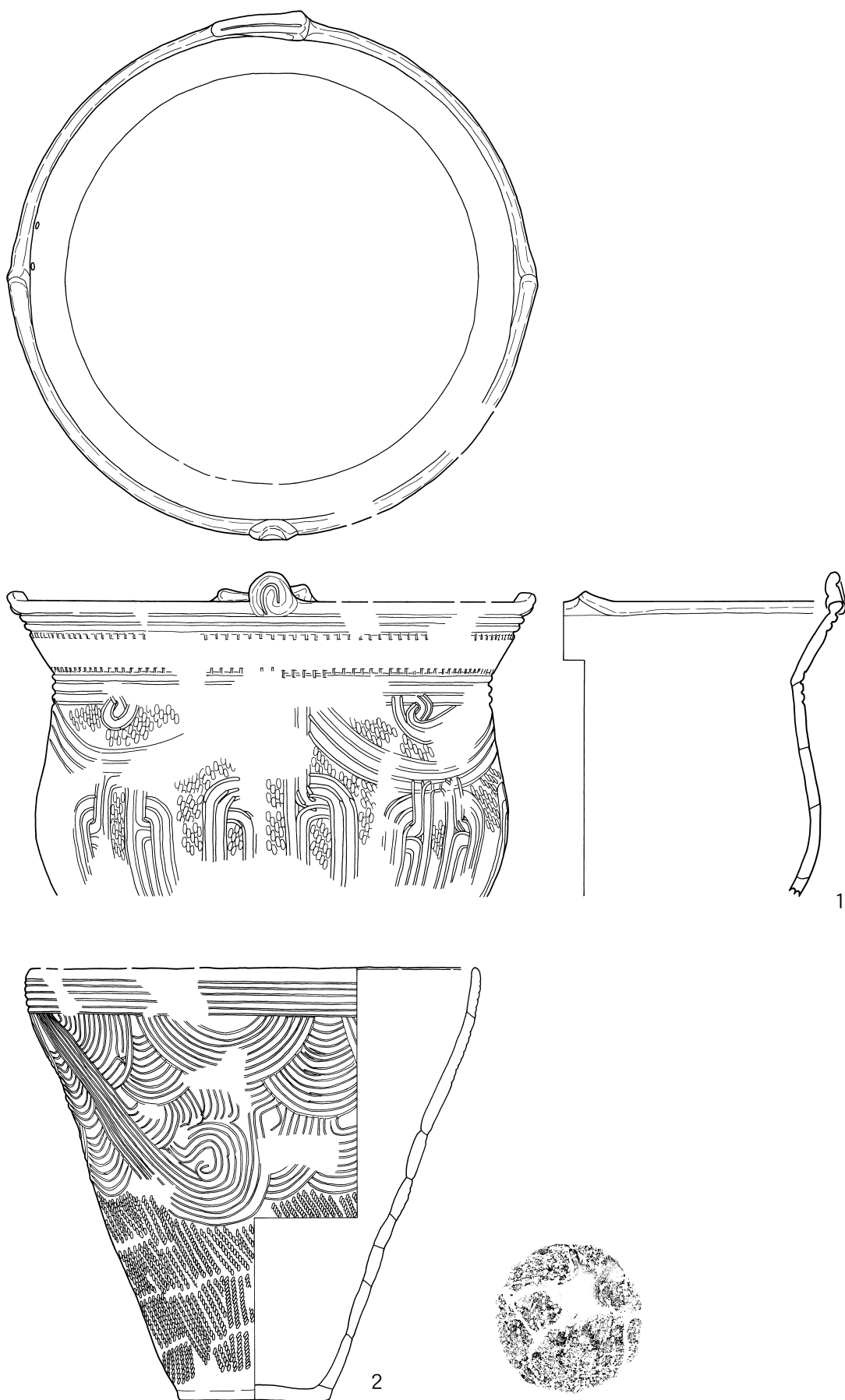
番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
205	磨製石斧	88SD19X51.2Y87.1 I	長さ8.7cm、幅5.2cm 厚さ2.4cm、重さ153 g	蛇紋岩
206	〃	88SD09X51.4Y86.6	長さ7.3cm、幅5.0cm 厚さ1.9cm、重さ120 g	蛇紋岩
207	〃	89SD13X53.6Y87.2上	長さ8.2cm、幅4.8cm 厚さ1.6cm、重さ116 g	頁岩
208	〃	88X54.0Y86.9黒	長さ7.2cm、幅6.7cm 厚さ1.9cm、重さ178 g	蛇紋岩
209	〃	97表採	長さ11.1cm、幅5.8cm 厚さ2.1cm、重さ236 g	定角式、撥形、刃部右欠け、蛇紋岩
210	〃	97SG04上層X52.2Y86	長さ10.8cm、幅6.6cm 厚さ3.5cm、重さ405 g	定角式、短冊形、刃部欠損、変質安山岩
211	〃	97X53.2Y85.6黒色バンド I	長さ17.8cm、幅7.1cm 厚さ3.3cm、重さ529 g	定角式、上部欠損、撥形か、刃部左欠け、蛇紋岩
212	〃	97SX01（2）	長さ15cm、幅5.6cm 厚さ2.8cm、重さ314 g	短冊形、表裏とも敲打痕と磨きあり、未成品、砂岩
213	〃	97SX12	長さ8.4cm、幅6.1cm 厚さ2.8cm、重さ231 g	定角式、短冊形、刃部欠損、左右側辺にえぐりと敲打あり、打製石斧に転用か、蛇紋岩
214	〃	98SX14X51.3Y85.6	長さ5.8cm、幅7.2cm 厚さ2.5cm、重さ168 g	定角式、刃部片、安山岩
215	〃	97SD129X52.2Y86 (SD06)	長さ11.6cm、幅4.9cm 厚さ2.1cm、重さ253 g	定角式、撥形、頭部左欠け、蛇紋岩
216	〃	98X52.5Y85.5	長さ11.1cm、幅4.2cm 厚さ1.6cm、重さ166 g	定角式、完形、蛇紋岩
217	〃	97X53.3Y85.7黒色 1	長さ10.8cm、幅 4 cm 厚さ 2 cm、重さ166 g	定角式、撥形、刃部欠損、流紋岩
218	〃	97SG04上層X51.3Y86	長さ8.7cm、幅5.2cm 厚さ1.9cm、重さ163 g	定角式、短冊形、刃部欠損、蛇紋岩
219	〃	97X53.1Y85.7黒色 1	長さ7.9cm、幅5.9cm 厚さ2.2cm、重さ186 g	定角式、上部欠損、撥形か、蛇紋岩
220	〃	98X52Y85.1	長さ9.8cm、幅5.6cm 厚さ1.9cm、重さ160 g	定角式、側辺やや丸み、刃部欠損、撥形か、蛇紋岩
221	〃	98X52.6Y85.9第 2 面	長さ9.6cm、幅4.8cm 厚さ 2 cm、重さ173 g	定角式、短冊形、刃部欠け、蛇紋岩
222	〃	97X52.2Y85.5黒色バンドの上シルト	長さ9.3cm、幅5.1cm 厚さ2.4cm、重さ201 g	定角式、短冊形、刃部欠損、変質安山岩
223	〃	98X52.4Y85.7第 2 面	長さ6.7cm、幅5.4cm 厚さ2.5cm、重さ158 g	定角式、短冊形、刃部欠損、蛇紋岩
224	〃	97断割A X53Y86	長さ9.1cm、幅4.6cm 厚さ1.9cm、重さ164 g	定角式、短冊形、刃部潰れ、変輝緑岩
225	〃	97SD06X52.4Y85.5	長さ8.4cm、幅 6 cm 厚さ2.7cm、重さ152 g	定角式か、頭部左右側片欠損、蛇紋岩
226	〃	97SX03X54.4Y85.6	長さ8.6cm、幅4.3cm 厚さ1.8cm、重さ133 g	定角式、撥形、裏刃部欠け、蛇紋岩

表 5－12 舟岡地区石器一覧表（12） 第 1 調査区・第 6 調査区 第178・179図、図版192～194

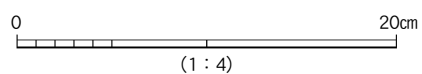
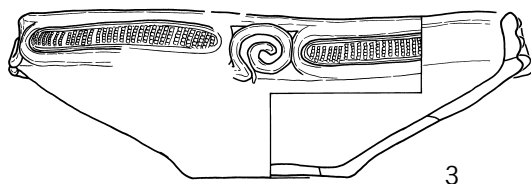
番 号	種 類	年度・遺構・地区・層位	大 き さ	特 徴 ・ 石 材
227	磨製石斧	97表採	長さ7.2cm、幅4.5cm 厚さ2.3cm、重さ135 g	定角式、頭部欠損、千枚岩
228	〃	97SX04	長さ7.7cm、幅4.6cm 厚さ2.1cm、重さ70 g	定角式、刃部左片、蛇紋石
229	〃	97SD06X52.4Y不明	長さ4.3cm、幅4.9cm 厚さ2.5cm、重さ79 g	定角式、短冊形、刃部欠損、変質安山岩
230	〃	97SG04上層X52.2Y86	長さ5.3cm、幅4.1cm 厚さ2 cm、重さ73 g	定角式、短冊形、刃部欠損、無斑晶質安山岩
231	〃	89SG01X53.8Y86.7黒2	長さ8.7cm、幅4.9cm 厚さ1.5cm、重さ99 g	蛇紋岩
232	〃	88SD05X51.9Y85.5 (3) 下	長さ7.4cm、幅3.9cm 厚さ1.5cm、重さ94 g	蛇紋岩
233	〃	89X52.4Y86.7砂礫	長さ6.0cm、幅3.4cm 厚さ1.1cm、重さ41 g	蛇紋岩
234	〃	89SG01X54.1Y86.9黒2	長さ6.1cm、幅2.7cm 厚さ0.9cm、重さ28 g	蛇紋岩
235	〃	89SD11X53.1Y86.7 セクションベルト	長さ6.6cm、幅2.9cm 厚さ0.9cm、重さ32 g	蛇紋岩
236	〃	88SD05X53.9Y85.4 セクションベルト	長さ7.5cm、幅2.8cm 厚さ1.0cm、重さ45 g	蛇紋岩
237	〃	89SI03X51.5Y86.9黒	長さ5.3cm、幅1.7cm 厚さ8 mm、重さ14 g	蛇紋岩
238	〃	97SX01W4の下	長さ5.9cm、幅3.8cm 厚さ1.5cm、重さ63 g	定角式、撥形、刃部欠損、蛇紋岩
239	〃	98A区X51.7Y86	長さ5.6cm、幅3.3cm 厚さ1 cm、重さ40 g	定角式、小型、頭部欠け、刃部右欠け、蛇紋岩
240	〃	98断割10畦除去	長さ5.3cm、幅2.9cm 厚さ9.5cm、重さ35 g	定角式、短冊形、小型、頭部欠け、蛇紋岩
241	〃	97SG04上層X52Y85.9	長さ5.2cm、幅2.6cm 厚さ1.1cm、重さ31 g	定角式、短冊形、小型、頭部欠け、蛇紋岩
242	〃	97X52.1Y85.9上層	長さ4.5cm、幅2.1cm 厚さ8.5cm、重さ13 g	定角式、短冊形、小型、頭部欠け、蛇紋岩
243	〃	97SD135X52.3Y85.9 (SD06)	長さ4.5cm、幅2.4cm 厚さ0.7cm、重さ15 g	定角式、小型、短冊形、刃部欠損、蛇紋岩
244	〃	97不明	長さ5.7cm、幅2.1cm 厚さ1.3cm、重さ26 g	定角式、小型、蛇紋岩
245	石棒	98SX13付近X51.5Y85.7	長さ14.8cm、幅12.5cm 厚さ8.8cm、重さ1515 g	頭部先端・胴部・裏面欠損、幅約3cm厚さ1.3cmに鏝が巡り、鏝の下3面に半環状隆体（玉抱き三叉文）を彫り込む、火山礫凝灰岩
246	〃	89X53.9Y85.8	長さ24.2cm、幅14.5cm 厚さ12.6cm、重さ5075 g	頭部・胴部上部欠損、断面長円形に整形、火山礫凝灰岩
247	〃	98X52.7Y85.7	長さ22.4cm、幅13.5cm 厚さ10.5cm、幅3301 g	下部か、火山礫凝灰岩

報 告 書 抄 録

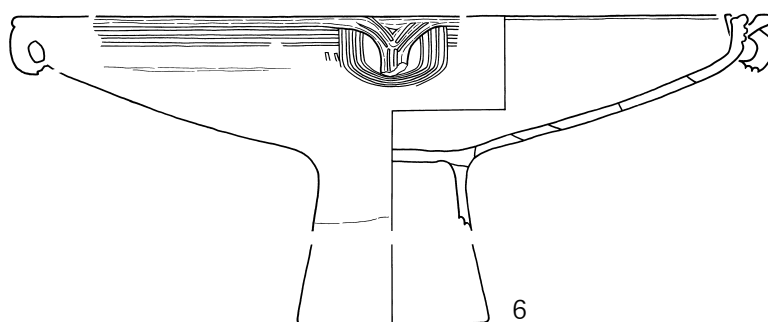
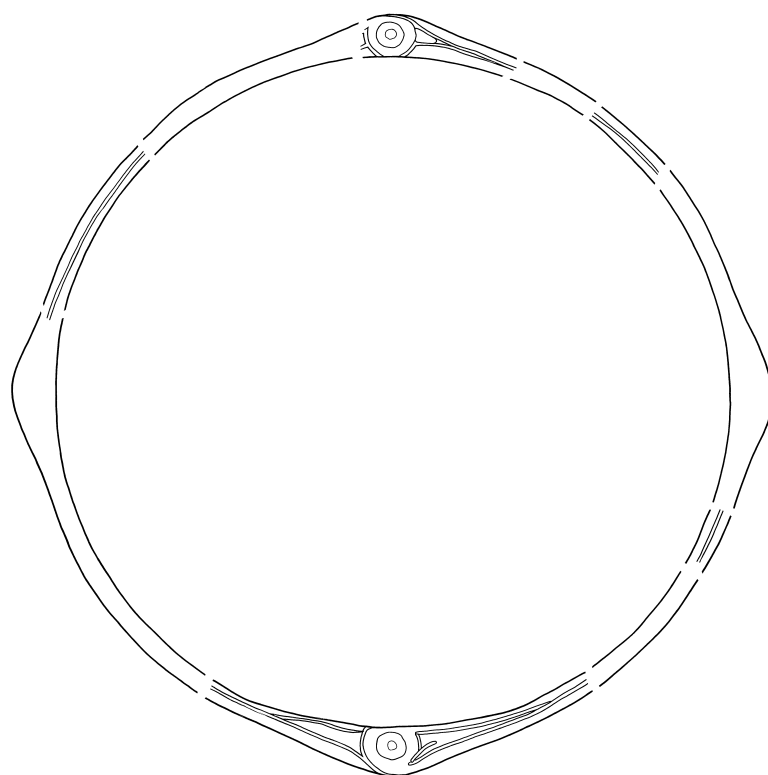
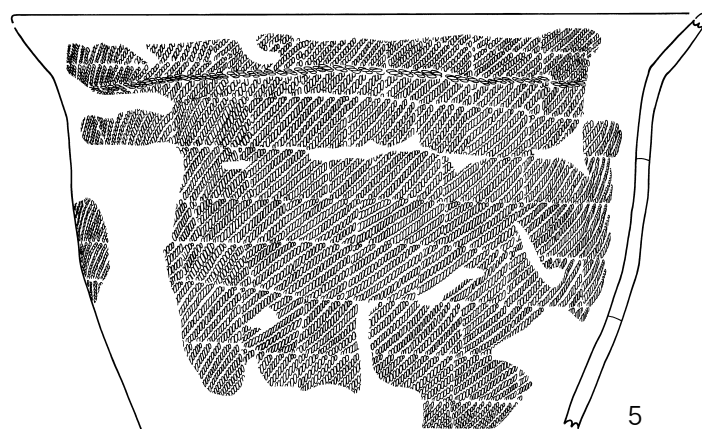
ふ り が な	さくらまちいせきはつくつちょうさほうこくしょ							
書 名	桜町遺跡発掘調査報告書							
副 書 名	縄文土器・石器編Ⅰ							
巻 次								
シリーズ名	小矢部市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第57冊							
編 著 者 名	久々忠義 塚田一成							
編 集 機 関	小矢部市教育委員会							
所 在 地	〒932-8611 富山県小矢部市本町 1 番 1 号							
発行年月日	西暦2006年 3 月31日							
ふ り が な 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
さくらまち 桜町	お や べ し さくらまち 小矢部市桜町 な か で ふなおか 中出・舟岡	16209	209021	36° 41′ 00″	136° 52′ 40″	19870520～ 19871110	3500	道路（国道 8 号線小矢部バ イパス）建設 に伴う事前調 査
						19880509～ 19881227	2600	
						19900626～ 19901016	1270	
						19960422～ 19970124	同上継続	
						19980519～ 19981225	同上継続	
						19990401～ 20000128	2752	
						20000421～ 20001222	同上継続	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
桜町	散布地	縄文時代 早期・前期	なし		縄文土器・玦状耳飾り			
	食料・木 器加工場	縄文時代 中期～後期初頭	川	2	縄文土器・石器・斧柄・ 弓・網物・貫穴・えつ り穴などの加工のある柱 材・板材・柱根	水場木組みの木材は建築 材が転用されたものと考え られている。		
			焼土	21				
木柱根			15					
			土杭	194				
			埋甕	7				
			木組み及び木材 集中箇所	22				
			土器溜まり	5				
	散布地	縄文時代 後期・晩期	なし		縄文土器			



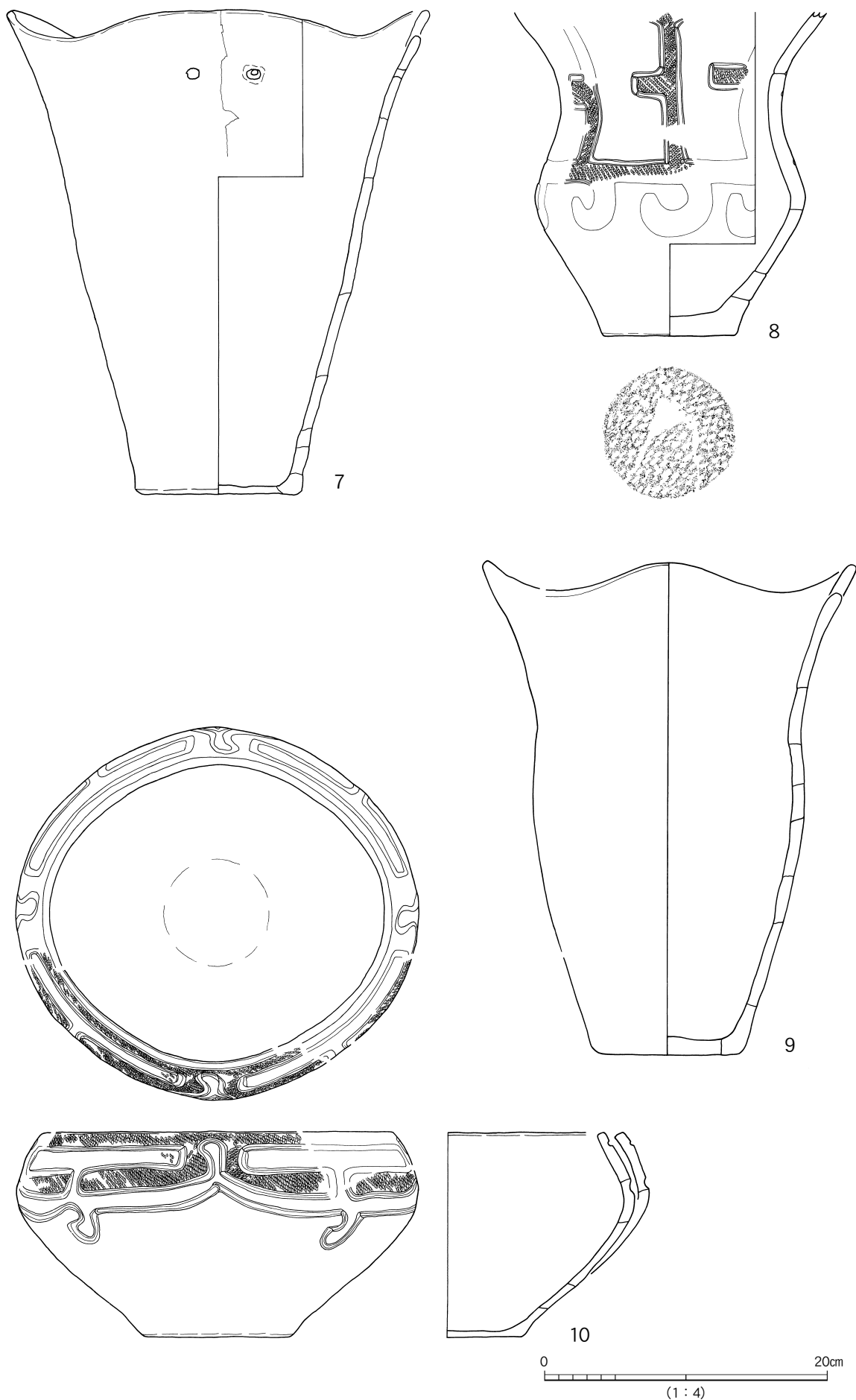
第1図 中出地区縄文土器(1)



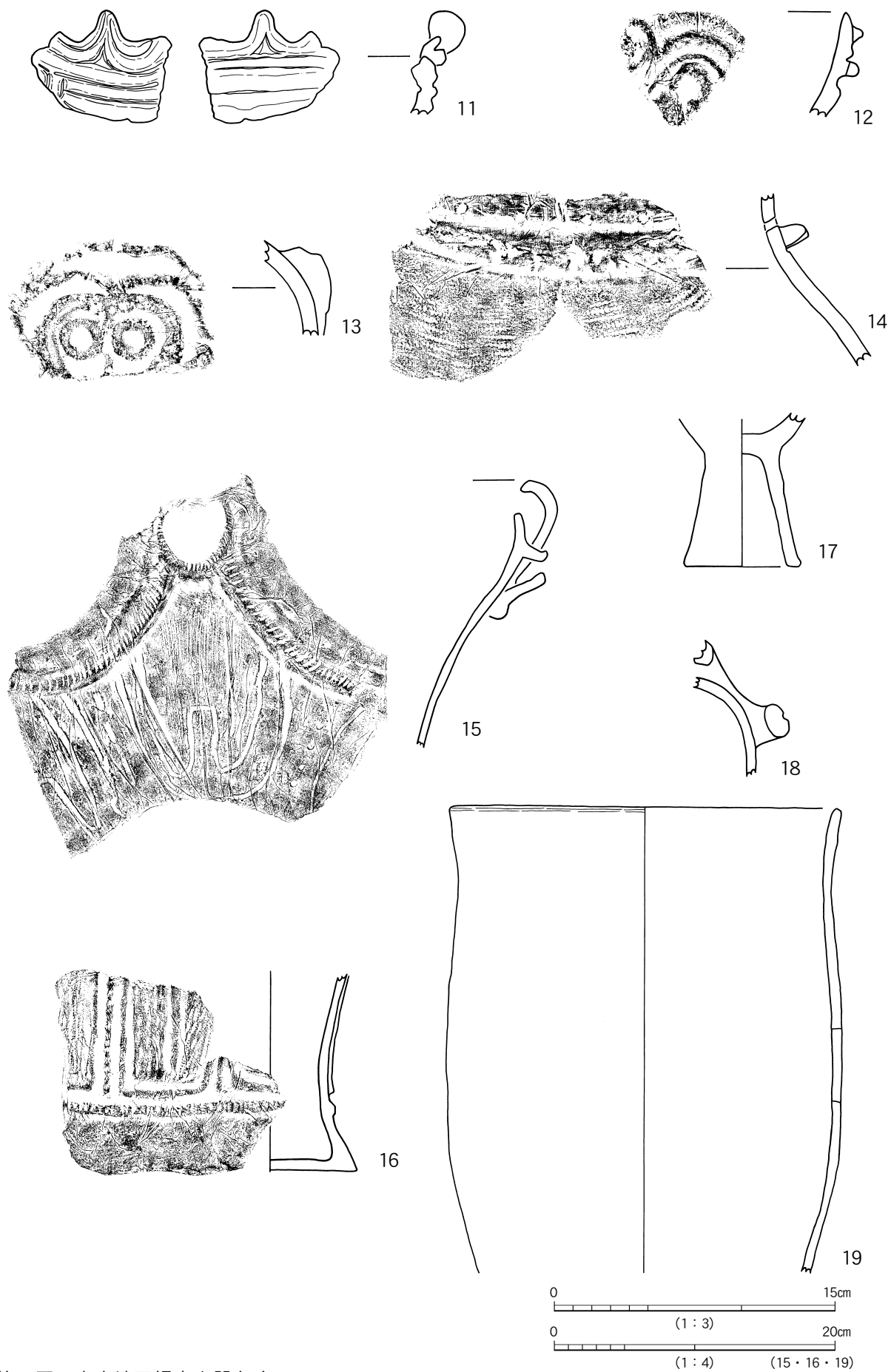
第2図 中出地区縄文土器(2)



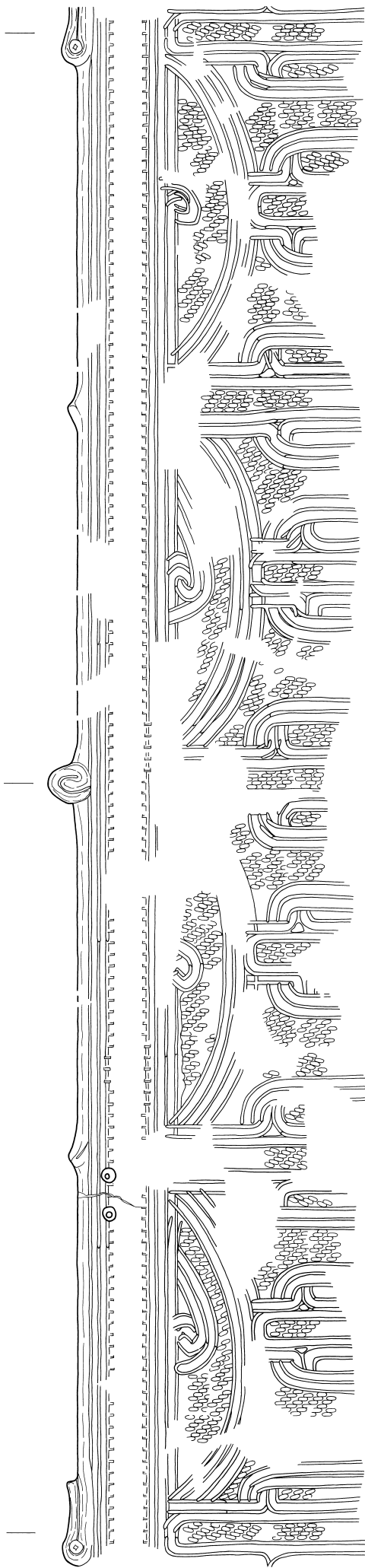
第3図 中出地区縄文土器(3)



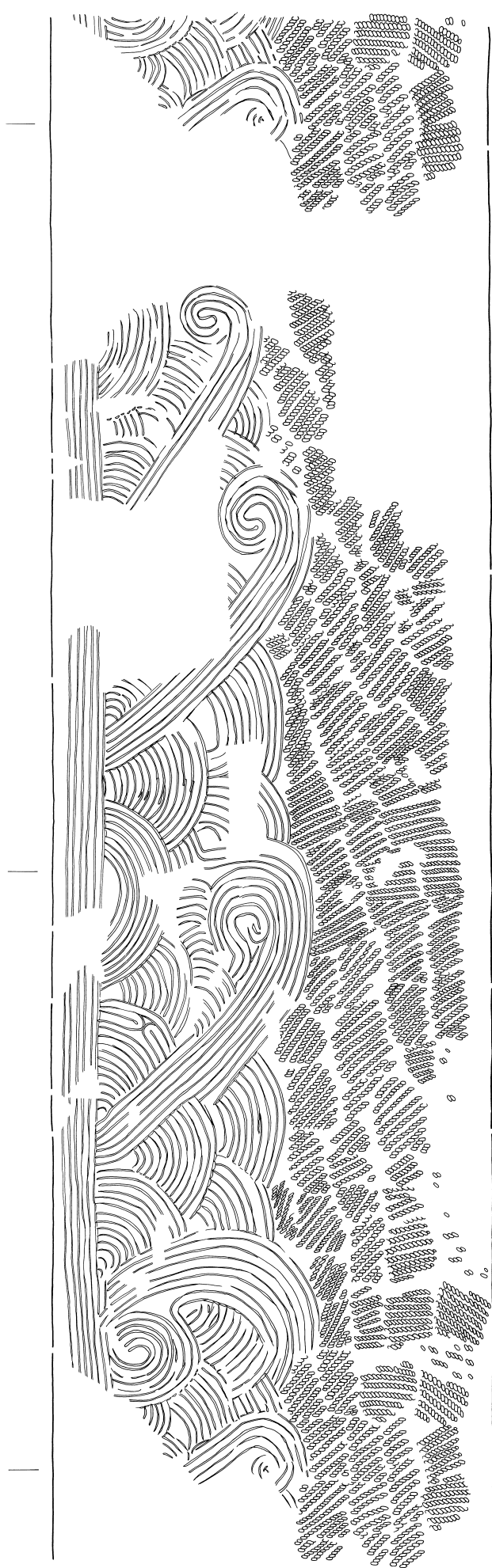
第4図 中出地区縄文土器(4)



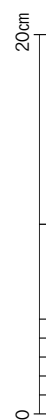
第5図 中出地区縄文土器(5)



1

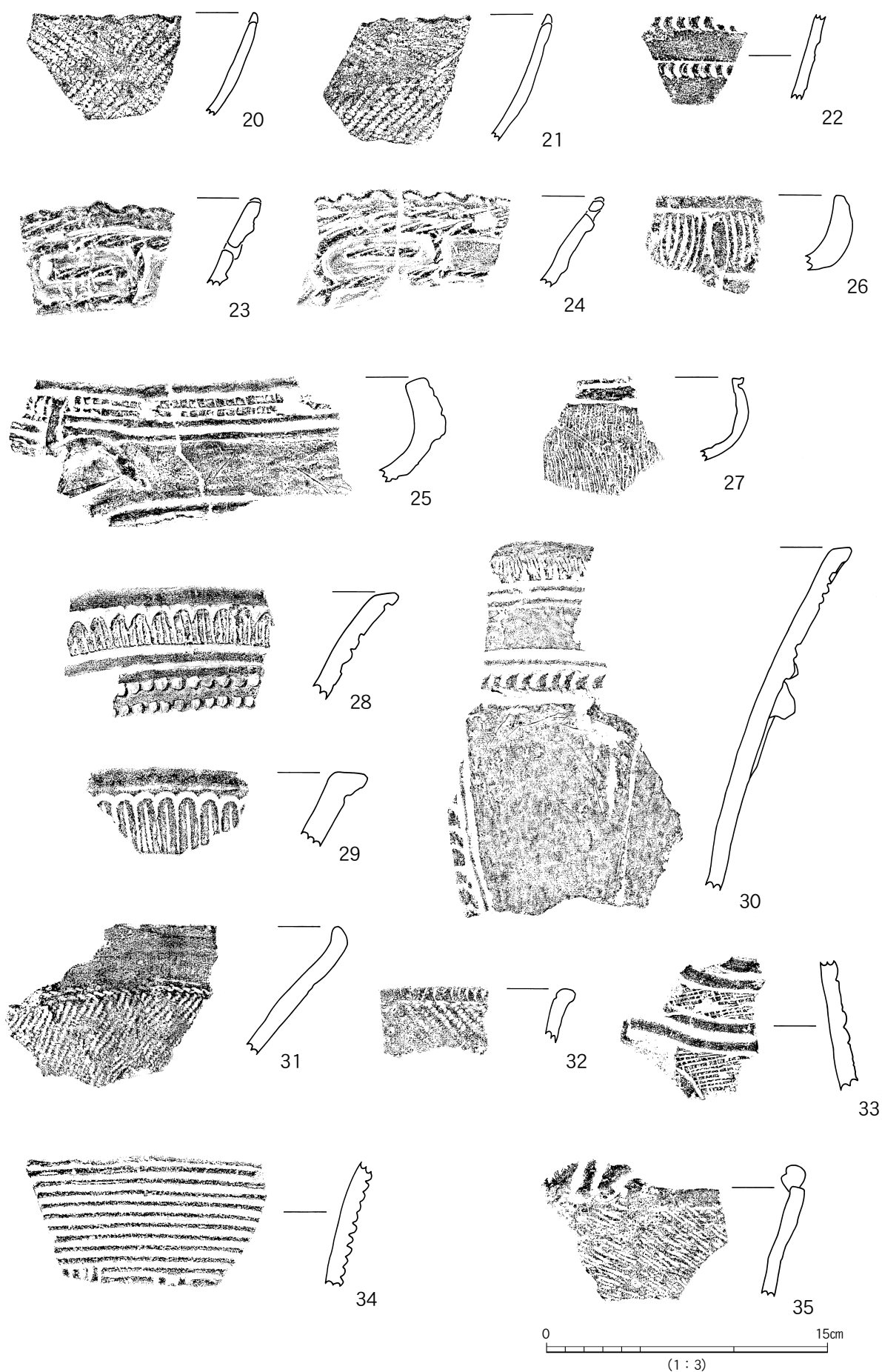


2

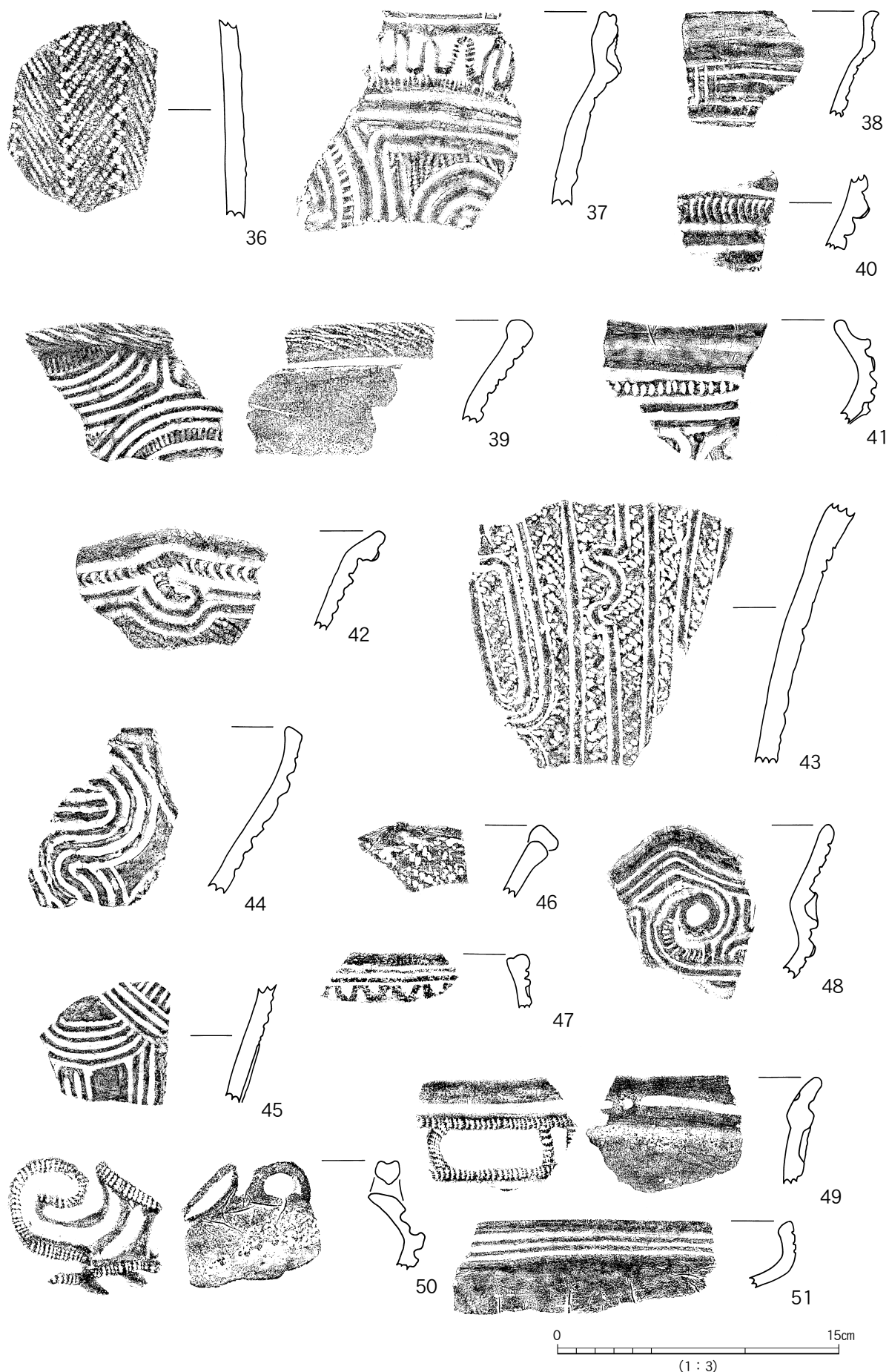


(1 : 4)

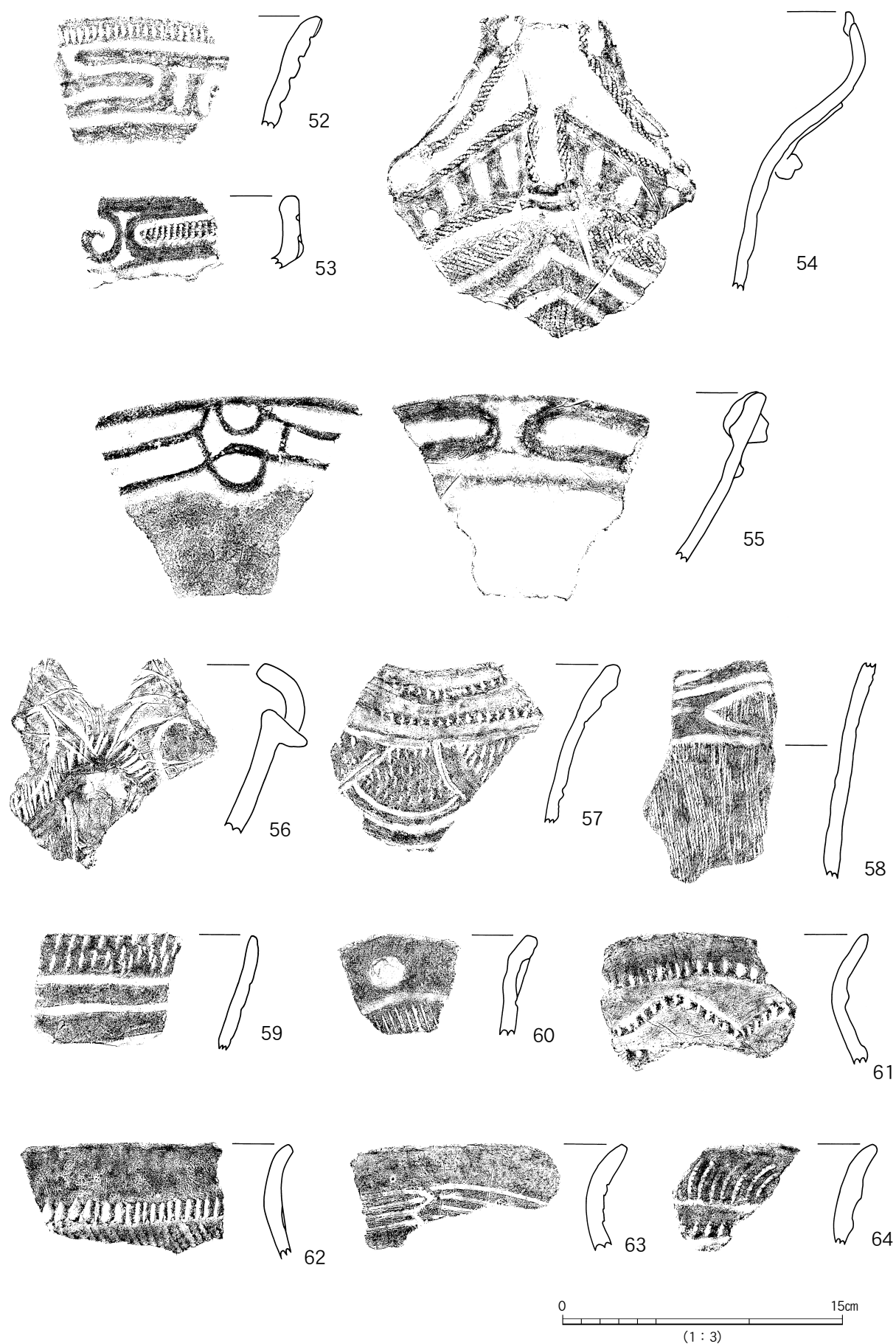
第6図 中出地区縄文土器(6) 展開図



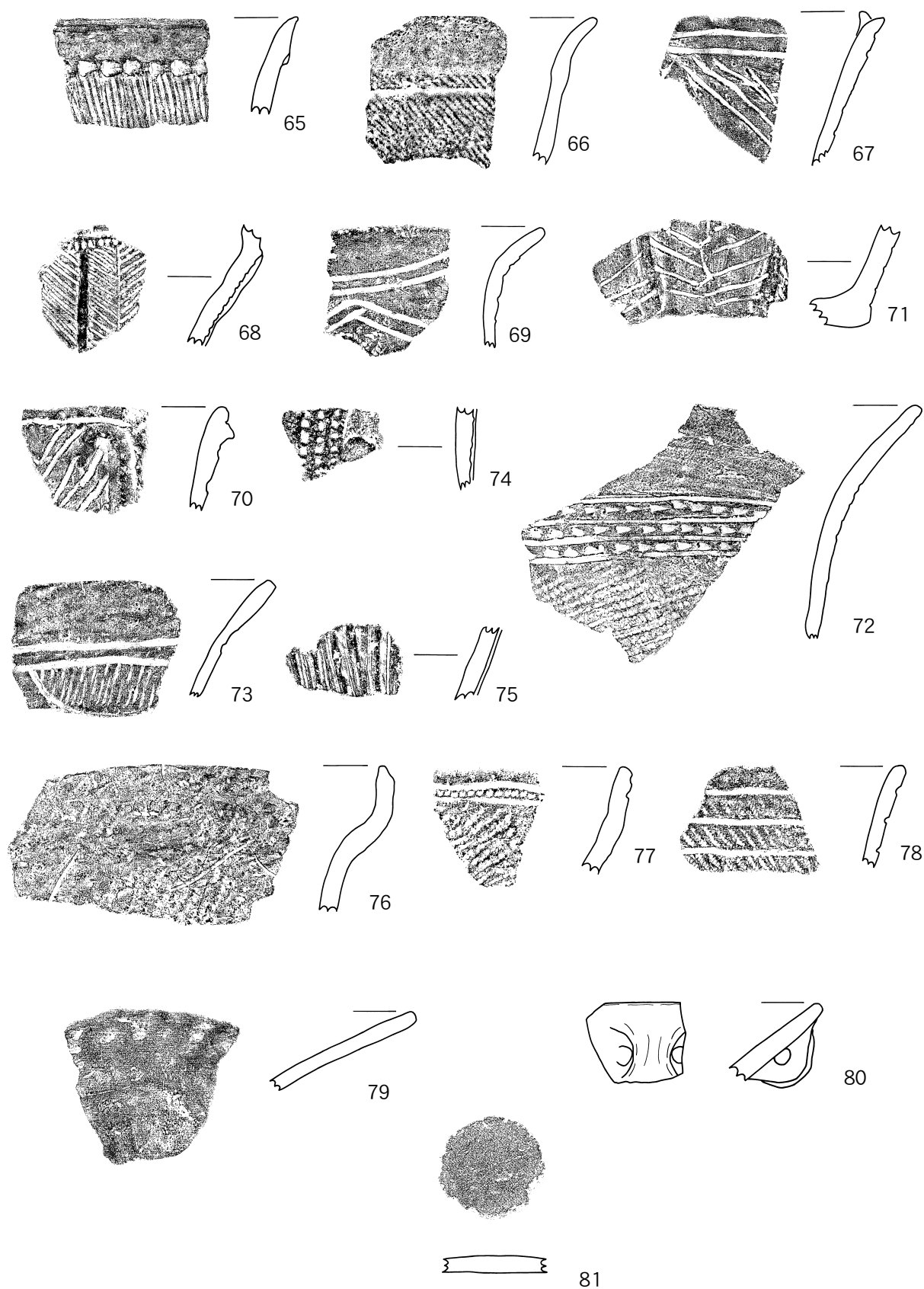
第7図 中出地区縄文土器(7)



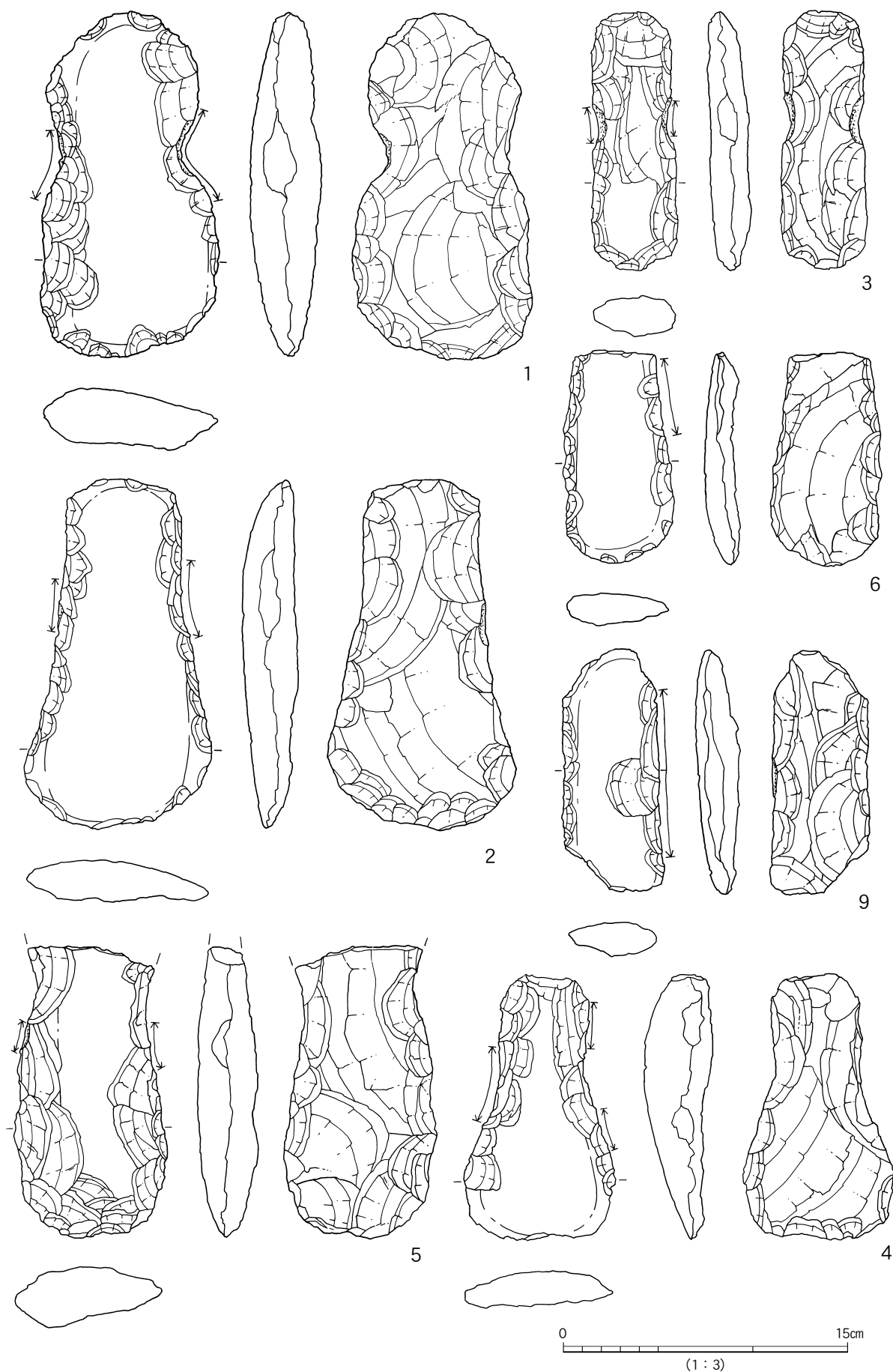
第8図 中出地区縄文土器(8)



第9図 中出地区縄文土器(9)



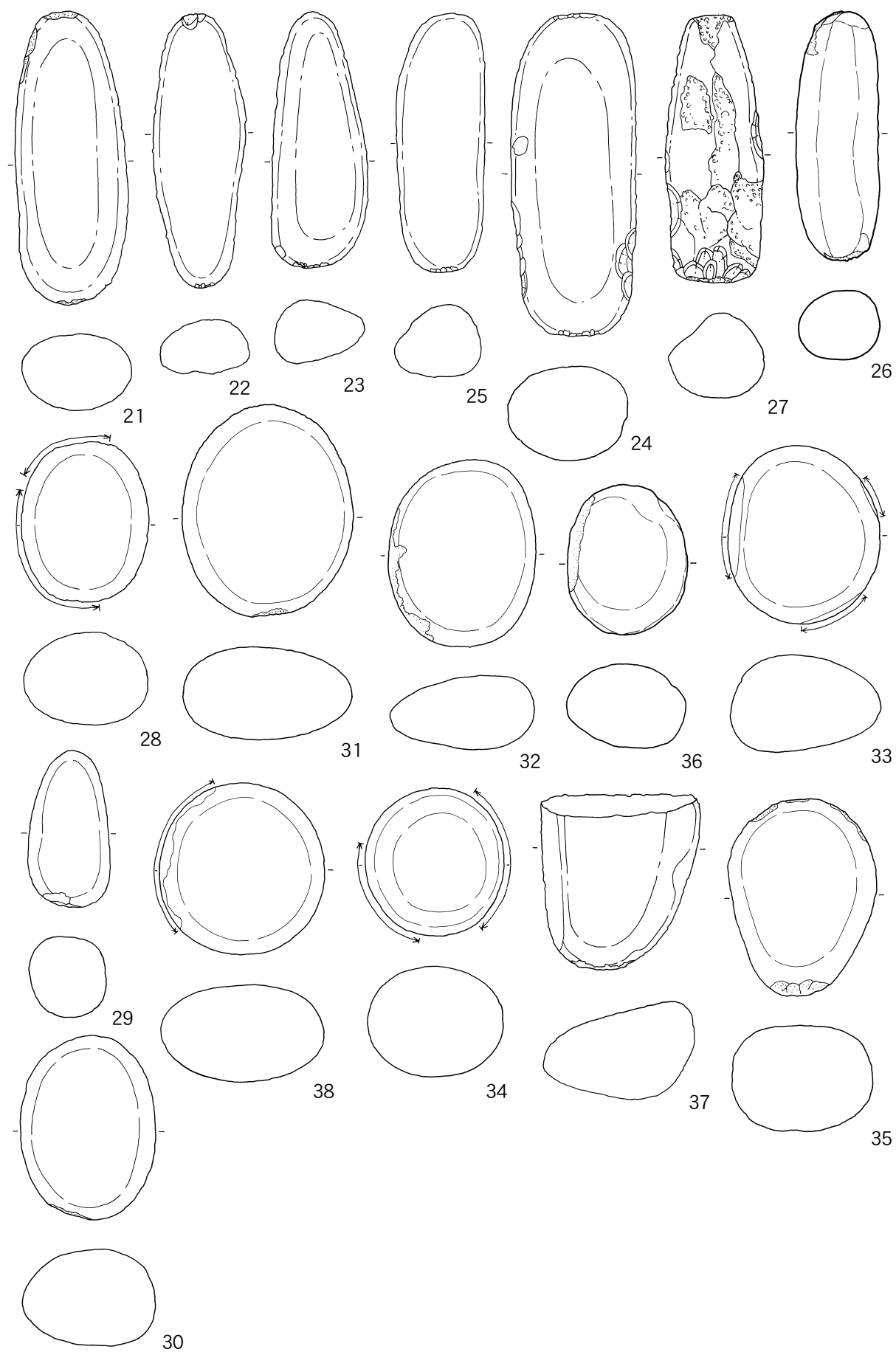
第10図 中出地区縄文土器(10)



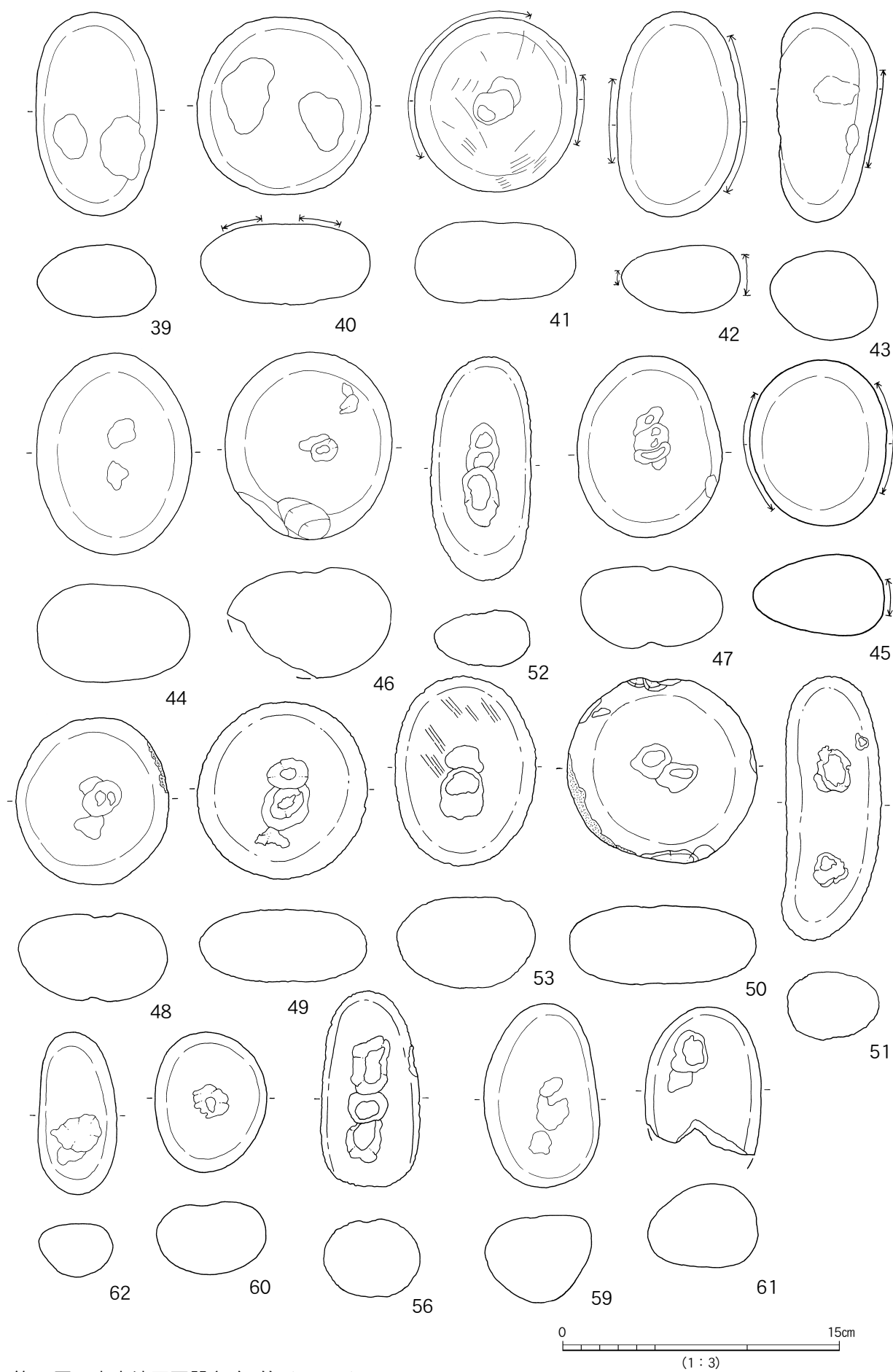
第11図 中出地区石器(1) 打製石斧



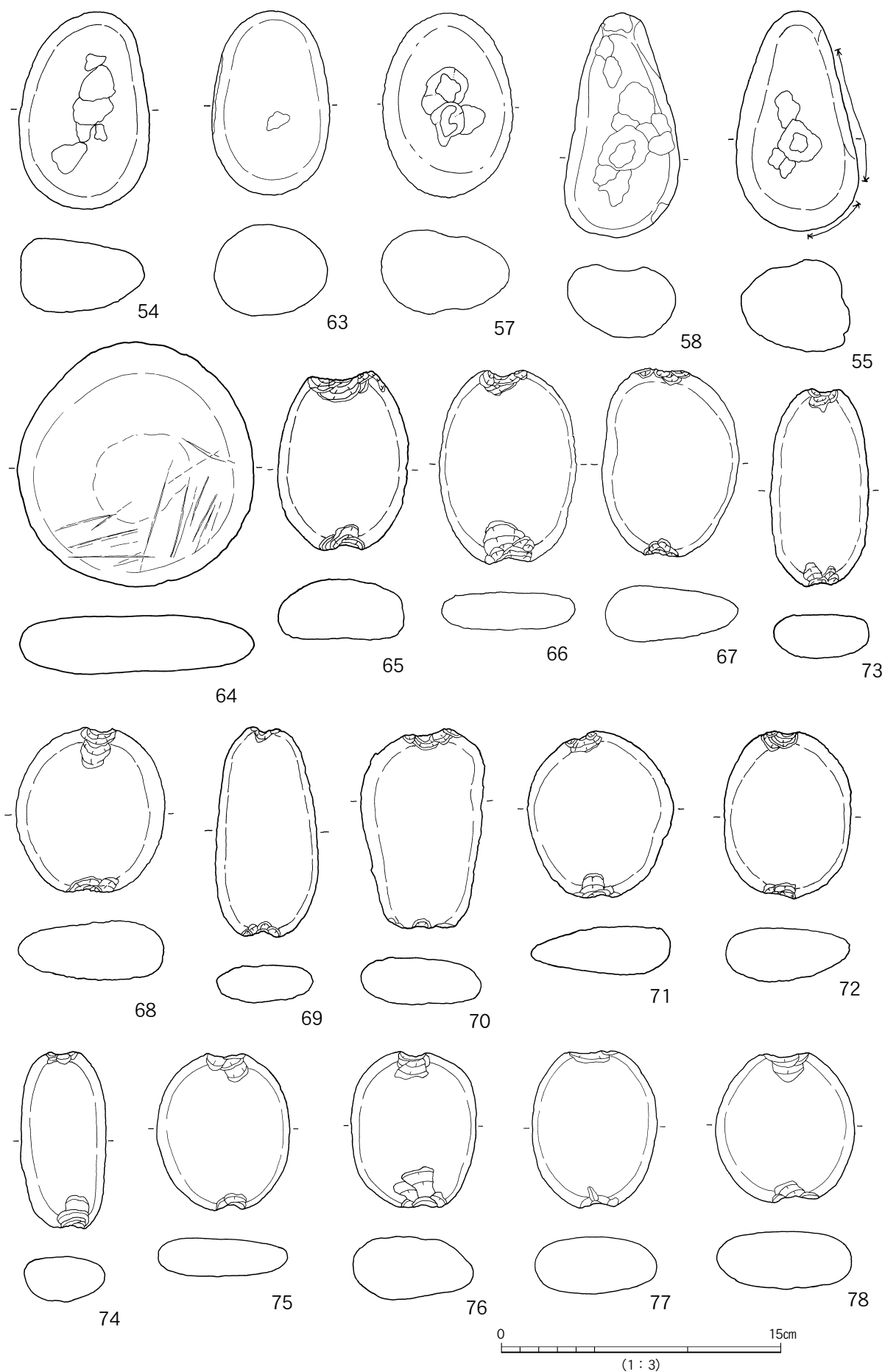
第12図 中出地区石器(2) 打製石斧・擦石



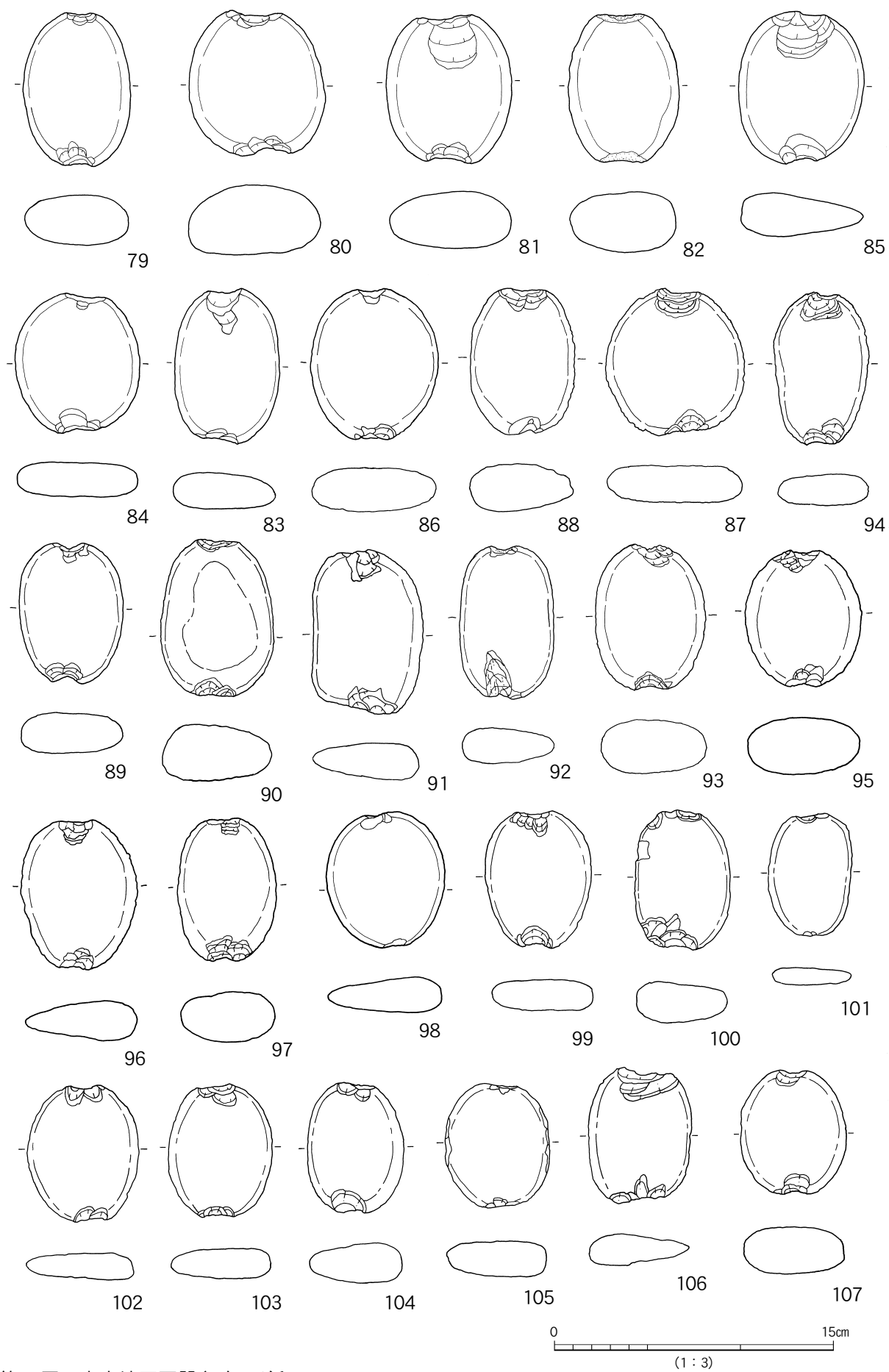
第13図 中出地区石器(3) 敲石・擦石



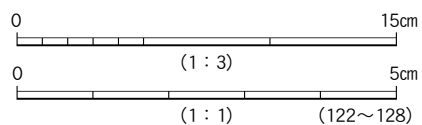
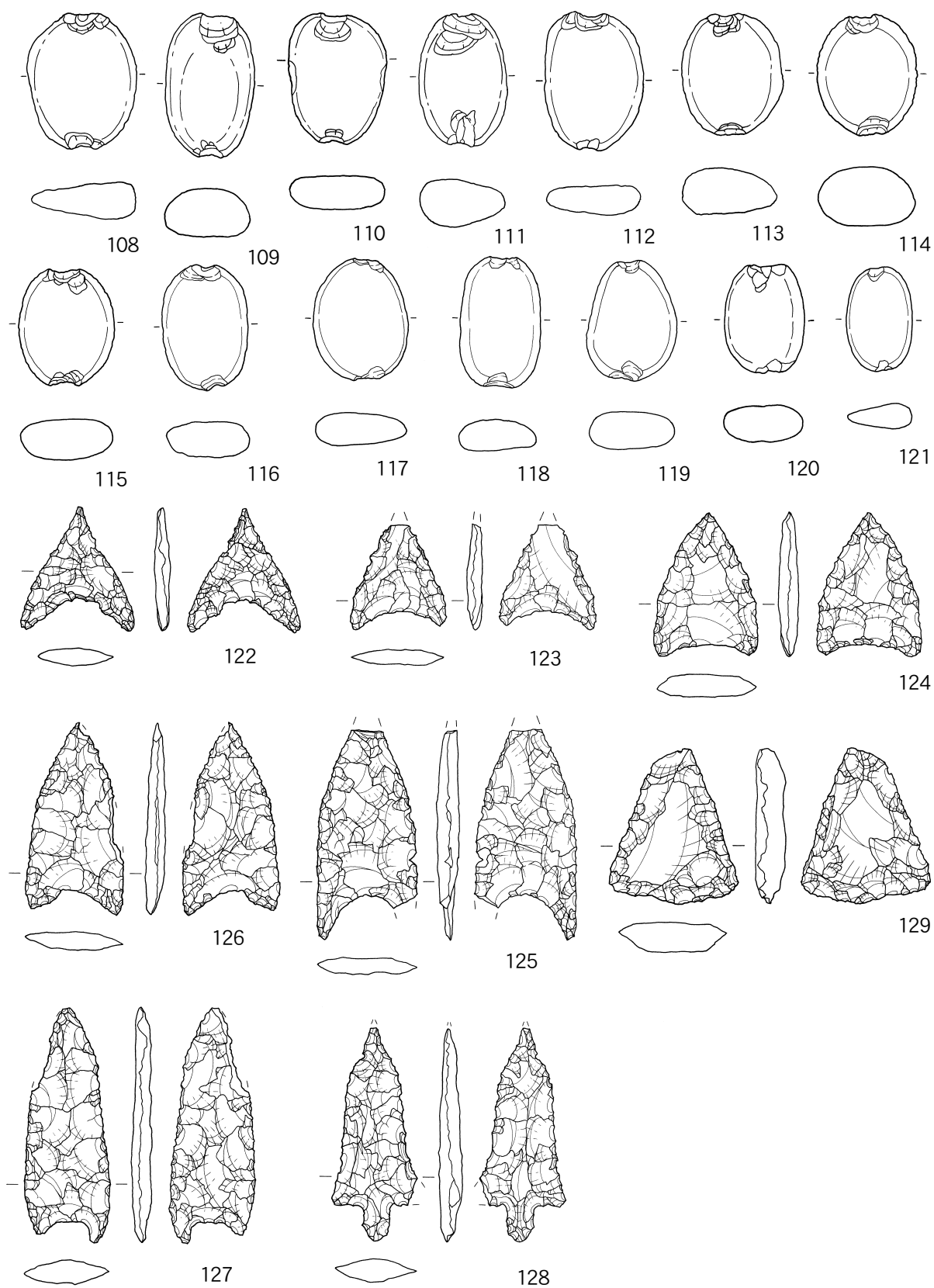
第14図 中出地区石器(4) 敲石・凹石



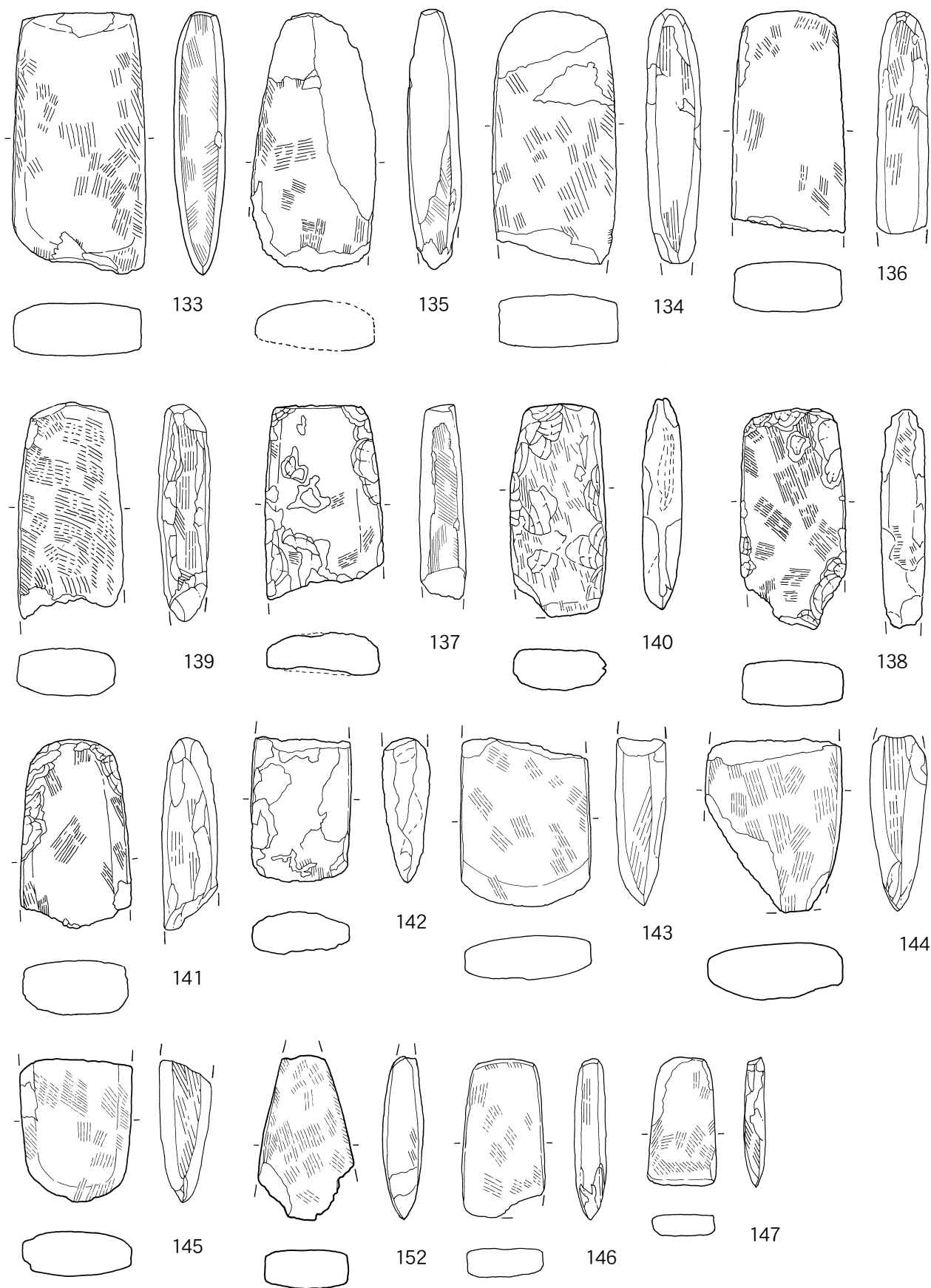
第15図 中出地区石器(5) 凹石・石錘



第16図 中出地区石器(7) 石錘

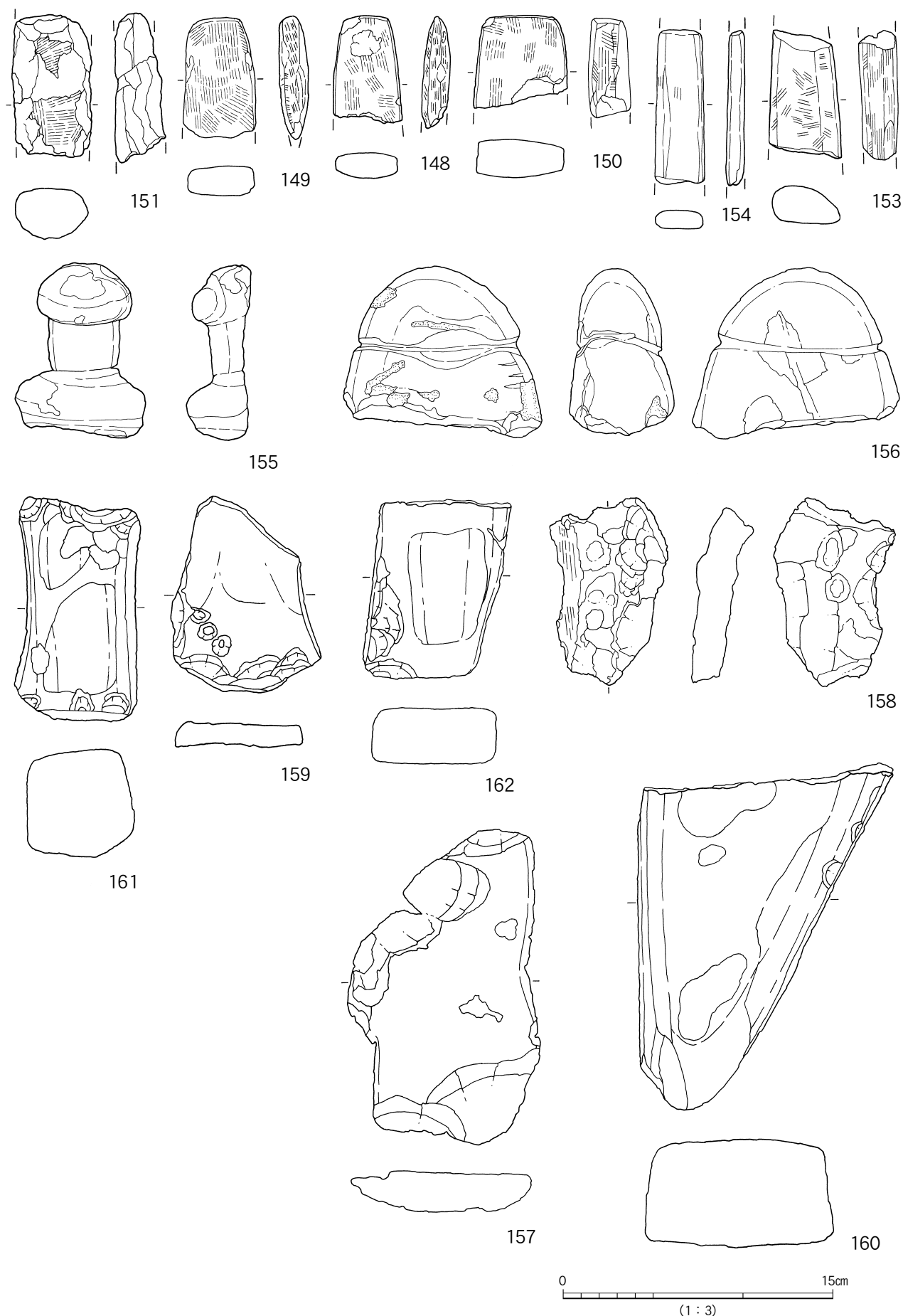


第17図 中出地区石器(8) 石錘・石鏃

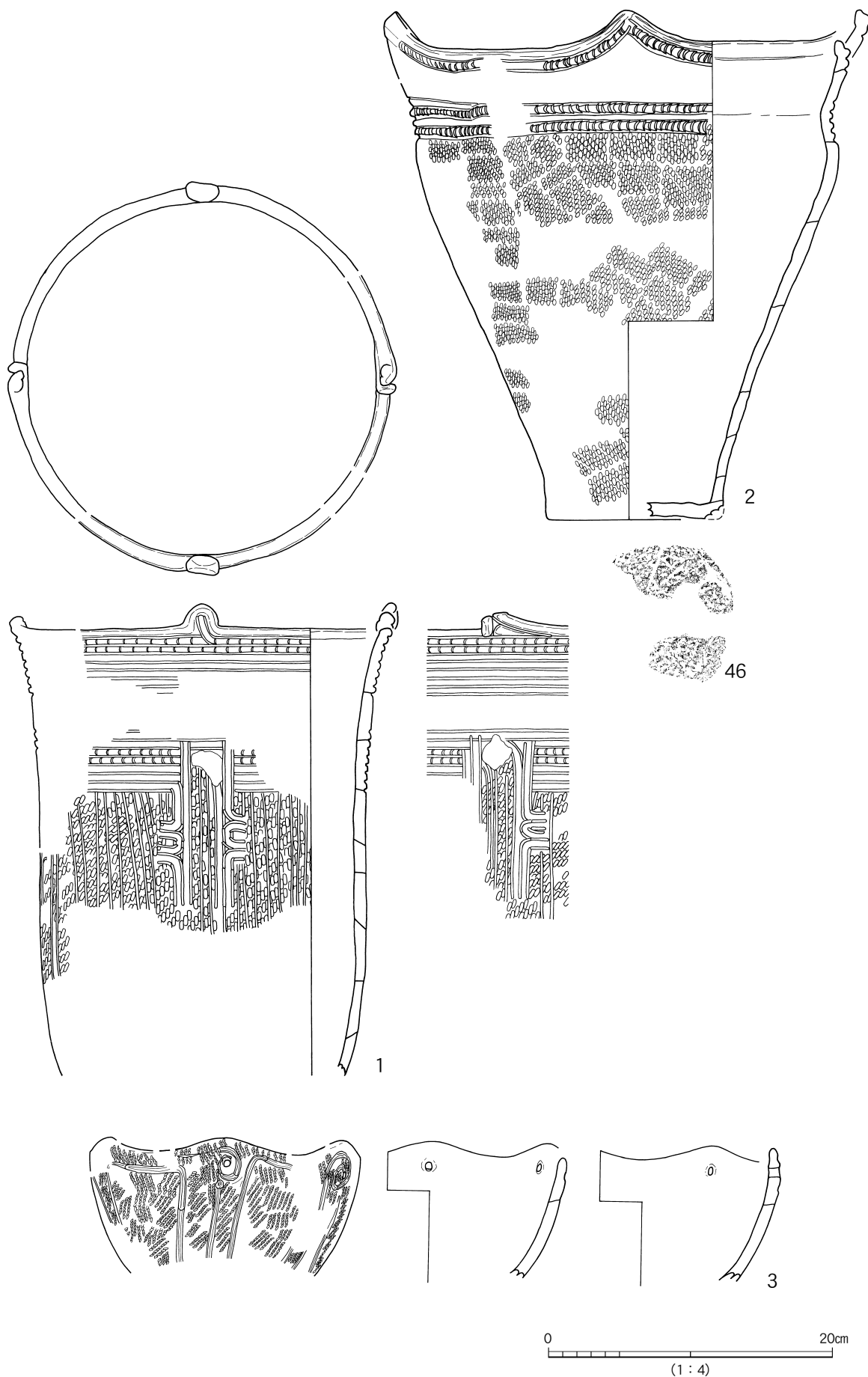


0 15cm
(1 : 3)

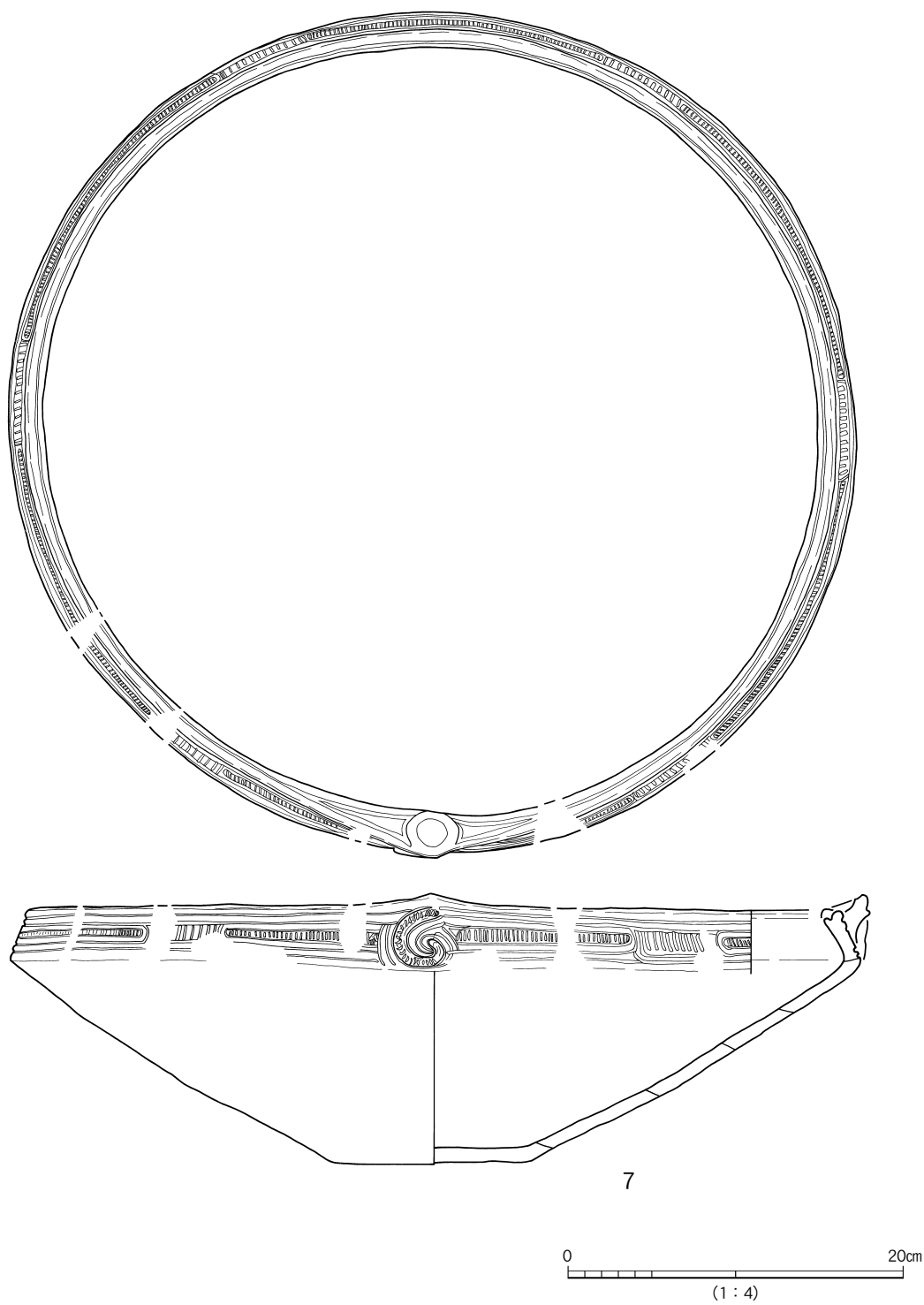
第18図 中出地区石器(9) 磨製石斧



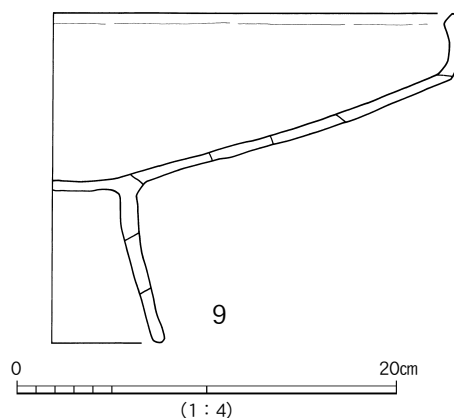
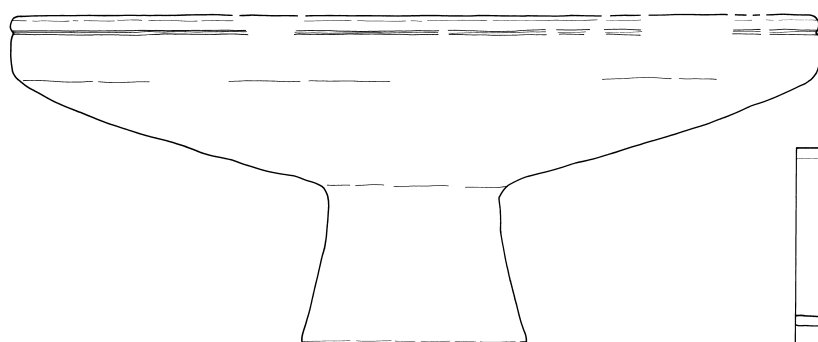
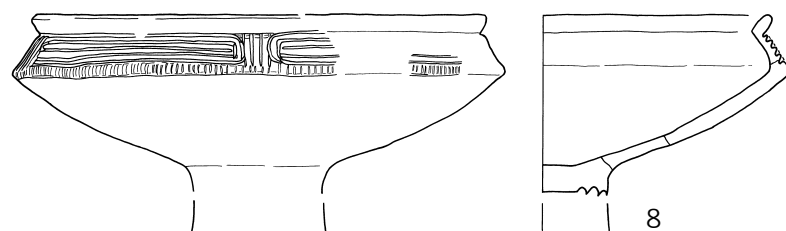
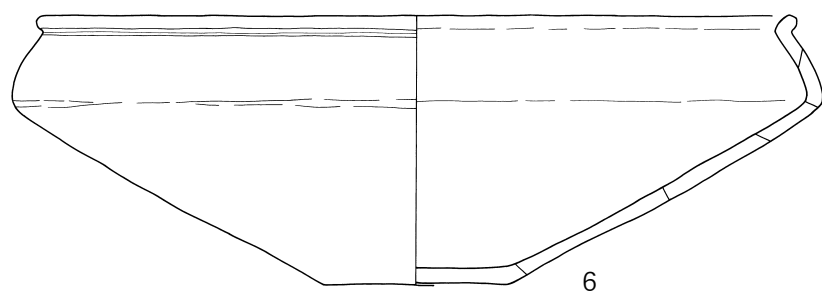
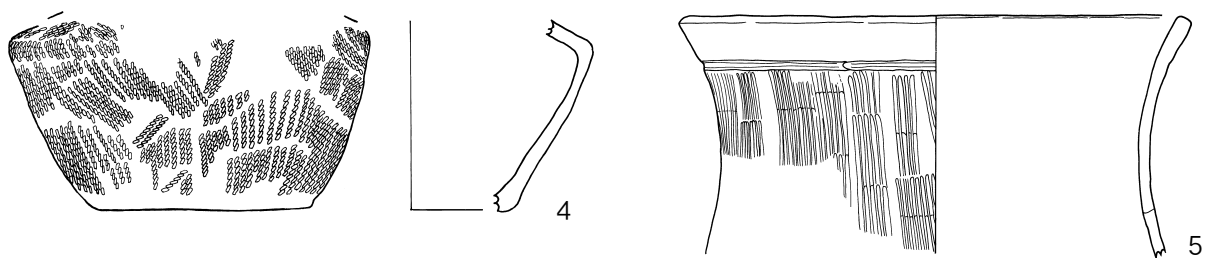
第19図 中出地区石器(10) 磨製石斧・石刀・石冠・岩版・凹石・砥石



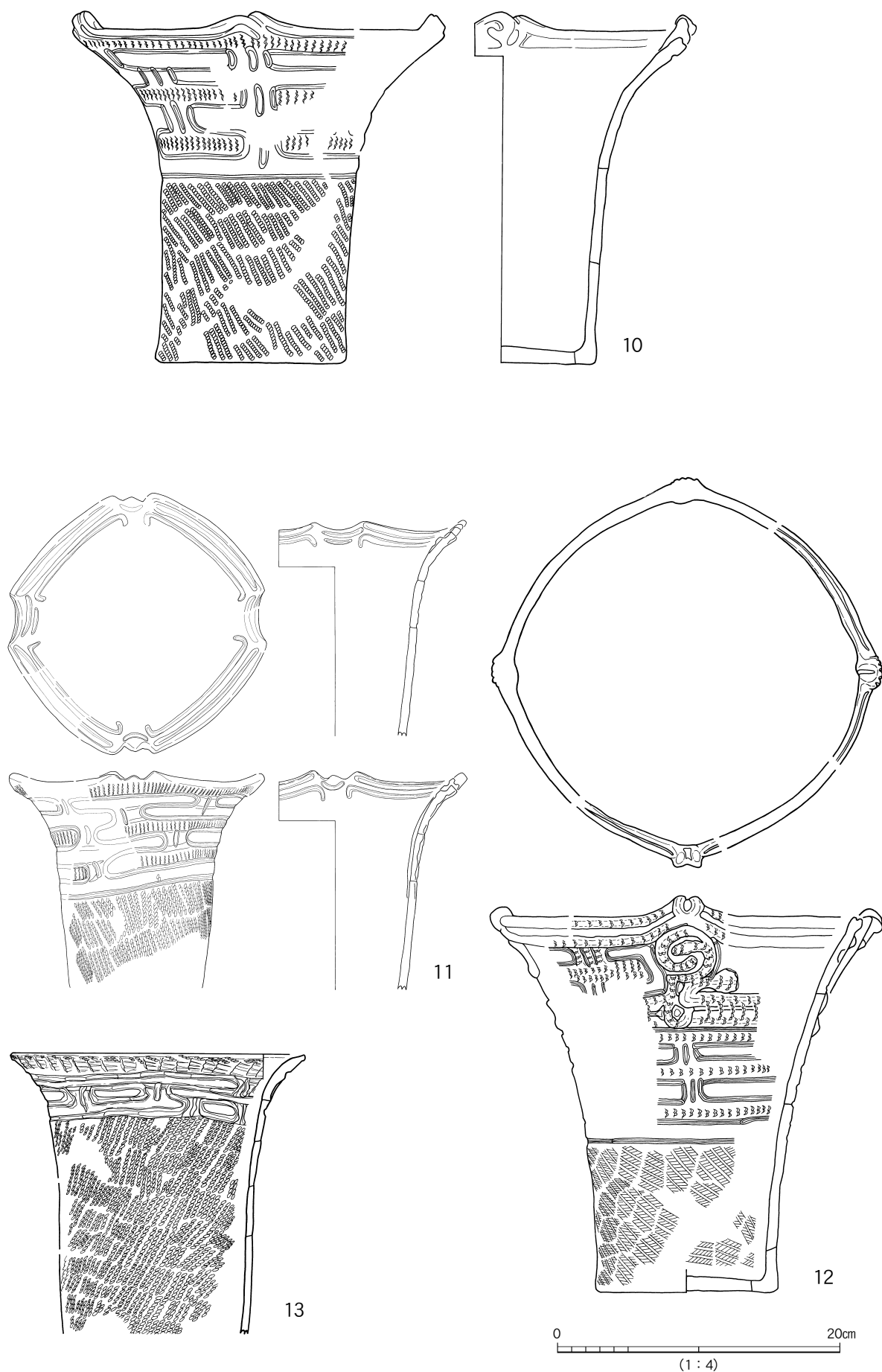
第20図 舟岡地区縄文土器(1) 第6 調査区



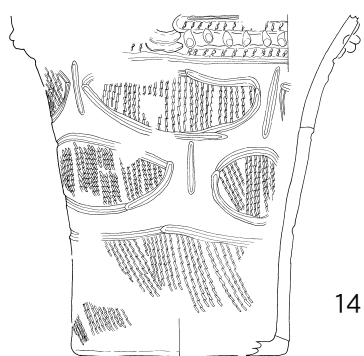
第21図 舟岡地区縄文土器(2) 第6調査区



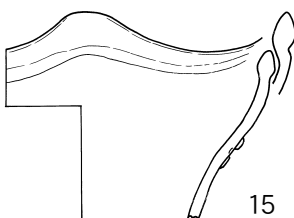
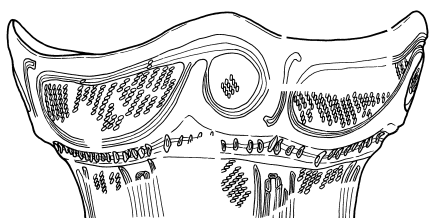
第22図 舟岡地区縄文土器(3) 第6調査区



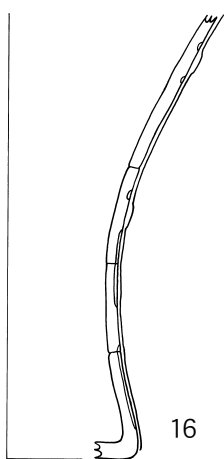
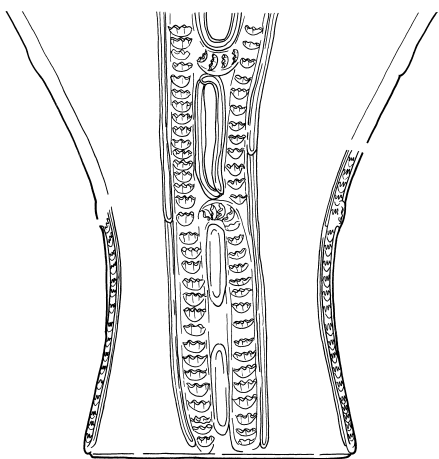
第23図 舟岡地区縄文土器(4) 第6調査区



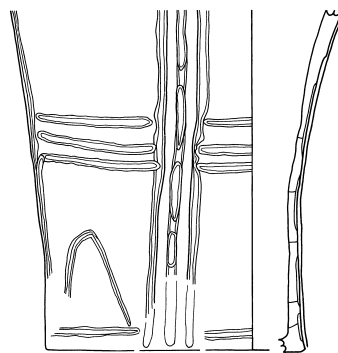
14



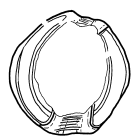
15



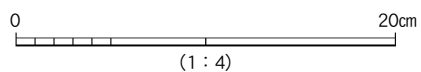
16



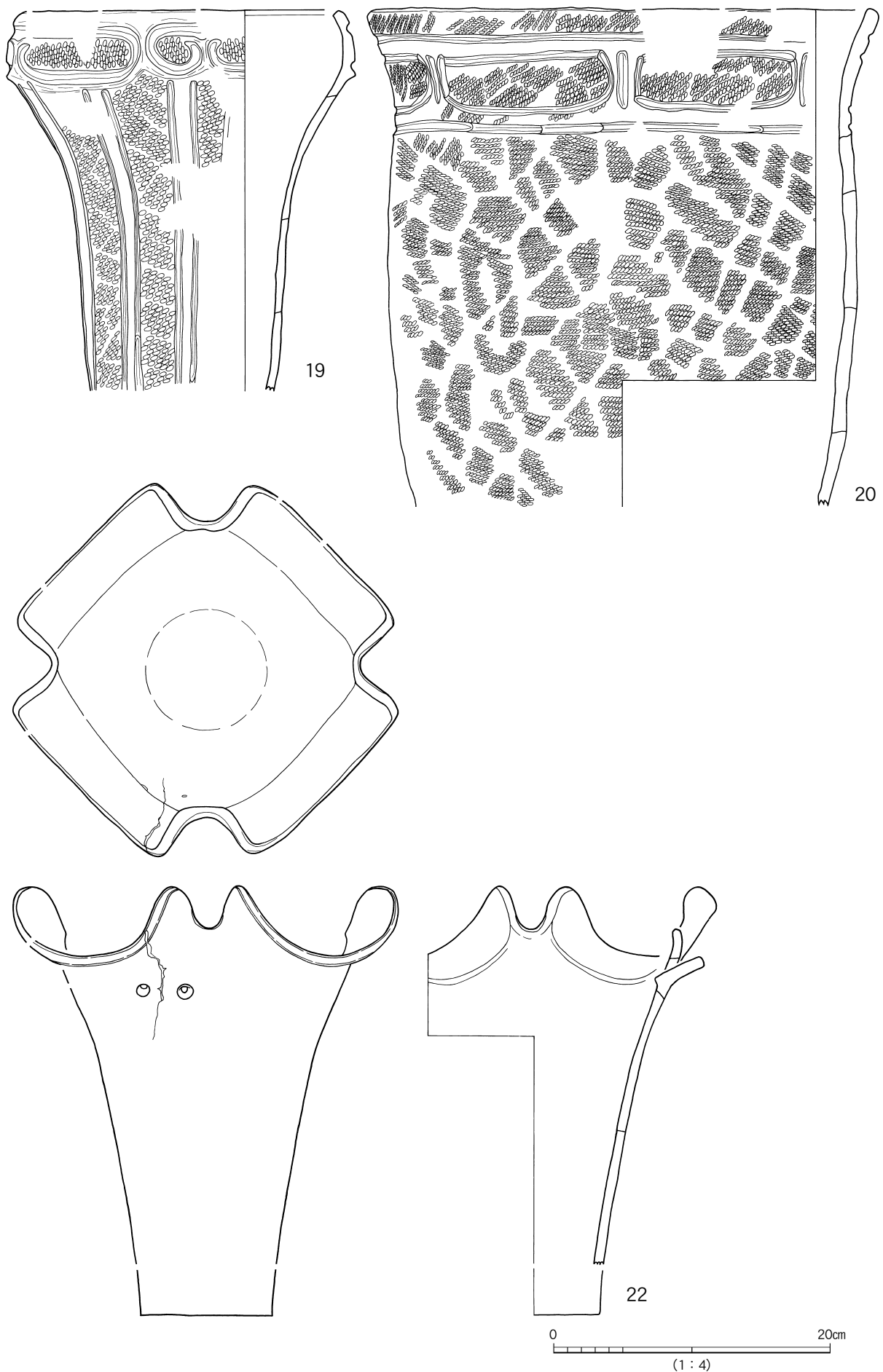
17



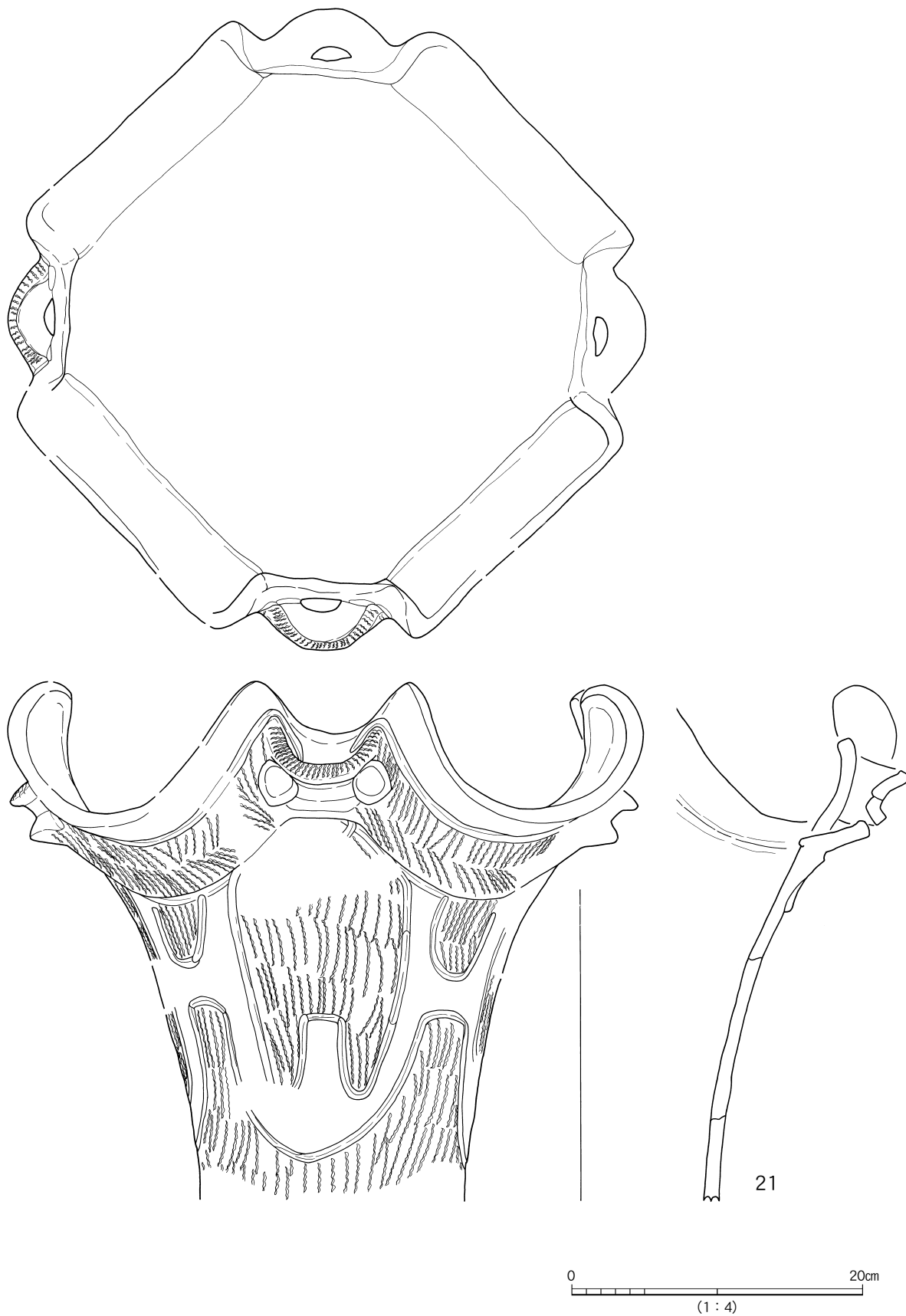
18



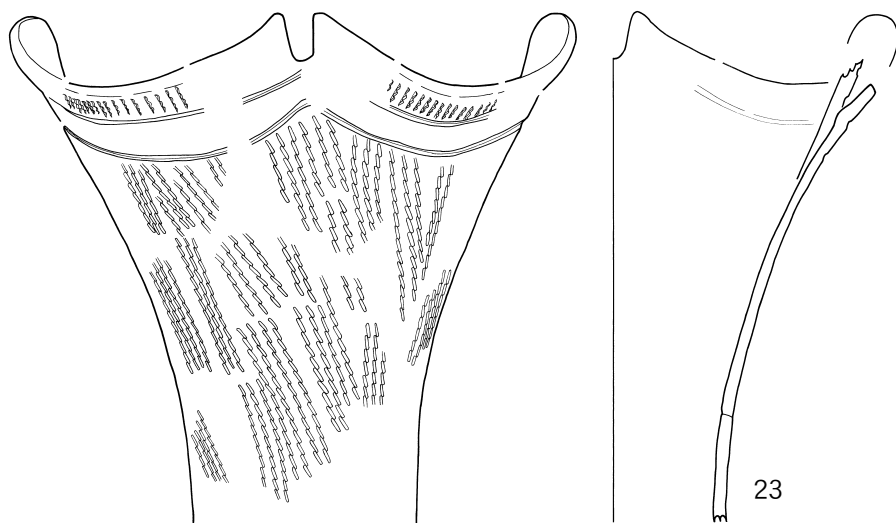
第24図 舟岡地区縄文土器(5) 第6 調査区



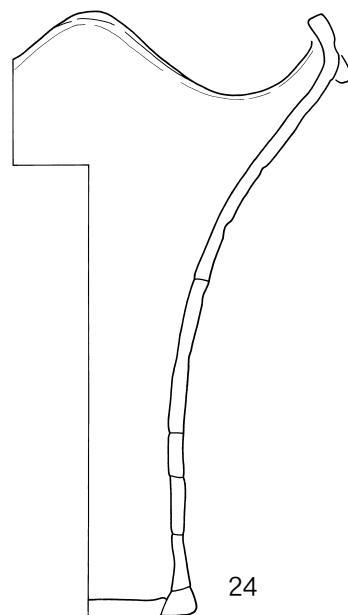
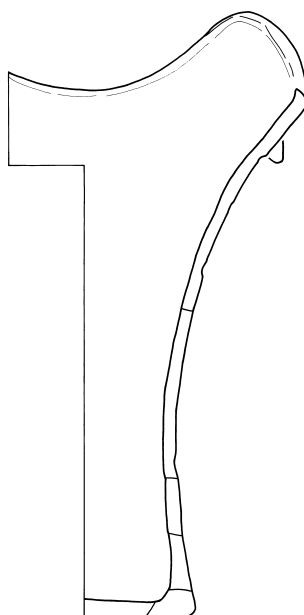
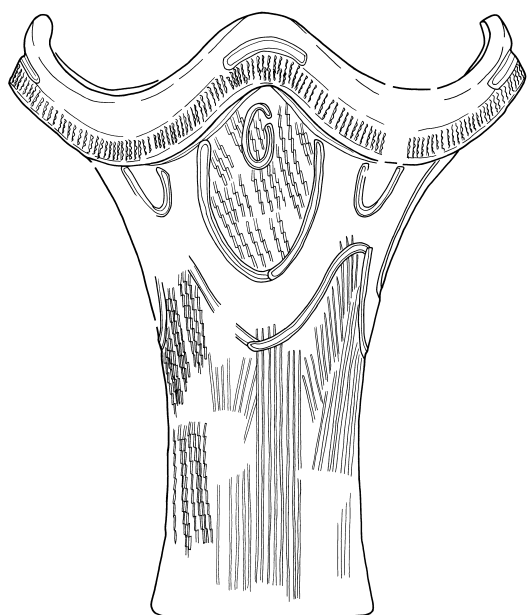
第25図 舟岡地区縄文土器(6) 第6 調査区



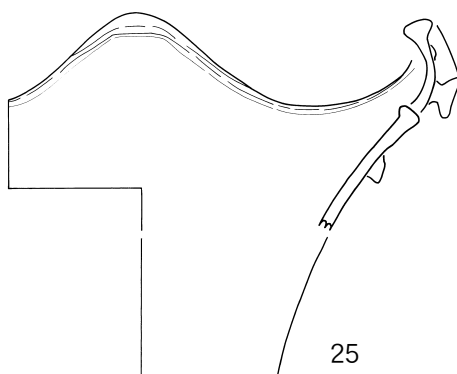
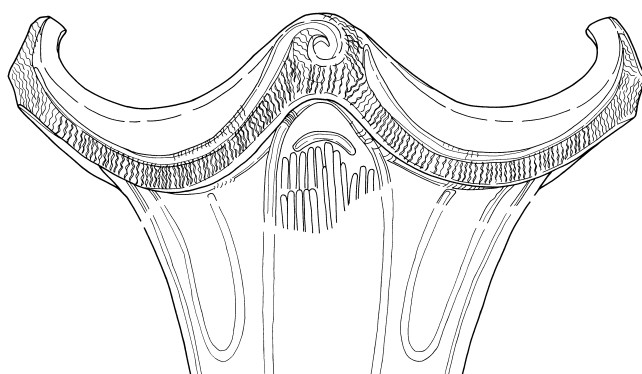
第26図 舟岡地区縄文土器(7) 第6調査区



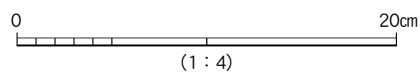
23



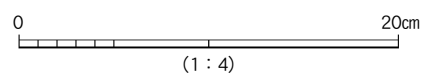
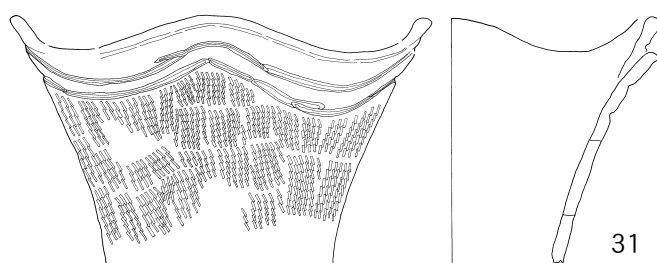
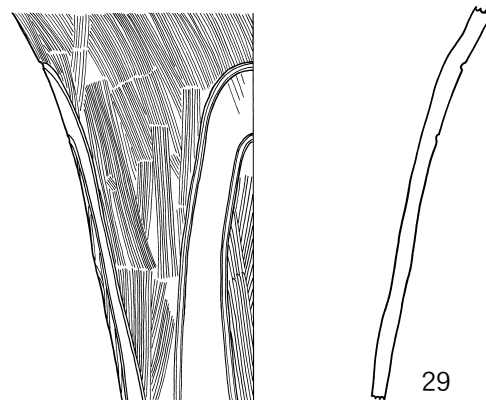
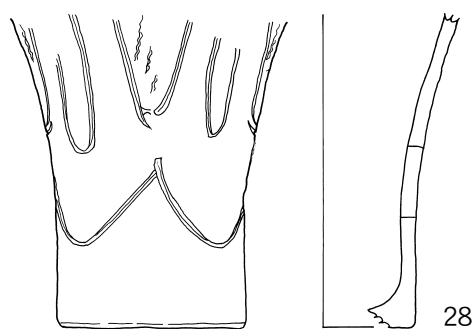
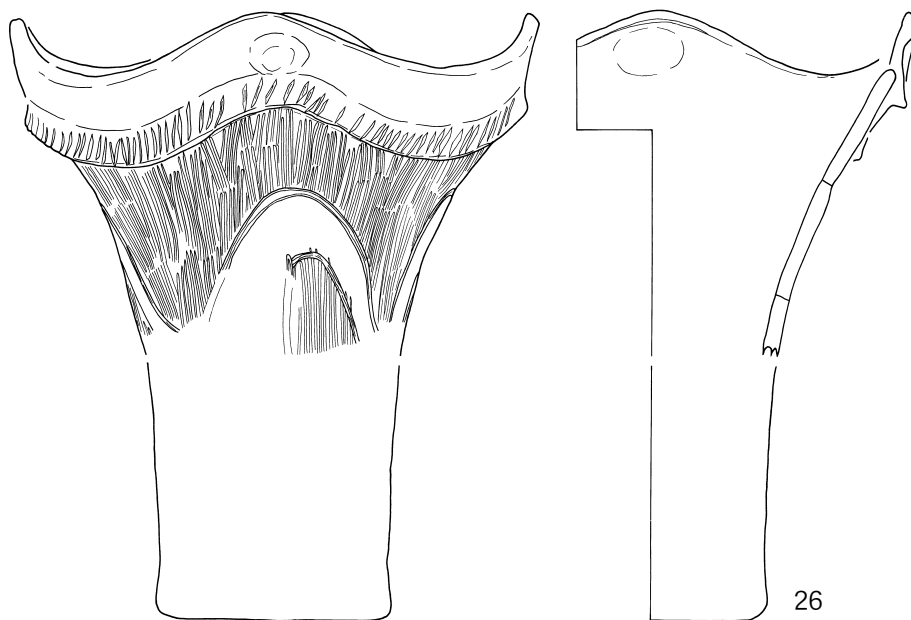
24



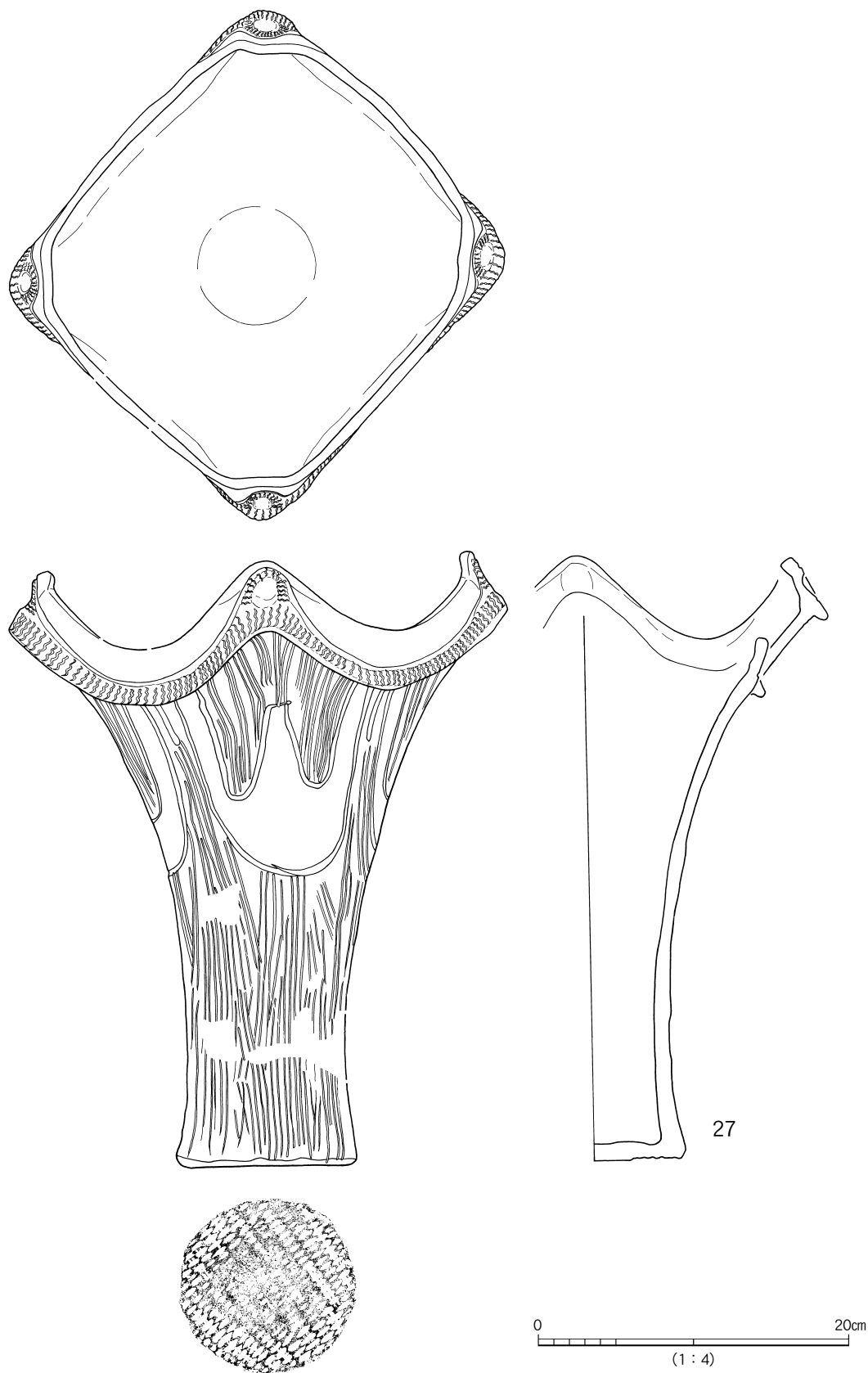
25



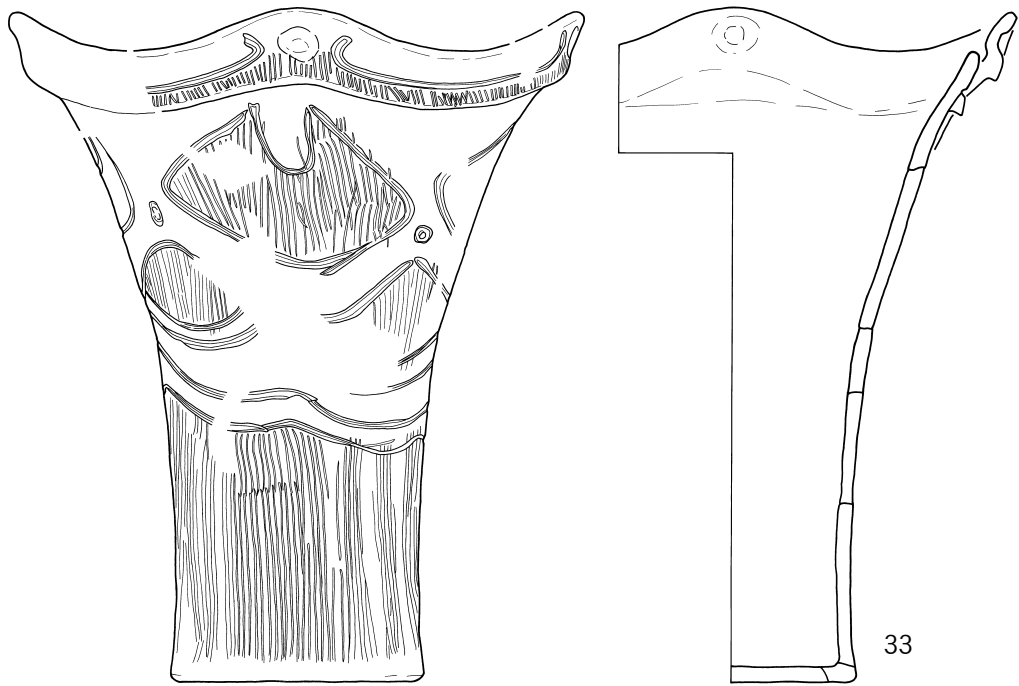
第27図 舟岡地区縄文土器(8) 第6 調査区



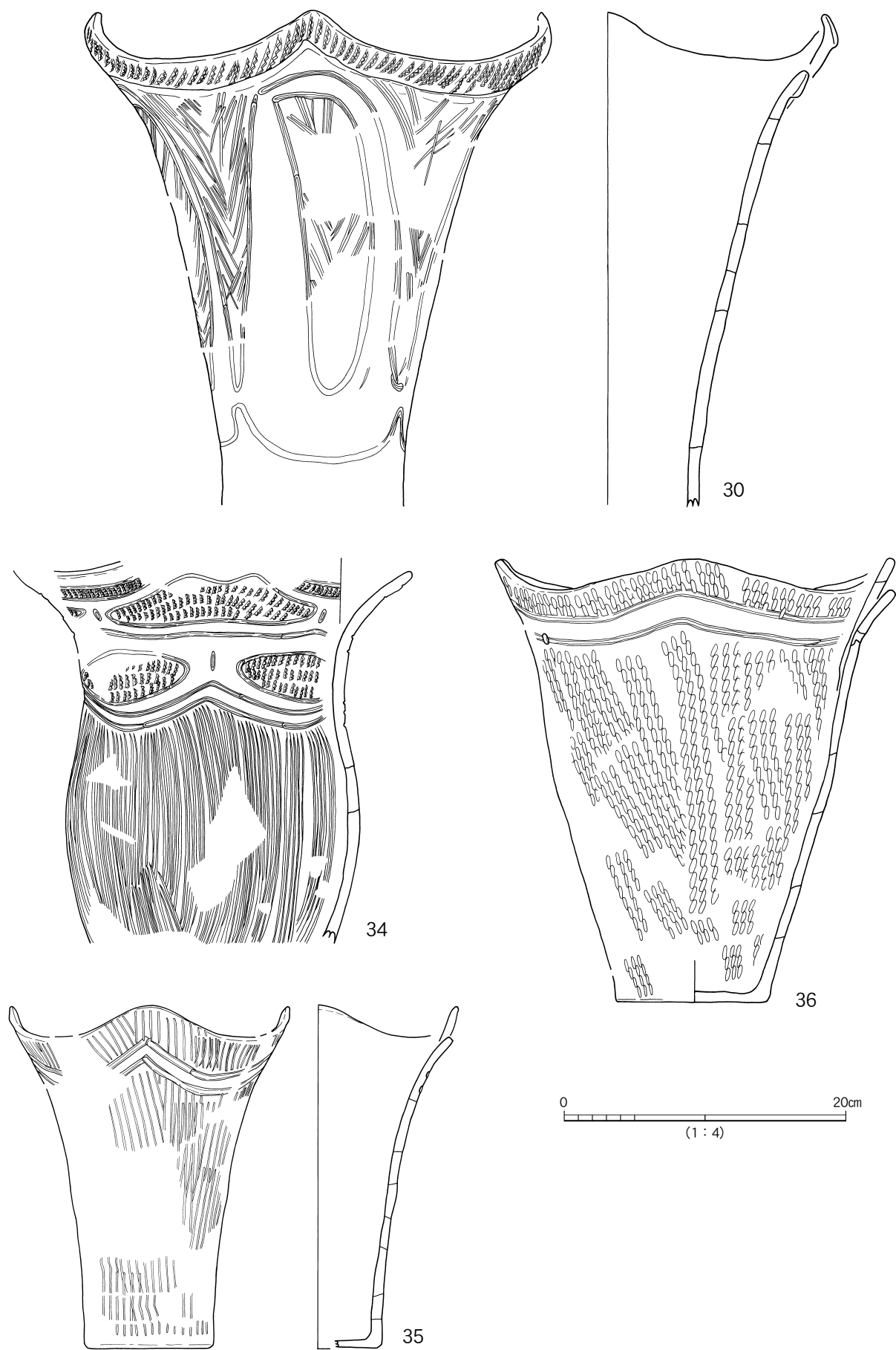
第28図 舟岡地区縄文土器(9) 第6 調査区



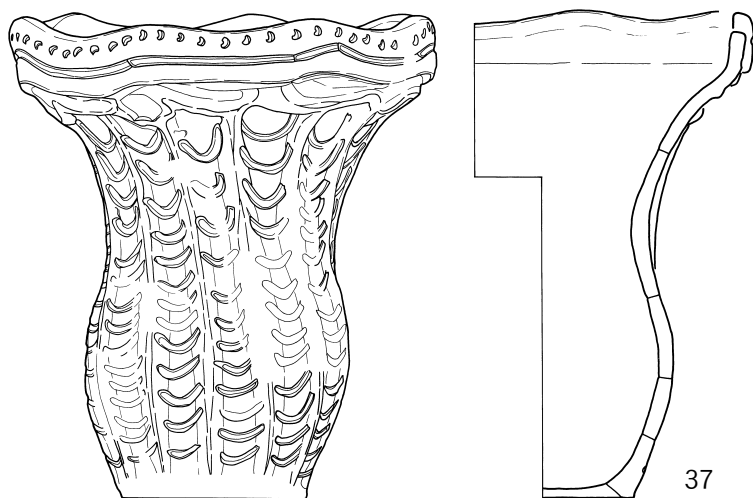
第29図 舟岡地区縄文土器(10) 第6調査区



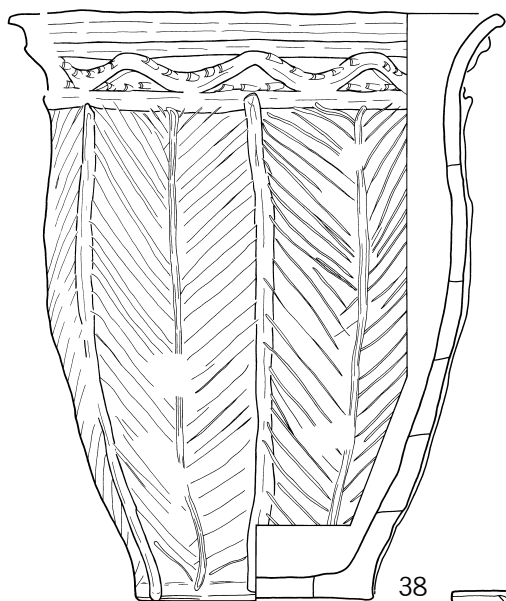
第30図 舟岡地区縄文土器(11) 第6 調査区



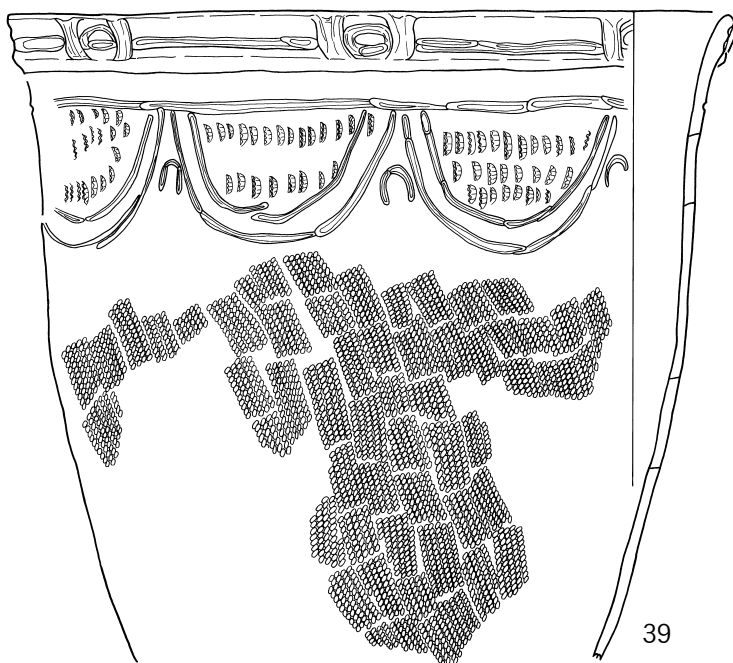
第31図 舟岡地区縄文土器(12) 第6調査区



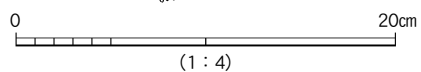
37



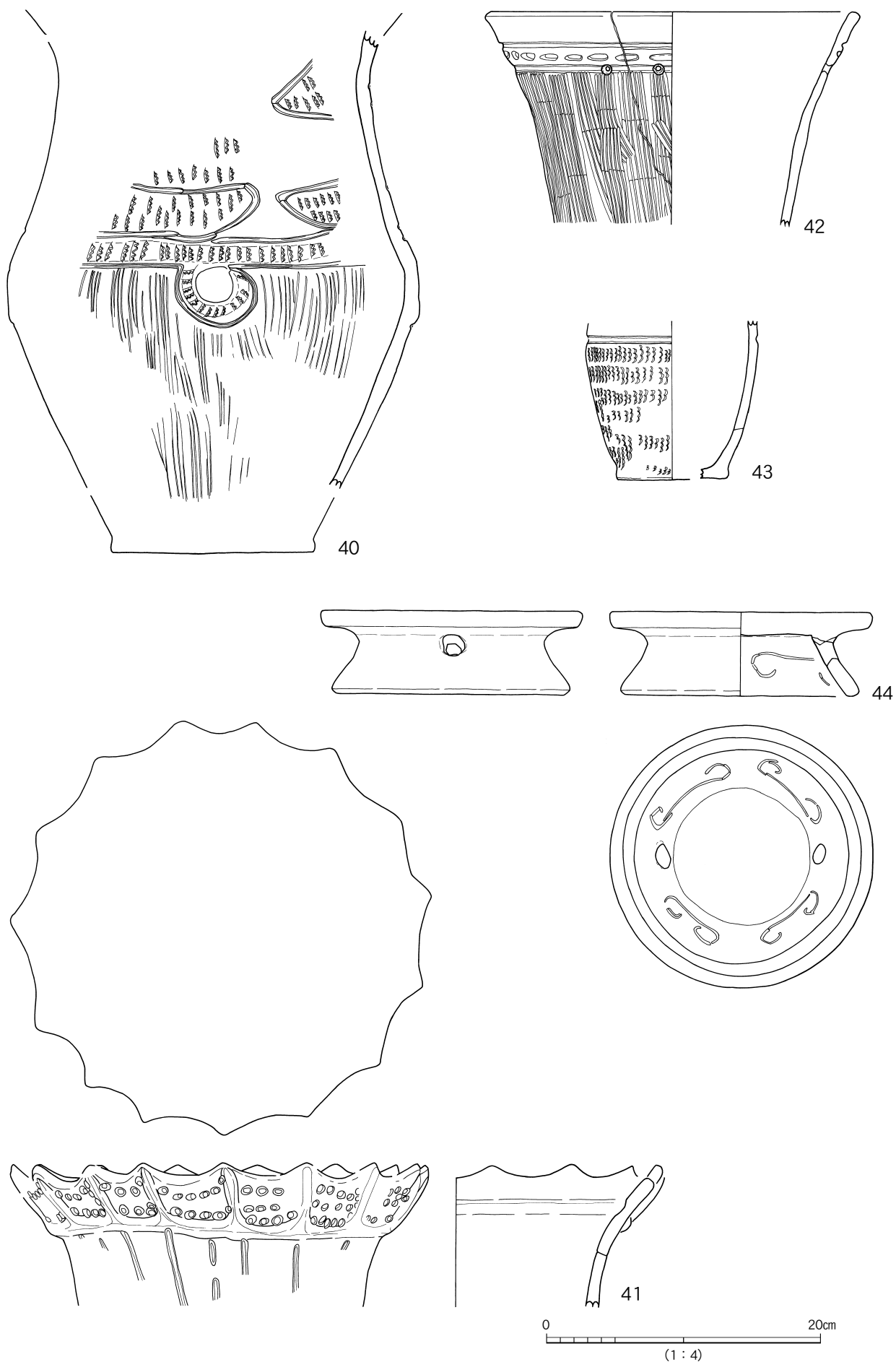
38



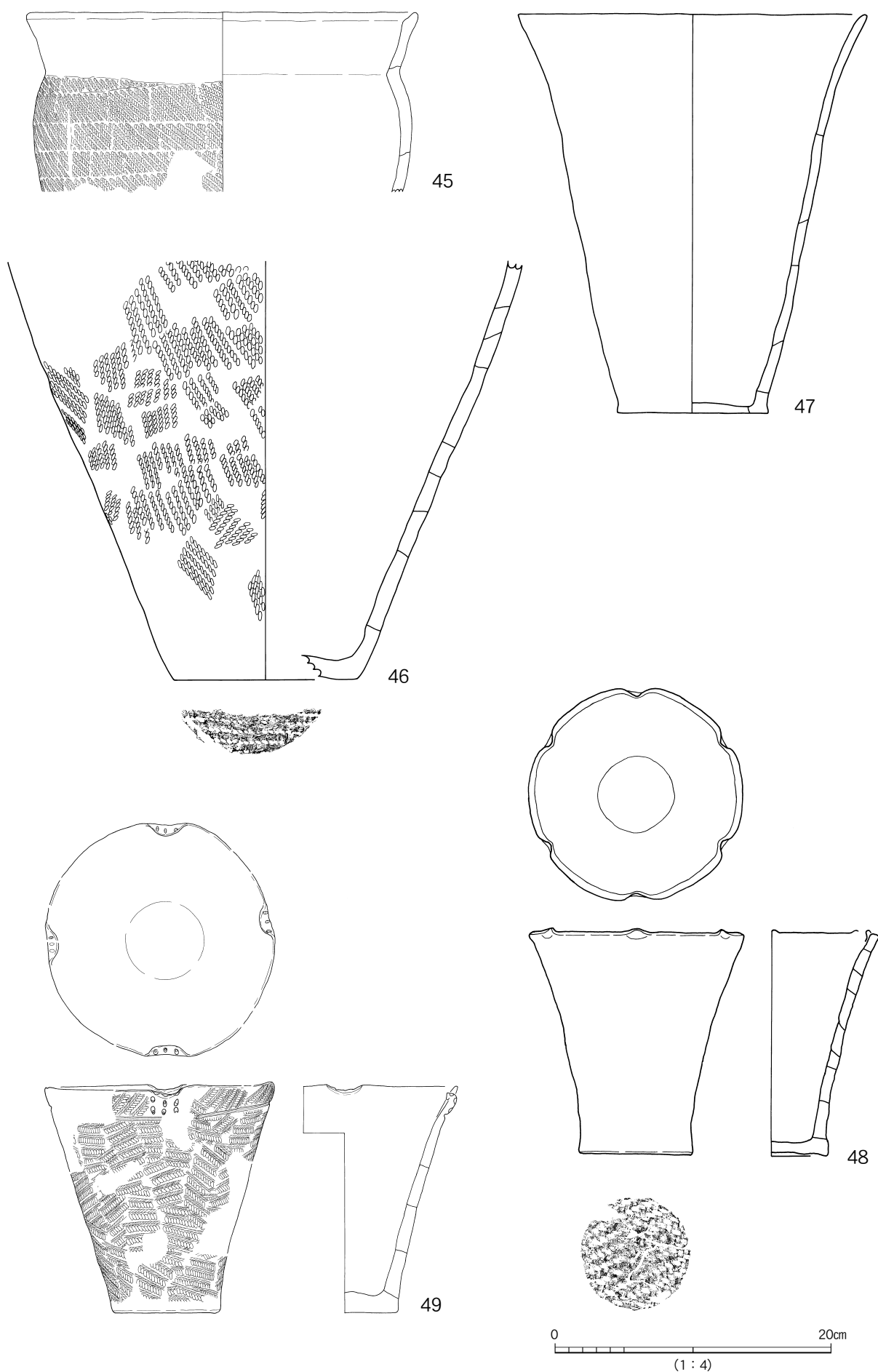
39



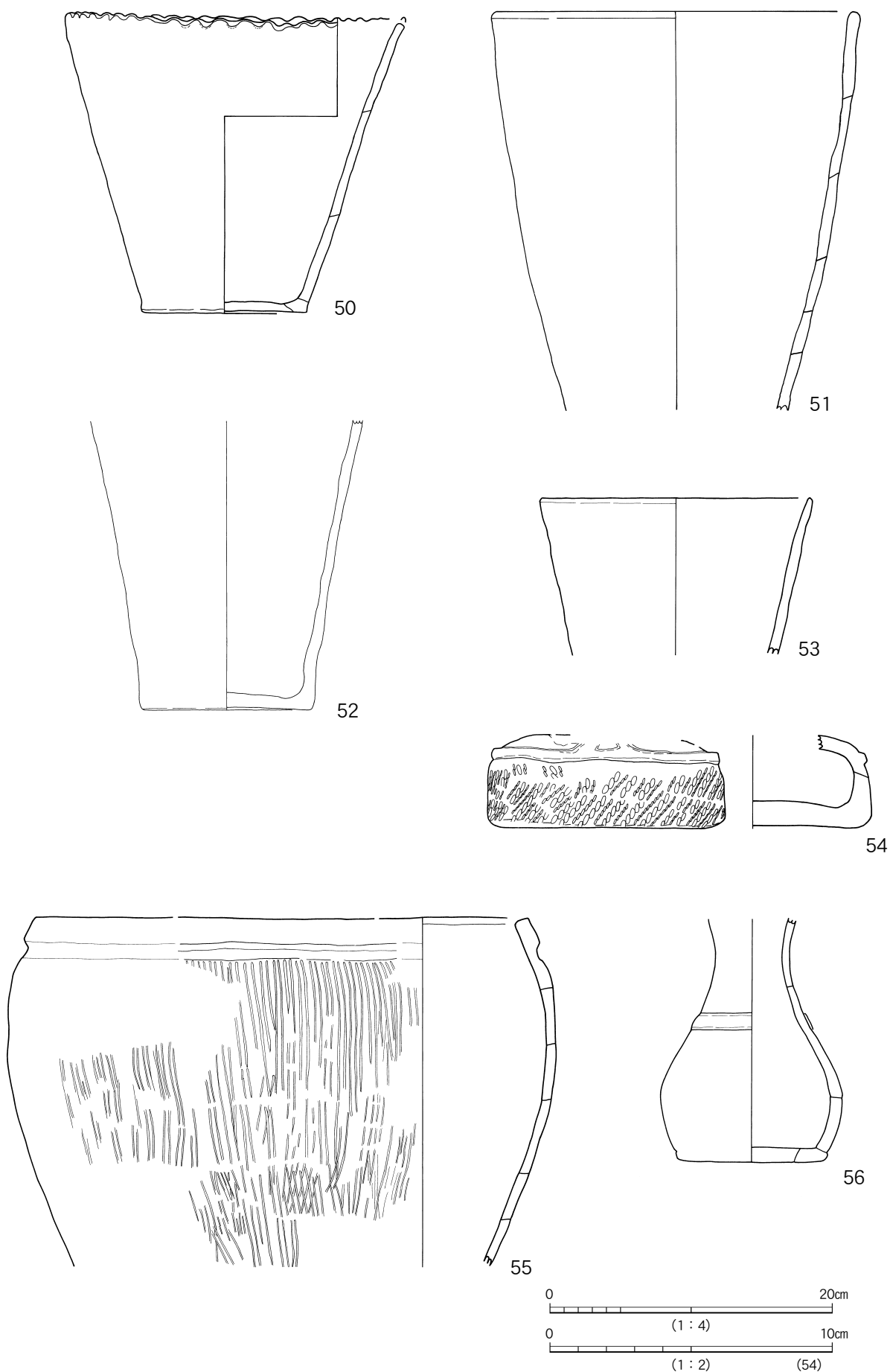
第32図 舟岡地区縄文土器(13) 第6 調査区



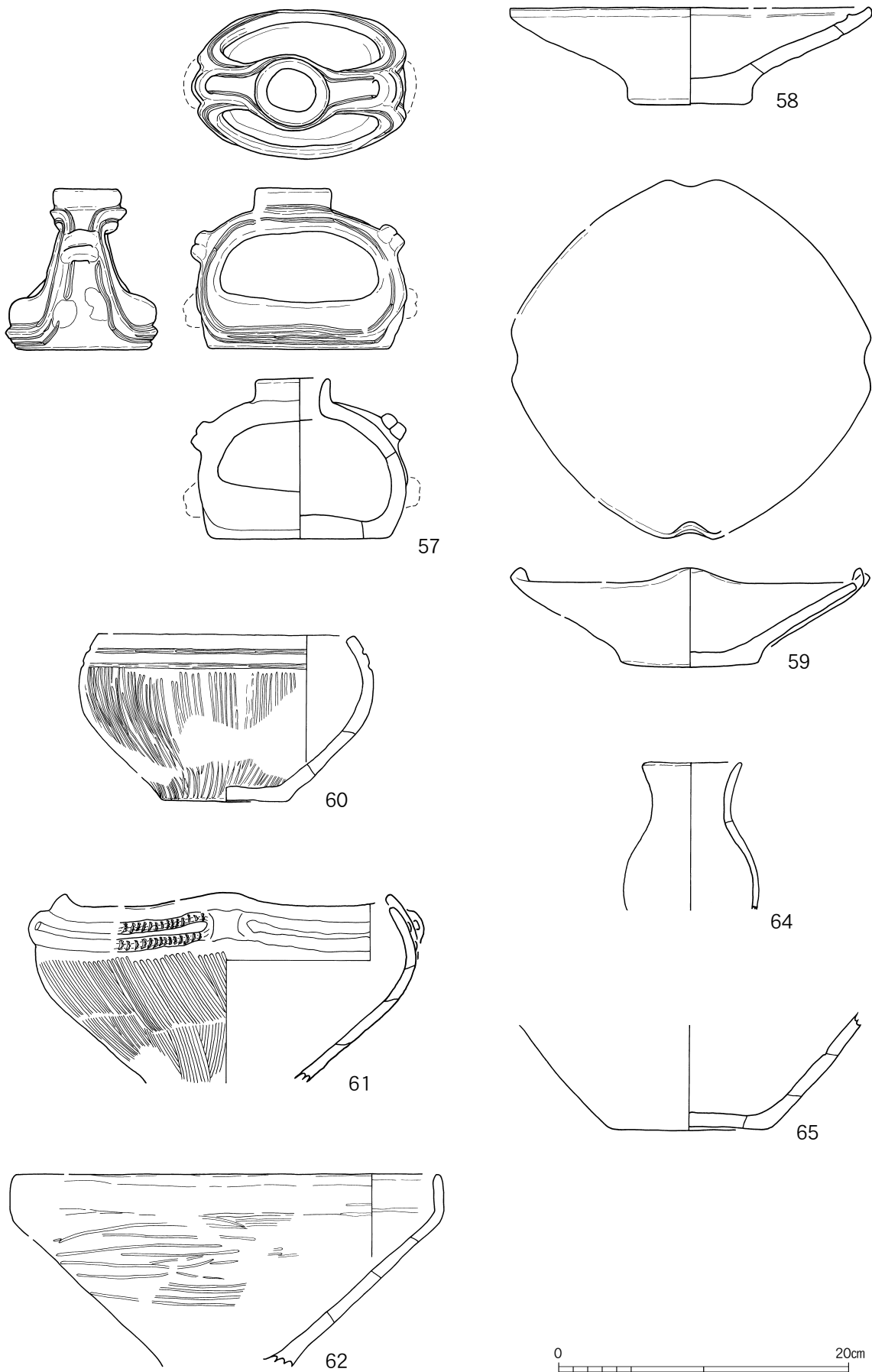
第33図 舟岡地区縄文土器(14) 第6調査区



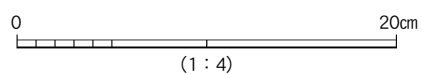
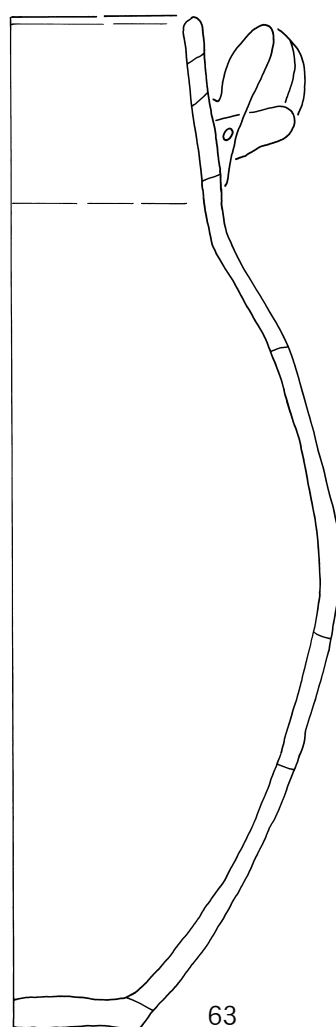
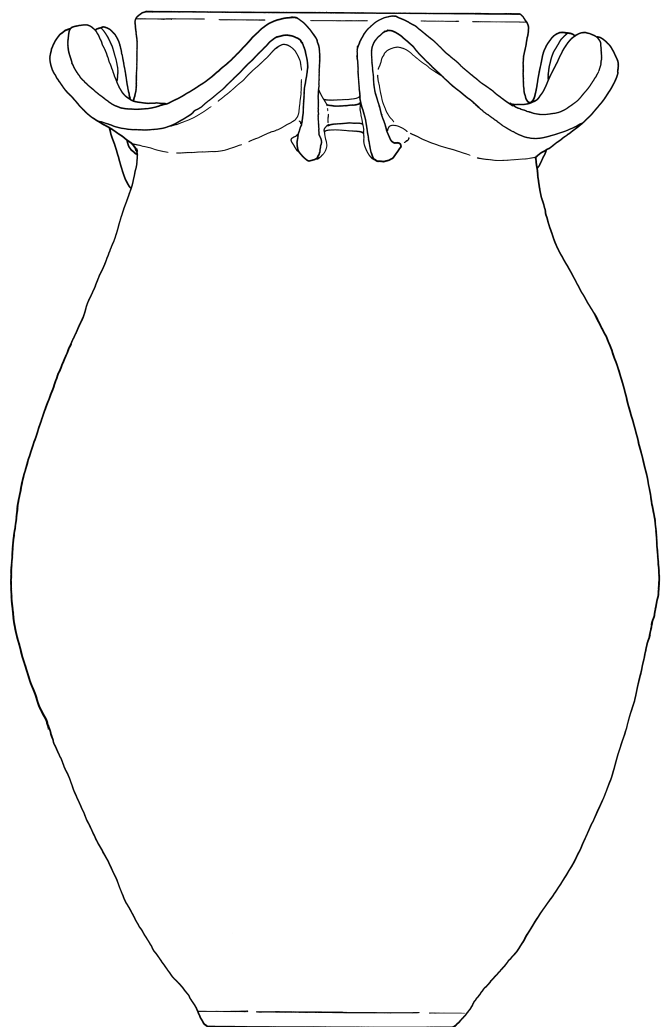
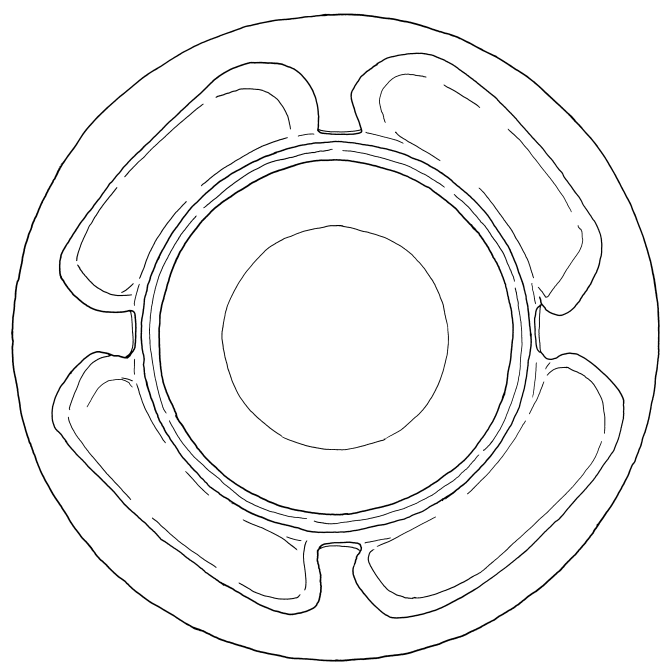
第34図 舟岡地区縄文土器(15) 第6調査区



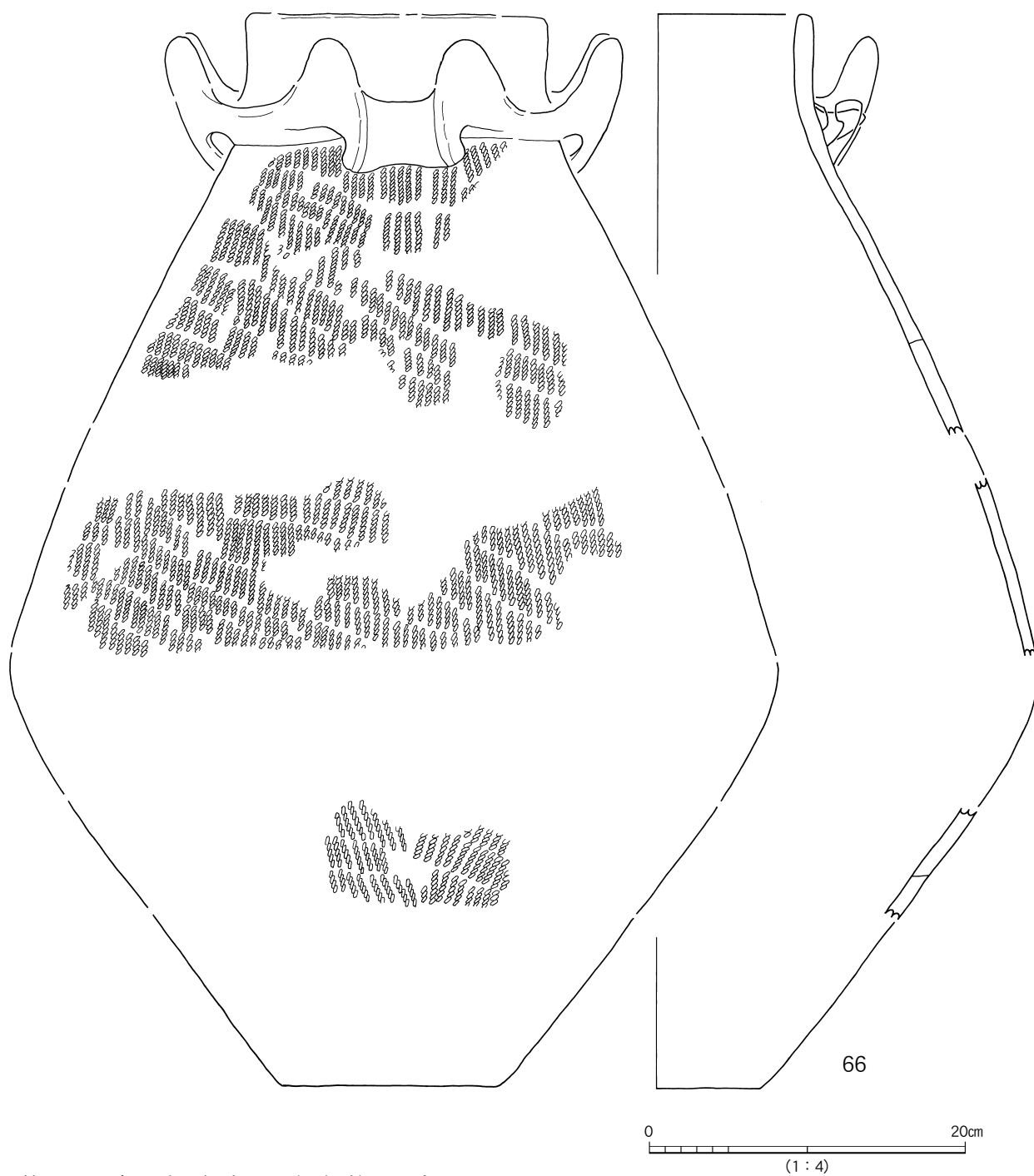
第35図 舟岡地区縄文土器(16) 第6 調査区



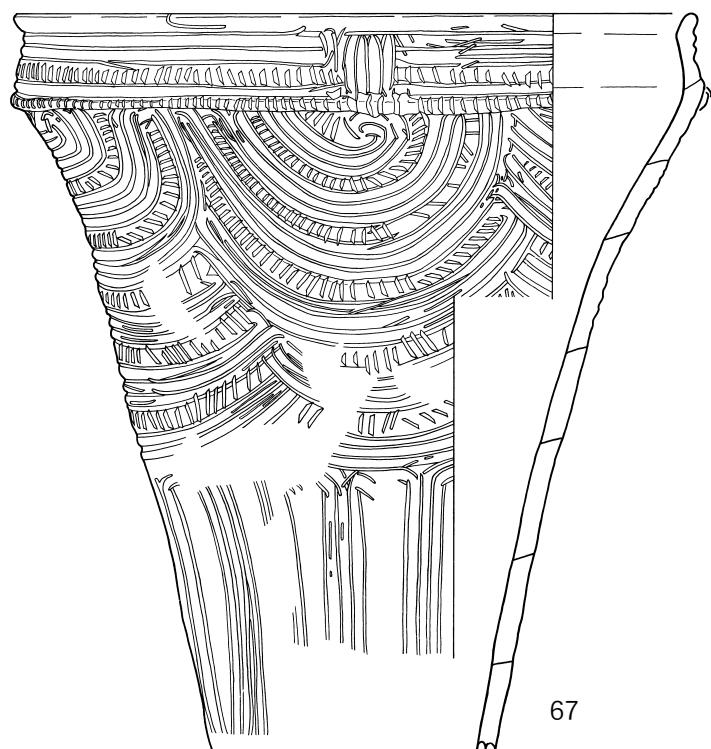
第36図 舟岡地区縄文土器(17) 第6 調査区



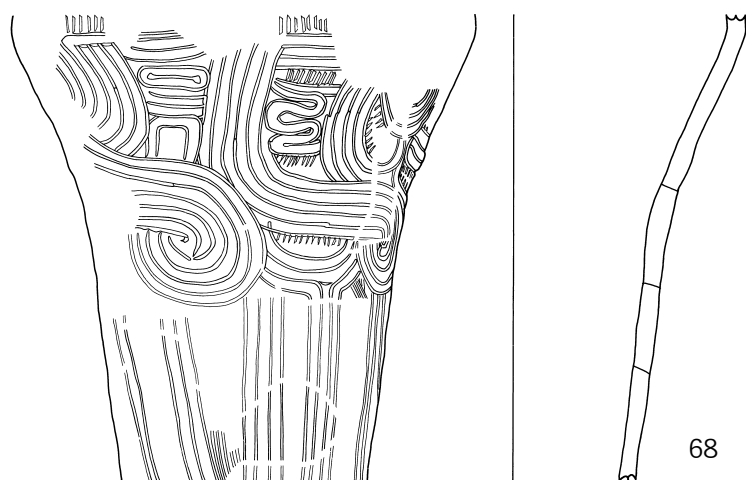
第37図 舟岡地区縄文土器(18) 第6 調査区



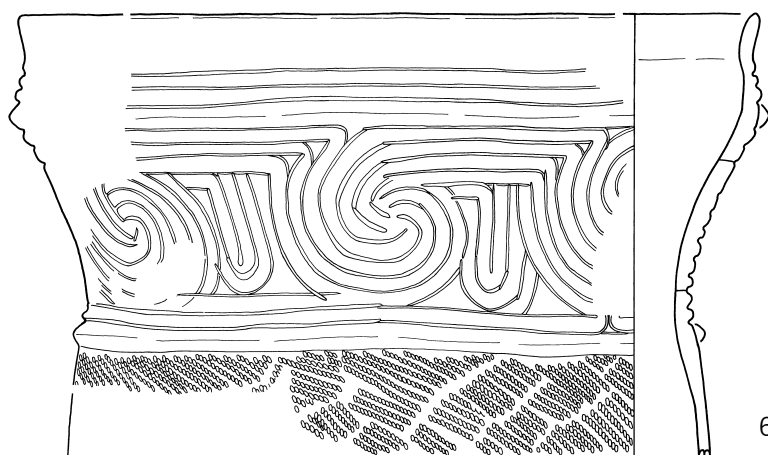
第38図 舟岡地区縄文土器(19) 第6 調査区



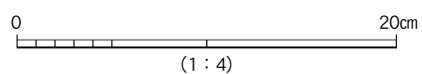
67



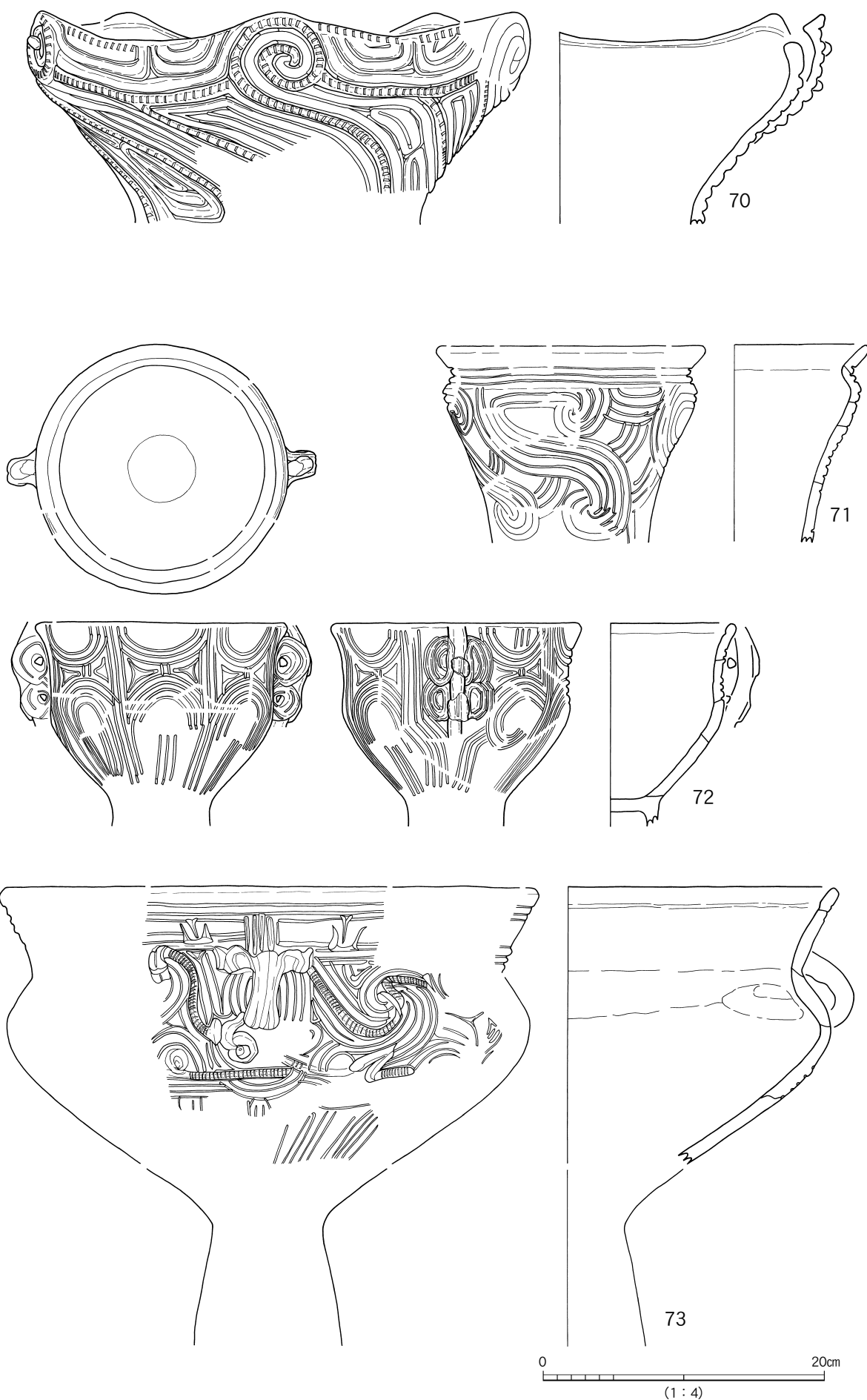
68



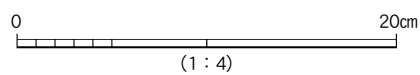
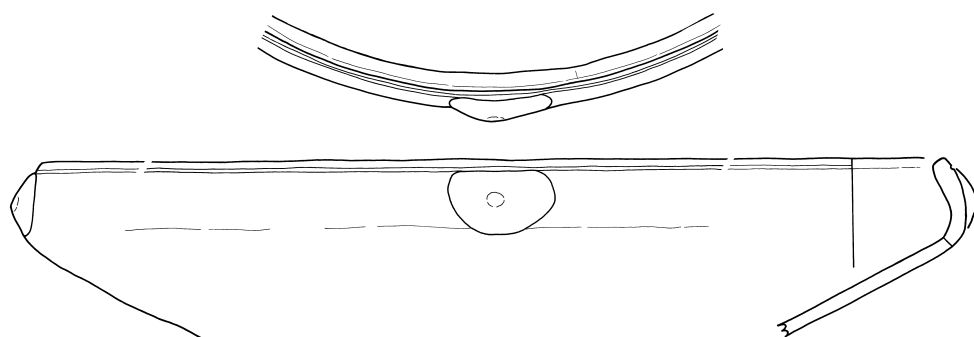
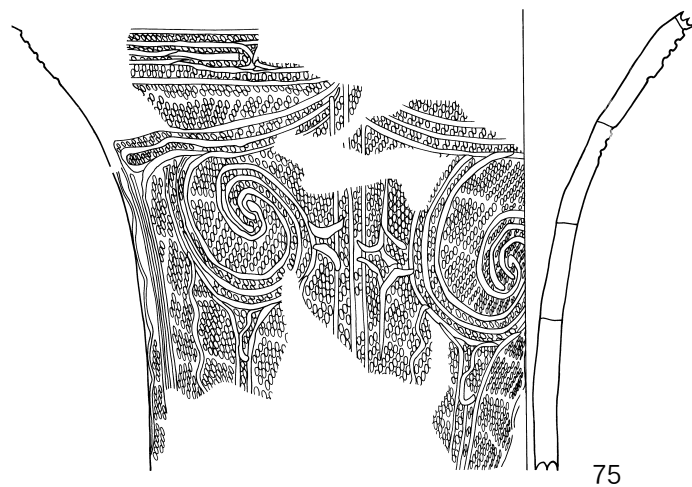
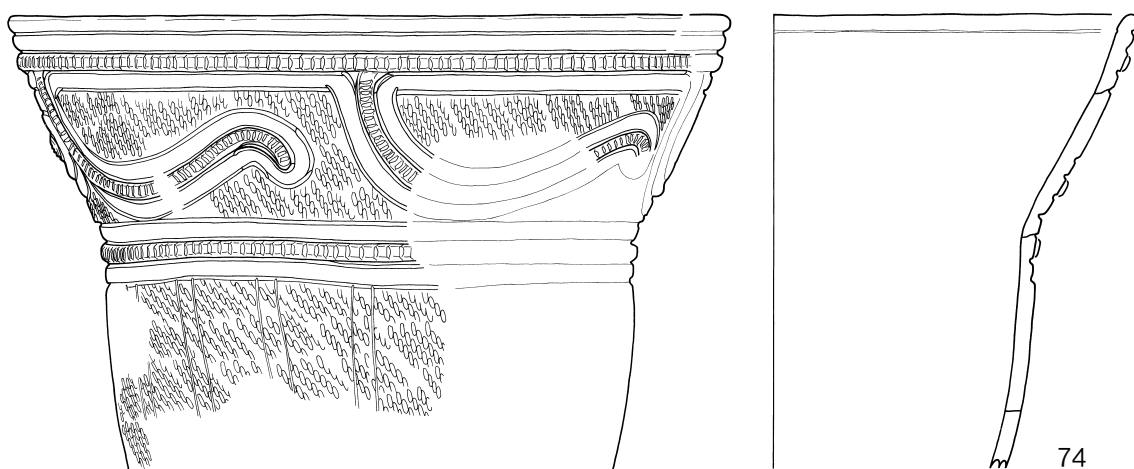
69



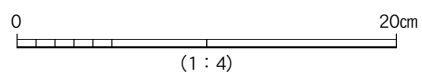
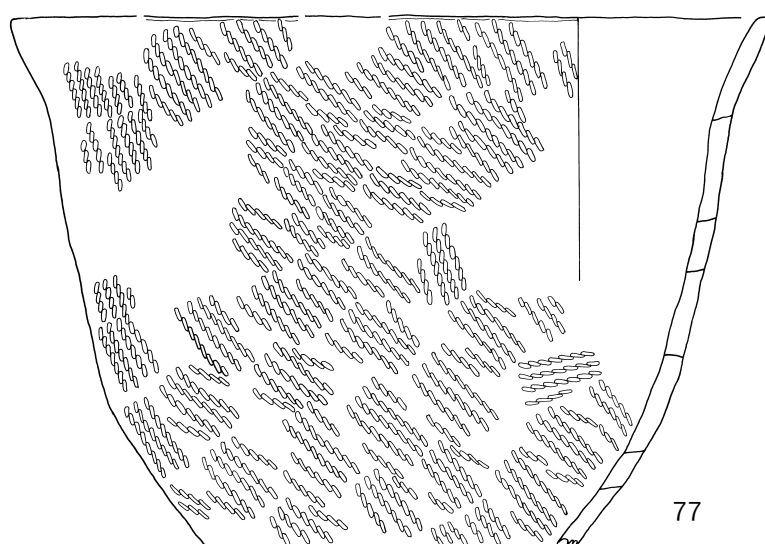
第39図 舟岡地区縄文土器(20) 第1調査区SD05



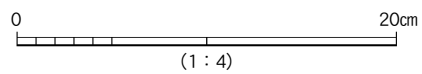
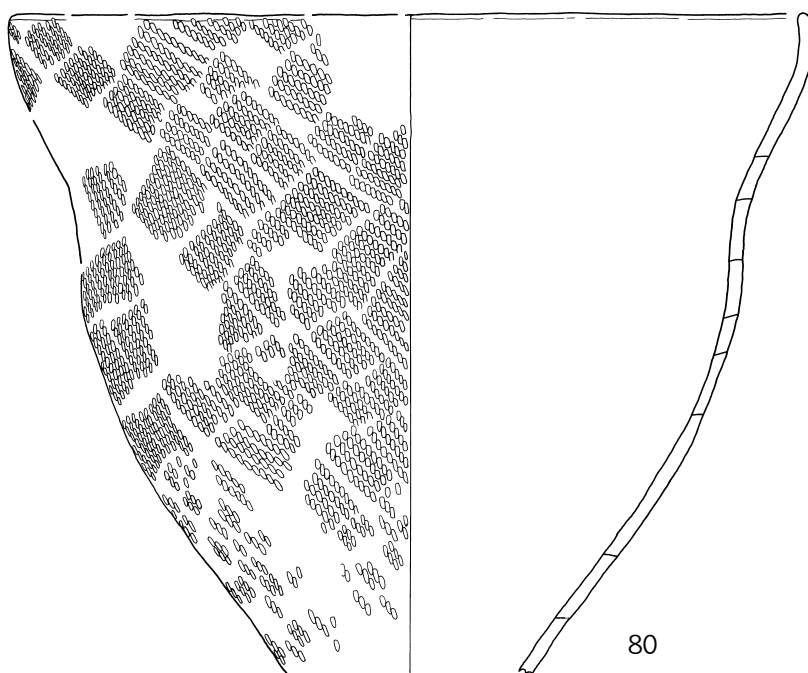
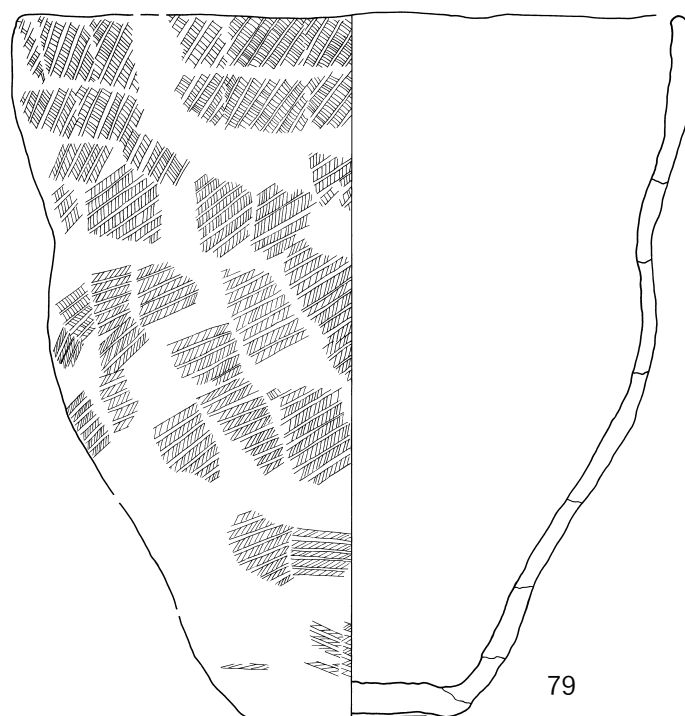
第40図 舟岡地区縄文土器(21) 第1調査区SD05



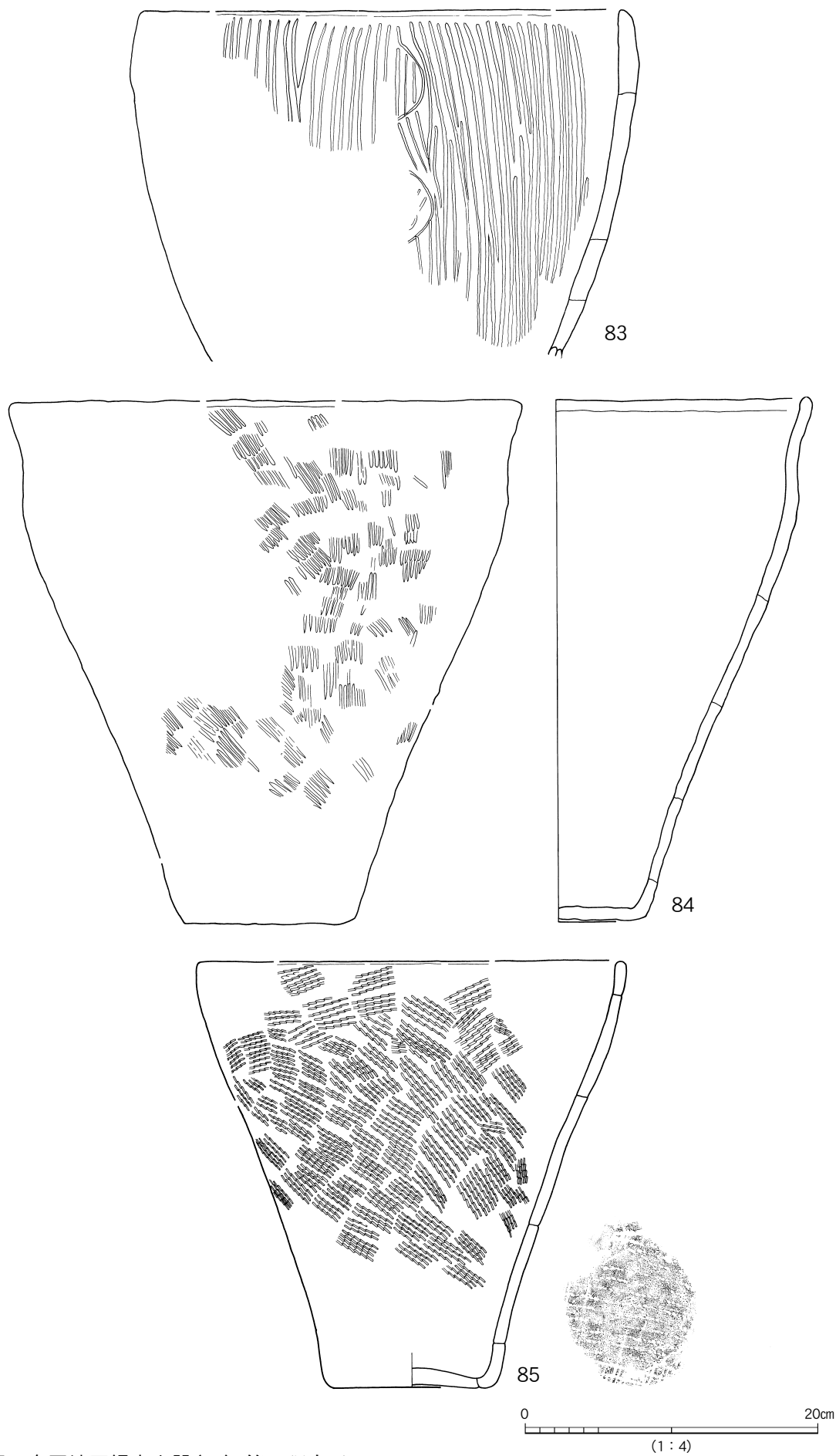
第41図 舟岡地区縄文土器(22) 第1調査区SD05



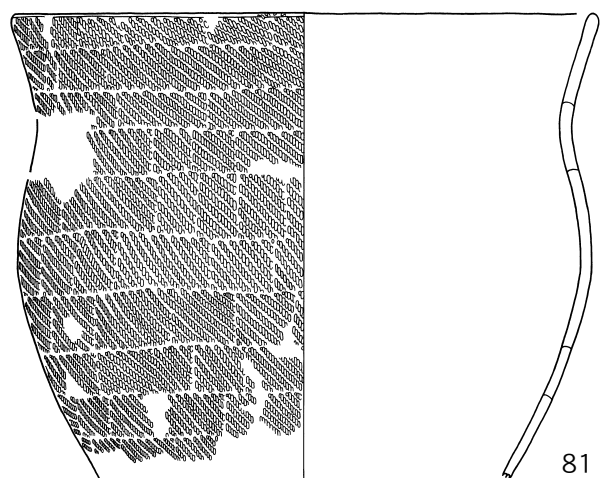
第42図 舟岡地区縄文土器(23) 第1調査区SD05



第43図 舟岡地区縄文土器(24) 第1調査区SD05



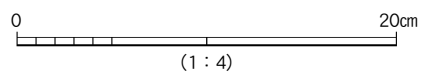
第44図 舟岡地区縄文土器(25) 第1調査区SD05



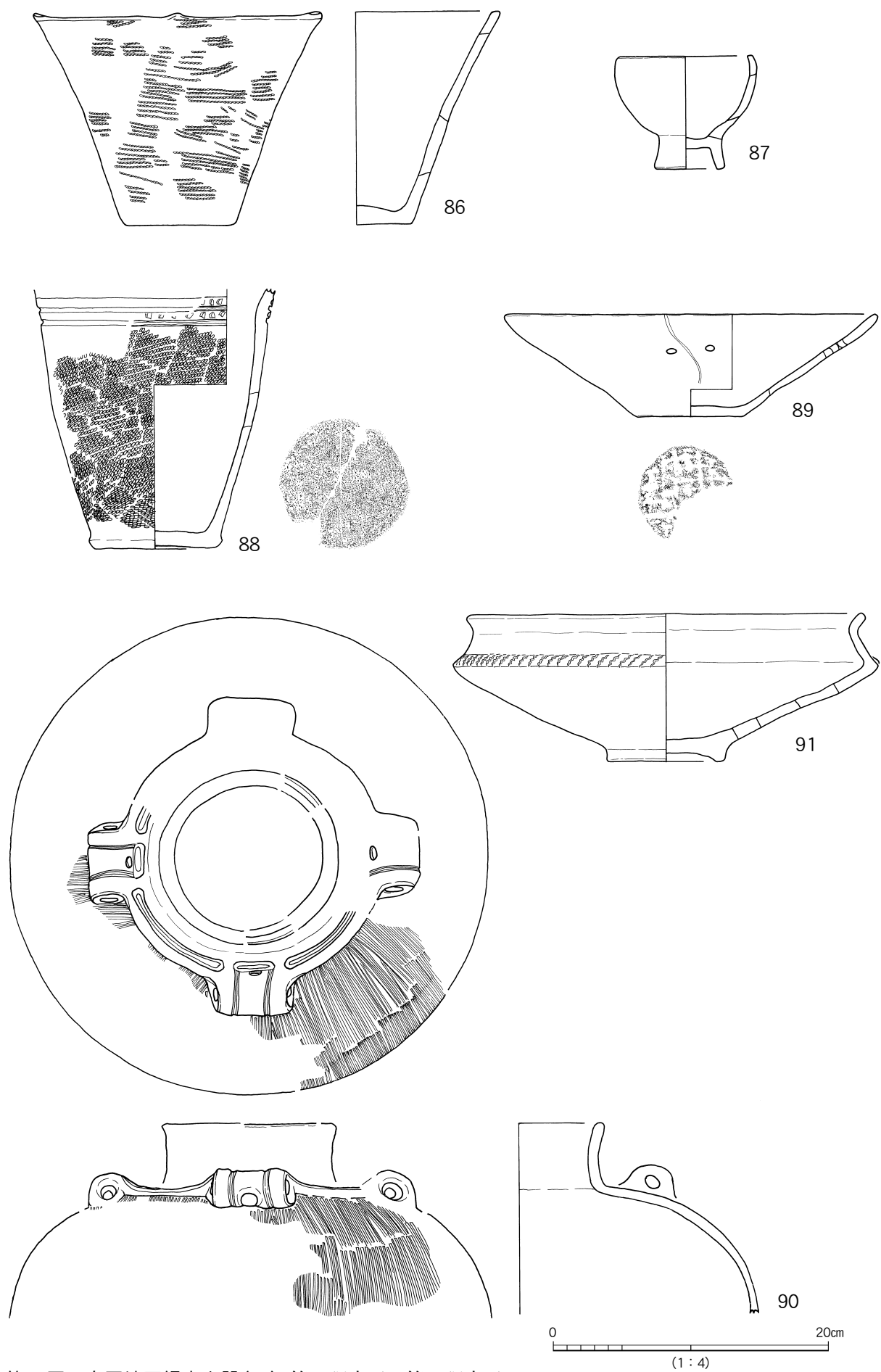
81



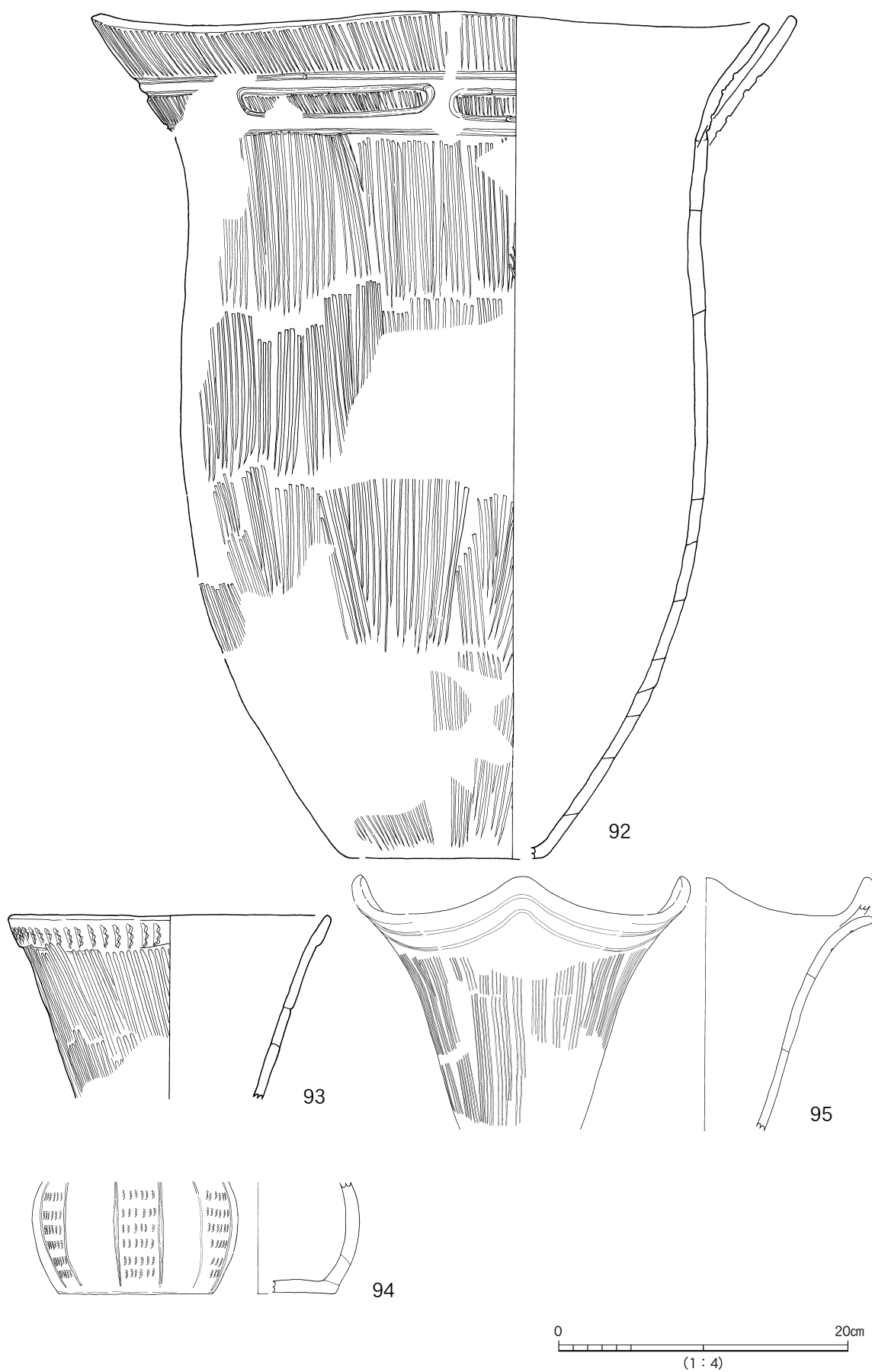
82



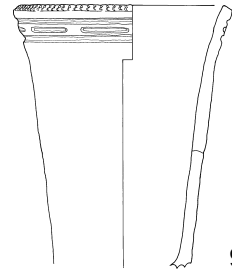
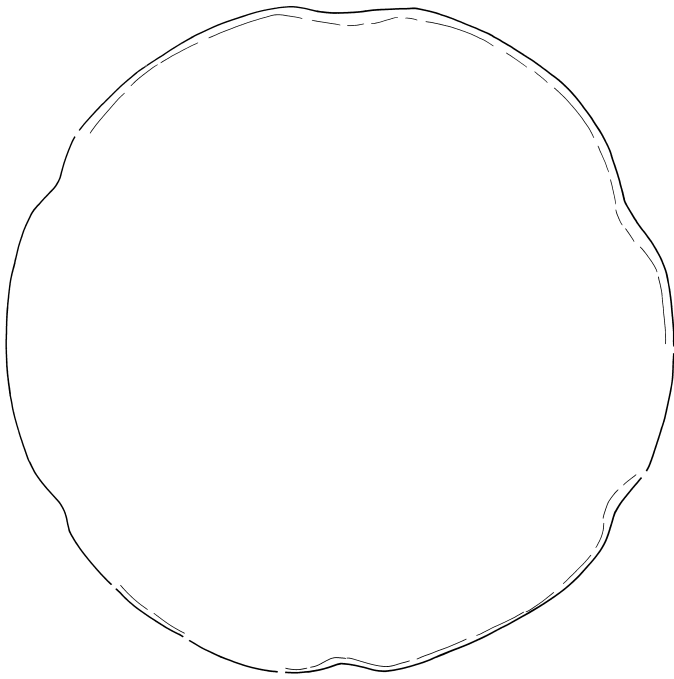
第45図 舟岡地区縄文土器(26) 第1調査区SD05



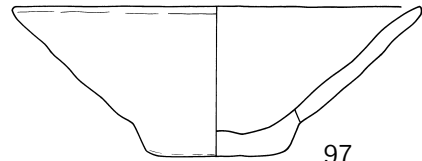
第46図 舟岡地区縄文土器(27) 第1調査区・第6調査区



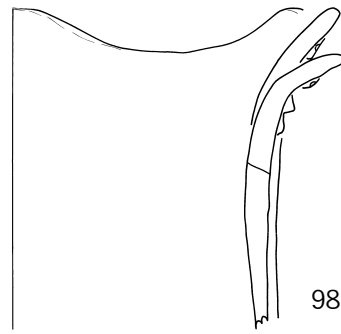
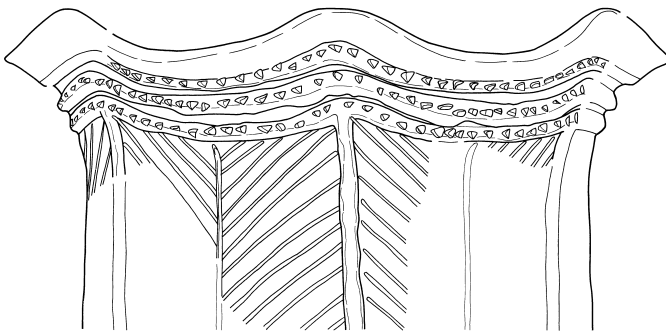
第47図 舟岡地区縄文土器(28) 第6調査区焼土



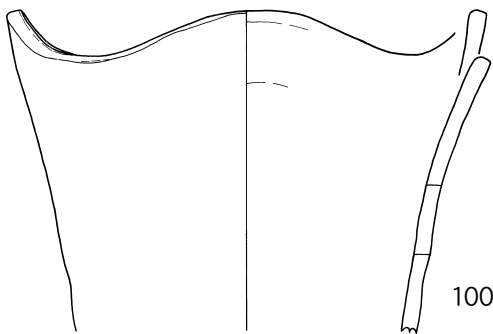
96



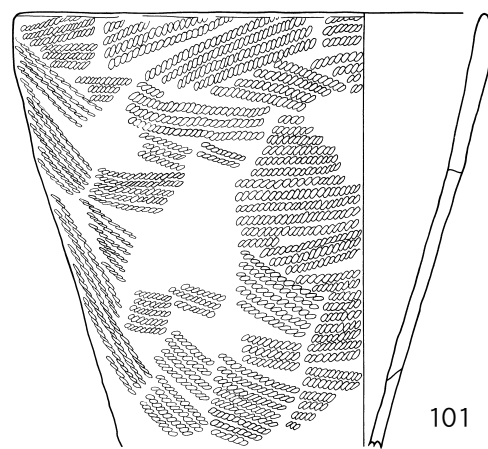
97



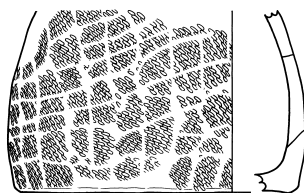
98



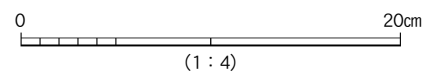
100



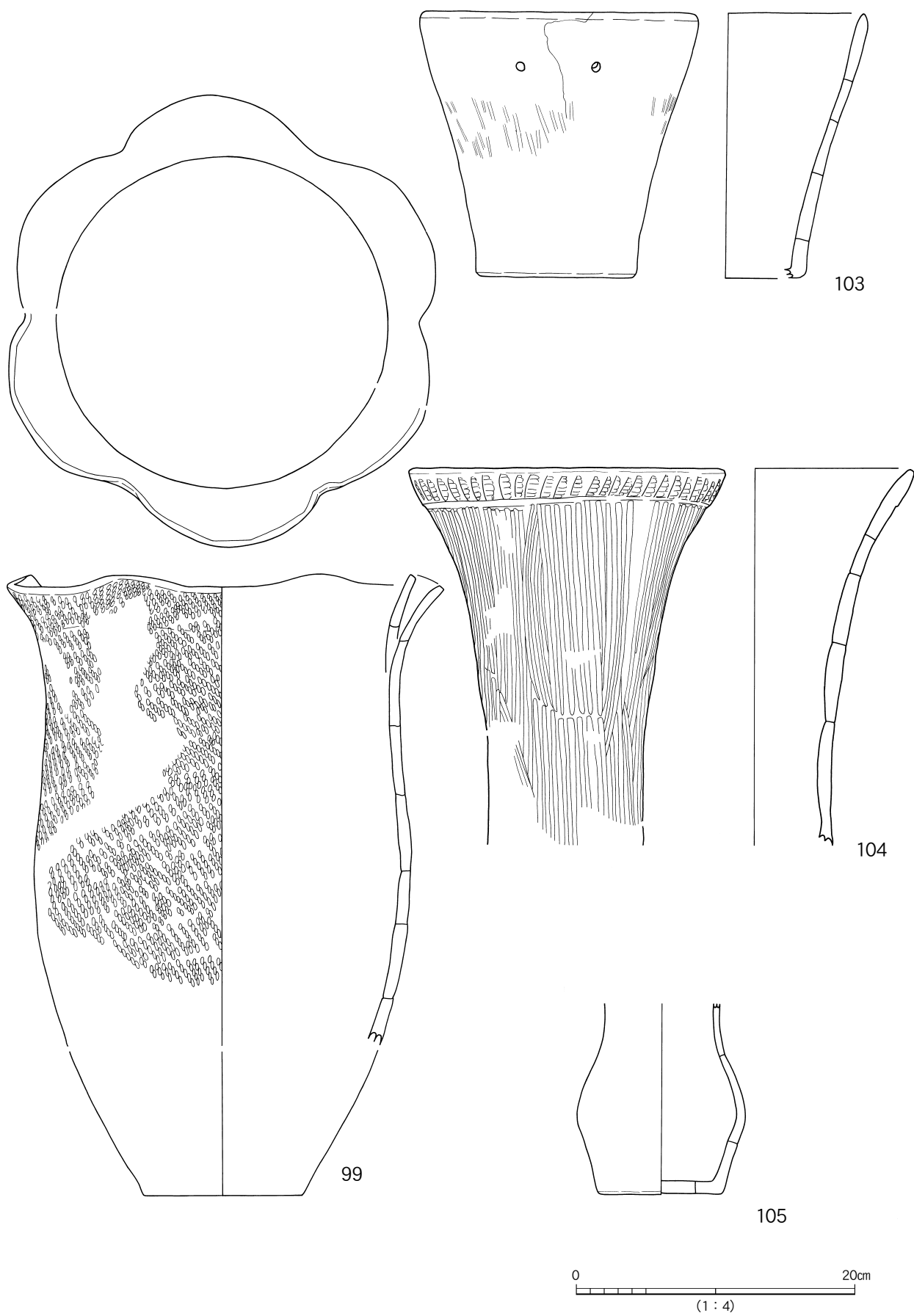
101



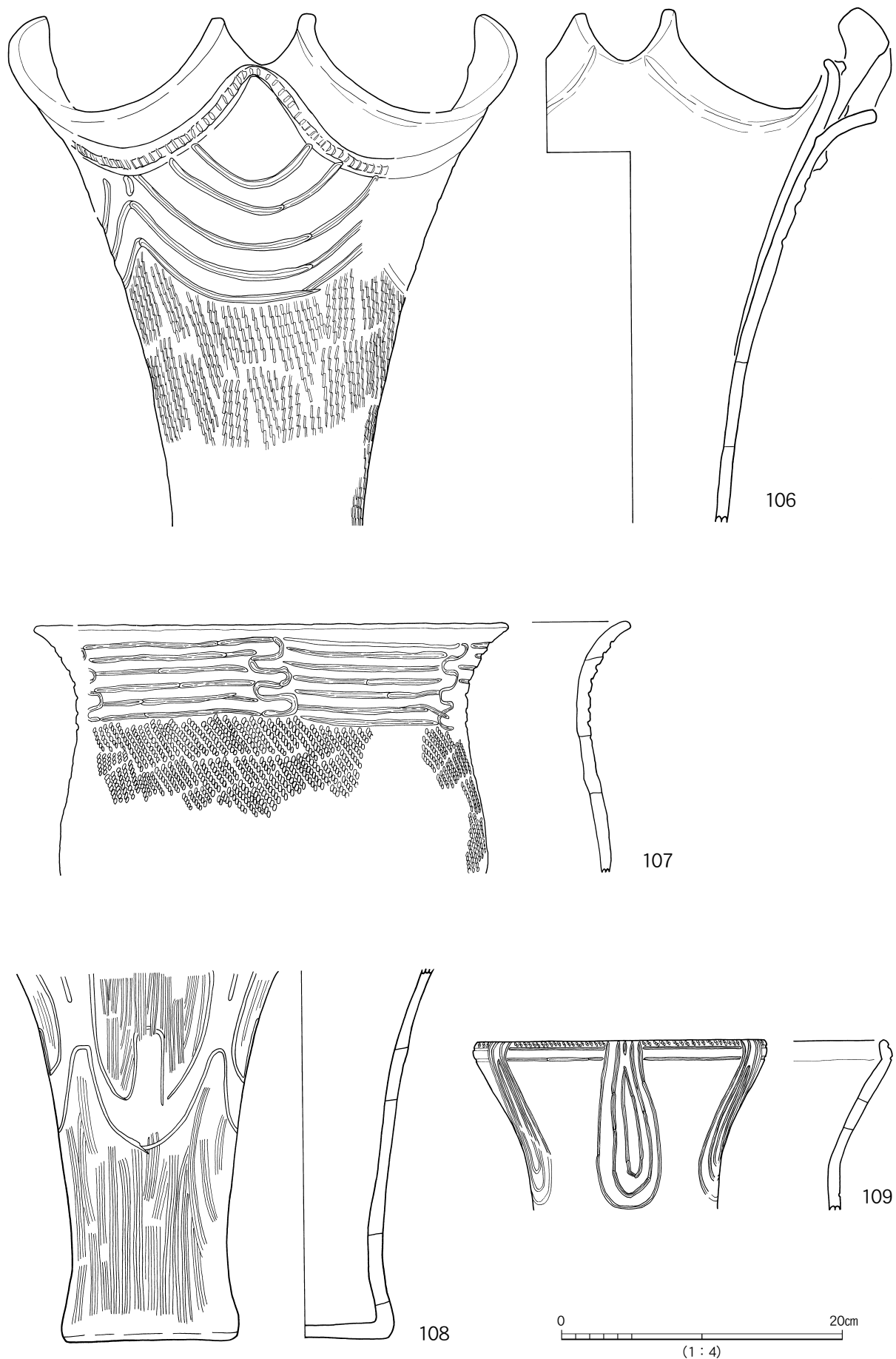
102



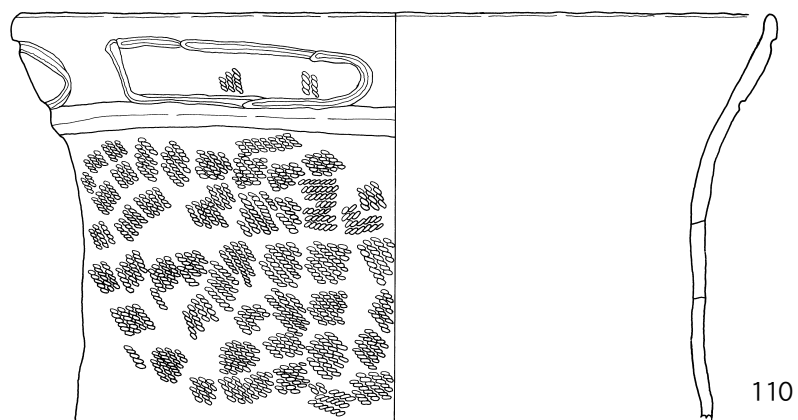
第48図 舟岡地区縄文土器(29) 第6 調査区焼土



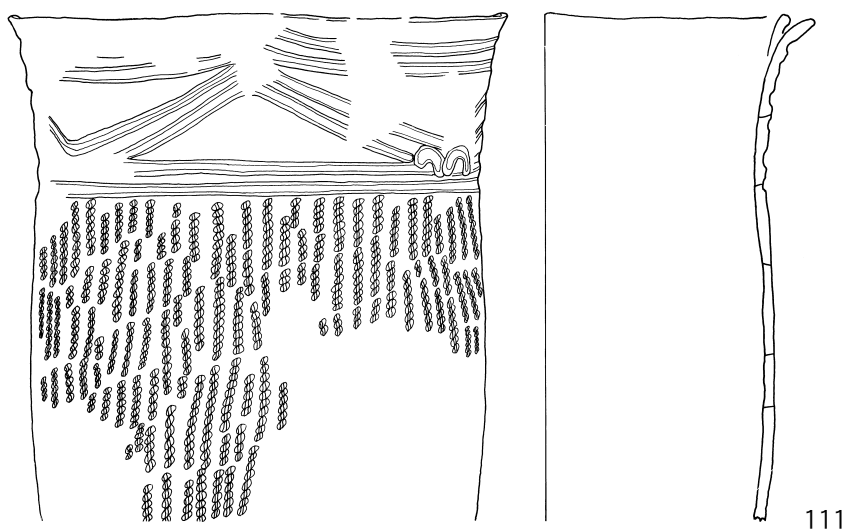
第49図 舟岡地区縄文土器(30) 第6 調査区焼土・土器溜まり



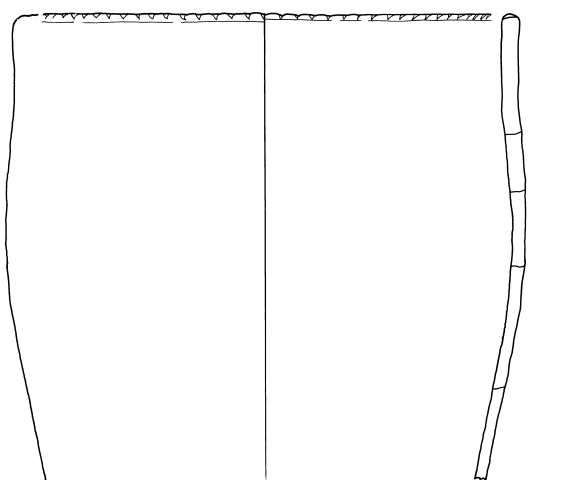
第50図 舟岡地区縄文土器(31) 第6調査区土器溜まり



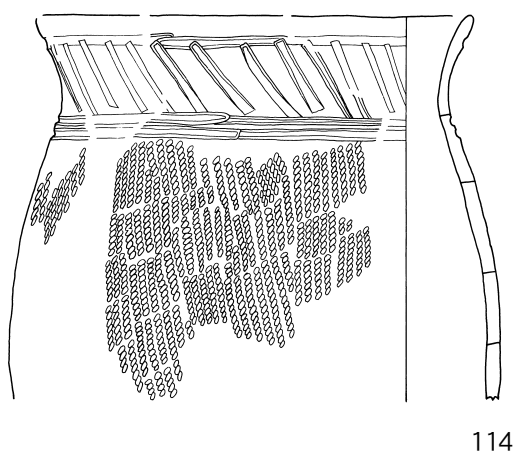
110



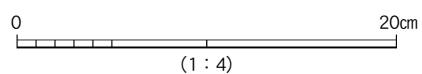
111



113



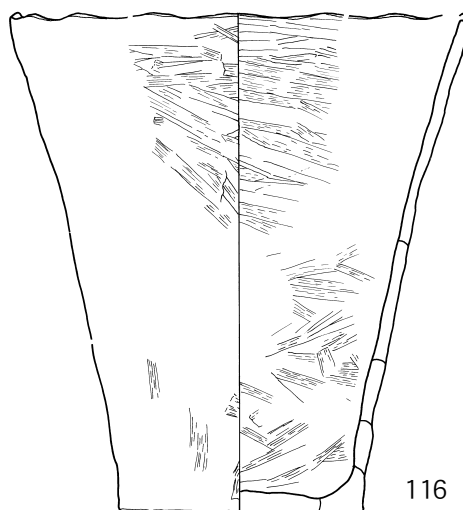
114



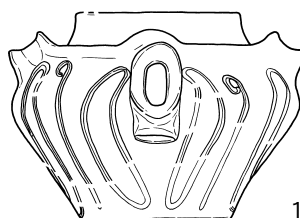
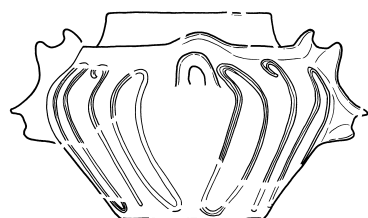
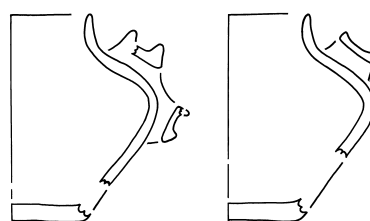
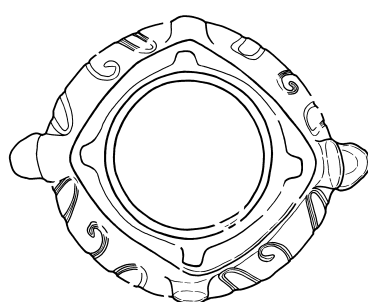
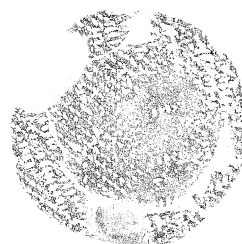
第51図 舟岡地区縄文土器(32) 第6調査区土坑



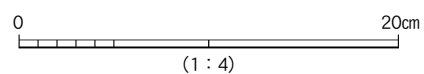
112



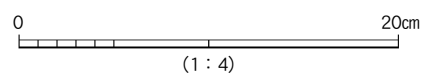
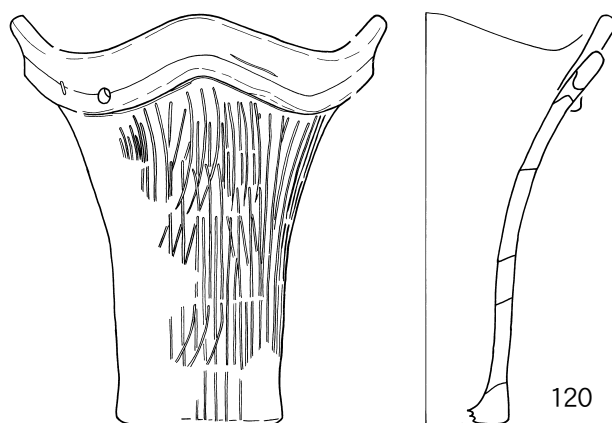
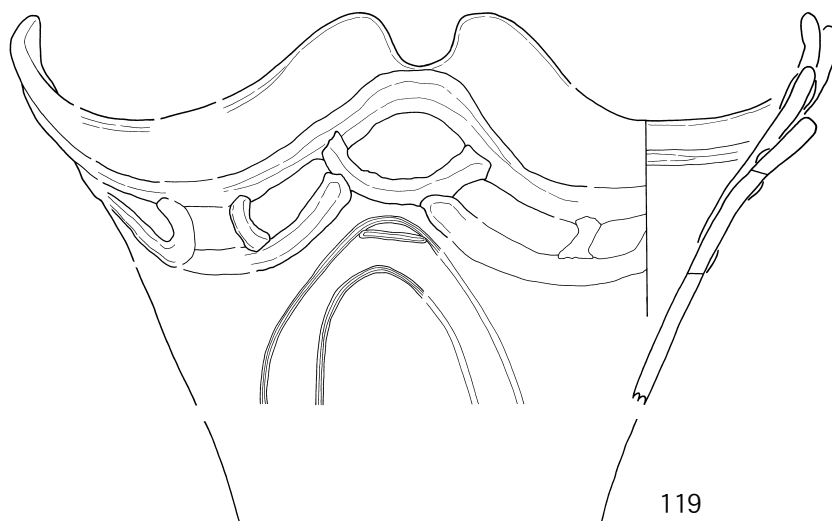
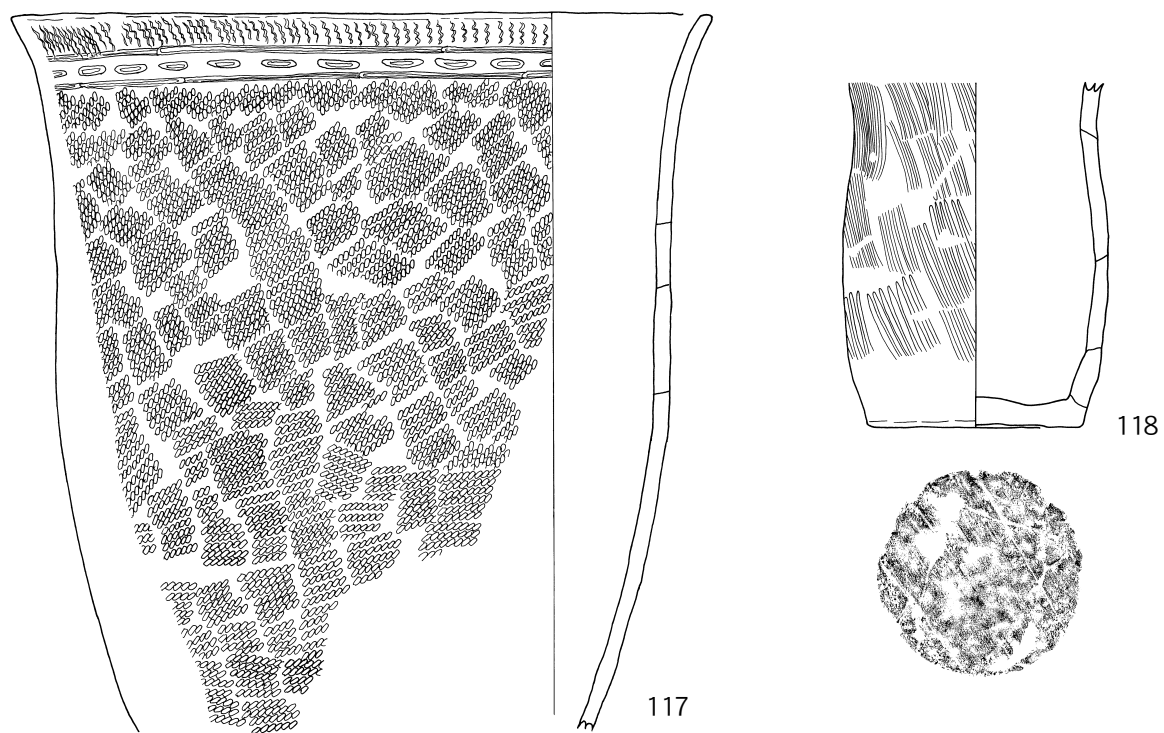
116



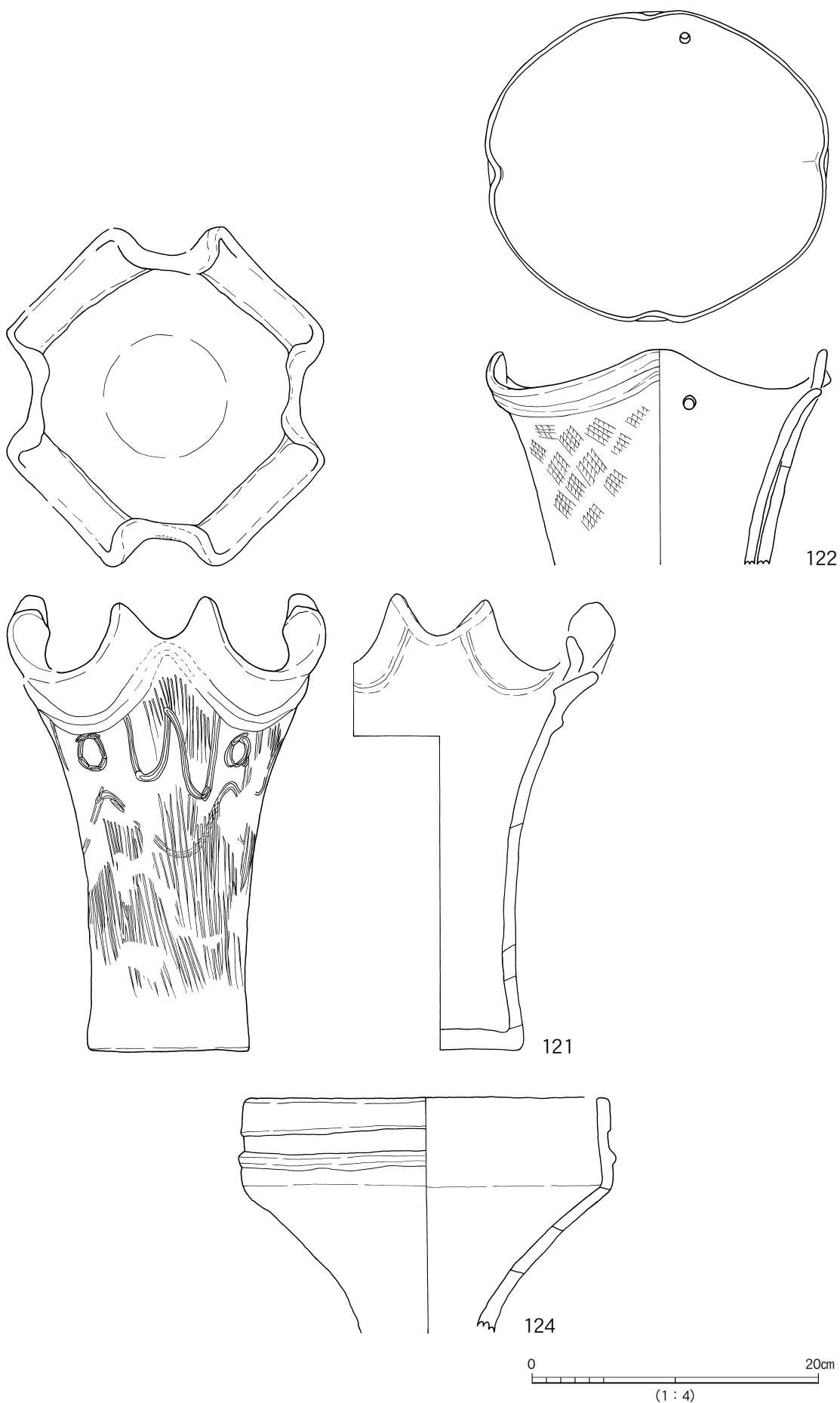
115



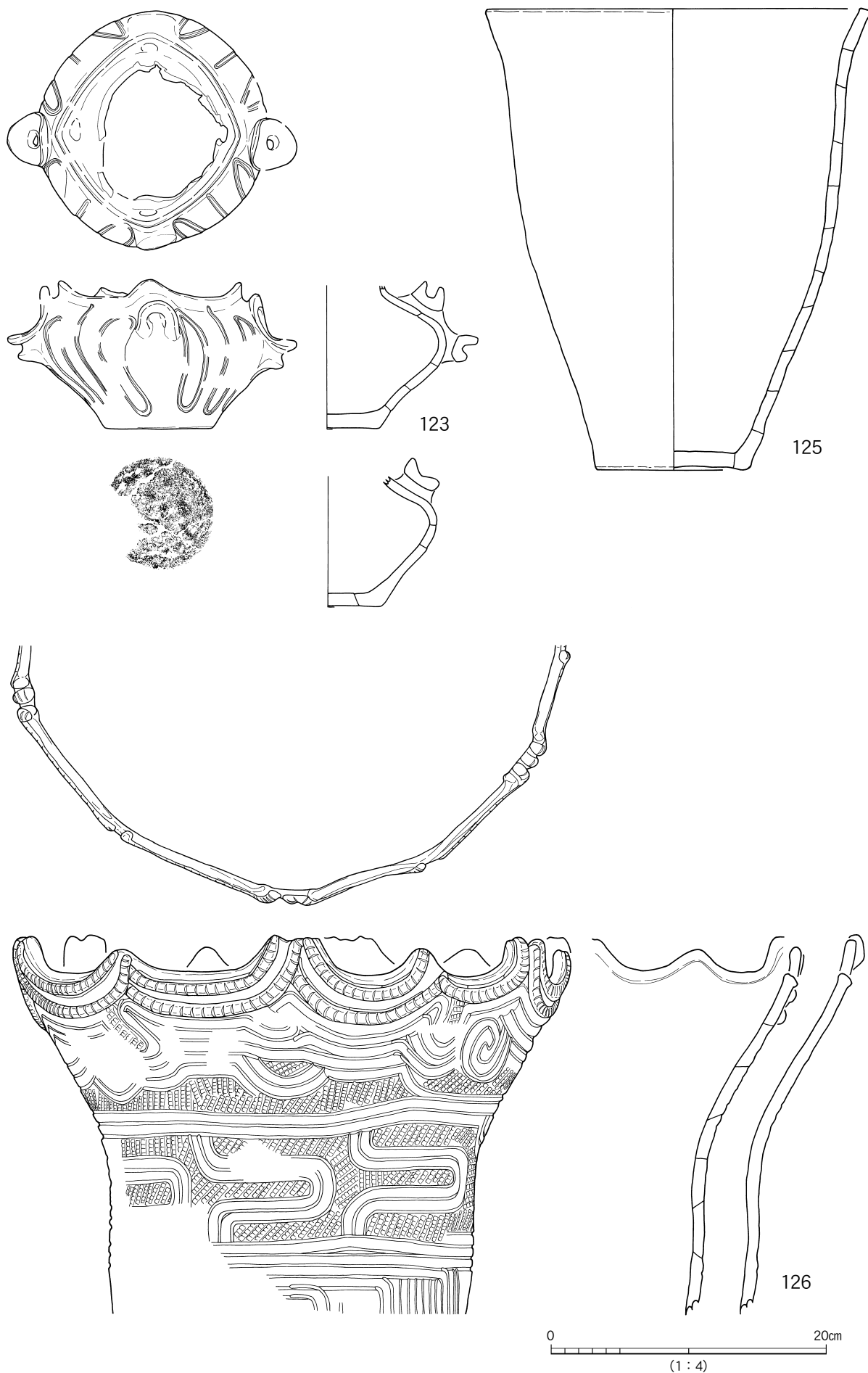
第52図 舟岡地区縄文土器(33) 第6調査区土坑



第53図 舟岡地区縄文土器(34) 第6調査区土坑



第54図 舟岡地区縄文土器(35) 第6調査区土坑



第55図 舟岡地区縄文土器(36) 第6 調査区土坑